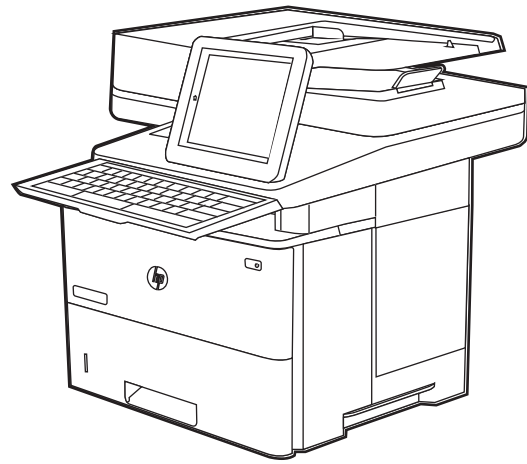
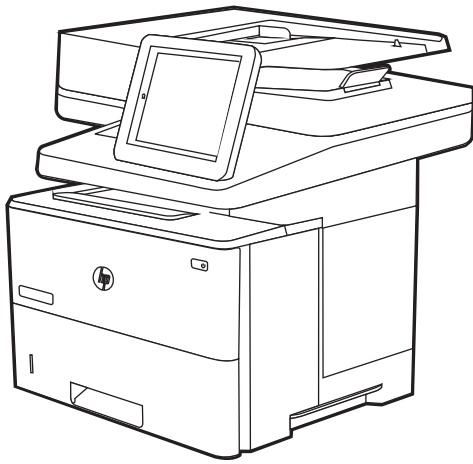




LaserJet Enterprise MFP M528

LaserJet Enterprise Flow MFP M528

## ユーザーガイド



[www.hp.com/videos/LaserJet](http://www.hp.com/videos/LaserJet)  
[www.hp.com/support/ljM528mfp](http://www.hp.com/support/ljM528mfp)





HP LaserJet Enterprise MFP M528

ユーザーガイド

## 著作権およびライセンス

© Copyright 2019 HP Development Company, L.P.

事前の書面による許可なく複製、改変、変換することは、著作権法で許可されていない限り禁じられています。

本文書の内容は、事前の通知なく変更される可能性があります。

HP の製品およびサービスに対する唯一の保証は、当該製品またはサービスに付属の明示的な保証条項で規定されます。本文書のいかなる部分も、追加の保証を構成するとは見なされません。HP は、本文書に含まれる技術的または表記上の誤記や欠落について、一切の責任を負わないものとします。

Edition 1, 4/2019

## 商標について

Adobe®、Adobe Photoshop®、Acrobat®、および PostScript® は、Adobe Systems Incorporated の商標です。

Apple および Apple ロゴは、米国およびその他の国/地域における Apple Inc. の商標です。

macOS は、米国およびその他の国/地域における Apple Inc. の商標です。

AirPrint は、米国およびその他の国/地域における Apple Inc. の商標です。

Google™ は、Google Inc. の商標です。

Microsoft®、Windows®、Windows XP®、および Windows Vista® は、Microsoft Corporation の米国における登録商標です。

UNIX® は Open Group の登録商標です。

# 目次

<b>1 プリンタの概要</b> .....	<b>1</b>
警告アイコン .....	1
感電の危険性 .....	3
プリンタの図 .....	4
プリンタ前面図 .....	4
プリンタ背面図 .....	5
インタフェースポート .....	6
コントロールパネル .....	7
タッチスクリーン コントロール パネルの使用法 .....	8
プリンタの仕様 .....	10
技術仕様 .....	10
サポートされているオペレーティングシステム .....	12
モバイル印刷ソリューション .....	14
プリンタの寸法 .....	15
消費電力、電気仕様、およびアコースティック エミッション .....	16
動作環境範囲 .....	16
プリンタのハードウェアのセットアップとソフトウェアのインストール .....	16
<b>2 用紙トレイ</b> .....	<b>17</b>
はじめに .....	17
トレイ 1 に用紙をセット .....	19
トレイ 1 (汎用トレイ) に用紙をセット .....	19
トレイ 1 の用紙の向き .....	20
代替レターヘッドモードの使用 .....	21
プリンタのコントロールパネル メニューを使用して代替レターヘッドモ ードを有効にする .....	21
トレイ 2 および 550 枚トレイに用紙をセットする .....	22
トレイ 2 および 550 枚トレイに用紙をセットする .....	22
トレイ 2 および 550 枚トレイの用紙の向き .....	24
代替レターヘッドモードの使用 .....	21
プリンタのコントロールパネル メニューを使用して代替レターヘッドモ ードを有効にする .....	21

封筒のセットと印刷 .....	26
封筒の印刷 .....	26
封筒の向き .....	26
ラベルのセットと印刷 .....	27
ラベル紙の手差し .....	27
ラベルの向き .....	27
コンビニエンスステイブラの使用 (f、c、およびzモデル) .....	28
ステイブラの使用 .....	28

### 3 サプライ品、アクセサリ、および部品 ..... 29

サプライ品、アクセサリ、および部品の注文 .....	30
注文 .....	30
サプライ品およびアクセサリ .....	30
メンテナンス/ロングライフ消耗品 .....	31
カスタマセルフリペア部品 .....	32
HP トナーカートリッジ保護サプライ品の設定 .....	33
はじめに .....	33
カートリッジポリシー機能の有効化または無効化 .....	34
プリンタのコントロールパネルを使って、カートリッジポリシー機能を有効化します .....	34
プリンタのコントロールパネルを使って、カートリッジポリシー機能を無効化します .....	34
HP 内蔵 Web サーバ(EWS) を使って、カートリッジポリシー機能を有効化します .....	34
HP 内蔵 Web サーバ(EWS) を使って、カートリッジポリシー機能を無効化します .....	35
カートリッジポリシーのコントロールパネルのエラーメッセージをトラブルシューティングします .....	35
カートリッジ保護機能の有効化または無効化 .....	37
プリンタのコントロールパネルを使って、カートリッジ保護機能を有効化します .....	37
プリンタのコントロールパネルを使って、カートリッジ保護機能を無効化します .....	37
HP 内蔵 Web サーバ(EWS) を使って、カートリッジ保護機能を有効化します ....	38
HP 内蔵 Web サーバ(EWS) を使って、カートリッジ保護機能を無効化します ....	38
カートリッジ保護のコントロールパネルのエラーメッセージをトラブルシューティングします .....	39
トナーカートリッジの交換 .....	40
カートリッジ情報 .....	40
カートリッジの取り外しと交換 .....	41
ステイブルカートリッジの交換 (f、c、およびzモデル) .....	45
はじめに .....	45

ステイブルカートリッジの取り外しと交換 .....	45
---------------------------	----

## 4 印刷 ..... 47

印刷タスク (Windows) .....	48
印刷方法 (Windows) .....	48
自動両面印刷 (Windows) .....	48
手動両面印刷 (Windows) .....	49
1 枚の用紙への複数ページの印刷 (Windows) .....	50
用紙タイプの選択 (Windows) .....	50
補足的な印刷タスク .....	51
印刷タスク (macOS) .....	52
印刷方法 (macOS) .....	52
自動両面印刷 (macOS) .....	52
手動両面印刷 (macOS) .....	52
1 枚の用紙に複数ページを印刷する (macOS) .....	53
用紙タイプを選択する (macOS) .....	53
補足的な印刷タスク .....	51
プリンタに印刷ジョブを保存し、後で印刷するか、個人用として印刷 .....	55
はじめに .....	55
保存ジョブの作成 (Windows) .....	55
保存ジョブの作成 (macOS) .....	56
保存ジョブの印刷 .....	57
保存ジョブの削除 .....	58
プリンタに保存されているジョブを削除 .....	58
ジョブ保存の制限を変更 .....	58
ジョブアカウントの目的でプリンタに送信される情報 .....	58
モバイル印刷 .....	59
はじめに .....	59
Wi-Fi、Wi-Fi Direct 印刷、NFC、および BLE 印刷 .....	60
ワイヤレス印刷を有効にする .....	60
Wi-Fi Direct 名の変更 .....	60
HP ePrint (電子メール使用) .....	61
AirPrint .....	61
Android 内蔵印刷 .....	62
USB フラッシュ ドライブからの印刷 .....	63
USB ポートを有効化して印刷 .....	64
方法 1: プリンタのコントロールパネルから USB ポートを有効化 .....	64
方法 2: HP 内蔵 Web サーバから USB ポートを有効化 (ネットワークに接続しているプリンタのみ) .....	64
USB からの文書の印刷 .....	64
高速 USB 2.0 ポート (有線) を使用して印刷する .....	66

高速 USB ポートを有効化して印刷する .....	67
方法 1: プリンタのコントロールパネルメニューから高速 USB 2.0 ポートを有効化 .....	67
方法 2: HP 内蔵 Web サーバから高速 USB 2.0 ポートを有効化 (ネットワークに接続しているプリンタのみ) .....	67

## 5 コピー ..... 69

コピーする .....	69
両面コピーする .....	71
補足的なコピー タスク .....	72

## 6 スキャン ..... 75

[スキャンして電子メールで送信] のセットアップ .....	76
はじめに .....	76
作業を開始する前に .....	76
手順 1 : HP 内蔵 Web サーバ (EWS) にアクセス .....	77
手順 2 : [ネットワーク ID] 設定の設定 .....	77
手順 3 : [電子メールへの送信] 機能の設定 .....	79
方法 1: [電子メールセットアップウィザード] を使用した基本的な設定 .....	79
方法 2: 電子メールセットアップを使用した高度な設定 .....	82
手順 4 : クイックセットの設定 (オプション) .....	87
手順 5 : Office 365 Outlook を使用するための [電子メールへの送信] のセットアップ (オプション) .....	88
はじめに .....	88
Office 365 Outlook アカウントから電子メールを送信するための送信電子メールサーバ (SMTP) の設定 .....	88
[スキャン データをネットワーク フォルダに送信] のセットアップ .....	91
はじめに .....	91
作業を開始する前に .....	91
手順 1 : HP 内蔵 Web サーバ (EWS) にアクセス .....	77
手順 2 : [スキャン データをネットワーク フォルダに送信] のセットアップ .....	93
方法 1: [スキャン データをネットワーク フォルダに送信ウィザード] の使用 ...	93
方法 2: [スキャン データをネットワーク フォルダに送信セットアップ] の使用 .....	95
手順 1 : 設定の開始 .....	95
手順 2 : スキャン データをネットワーク フォルダに送信する設定の構成 .....	96
手順 3 : 設定の完了 .....	106
[スキャンして SharePoint® に保存] のセットアップ (Flow モデルのみ) .....	107
はじめに .....	107
作業を開始する前に .....	107



手順1：HP 内蔵 Web サーバ (EWS) にアクセス .....	77
手順2：[スキャンして SharePoint® に保存]の有効化および[スキャンして SharePoint に保存]クイックセットの作成 .....	108
Microsoft® SharePoint サイトにファイルを直接スキャン .....	110
クイックセットのスキャン設定および[スキャンして SharePoint® に保存]のオプション .....	111
[スキャンして USB ドライブに保存]のセットアップ .....	114
はじめに .....	114
手順1：HP 内蔵 Web サーバ (EWS) にアクセス .....	77
手順2：[スキャンして USB ドライブに保存]の有効化 .....	115
手順3：クイックセットの設定 (オプション) .....	115
[スキャンして USB ドライブに保存]のセットアップのデフォルトのスキャン設定 .....	116
[USB に保存]のセットアップのデフォルトのファイル設定 .....	117
スキャンして電子メールで送信 .....	118
はじめに .....	118
スキャンして電子メールで送信 .....	118
スキャンしてジョブ保存 .....	121
はじめに .....	121
スキャンしてプリンタのジョブ保存に送信する .....	121
プリンタのジョブ保存からの印刷 .....	123
スキャンデータをネットワーク フォルダに送信 .....	124
はじめに .....	124
スキャンデータをネットワーク フォルダに送信 .....	124
スキャンして SharePoint に保存 .....	126
はじめに .....	126
スキャンして SharePoint に保存 .....	126
スキャンして USB ドライブに保存 .....	128
はじめに .....	128
スキャンして USB ドライブに保存 .....	128
HP JetAdvantage ビジネスソリューションの使用 .....	129
補足的なスキャンタスク .....	130

## 7 ファックス ..... 131

ファックスのセットアップ .....	132
はじめに .....	132
プリンタのコントロールパネルを使用したファックスのセットアップ .....	132
ファックス設定の変更 .....	133
ファックスダイヤル設定 .....	133
一般的なファックス送信設定 .....	134
ファックス受信設定 .....	135
ファックスの送信 .....	136

補足的なファックスタスク .....	137
<b>8 プリンタの管理 .....</b>	<b>139</b>
HP 内蔵 Web サーバ (EWS) の高度な設定 .....	140
はじめに .....	140
HP 内蔵 Web サーバ (EWS) へのアクセス方法 .....	140
HP 内蔵 Web サーバの機能 .....	142
情報 タブ .....	142
一般 タブ .....	142
コピー/印刷 タブ .....	144
スキャン/デジタル送信 タブ .....	144
ファックスタブ .....	146
サプライ品 タブ .....	146
トラブルシューティング タブ .....	146
セキュリティ タブ .....	147
HP Web サービス タブ .....	148
Networking (ネットワーキング) タブ .....	148
その他のリンク のリスト .....	150
IP ネットワークの設定 .....	151
プリンタ共有の免責条項 .....	151
ネットワーク設定の表示または変更 .....	151
ネットワーク上でのプリンタ名の変更 .....	151
コントロールパネルから IPv4 TCP/IP パラメータを手動で設定 .....	152
コントロールパネルから IPv6 TCP/IP パラメータを手動で設定 .....	152
リンク速度と二重通信設定 .....	153
プリンタのセキュリティ機能 .....	155
はじめに .....	155
セキュリティ ステートメント .....	155
管理者パスワードの割り当て .....	156
HP 内蔵 Web サーバ (EWS) を使用してパスワードを設定する .....	156
プリンタのコントロールパネルでユーザーのアクセス認証情報を入力する ..	156
IP セキュリティ .....	157
暗号化サポート : HP ハイパフォーマンスセキュアハードディスク .....	157
フォーマッタのロック .....	157
省エネ設定 .....	158
EconoMode での印刷 .....	159
プリント ドライバから EconoMode を設定する .....	159
プリンタのコントロールパネルから EconoMode を設定 .....	159
スリープタイマをセットし、1W 以下の電力を使用するようプリンタを設定します。 ..	159
スリープスケジュールの設定 .....	160
HP Web Jetadmin .....	160

ソフトウェアおよびファームウェアの更新 .....	161
---------------------------	-----

## 9 問題の解決 ..... 163

カスタマーサポート .....	164
コントロールパネルのヘルプシステム .....	164
出荷時の設定に戻す .....	165
はじめに .....	165
方法 1: プリンタのコントロールパネルで出荷時の設定に戻す .....	165
方法 2: HP 内蔵 Web サーバから出荷時の設定に戻す (ネットワーク接続されているプリンタのみ) .....	165
「カートリッジ残量わずか」または「カートリッジ残量非常にわずか」のメッセージがプリンタのコントロールパネルに表示される .....	166
「非常にわずか」の設定の変更 .....	167
コントロールパネルで「残量ごくわずか」の設定を変更する .....	167
ファックス機能付きのプリンタの場合 .....	167
[Order supplies (サプライ品の注文)] .....	167
給紙されない、または給紙ミスが発生する .....	168
はじめに .....	168
用紙がピックアップされない .....	168
複数枚の用紙がピックアップされる .....	170
文書フィーダで紙詰まり、スキューが起こったり、複数枚の用紙がピックアップされる .....	174
紙詰まりの解消 .....	175
はじめに .....	175
紙詰まりの発生場所 .....	175
自動ナビゲーションによる紙詰まり解消 .....	176
紙詰まりが頻繁に、または繰り返し発生する .....	176
文書フィーダにおける紙詰まりの解消 - 31.13.yz .....	176
トレイ 1 の紙詰まりの解消 - 13.A1 .....	180
トレイ 2、トレイ 3、トレイ 4、トレイ 5 の紙詰まりを解消 - 13.A2、13.A3、13.A4、13.A5 .....	183
排紙ビンの紙詰まりの解消 - 13.E1 .....	186
両面印刷ユニットでの紙詰まりの解消 - 13.CX.XX、13.DX.XX .....	187
トナーカートリッジ付近の紙詰まりの解消 .....	192
フューザでの紙詰まりの解消 - 13.B9、13.B2、13.FF .....	194
印刷品質の問題の解決 .....	196
はじめに .....	196
印刷品質のトラブルシューティング .....	197
プリンタのファームウェアをアップデートする .....	197
別のソフトウェアプログラムからの印刷 .....	197
印刷ジョブで使用する用紙タイプ設定の確認 .....	198
プリンタ用紙タイプ設定の確認 .....	198
用紙タイプ設定の変更 (Windows) .....	198

用紙タイプ設定の確認 (macOS) .....	198
トナーカートリッジステータスの確認 .....	199
手順1: サプライ品ステータスページの印刷 .....	199
手順2: サプライ品ステータスのチェック .....	199
クリーニングページの印刷 .....	199
トナーカートリッジを目視で検査します。 .....	200
用紙および印刷環境の確認 .....	201
手順1: HP仕様を満たす用紙を使用 .....	201
手順2: 環境の確認 .....	201
手順3: 各トレイ位置を設定 .....	201
別のプリントドライバで試行 .....	202
EconoMode設定の確認 .....	202
印刷濃度を調整する .....	203
画像の不具合のトラブルシューティング .....	203
コピーのイメージ品質を向上させる .....	212
スキャナガラスにごみや汚れがないか検査する .....	212
スキャナの校正 .....	213
用紙設定を確認する .....	215
用紙選択オプションを確認します。 .....	215
イメージ調整設定を確認する .....	215
テキストまたは画像に合わせてコピー品質を最適化する .....	215
最小マージンコピー .....	216
スキャンのイメージ品質を向上させる .....	217
スキャナガラスにごみや汚れがないか検査する .....	212
解像度設定を確認する .....	218
カラー設定を確認する .....	219
イメージ調整設定を確認する .....	219
テキストまたは画像のスキャン品質を最適化する .....	220
出力品質設定を確認する .....	220
ファックスの画像品質の向上 .....	222
スキャナガラスにごみや汚れがないか検査する .....	212
送信ファックスの解像度設定を確認する .....	223
イメージ調整設定を確認する .....	224
テキストまたは画像のファックス品質を最適化する .....	224
エラー修正設定を確認する .....	224
用紙の大きさに合わせる設定を確認する .....	225
異なるファックス機に送信する .....	225
送信側のファックス機を確認する .....	225
有線ネットワークに関する問題の解決 .....	226
はじめに .....	226
物理接続が不適切である .....	226

コンピュータがプリンタと通信できない .....	226
プリンタで使用しているネットワークのリンク設定と二重通信設定に誤りがある .....	227
新規に導入したソフトウェアにおいて、互換性問題が発生している可能性がある .....	227
コンピュータまたはワークステーションが正しくセットアップされていない可能性 がある .....	227
プリンタが無効になっているか、その他のネットワーク設定に誤りがある .....	227
ワイヤレスネットワークに関する問題の解決 .....	228
はじめに .....	228
ワイヤレス接続チェックリスト .....	228
ワイヤレス設定が完了しても印刷されない .....	229
印刷されない(コンピュータにサードパーティのファイアウォールがインストールさ れている場合) .....	229
ワイヤレスルーターまたはプリンタの移動後、ワイヤレス接続がうまくいかない .....	230
ワイヤレスプリンタにコンピュータを追加接続できない .....	230
VPN に接続すると、ワイヤレスプリンタの通信が切断される .....	230
対象のネットワークが、ワイヤレスネットワークリストに表示されていない .....	230
ワイヤレスネットワークが機能していない .....	230
ワイヤレスネットワークの干渉の軽減 .....	231
ファックスに関する問題の解決 .....	232
ファックスの問題を解決するためのチェックリスト .....	233
どのような種類の電話回線を使用していますか？ .....	233
サージ保護装置を使用していますか？ .....	233
電話会社が提供する音声メッセージサービスまたは留守番電話を使用して いますか？ .....	234
電話回線に割り込み通話機能はありますか？ .....	234
ファックスアクセサリのステータスの確認 .....	234
一般的なファックスの問題 .....	236
ファックスを送信できない .....	236
プリンタのコントロールパネルに[メモリ不足です]というステータスメ ッセージが表示される .....	236
写真の印刷品質が低いか、グレーのボックスとして印刷される .....	236
停止ボタンをタッチしてファックスをキャンセルしたが、ファックスが送 信された .....	236
ファックスアドレス帳ボタンが表示されない .....	236
HP Web Jetadmin のファックス設定が見つからない .....	236
オーバーレイを有効にしても、ヘッダがページ上部に付加される .....	237
受信者ボックスに名前と番号が混在している .....	237
1 ページのファックスが2 ページにわたって印刷される .....	237
ファックスの途中で文書フィーダにある文書が止まる .....	237
ファックスアクセサリの音量が大きすぎるか小さすぎる .....	237
USB フラッシュドライブからの応答がない .....	238
方法 1: プリンタのコントロールパネルから USB ポートを有効化 .....	64

方法 2: HP 内蔵 Web サーバから USB ポートを有効化 (ネットワークに接続しているプリンタのみ) ..... 64

索引 ..... 239

---

# 1 プリンタの概要

プリンタの機能の場所、プリンタの物理的および技術的な仕様、セットアップ情報の場所を確認します。

- [警告アイコン](#)
- [感電の危険性](#)
- [プリンタの図](#)
- [プリンタの仕様](#)
- [プリンタのハードウェアのセットアップとソフトウェアのインストール](#)

ビデオ アシスタンスについては、[www.hp.com/videos/LaserJet](http://www.hp.com/videos/LaserJet) を参照してください。

以下の情報は、発行時点で正確なものです。最新の詳細は、[www.hp.com/support/ljM528mfp](http://www.hp.com/support/ljM528mfp) を参照してください。

詳細は、[次を参照してください](#)。

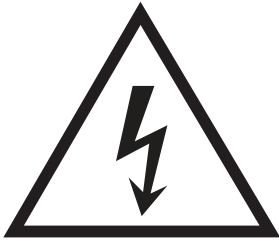
お使いのプリンタに関する HP の包括的なヘルプには次の情報が含まれています。

- 設置と設定
- 学習と使用
- 問題の解決
- ソフトウェアのダウンロードとファームウェアの更新
- サポート フォーラムへの参加
- 保証および規制に関する情報の検索

## 警告アイコン

アイコンの定義で指定されているように、ご使用の HP プリンタに警告のアイコンが表示された場合は、注意してください。

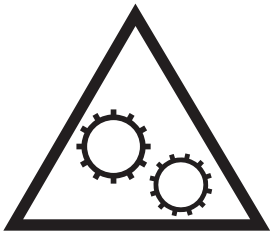
- 注意: 感電



- 注意: 表面が高温



- 注意: 可動部品に近づかない



- 注意: 近くに尖った部分がある



- 警告





## 感電の危険性

以下の重要な安全上の注意事項をお読みください。

- これらの安全上の注意事項を読んで理解し、感電の危険を回避してください。
- 火災や感電によるけがの危険性を減らすため、この製品を使用するときは、必ず安全に関する基本的な注意事項に従ってください。
- ユーザーガイドに記載されているすべての手順を読んで理解してください。  
プリンタ上に記載されたすべての警告および指示に従ってください。
- 製品を電源に接続するときは、接地済みの電源コンセントのみを使用してください。コンセントが接地済みであるかどうか不明な場合は、資格のある技術者に確認してください。
- プリンタのソケットのいずれかの接点に触れないようにしてください。破損したコードはすぐに交換してください。
- クリーニングする前に、製品を電源コンセントから抜いてください。
- この製品を、水の近くや濡れた手で設置または使用しないでください。
- プリンタを水平で安定した面にしっかりと取り付けてください。
- 電源コードを踏んだり、引っかかったりしない安全な場所に製品を設置してください。

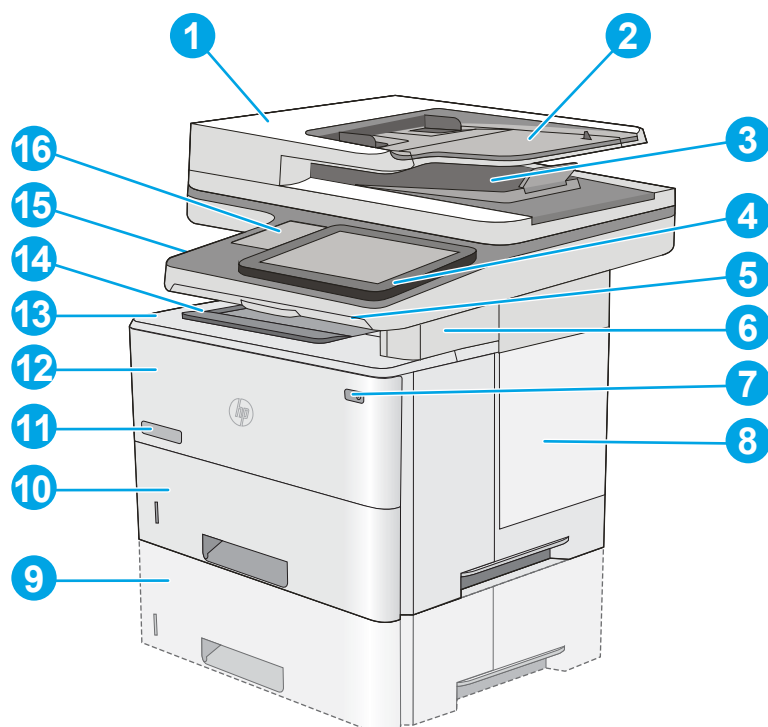
## プリンタの図

プリンタおよびコントロールパネルの主な機能の位置を確認します。

- [プリンタ前面図](#)
- [プリンタ背面図](#)
- [インタフェースポート](#)
- [コントロールパネル](#)

### プリンタ前面図

プリンタの前面にある機能の位置を確認します。



1 文書フィーダ カバー (紙詰まりを解消する際に操作する)

2 文書フィーダの給紙トレイ

3 文書フィーダの排紙ビン

**注記：** 文書フィーダから長い用紙をセットする場合、用紙止めを排紙ビンの右側位置まで広げます。

4 カラー タッチスクリーン ディスプレイ付きコントロールパネル (上方に傾けて見やすく表示可能)

5 物理キーボード (c および z モデルのみ)。キーボードは、まっすぐに抜いて取り外します。

6 コンビニエンス ステイプラ (c、f、および z モデルのみ)

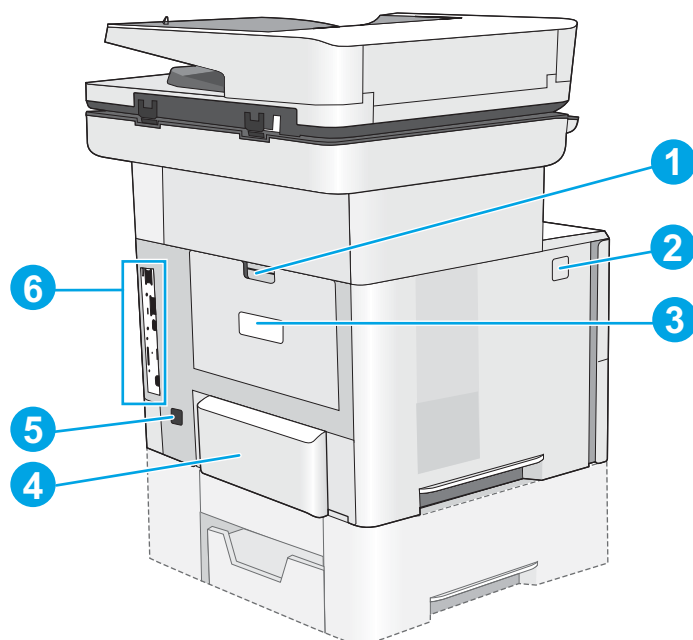
7 [オン/オフ] ボタン

8 フォーマッタ カバー

9	オプションの 550 枚 x1 段用紙フィーダ (トレイ 3) <b>注記:</b> いずれのプリンタ モデルにも、オプションの 550 枚 x1 段フィーダを 3 台 (トレイ 3、4、および 5) まで接続できます。
10	トレイ 2
11	モデル名
12	トレイ 1
13	上部カバー (トナーカートリッジにアクセス可能) <b>注記:</b> 上部カバーの解放ボタンは、プリンタの左側にあります。
14	標準排紙ピン
15	イーजी アクセス USB ポート (コントロールパネル サポートの左側) USB フラッシュドライブを挿入するだけで、コンピュータを使わずに印刷やスキャンを行ったり、プリンタファームウェアを更新することができます。 <b>注記:</b> 管理者がポートを有効にしておく必要があります。
16	ハードウェア統合ポケット (アクセサリやサードパーティ製デバイスの接続用)

## プリンタ背面図

プリンタの背面にある機能の位置を確認します。



1	後部ドア (紙詰まりの解消時に開く)
2	上部カバー解放ボタン
3	シリアル番号および製品番号ラベル
4	トレイ 2 用ダストカバー (リーガルサイズ用の紙をセットした場合は上にたたむ)

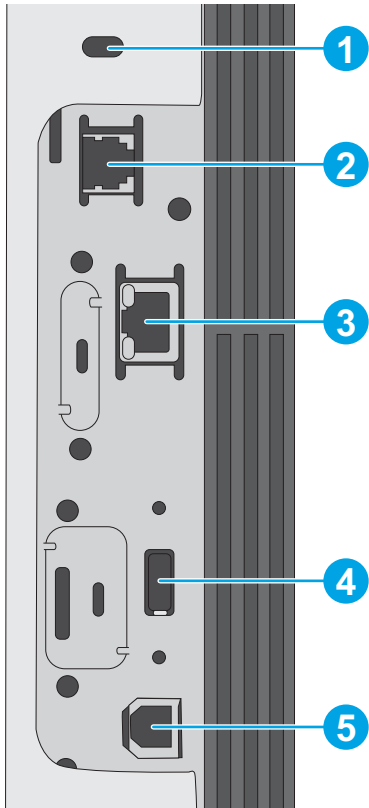
---

5	電源接続
6	フォーマッタ (インタフェースポートを収容)

---

## インタフェースポート

プリンタフォーマッタのインタフェースポートを見つけます。



---

1	ケーブル式セキュリティ ロック用スロット
2	ファックスポート (f、c、およびzモデルのみ。dnモデルではポートはカバー付き)
3	ローカルエリアネットワーク (LAN) のイーサネット (RJ-45) ネットワークポート
4	外部 USB デバイス接続用 USB ポート (カバー付きの場合あり)
	<b>注記:</b> イージーアクセス USB で印刷を行うには、コントロールパネルの近くにある USB ポートを使用してください。
5	高速 USB 2.0 印刷ポート

---

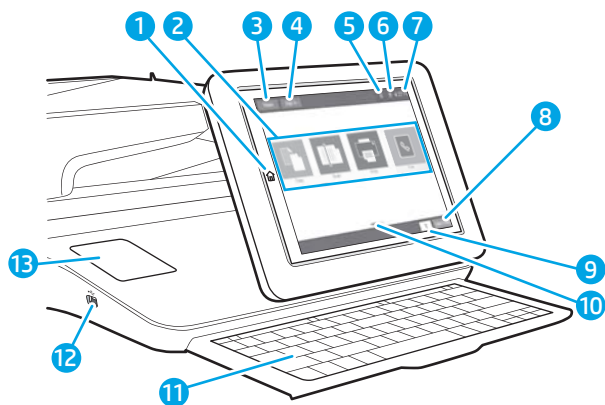
## コントロールパネル



コントロールパネルからプリンタの各機能にアクセスしたり、現在のプリンタのステータスを確認したりできます。

- [タッチスクリーンコントロールパネルの使用方法](#)

プリンタのコントロールパネルの左側にある[ホーム]ボタン、または、ほとんどの画面の左上隅に表示される[ホーム]ボタンにタッチすると、いつでもホーム画面に戻ることができます。

 **注記**：ホーム画面に表示される機能は、プリンタの設定によって異なる場合があります。

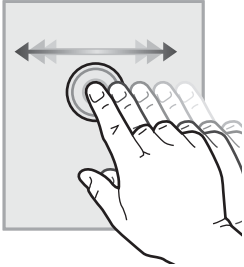


1	ホーム  ボタン	ホーム  ボタンを選択すると、いつでもプリンタのホーム画面に戻ることができます。
2	アプリケーション領域	アプリケーションを開くには、いずれかのアイコンを選択します。その他のアプリケーションにアクセスするには、画面を横方向にスワイプします。 <b>注記</b> ：使用できるアプリケーションは、プリンタによって異なります。管理者は、表示するアプリケーションと表示順序を設定できます。
3	[リセット] ボタン	[リセット] ボタンを選択すると、変更のクリア、一時停止状態の解除、非表示のエラーの表示、デフォルト設定の復元 (言語およびキーボードレイアウトを含む) が実行されます。
4	[サインイン] または [サインアウト] ボタン	サインイン画面を表示するには、 <b>サインイン</b> ボタンを選択します。 プリンタからログオフするには、 <b>サインアウト</b> ボタンを選択します。プリンタのすべてのオプションが既定の設定に戻ります。 <b>注記</b> ：このボタンは、管理者が、機能へのアクセスに許可が必要になるようプリンタを設定した場合にのみ表示されます。

5	[情報] ⓘ ボタン	<p>複数の種類のプリンタ情報を確認できる画面にアクセスするには、[情報] ⓘ ボタンを選択します。次の情報については、画面の下部にあるボタンを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>表示言語</b>：この画面から言語設定を変更します。</li> <li>● <b>スリープモード</b>：この画面からスリープモードに移行できます。</li> <li>● <b>Wi-Fi Direct</b>：Wi-fi を使用して、電話、タブレット、またはその他のデバイスをプリンタに直接接続する方法に関する情報を表示します。</li> <li>● <b>ワイヤレス</b>：この画面を使用して、ワイヤレス接続設定を表示または変更します（一部のモデルではオプションのワイヤレス アクセサリが必要です）。</li> <li>● <b>イーサネット</b>：この画面を使用して、イーサネットの接続設定を表示および変更します。</li> <li>● <b>HP Web サービス</b>：HP Web サービス (ePrint) を使用して、プリンタに接続して印刷するための情報を確認します。</li> <li>● <b>ファックス番号</b>：プリンタのファックス番号を表示します (f および z モデル。dn モデルについては、オプションのファックス アクセサリが取り付けられている場合のみ)。</li> </ul>
6	[ヘルプ] ⓘ ボタン	<p>[ヘルプ] ⓘ ボタンを選択すると、内蔵のヘルプシステムが表示されます。</p> <p>ホーム画面、アプリ、オプション、または機能を使用しているときに、ヘルプトピックのリストや特定のトピックに関する情報が表示されます。</p>
7	現在の時刻	現在の時刻が表示されます。
8	コピー ボタン	コピー ジョブを開始するには、 <b>コピー</b> ボタンを選択します。
9	コピー数	コピー数には、設定されたコピー枚数が表示されます。
10	ホーム画面ページのインジケータ	ホーム画面には複数のページが含まれています。このアイコンは、ページ数と現在のページがアクティブになっているかを示します。ページ間をスクロールするには、画面を横方向にスワイプします。
11	キーボード (c および z モデルのみ)	<p>このプリンタは物理キーボードを搭載しています。キーは、プリンタのタッチスクリーンの仮想キーボードがマッピングされているのと同じ方法で、使用する言語にマッピングされています。仮想キーボードのキーボード配列が変更された場合、物理キーボードは新しい設定に合わせて再度マッピングされます。</p> <p><b>注記</b>：一部の地域では、キーを別の言語にカスタマイズする粘着式キーボードオーバーレイがプリンタに付属します。</p>
12	イーザーアクセス USB ポート	<p>USB フラッシュドライブを挿入するだけで、コンピュータを使わずに印刷やスキャンを行ったり、プリンタ ファームウェアを更新することができます。</p> <p><b>注記</b>：管理者がポートを有効にしておく必要があります。</p>
13	ハードウェア統合ポ ケット	アクセサリおよびサードパーティ製デバイスを接続します。


## タッチスクリーン コントロールパネルの使用方法

プリンタのタッチ スクリーン コントロールパネルを使用するには、次の操作を行います。

操作	説明	例
<p>タッチ</p> 	<p>画面の項目にタッチすると、項目が選択されるか、メニューが開きます。また、メニューをスクロールするとき、素早く画面にタッチするとスクロールが停止します。</p>	<p><b>設定</b> アイコンにタッチして <b>設定</b> アプリを開きます。</p>
<p>スワイプ</p> 	<p>画面を横方向にスクロールするには、画面にタッチし、水平方向に指を動かします。</p>	<p><b>設定</b> アプリが表示されるまでスワイプします。</p>
<p>スクロール</p> 	<p>画面を縦方向にスクロールするには、画面にタッチし、垂直方向に指を動かします。メニューをスクロールするとき、素早く画面にタッチするとスクロールが停止します。</p>	<p><b>設定</b> アプリをスクロールします。</p>

# プリンタの仕様

- [技術仕様](#)
- [サポートされているオペレーティング システム](#)
- [モバイル印刷ソリューション](#)
- [プリンタの寸法](#)
- [消費電力、電気仕様、およびアコースティック エミッション](#)
- [動作環境範囲](#)

 **重要**：以下の仕様は公表時のものであり、変更される場合があります。最新の詳細は、[www.hp.com/support/ljM528mfp](http://www.hp.com/support/ljM528mfp) を参照してください。

## 技術仕様

モデル名	M528dn	M528f	M528c	Flow M528z	
製品番号	1PV64A	1PV65A	1PV66A	1PV67A	
用紙処理	トレイ 1 (100 枚の給紙トレイ)	付属	付属	付属	付属
	トレイ 2 (550 枚の給紙トレイ)	付属	付属	付属	付属
	トレイ 3 (550 枚の給紙トレイ)	オプション	オプション	オプション	オプション
	<b>注記</b> ：プリンタには、MPトレイ、メインカセット、およびスタック可能なトレイの組み合わせを含む、最大 5 つの給紙トレイに、最大 2,300 枚までセットできます。				
	コンビニエンス ステイ プラ	利用不可	付属	付属	付属
	自動両面印刷	付属	付属	付属	付属
接続性	IPv4 および IPv6 による 10/100/1000 Ethernet LAN 接続	付属	付属	付属	付属
	高速 USB 2.0	付属	付属	付属	付属
	ワイヤレス ネットワーク 接続用 プリント サーバ	オプション	オプション	付属	オプション
	外部データ印刷用 USB ポート	付属	付属	付属	付属
	アクセサリやサードパーティ製デバイスを接続するためのハードウェア統合ポケット	付属	付属	付属	付属



モデル名		M528dn	M528f	M528c	Flow M528z
製品番号		1PV64A	1PV65A	1PV66A	1PV67A
	HP 内部 USB ポート	オプション	オプション	オプション	オプション
	HP Jetdirect 3100w BLE/NFC/Wireless Accessory	オプション	オプション	オプション	付属
	ワイヤレス接続用 HP Jetdirect 2900nw プリントサーバアクセサリ	オプション	オプション	オプション	オプション
	Wi-Fi Bluetooth Low Energy (BLE) 直接	利用不可	利用不可	利用不可	付属
メモリ	1.75GB ベースメモリ	付属	付属	付属	付属
	<b>注記:</b> ベースメモリは、DIMM メモリモジュールを追加することで 3.75GB まで拡張できません。				
大容量記憶装置	16GB 内蔵マルチメディアコントローラ (eMMC)	付属	利用不可	利用不可	利用不可
	500GB HP セキュア高性能ハードディスク	オプション	付属	付属	付属
セキュリティ	プリンタを通過するすべてのデータの暗号化用 HP Trusted Platform Module	オプション	オプション	オプション	オプション
コントロールパネルディスプレイおよびキーボード	カラー タッチスクリーンのコントロールパネル	付属	付属	付属	付属
	物理キーボード	利用不可	利用不可	付属	付属
印刷	印刷速度はレター サイズの用紙で 45 枚/分 (ppm)、A4 サイズの用紙で 43 枚/分 (ppm)	付属	付属	付属	付属
	USB プリント	付属	付属	付属	付属
	モバイル/クラウド印刷	利用不可	利用不可	利用不可	付属
	プリンタ メモリにジョブを保存し、後で印刷するか、個人用として印刷	利用不可	利用不可	利用不可	付属
ファックス		オプション	付属	付属	付属
コピーおよびスキャン	コピー速度はレター サイズの用紙で 45 枚/分 (ppm)、A4 サイズの用紙で 40 枚/分 (ppm)	付属	付属	付属	付属
	100 ページ対応の文書フィーダ (シングルパス両面コピーおよびスキャン対応のデュアルヘッドスキャン機能装備)	付属	付属	付属	付属

モデル名		M528dn	M528f	M528c	Flow M528z
製品番号		1PV64A	1PV65A	1PV66A	1PV67A
	超音波マルチフィード検出等の HP EveryPage テクノロジー	利用不可	利用不可	付属	付属
	内蔵された光学式文字認識 (OCR) は、印刷されたページをコンピュータで編集または検索可能なテキストに変換	利用不可	利用不可	付属	付属
	SMART ラベル機能は、用紙の端を検出して、自動的にページのトリミングを実行	利用不可	利用不可	付属	付属
	最低 100 文字のテキストを含むページの向きを自動的に設定	利用不可	利用不可	付属	付属
	自動トーン調整により、各ページの明暗、明るさ調整や背景除去が実現	利用不可	利用不可	付属	付属
デジタル送信	文書を電子メール、USB、およびネットワーク上の共有フォルダに送信	利用不可	利用不可	付属	付属
	SharePoint® に文書を送信	利用不可	利用不可	付属	付属

## サポートされているオペレーティングシステム

以下の情報を使用して、コンピュータのオペレーティングシステムとプリンタの互換性を確保します。

**Linux:** Linux に関する詳細とプリント ドライバについては、[www.hp.com/go/linuxprinting](http://www.hp.com/go/linuxprinting) を参照してください。

**UNIX:** UNIX® に関する詳細とプリンタ ドライバについては、[www.hp.com/go/unixmodelscripts](http://www.hp.com/go/unixmodelscripts) を参照してください。

以下の情報は、プリンタ専用の Windows HP PCL 6 プリント ドライバ、macOS 用の HP プリント ドライバおよびソフトウェア インストーラに適用されます。


**Windows :** HP プリント ドライバをインストールするには、[123.hp.com/LaserJet](http://123.hp.com/LaserJet) から HP Easy Start をダウンロードします。または、このプリンタのプリンタ サポート Web サイト [www.hp.com/support/lijM528mfp](http://www.hp.com/support/lijM528mfp) にアクセスして、プリンタ ドライバまたはソフトウェア インストーラをダウンロードして、HP プリント ドライバをインストールします。

**macOS:** このプリンタは、Mac コンピュータに対応しています。[123.hp.com/LaserJet](http://123.hp.com/LaserJet) またはプリンタ サポート ページから HP Easy Start をダウンロードし、HP Easy Start を使用して HP プリント ドライバをインストールします。

1. [123.hp.com/LaserJet](http://123.hp.com/LaserJet) にアクセスします。
2. 記載されている手順に従い、プリンタ ソフトウェアをダウンロードします。

表 1-1 対応オペレーティングシステムおよびプリントドライバ

オペレーティングシステム	インストール済みのプリントドライバ (Windows の場合、macOS の場合は Web 上のインストーラからインストール)	注記
Windows 7 (32 ビットおよび 64 ビット)	ソフトウェアインストールの一部として、このオペレーティングシステム用の「HP PCL 6」プリンタ専用プリントドライバがインストールされます。	
Windows 8 (32 ビットおよび 64 ビット)	ソフトウェアインストールの一部として、このオペレーティングシステム用の「HP PCL 6」プリンタ専用プリントドライバがインストールされます。	Windows 8 RT のサポートは、Microsoft IN OS Version 4 (32 ビット版) ドライバを介して提供されません。
Windows 8.1 (32 ビットおよび 64 ビット)	ソフトウェアインストールの一部として、このオペレーティングシステム用の「HP PCL-6 V4」プリンタ専用プリントドライバがインストールされます。	Windows 8.1 RT のサポートは、Microsoft IN OS Version 4 (32 ビット版) ドライバを介して提供されません。
Windows 10 (32 ビットおよび 64 ビット)	ソフトウェアインストールの一部として、このオペレーティングシステム用の「HP PCL-6 V4」プリンタ専用プリントドライバがインストールされます。	
Windows Server 2008 R2 SP 1 (64 ビット版)	PCL 6 プリンタ専用プリントドライバは、プリンタ サポート Web サイトからダウンロードできます。ドライバをダウンロードし、Microsoft のプリンタの追加ツールを使用してインストールします。	
Windows Server 2012 (64 ビット)	PCL 6 プリンタ専用プリントドライバは、プリンタ サポート Web サイトからダウンロードできます。ドライバをダウンロードし、Microsoft のプリンタの追加ツールを使用してインストールします。	
Windows Server 2012 R2 (64 ビット)	PCL 6 プリンタ専用プリントドライバは、プリンタ サポート Web サイトからダウンロードできます。ドライバをダウンロードし、Microsoft のプリンタの追加ツールを使用してインストールします。	
Windows Server 2016 (64 ビット)	PCL 6 プリンタ専用プリントドライバは、プリンタ サポート Web サイトからダウンロードできます。ドライバをダウンロードし、Microsoft のプリンタの追加ツールを使用してインストールします。	
macOS 10.12 Sierra、macOS 10.13 High Sierra	<a href="http://123.hp.com/LaserJet">123.hp.com/LaserJet</a> から HP Easy Start をダウンロードして、プリントドライバのインストールに使用します。	

 **注記:** サポートされるオペレーティングシステムは変更されることがあります。現在サポートされているオペレーティングシステムの一覧については、[www.hp.com/support/ljM528mfp](http://www.hp.com/support/ljM528mfp) にアクセスし、お使いのプリンタに関する HP の包括的なヘルプを参照してください。



 **注記:** クライアントとサーバのオペレーティングシステムの詳細、およびこのプリンタの HP UPD ドライバサポートについては、[www.hp.com/go/upd](http://www.hp.com/go/upd) にアクセスしてください。[Additional information] (追加情報) の下のリンクをクリックして参照してください。

表 1-2 最小システム要件


Windows	macOS
<ul style="list-style-type: none"><li>インターネット接続</li><li>専用の USB 1.1 または 2.0 接続またはネットワーク接続</li><li>2GB のハードディスク空き容量</li><li>1 GB RAM (32 ビット) または 2 GB RAM (64 ビット)</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>インターネット接続</li><li>専用の USB 1.1 または 2.0 接続またはネットワーク接続</li><li>1.5GB の空きディスク容量</li></ul>

 **注記:** Windows 版ソフトウェアインストーラでは、HP スマート デバイス エージェント ベース サービスがインストールされます。ファイルサイズは約 100KB です。機能は、USB で接続されているプリンタを毎時チェックすることのみです。データは収集しません。USB プリンタが検出されると、ネットワーク上で JetAdvantage Management Connector (JAMc) インスタンスの場所の特定を試みます。JAMc が見つかったら、HP Smart Device Agent Base は JAMc から完全な Smart Device Agent に安全にアップグレードされ、印刷するページが MPS (Managed Print Services) で占有されるようになります。[hp.com](http://hp.com) からプリンタ用にダウンロードされ、プリンタの追加ウィザードでインストールされた、ドライバのみの Web パックでは、このサービスはインストールされません。

このサービスをアンインストールするには、Windows の [コントロールパネル] を開き、[プログラム] または [プログラムと機能] を選択します。次に、[プログラムの追加/削除] または [プログラムのアンインストール] を選択して、サービスを削除してください。ファイル名は、[HPSmartDeviceAgentBase] です。

## モバイル印刷ソリューション

HP は、ラップトップ、タブレット、スマートフォン、またはその他のモバイルデバイスから HP プリンタで簡単に印刷できるように、複数のモバイル印刷ソリューションを提供しています。完全版リストを閲覧して最適な選択を行うには、[www.hp.com/go/LaserJetMobilePrinting](http://www.hp.com/go/LaserJetMobilePrinting) を参照してください。

 **注記:** すべてのモバイル印刷機能を確実にサポートするには、プリンタのファームウェアを更新します。

- Wi-fi Direct (ワイヤレス モデルのみ、HP Jetdirect 3100w NFC/BLE ワイヤレス アクセサリが取り付けられています)
- ワイヤレスステーション (ワイヤレス モデルのみ、HP Jetdirect 3100w NFC/BLE ワイヤレス アクセサリまたは HP 2900nw ワイヤレス プリント サーバが取り付けられています)
- 電子メール経由の HP ePrint (HP Web サービスを有効化して、プリンタを HP Connected に登録する必要あり)
- HP Smart アプリケーション
- Google クラウド プリント

- AirPrint
- Android プリント
- HP Roam

## プリンタの寸法

表 1-3 ベース プリンタの寸法

	プリンタをすべて閉じた状態	プリンタをすべて開いた状態
高さ	497 mm	750mm
奥行き	トレイ 2 ダスト カバーを閉じた状態 : 496 mm	674 mm
	トレイ 2 ダスト カバーを開いた状態 : 559 mm	
幅	482 mm	482 mm
重量	23kg	

表 1-4 550 枚 x 1 段用紙フィーダの寸法

高さ	130mm
奥行き	トレイを閉じた状態 : 376 mm
	トレイを開いた状態 : 569 mm
幅	410 mm
重量	1.4kg

表 1-5 プリンタ スタンドの寸法

高さ	381 mm
奥行き	ドアが閉じた状態 : 632 mm
	ドアが開き、後部キャストが回転した状態 : 865 mm
幅	ドアが閉じた状態 : 600 mm
	ドアが開き、後部キャストが回転した状態 : 630 mm
重量	9.0kg

- ▲ これらの値は変更される可能性があります。現時点の情報については、[www.hp.com/support/ljM528mfp](http://www.hp.com/support/ljM528mfp) を参照してください。

表 1-6 550 枚 x 1 段用紙フィーダ 3 台とスタンドを装備したプリンタの寸法

	プリンタをすべて閉じた状態	プリンタをすべて開いた状態
高さ	1268mm	1521mm

表 1-6 550 枚 x 1 段用紙フィーダ 3 台とスタンドを装備したプリンタの寸法 (続き)

	プリンタをすべて閉じた状態	プリンタをすべて開いた状態
奥行き	632 mm	865 mm
幅	600 mm	630 mm
重量	36.2kg	

- ▲ これらの値は変更される可能性があります。現時点の情報については、[www.hp.com/support/ljM528mfp](http://www.hp.com/support/ljM528mfp) を参照してください。

## 消費電力、電気仕様、およびアコースティック エミッション

最新情報については、[www.hp.com/support/ljM528mfp](http://www.hp.com/support/ljM528mfp) を参照してください。

- ⚠ **注意**：電源要件は、プリンタが販売された国/地域に基づきます。動作電圧は変更しないでください。変更すると、プリンタが損傷しても保証の対象となりません。

## 動作環境範囲

表 1-7 動作環境仕様

環境	推奨	許容値
温度	17 ~ 25° C	15 ~ 30° C
相対湿度	相対湿度 (RH) 30 ~ 70%	相対湿度 (RH) 10 ~ 80%

## プリンタのハードウェアのセットアップとソフトウェアのインストール

基本的なセットアップ手順については、プリンタに同梱されているハードウェアのインストールガイドを参照してください。詳細な手順については、Web の HP サポートを確認してください。

[www.hp.com/support/ljM528mfp](http://www.hp.com/support/ljM528mfp) にアクセスして、お使いのプリンタを含む HP の包括的なヘルプを参照します。次のサポートが含まれています。

- 設置と設定
- 学習と使用
- 問題の解決
- ソフトウェアのダウンロードとファームウェアの更新
- サポートフォーラムへの参加
- 保証および規制に関する情報の検索

---

## 2 用紙トレイ

封筒やラベル紙などの特殊なアイテムをセットする方法を含む、用紙トレイをセットして使用方法を確認します。

- [はじめに](#)
- [トレイ 1 に用紙をセット](#)
- [トレイ 2 および 550 枚トレイに用紙をセットする](#)
- [封筒のセットと印刷](#)
- [ラベルのセットと印刷](#)
- [コンビニエンスステイプラの使用 \(f、c、および z モデル\)](#)

ビデオ アシスタンスについては、[www.hp.com/videos/LaserJet](http://www.hp.com/videos/LaserJet) を参照してください。

以下の情報は、発行時点で正確なものです。最新の詳細は、[www.hp.com/support/ljM528mfp](http://www.hp.com/support/ljM528mfp) を参照してください。

詳細は、[次を参照してください](#)。

お使いのプリンタに関する HP の包括的なヘルプには次の情報が含まれています。

- 設置と設定
- 学習と使用
- 問題の解決
- ソフトウェアのダウンロードとファームウェアの更新
- サポートフォーラムへの参加
- 保証および規制に関する情報の検索

### はじめに

用紙トレイをセットするときには注意してください。

---

**⚠注意：**一度に複数の用紙トレイを引き出さないでください。

用紙トレイを踏み台として使用しないでください。

閉じるときに、用紙トレイの中に手を入れないでください。

プリンタを移動する場合は、すべてのトレイを閉じてください。

---




## トレイ 1 に用紙をセット


以下の情報は、トレイ 1 に用紙をセットする方法について説明するものです。

- [トレイ 1 \(汎用トレイ\) に用紙をセット](#)
- [トレイ 1 の用紙の向き](#)
- [代替レターヘッドモードの使用](#)

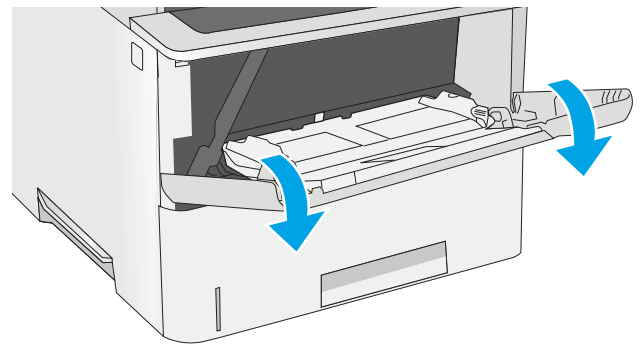
### トレイ 1 (汎用トレイ) に用紙をセット

このトレイには、75g/m<sup>2</sup> 用紙 100 枚まで、または封筒 10 枚までをセットできます。

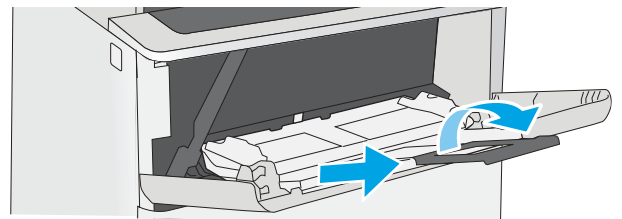
 **注記**：印刷を行う前に、プリントドライバで正しい用紙タイプを選択する

 **注意**：紙詰まりを避けるため、印刷中はトレイ 1 に用紙を追加したりこのトレイから用紙を取り出したりしないでください。

1. トレイ 1 のどちらかの側面をつかんで手前に引いて開きます。



2. 用紙をサポートしているトレイ拡張部を引き出す。

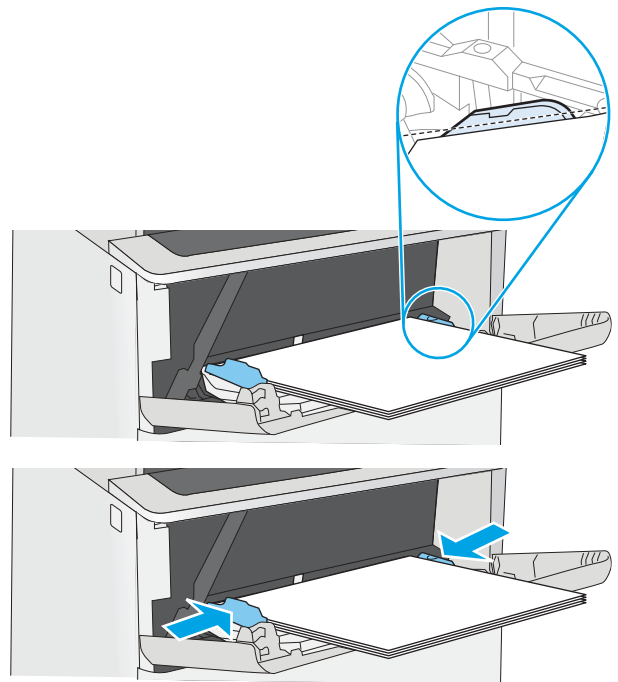


3. 用紙ガイドを該当するサイズまで広げてから、用紙をトレイにセットします。用紙の向きの詳細については、「[20ページのトレイ1の用紙の向き](#)」を参照してください。


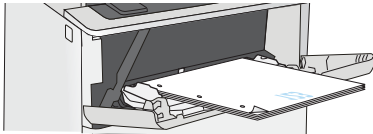
用紙が用紙幅ガイドの上限ライン以内に収まっていることを確認します。

**注記：**最大積載高は10mm、または75g/m<sup>2</sup>の用紙約100枚です。

4. 両側のガイドを調整して、用紙がたわまない程度に軽く用紙に触れるようにします。



## トレイ1の用紙の向き

用紙タイプ	片面印刷	両面印刷および代替レターヘッドモード
レターヘッド、印刷済み用紙、穴あき用紙	上向き 上端から給紙されるようにセット	下向き 下端から給紙されるようにセット
		

## 代替レターヘッドモードの使用

代替レターヘッドモード機能を使用すると、片面印刷か両面印刷にかかわらず、すべてのジョブで、レターヘッドや印刷済み用紙を常に同じようにトレイにセットできます。このモードを使用するときは、自動両面印刷と同じように用紙をセットします。

- [プリンタのコントロールパネルメニューを使用して代替レターヘッドモードを有効にする](#)

### プリンタのコントロールパネルメニューを使用して代替レターヘッドモードを有効にする


設定メニューを使用して、代替レターヘッドモードを設定します。


1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、**[設定]**メニューを開きます。
2. 以下のメニューを開きます。
  - [コピー/印刷](#) または [印刷](#)
  - [トレイの管理](#)
  - [代替レターヘッドモード](#)
3. **[有効]** オプションを選択し、次に **[保存]** ボタンにタッチするか、**[OK]** ボタンを押します。

## トレイ 2 および 550 枚トレイに用紙をセットする

以下の情報は、トレイ 2 およびオプションの 550 枚トレイ 3 に用紙をセットする方法を説明するものです。


- [トレイ 2 および 550 枚トレイに用紙をセットする](#)
- [トレイ 2 および 550 枚トレイの用紙の向き](#)
- [代替レターヘッドモードの使用](#)


 **注記**：550 枚トレイの用紙セット方法はトレイ 2 と同じです。ここではトレイ 2 の図で説明します。

 **注意**：一度に複数の用紙トレイを引き出さないでください。

## トレイ 2 および 550 枚トレイに用紙をセットする

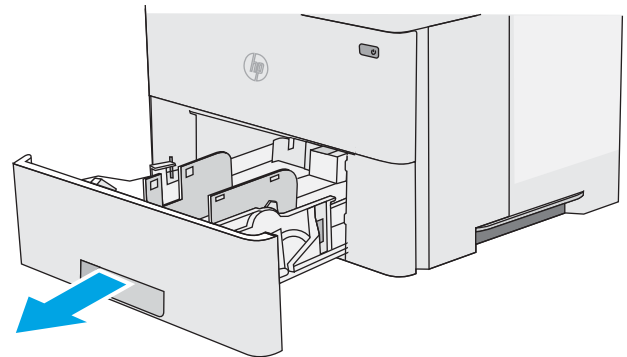
以下の情報は、トレイ 2 およびオプションの 550 枚トレイに用紙をセットする方法を説明するものです。これらのトレイには、75g/m<sup>2</sup> 用紙 550 枚までをセットできます。

 **注記**：550 枚トレイの用紙セット方法はトレイ 2 と同じです。ここではトレイ 2 の図で説明します。

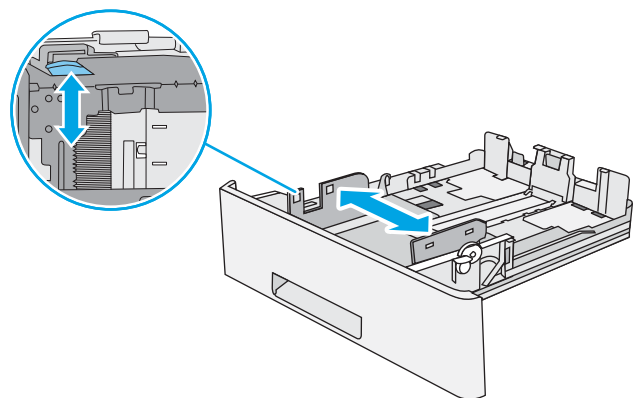
 **注記**：一度に複数の用紙トレイを引き出さないでください。

1. トレイを開きます。

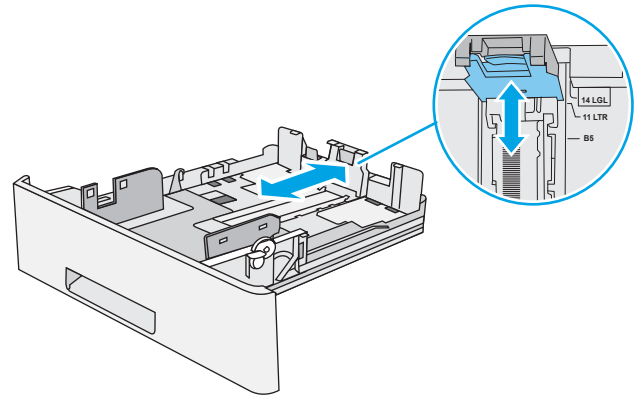
**注記**：プリンタの使用中はトレイを引き出さないでください。



2. 用紙をセットする前に、横方向用紙ガイドの調整ラッチを掴んでスライドさせて、使用する用紙のサイズに合わせます。

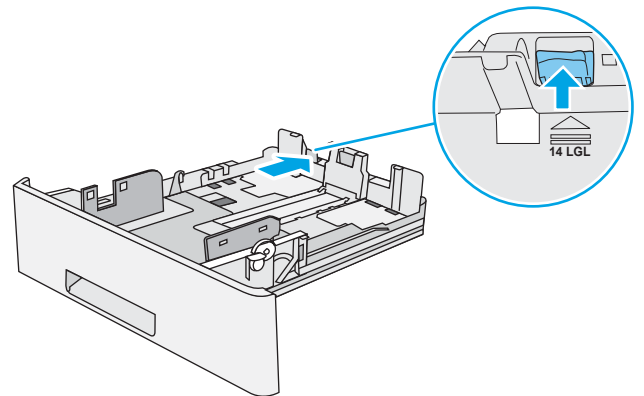


3. 縦方向用紙ガイドの調整ラッチを掴んでスライドさせて、使用する用紙のサイズに合わせます。



4. リーガルサイズ用の紙をトレイにセットするには、トレイ背面の中央左よりにあるレバーをつかみ、トレイを後側に広げ、該当する用紙サイズに合わせます。

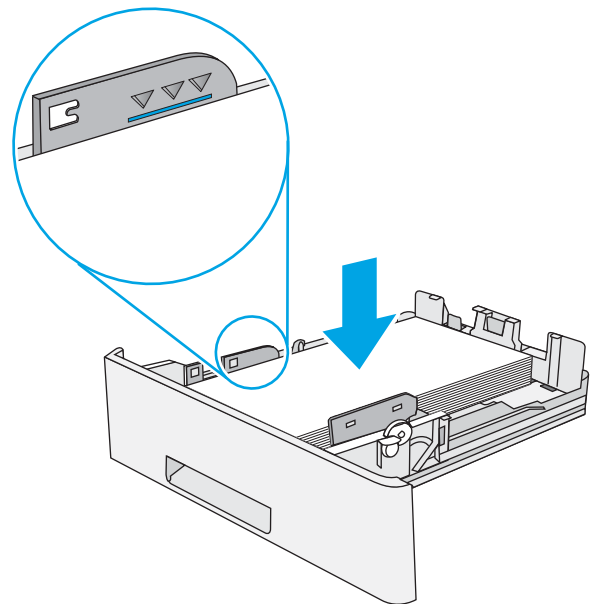
**注記：**この手順は、その他の用紙サイズには対応しません。



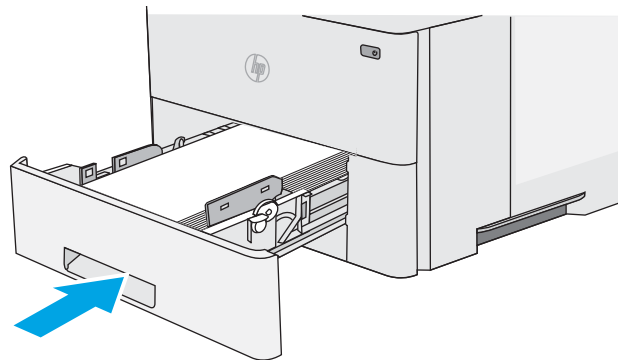
5. トレイに用紙をセットします。用紙の向きを設定する方法については、「[24 ページのトレイ 2 および 550 枚トレイの用紙の向き](#)」を参照してください。

**注記：**用紙ガイドで用紙束をきつく固定しないようにしてください。用紙ガイドは、トレイの刻み目やマークに合わせて調整してください。

**注記：**紙詰まりを防ぐため、用紙ガイドを正しいサイズに調整し、用紙を入れすぎないようにしてください。拡大図のように、用紙束の高さがトレイ上限線を超えていないことを確認してください。



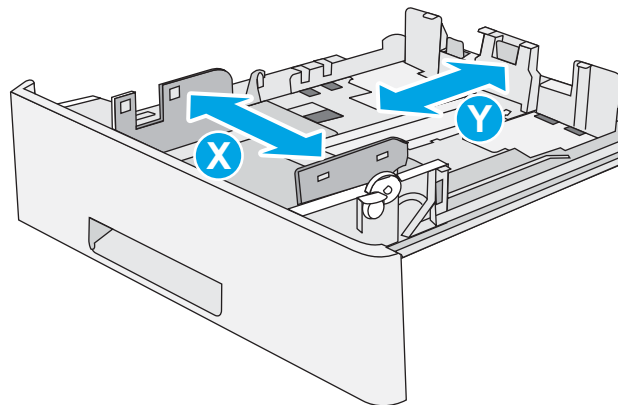
6. トレイを閉じます。



7. プリンタのコントロールパネルにトレイ設定メッセージが表示されます。

8. 表示されている用紙サイズおよび用紙タイプが正しくない場合、**変更**を選択して別のサイズまたはタイプを選択してください。

カスタムサイズの場合、プリンタのコントロールパネルにメッセージが表示された場合は、XおよびY方向の寸法を指定する必要があります。



## トレイ 2 および 550 枚トレイの用紙の向き

用紙タイプ	片面印刷	両面印刷および代替レターヘッドモード
レターヘッド、印刷済み用紙、穴あき用紙	下向き 上端をトレイの正面にセット	上向き 下端をトレイの正面にセット

## 代替レターヘッドモードの使用

代替レターヘッドモード機能を使用すると、片面印刷か両面印刷にかかわらず、すべてのジョブで、レターヘッドや印刷済み用紙を常に同じようにトレイにセットできます。このモードを使用するときは、自動両面印刷と同じように用紙をセットします。

- [プリンタのコントロールパネルメニューを使用して代替レターヘッドモードを有効にする](#)

### プリンタのコントロールパネルメニューを使用して代替レターヘッドモードを有効にする

設定メニューを使用して、代替レターヘッドモードを設定します。

1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、**[設定]**メニューを開きます。
2. 以下のメニューを開きます。
  - [コピー/印刷](#) または [印刷](#)
  - [トレイの管理](#)
  - [代替レターヘッドモード](#)
3. **[有効]** オプションを選択し、次に **[保存]** ボタンにタッチするか、**[OK]** ボタンを押します。

## 封筒のセットと印刷

封筒印刷に使用できるのはトレイ1のみです。トレイ1は封筒10枚までです。

- [封筒の印刷](#)
- [封筒の向き](#)


### 封筒の印刷

手差しオプションで封筒を印刷するには、次の手順に従ってプリントドライバで適切な設定を選択し、印刷ジョブをプリンタに送信した後に封筒をトレイにセットします。

1. ソフトウェアプログラムから、**[印刷]** オプションを選択します。
2. プリンタのリストからプリンタを選択し、**[プロパティ]** または **[ユーザー設定]** ボタンをクリックしてプリントドライバを開きます。

---

 **注記** : ボタンの名前はソフトウェアプログラムの種類によって異なります。

 **注記** : Windows 8 または 8.1 のスタート画面にアクセスするには、**[デバイス]**、**[印刷]** を順に選択してから、プリンタを選択します。

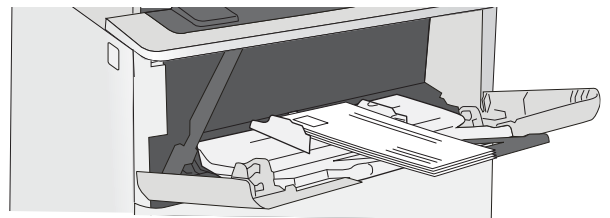
---

3. **[[用紙/品質]]** タブをクリックします。
4. **[用紙サイズ]** ドロップダウンリストで該当する封筒のサイズを選択します。
5. **[用紙タイプ]** ドロップダウンリストで **[封筒]** を選択します。
6. **[給紙方法]** ドロップダウンリストで **[手差し]** を選択します。
7. **[[OK]]** ボタンをクリックして、**[[文書のプロパティ]]** ダイアログボックスを閉じます。
8. **[印刷]** ダイアログボックスで、**[OK]** ボタンをクリックして、ジョブを印刷します。

### 封筒の向き

---

封筒を、印刷面を上にして、切手を貼る短辺からプリンタに挿入されるようトレイ1にセットします。





## ラベルのセットと印刷

ラベル紙を印刷するには、トレイ 1 を使用します。トレイ 2 およびオプションの 550 枚トレイでは、ラベル紙はサポートされていません。


- [ラベル紙の手差し](#)
- [ラベルの向き](#)

### ラベル紙の手差し

ラベル紙を印刷するには、トレイ 1 の手差しモードを使用します。

1. ソフトウェアプログラムから、**[印刷]** オプションを選択します。
2. プリンタのリストからプリンタを選択し、**[プロパティ]** または **[ユーザー設定]** ボタンをクリックしてプリントドライバを開きます。

 **注記：** ボタンの名前はソフトウェアプログラムの種類によって異なります。

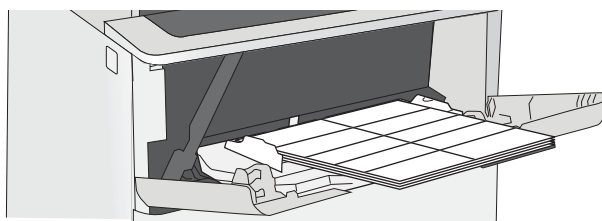
 **注記：** Windows 8 または 8.1 のスタート画面にアクセスするには、**[デバイス]**、**[印刷]** を順に選択してから、プリンタを選択します。

3. **[用紙/品質]** タブをクリックします。
4. **[用紙サイズ]** ドロップダウンリストで該当するラベル紙のサイズを選択します。
5. **[用紙タイプ]** ドロップダウンリストで **[ラベル紙]** を選択します。
6. **[給紙方法]** ドロップダウンリストで **[手差し]** を選択します。
7. **[OK]** ボタンをクリックして、**[文書のプロパティ]** ダイアログボックスを閉じます。
8. **[印刷]** ダイアログボックスで、**[印刷]** ボタンをクリックして、ジョブを印刷します。

### ラベルの向き

正常に印刷するために、ラベル紙は特定の 방법으로セットする必要があります。

トレイ	ラベルをセットする方法
トレイ 1	ラベル紙を上に向け、用紙の上端をプリンタ側に向けてセットします。

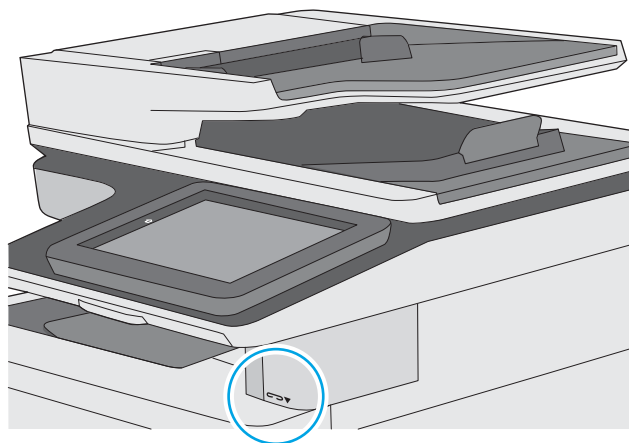


## コンビニエンスステイプラの使用 (f、c、およびzモデル)

コンビニエンスステイプラを使用して、20枚までの75g/m<sup>2</sup>用紙をステイプル留めできます。

- [ステイプラの使用](#)

**⚠ 注意：**プリンタの損傷を防ぐため、用紙以外のものをステイプル留めしないでください。



### ステイプラの使用

1. 用紙の束をステイプラの正面にあるスロットに挿入します。
2. 用紙がステイプル留めされるのを待ちます。ステイプラは、用紙を検出すると起動し、ステイプル留めする音を発します。

**📄 注記：**プリンタがスリープモードになっている場合は、多少時間がかかる場合があります。

3. ステイプル留めされた用紙をスロットから取り出します。

---

## 3 サプライ品、アクセサリ、および部品

サプライ品またはアクセサリの注文、トナーカートリッジの交換、別の部品の取り外しまたは交換を行います。

- [サプライ品、アクセサリ、および部品の注文](#)
- [HP トナーカートリッジ保護サプライ品の設定](#)
- [トナーカートリッジの交換](#)
- [ステイプルカートリッジの交換 \(f、c、および z モデル\)](#)

ビデオ アシスタンスについては、[www.hp.com/videos/LaserJet](http://www.hp.com/videos/LaserJet) を参照してください。

以下の情報は、発行時点で正確なものです。最新の詳細は、[www.hp.com/support/ljM528mfp](http://www.hp.com/support/ljM528mfp) を参照してください。

詳細は、[次を参照してください](#)。

お使いのプリンタに関する HP の包括的なヘルプには次の情報が含まれています。

- 設置と設定
- 学習と使用
- 問題の解決
- ソフトウェアのダウンロードとファームウェアの更新
- サポートフォーラムへの参加
- 保証および規制に関する情報の検索

# サプライ品、アクセサリ、および部品の注文

- [注文](#)
- [サプライ品およびアクセサリ](#)
- [メンテナンス/ロングライフ消耗品](#)
- [カスタマセルフリペア部品](#)

## 注文

サプライ品や用紙を注文する	<a href="http://www.hp.com/go/SureSupply">www.hp.com/go/SureSupply</a>
HP 純正の部品やアクセサリを注文する	<a href="http://www.hp.com/buy/parts">www.hp.com/buy/parts</a>
サービス代理店経由で注文する	HP の正規サービス代理店にお問い合わせください。
HP 内蔵 Web サーバ (EWS) を使って注文する	アクセスするには、お使いのコンピュータでサポートされている Web ブラウザのアドレスまたは URL フィールドに、プリンタの IP アドレスまたはホスト名を入力します。EWS には HP SureSupply Web サイトへのリンクがあります。このリンクを選択すると HP 純正のサプライ品の購入オプションにアクセスできます。

## サプライ品およびアクセサリ

項目	説明	カートリッジ番号	部品番号
<b>サプライ品</b>			
HP 89A Black Original LaserJet トナーカートリッジ	LaserJet トナーカートリッジ (黒)	89A	CF289A
HP 89X High Yield Black Original LaserJet トナーカートリッジ	LaserJet トナーカートリッジ (黒)	89X	CF289X
HP 89Y LaserJet 純正トナーカートリッジ (超大容量、黒)	LaserJet トナーカートリッジ (黒)	89Y	CF289Y
HP 補充用ステイプルカートリッジ	プリンタの交換用ステイプルカートリッジです。	非該当	Q7432A
<b>アクセサリ</b>			
HP LaserJet 550 枚給紙トレイ	オプションの 550 枚用紙フィーダ  <b>注記:</b> このプリンタは、他の入力デバイスがない場合、550 枚 x 1 段用紙フィーダを 3 個までサポートします。	非該当	F2A72A
HP LaserJet プリンタ スタンド	オプションのプリンタ スタンド	非該当	F2A73A
HP 1 GB DDR 3x32 144 ピン 800 MHz SODIMM	オプションのメモリ拡張用 DIMM	非該当	E5K48A
HP Trusted Platform Module	プリンタを通過する全データを自動的に暗号化	非該当	F5S62A

項目	説明	カートリッジ番号	部品番号
HP セキュア高性能ハードディスクドライブ	オプションのセキュア HDD	非該当	B5L29A
HP LaserJet MFP Analog Fax Accessory 700	オプションの dn モデル用ファックスアクセサリ	非該当	2EH31A
HP Jetdirect 2900nw プリントサーバ	USB ワイヤレス プリントサーバアクセサリ	非該当	J8031A
HP Jetdirect 3100w BLE/NFC/Wireless Accessory	モバイルデバイスから Wi-Fi Direct で印刷ができる「タッチ」アクセサリ付属	非該当	3JN69A
HP 内部 USB ポート	サードパーティ製デバイス接続用の 2 つの内部 USB ポート	非該当	B5L28A
HP 外部インタフェースハーネス	オプションのサードパーティ製デバイス接続用ポート	非該当	B5L31A
HP アクセシビリティ キット	ボタンの粘着材とアクセスハンドルを含むアクセシビリティキット	非該当	2TD64A
HP USB Universal カードリーダー	USB 近接型カードリーダー	非該当	X3D03A

## メンテナンス/ロングライフ消耗品

メンテナンス/LLC キット	部品番号	予測寿命 <sup>1</sup>
HP 200 ADF ローラー交換キット	B5L52A	50,000 ページ*

<sup>1</sup> HP メンテナンス/ロングライフ消耗品 (LLC) の寿命の仕様は、以下に挙げた LLC 寿命テスト条件に基づいた予測です。通常の使用時の、実際の個々の寿命は、使用状況、環境、用紙、およびその他の要因によって異なります。予測寿命は黙示的な保証ではなく、保証可能でもありません。

\*LLC 寿命テストの条件

- 印刷範囲：ページ全体に均一に分散した 5%
- 環境：17 ~ 25° C、30 ~ 70% の相対湿度 (RH)
- メディアサイズ：Letter/A4 (レター)
- メディア重量：75g/m<sup>2</sup> の普通紙
- ジョブサイズ：4 ページ
- 短辺給紙 (A3) (つまり、リーガルサイズのメディア)

上記の条件よりも寿命が短くなる可能性がある要因：

- レター/A4 よりも幅の狭いメディア (熱による低速化は回転数の増大と同じです)
- 75g/m<sup>2</sup> よりも重い用紙 (メディアが厚手になると、プリンタ コンポーネントに生じるストレスが高くなります)
- 4 ページより小さい印刷ジョブ (ジョブが小さくなると、熱サイクル処理と回転数が増加することを意味します)

## カスタマセルフリペア部品

CSR (カスタマセルフリペア) パーツにより修理時間の短縮が可能です。多くの HP LaserJet 製品で使用できます。CSR プログラムおよびそのメリットについては、[www.hp.com/go/csr-support](http://www.hp.com/go/csr-support) および [www.hp.com/go/csr-faq](http://www.hp.com/go/csr-faq) で詳細が説明されています。

HP 純正交換部品は、[www.hp.com/buy/parts](http://www.hp.com/buy/parts) で注文できます。または、HP 認定のサービスまたはサポート プロバイダにお問い合わせください。注文時には、次のいずれかが必要となります。部品番号、シリアル番号 (プリンタ背面にあります)、製品番号、または製品名。

- セルフ交換が**必須**と表示されている部品は、お客様が取り付けることになっています。ただし、HP のサービス担当者に有償で修理を依頼する場合は除きます。こうした部品の場合、HP プリンタの保証ではオンサイト サポートおよび引き取りサポートは提供されません。
- セルフ交換が**オプション**と表示されている部品は、お客様のご要望に応じて HP のサービス担当者によって取り付けられます。プリンタの保証期間内であれば、追加費用は発生しません。

項目	説明	セルフ交換オプション	部品番号
550 枚 x 1 段用紙フィーダキット	交換用 550 枚 x 1 段フィーダ	必須	F2A72A
セキュアハードディスクドライブ	交換用ハードディスクドライブ	必須	B5L29A
HP 1 GB DDR 3x32 144 ピン 800 MHz SODIMM	交換用メモリ DIMM	必須	E5K48A
HP Trusted Platform Module キット	交換用 Trusted Platform Module	必須	F5S62A
HP Jetdirect 2900nw プリント サーバ	交換用 USB ワイヤレス プリント サーバアクセサリ	必須	J8031A
HP JetDirect 3100w BLE/NFC/Wireless Accessory	モバイルデバイスからワイヤレスで直接印刷ができる「タッチ」アクセサリ (交換用)	必須	3JN69A
HP 内部 USB ポート	交換用内蔵 USB ポート	必須	B5L28A
HP LaserJet キーボード簡体字および繁体字中国語オーバーレイキット (z モデルのみ)	キーボード オーバーレイ	必須	A7W12A
HP LaserJet キーボードスウェーデン語オーバーレイキット (z モデルのみ)	キーボード オーバーレイ	必須	A7W14A

# HP トナーカートリッジ保護サプライ品の設定

ネットワーク管理者は、プリンタのコントロールパネルまたはHP 内蔵 Web サーバ (EWS) を使用して、トナーカートリッジ保護の設定を実行できます。

- [はじめに](#)
- [カートリッジポリシー機能の有効化または無効化](#)
- [カートリッジ保護機能の有効化または無効化](#)

## はじめに

HP カートリッジポリシーとカートリッジ保護を使って、どのカートリッジをプリンタに取り付けるかを制御し、取り付けられたカートリッジを盗難から保護します。

HP Web Jetadmin の設定は、次の順で **[デバイス管理]** ペインの下にあります。**[設定] > [サプライ品] > [カートリッジポリシー]** または **[カートリッジ保護]**。

これらの機能は、HP FutureSmart バージョン 3 以降で利用可能です。

- **カートリッジポリシー**：この機能は、HP 純正カートリッジのみをプリンタで使用可能にすることにより、偽造トナーカートリッジからプリンタを保護します。HP 純正カートリッジを使うことで、可能な限り最適な印刷品質が保証されます。HP 純正カートリッジではないカートリッジを取り付けた場合、プリンタのコントロールパネルにカートリッジが純正品ではない旨のメッセージが表示され、処理を継続するための方法が説明されます。
- **カートリッジ保護**：この機能は、特定のプリンタまたはプリンタ群にトナーカートリッジを永続的に関連付けます。したがって、他のプリンタではトナーカートリッジを使用できません。カートリッジを保護することで、お客様の投資を保護します。この機能を有効にすると、元のプリンタから承認されていないプリンタに保護されたカートリッジを移動しても、そのプリンタで保護されたカートリッジによる印刷は行われません。プリンタのコントロールパネルにカートリッジが保護されている旨のメッセージが表示され、処理を継続するための方法が説明されます。

**⚠ 注意**：プリンタに対してカートリッジ保護を有効化すると、以降にプリンタに取り付けるすべてのトナーカートリッジが自動的にかつ永続的に保護されます。新しいカートリッジを保護することを避けるために、新しいカートリッジを取り付ける *前* にこの機能を無効にします。


この機能をオフにしても、現在取り付けられているカートリッジの保護はオフになりません。

両機能は、デフォルトでオフです。両機能を有効または無効にするには次の手順に従います。

## カートリッジポリシー機能の有効化または無効化

カートリッジポリシー機能は、コントロールパネルや内蔵 Web サーバ (EWS) から有効または無効にすることができます。

- [プリンタのコントロールパネルを使って、カートリッジポリシー機能を有効化します](#)
- [プリンタのコントロールパネルを使って、カートリッジポリシー機能を無効化します](#)
- [HP 内蔵 Web サーバ \(EWS\) を使って、カートリッジポリシー機能を有効化します](#)
- [HP 内蔵 Web サーバ \(EWS\) を使って、カートリッジポリシー機能を無効化します](#)
- [カートリッジポリシーのコントロールパネルのエラーメッセージをトラブルシューティングします](#)

 **注記**：この機能を有効化または無効化するために、管理者パスワードの入力が必要になることがあります。

### プリンタのコントロールパネルを使って、カートリッジポリシー機能を有効化します

ネットワーク管理者は、プリンタのコントロールパネルでカートリッジポリシー機能を有効にできます。これにより、HP 純正カートリッジのみがプリンタで使用できるようになります。

1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、**設定** アプリケーションに移動し、**設定** アイコンを選択します。
2. 以下のメニューを開きます。
  - [サプライ品の管理](#)
  - [カートリッジポリシー](#)
3. **HP 正規品** を選択します。

### プリンタのコントロールパネルを使って、カートリッジポリシー機能を無効化します

ネットワーク管理者は、プリンタのコントロールパネルでカートリッジポリシー機能を無効にできます。これにより、HP 純正カートリッジのみ使用できるという制限を解除します。



1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、**設定** アプリケーションに移動し、**設定** アイコンを選択します。
2. 以下のメニューを開きます。
  - [サプライ品の管理](#)
  - [カートリッジポリシー](#)
3. **オフ** を選択します。

### HP 内蔵 Web サーバ (EWS) を使って、カートリッジポリシー機能を有効化します


ネットワーク管理者は、EWS でカートリッジポリシー機能を有効にできます。これにより、HP 純正カートリッジのみがプリンタで使用できるようになります。

1. HP 内蔵 Web サーバ (EWS) を開きます。



- a. プリンタのコントロールパネル上の[ホーム]画面から、[情報]  アイコン、[ネットワーク]  アイコンの順にタッチして、IP アドレスまたはホスト名を表示します。
- b. Web ブラウザを開き、プリンタのコントロールパネルに表示されているのと同じ IP アドレスまたはホスト名をアドレスバーに正確に入力します。コンピュータのキーボードの **Enter** キーを押します。EWS が開きます。

---



 **注記** : Web サイトへのアクセスが安全でない可能性があることを示すメッセージが Web ブラウザに表示された場合は、Web サイトへのアクセスを続行するオプションを選択してください。この Web サイトへのアクセスによってコンピュータが損害を受けることはありません。

---


2. [コピー/印刷] タブを開きます。
3. 左側のナビゲーション ウィンドウで、[サプライ品を管理] をクリックします。
4. [サプライ品の設定] 領域で、[カートリッジポリシー] ドロップダウン リストから、[HP 正規品] を選択します。
5. 変更を保存するには、[適用] ボタンをクリックします。

## HP 内蔵 Web サーバ (EWS) を使って、カートリッジポリシー機能を無効化します

ネットワーク管理者は、EWS でカートリッジポリシー機能を無効にできます。これにより、HP 純正カートリッジのみ使用できるという制限を解除します。

1. HP 内蔵 Web サーバ (EWS) を開きます。
  - a. プリンタのコントロールパネル上の[ホーム]画面から、[情報]  アイコン、[ネットワーク]  アイコンの順にタッチして、IP アドレスまたはホスト名を表示します。
  - b. Web ブラウザを開き、プリンタのコントロールパネルに表示されているのと同じ IP アドレスまたはホスト名をアドレスバーに正確に入力します。コンピュータのキーボードの **Enter** キーを押します。EWS が開きます。

---

 **注記** : Web サイトへのアクセスが安全でない可能性があることを示すメッセージが Web ブラウザに表示された場合は、Web サイトへのアクセスを続行するオプションを選択してください。この Web サイトへのアクセスによってコンピュータが損害を受けることはありません。

---

2. [コピー/印刷] タブを開きます。
3. 左側のナビゲーション ウィンドウで、[サプライ品を管理] をクリックします。
4. [サプライ品の設定] 領域で、[カートリッジポリシー] ドロップダウン リストから、[オフ] を選択します。
5. 変更を保存するには、[適用] ボタンをクリックします。

## カートリッジポリシーのコントロールパネルのエラー メッセージをトラブルシューティングします


カートリッジポリシーのエラー メッセージについて、推奨されるアクションを確認します。

エラー メッセージ	説明	推奨される処置
10.0X.30 未承認の <カラー> カートリッジ	このプリンタは、保証付きの HP 純正サプライ品のみを使用するように管理者によって設定されています。印刷を継続するには、カートリッジを交換する必要があります。	<p>カートリッジを純正の HP トナーカートリッジと交換します。</p> <p>HP 純正のサプライ品を購入した確信がある場合は、<a href="http://www.hp.com/go/anticounterfeit">www.hp.com/go/anticounterfeit</a> にアクセスして、トナーカートリッジが HP 純正カートリッジであるかを確認し、HP 純正カートリッジでない場合はその対処方法を参照してください。</p>

## カートリッジ保護機能の有効化または無効化

カートリッジ保護機能は、コントロールパネルや内蔵 Web サーバ (EWS) から有効または無効にすることができます。


- [プリンタのコントロールパネルを使って、カートリッジ保護機能を有効化します](#)
- [プリンタのコントロールパネルを使って、カートリッジ保護機能を無効化します](#)
- [HP 内蔵 Web サーバ \(EWS\) を使って、カートリッジ保護機能を有効化します](#)
- [HP 内蔵 Web サーバ \(EWS\) を使って、カートリッジ保護機能を無効化します](#)
- [カートリッジ保護のコントロールパネルのエラーメッセージをトラブルシューティングします](#)

 **注記**：この機能を有効化または無効化するために、管理者パスワードの入力が必要になることがあります。

### プリンタのコントロールパネルを使って、カートリッジ保護機能を有効化します

ネットワーク管理者は、プリンタのコントロールパネルでカートリッジ保護機能を有効にできます。これにより、プリンタに関連付けられているカートリッジを盗難や他のプリンタで使用されることから保護します。

1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、**設定** アプリケーションに移動し、**設定** アイコンを選択します。
2. 以下のメニューを開きます。
  - [サプライ品の管理](#)
  - [カートリッジ保護](#)
3. [カートリッジの保護](#) を選択します。
4. プリンタで確認のプロンプトが表示されたら、**続行** を選択して機能を有効化します。

 **注意**：プリンタに対してカートリッジ保護を有効化すると、以降にプリンタに取り付けるすべてのトナーカートリッジが自動的にかつ継続的に保護されます。新しいカートリッジを保護することを避けるために、新しいカートリッジを取り付ける前にこの機能を無効にします。

この機能をオフにしても、現在取り付けられているカートリッジの保護はオフになりません。

### プリンタのコントロールパネルを使って、カートリッジ保護機能を無効化します

ネットワーク管理者は、プリンタのコントロールパネルでカートリッジ保護機能を無効にできます。これにより、プリンタにインストールされている新しいカートリッジに対する保護を解除します。


1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、**設定** アプリケーションに移動し、**設定** アイコンを選択します。
2. 以下のメニューを開きます。
  - [サプライ品の管理](#)
  - [カートリッジ保護](#)
3. **オフ** を選択します。

## HP 内蔵 Web サーバ (EWS) を使って、カートリッジ保護機能を有効化します

ネットワーク管理者は、EWS でカートリッジ保護機能を有効にできます。これにより、プリンタに関連付けられているカートリッジを盗難や他のプリンタで使用されることから保護します。

1. HP 内蔵 Web サーバ (EWS) を開きます。
  - a. プリンタのコントロールパネル上の [ホーム] 画面から、[情報] ⓘ アイコン、[ネットワーク] 品 アイコンの順にタッチして、IP アドレスまたはホスト名を表示します。
  - b. Web ブラウザを開き、プリンタのコントロールパネルに表示されているのと同じ IP アドレスまたはホスト名をアドレスバーに正確に入力します。コンピュータのキーボードの **Enter** キーを押します。EWS が開きます。


---

 **注記** : Web サイトへのアクセスが安全でない可能性があることを示すメッセージが Web ブラウザに表示された場合は、Web サイトへのアクセスを続行するオプションを選択してください。この Web サイトへのアクセスによってコンピュータが損害を受けることはありません。

---

2. [コピー/印刷] タブを開きます。
3. 左側のナビゲーションウィンドウで、[サプライ品を管理] をクリックします。
4. [サプライ品の設定] 領域で、[カートリッジ保護] ドロップダウンリストから、[カートリッジを保護] を選択します。
5. 変更を保存するには、[適用] ボタンをクリックします。

---

 **注意** : プリンタに対してカートリッジ保護を有効化すると、以降にプリンタに取り付けるすべてのトナーカートリッジが自動的に永続的に保護されます。新しいカートリッジを保護することを避けるために、新しいカートリッジを取り付ける前にこの機能を無効にします。

この機能をオフにしても、現在取り付けられているカートリッジの保護はオフになりません。


---

## HP 内蔵 Web サーバ (EWS) を使って、カートリッジ保護機能を無効化します

ネットワーク管理者は、EWS でカートリッジ保護機能を無効にできます。これにより、プリンタにインストールされている新しいカートリッジに対する保護を解除します。

1. HP 内蔵 Web サーバ (EWS) を開きます。
  - a. プリンタのコントロールパネル上の [ホーム] 画面から、[情報] ⓘ アイコン、[ネットワーク] 品 アイコンの順にタッチして、IP アドレスまたはホスト名を表示します。

- b. Web ブラウザを開き、プリンタのコントロールパネルに表示されているのと同じ IP アドレスまたはホスト名をアドレスバーに正確に入力します。コンピュータのキーボードの **Enter** キーを押します。EWS が開きます。

 **注記** : Web サイトへのアクセスが安全でない可能性があることを示すメッセージが Web ブラウザに表示された場合は、Web サイトへのアクセスを続行するオプションを選択してください。この Web サイトへのアクセスによってコンピュータが損害を受けることはありません。

2. **[コピー/印刷]** タブを開きます。
3. 左側のナビゲーション ウィンドウで、**[サプライ品を管理]** をクリックします。
4. **[サプライ品の設定]** 領域で、**[カートリッジ保護]** ドロップダウン リストから、**[オフ]** を選択します。
5. 変更を保存するには、**[適用]** ボタンをクリックします。

## カートリッジ保護のコントロールパネルのエラー メッセージをトラブルシューティングします

カートリッジ保護のエラー メッセージについて、推奨されるアクションを確認します。

エラー メッセージ	説明	推奨される処置
10.0X.57 保護 <カラー> カートリッジ	<p>このカートリッジは、最初に HP カートリッジ保護機能で保護したプリンタまたはプリンタ群でのみ使用できます。</p> <p>カートリッジ保護機能によって管理者は、1 台のプリンタまたはプリンタ群でのみカートリッジが動作するように制限できます。印刷を継続するには、カートリッジを交換する必要があります。</p>	カートリッジを新しいトナーカートリッジと交換します。

# トナーカートリッジの交換

このプリンタでメッセージが表示される場合、または印刷品質の問題がある場合は、トナーカートリッジを交換してください。

- [カートリッジ情報](#)
- [カートリッジの取り外しと交換](#)

## カートリッジ情報


カートリッジを再分散させても、印刷品質が使用に耐えるレベルにならない場合には、プリントカートリッジを交換します。トナーを再分散させるには、プリンタからトナーカートリッジを取り出し、カートリッジを水平方向に前後にゆっくりと振ります。図解については、カートリッジの交換手順を参照してください。トナーカートリッジをプリンタに取り付け直し、カバーを閉じます。

カートリッジを購入したり、プリンタとの互換性を確認したりするには、HP SureSupply ([www.hp.com/go/SureSupply](http://www.hp.com/go/SureSupply)) にアクセスしてください。ページの一番下までスクロールして、国/地域が正しいことを確認してください。

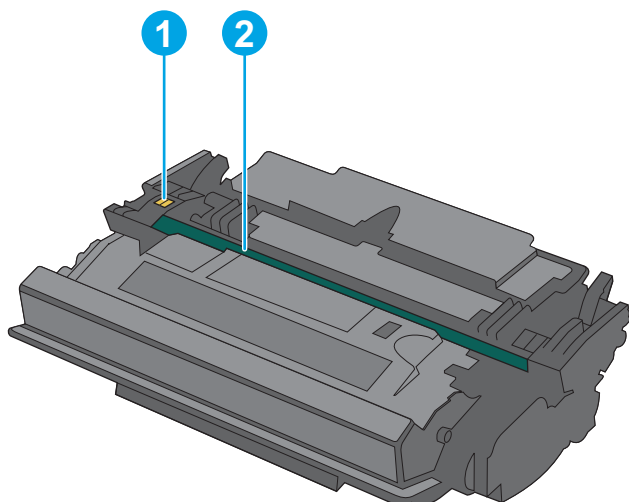
項目	説明	カートリッジ番号	部品番号
HP 89A Black Original LaserJet トナーカートリッジ	LaserJet トナーカートリッジ(黒)	89A	CF289A
HP 89X High Yield Black Original LaserJet トナーカートリッジ	LaserJet トナーカートリッジ(黒)	89X	CF289X
HP 89Y LaserJet 純正トナーカートリッジ(超大容量、黒)	LaserJet トナーカートリッジ(黒)	89Y	CF289Y

 **注記**：より多くのページを印刷可能な、標準カートリッジより多くのトナーを収容する大容量トナーカートリッジです。詳細については、[www.hp.com/go/learnaboutesupplies](http://www.hp.com/go/learnaboutesupplies) を参照してください。

トナーカートリッジは、交換直前までパッケージから出さないでください。

 **注意**：損傷を防ぐため、トナーカートリッジに、数分以上光を当てないでください。トナーカートリッジを長時間プリンタから取り外しておく必要がある場合は、緑色のイメージングドラムを覆ってください。

次の図は、トナーカートリッジコンポーネントを示しています。



- |   |           |
|---|-----------|
| 1 | メモリチップ    |
| 2 | イメージングドラム |

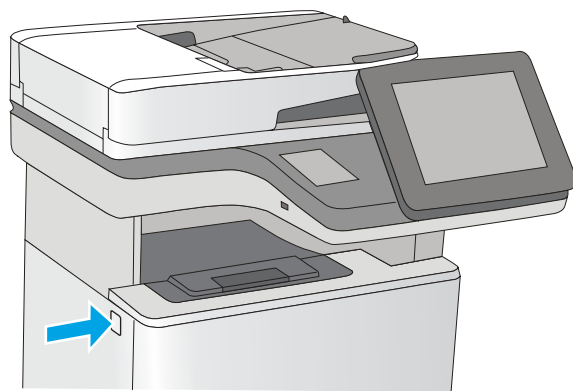
**注意:** イメージングドラムには触れないでください。この面に指紋が付着すると、印刷品質が低下するおそれがあります。

**注意:** トナーが服に付いた場合は、乾いた布で拭き取り、冷水で洗ってください。お湯を使うと、トナーが布に染み着きます。

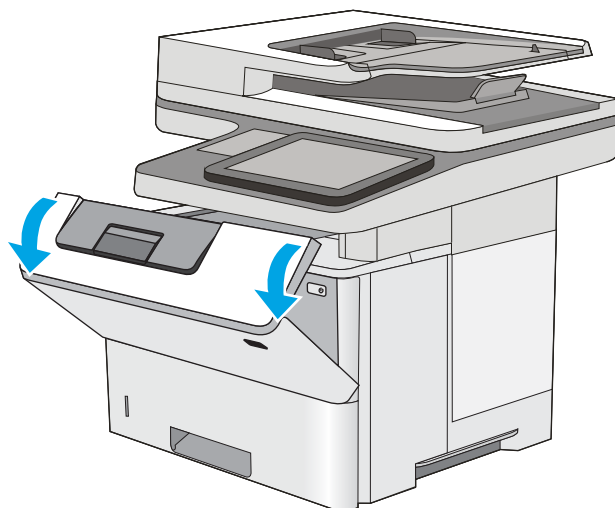
**注記:** 使用済みトナーカートリッジのリサイクルの詳細は、トナーカートリッジの箱に記載されています。

## カートリッジの取り外しと交換

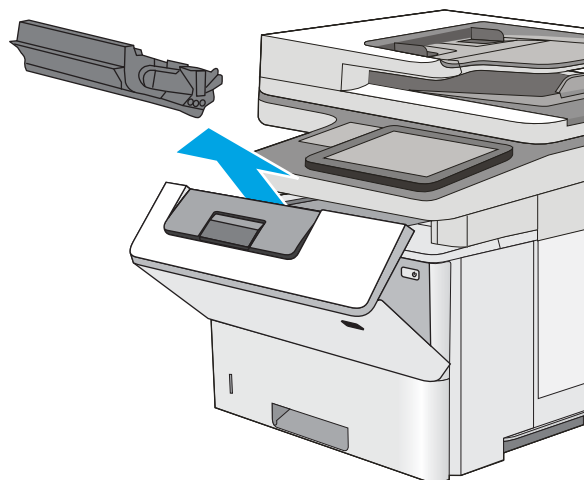
1. プリンタの左側にある上部カバー解放ボタンを押します。



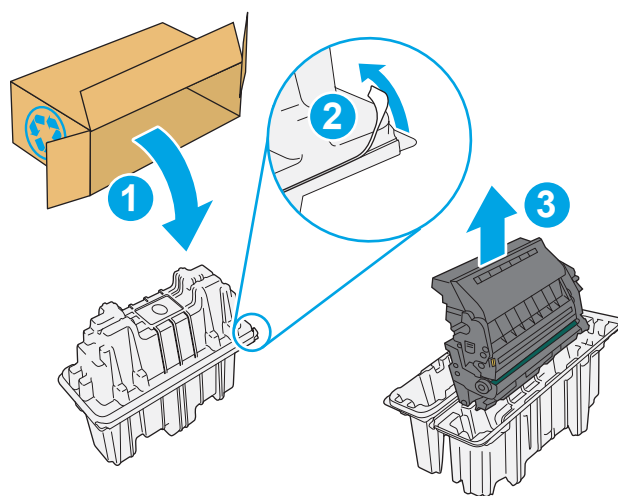
2. 正面ドアを開きます。



3. トナーカートリッジに付いているハンドルをつかみ、引き出します。

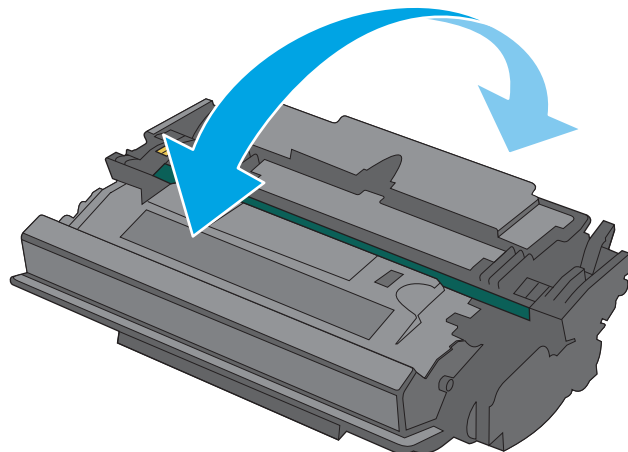


4. プラスチックテープをはがし、パッケージを開いて、新しいトナーカートリッジを保護シエルから取り出します。使用済みトナーカートリッジのリサイクル用に、梱包材はすべて保存してください。

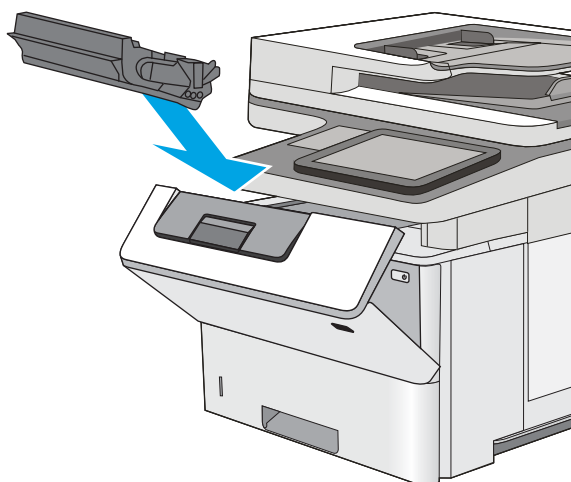




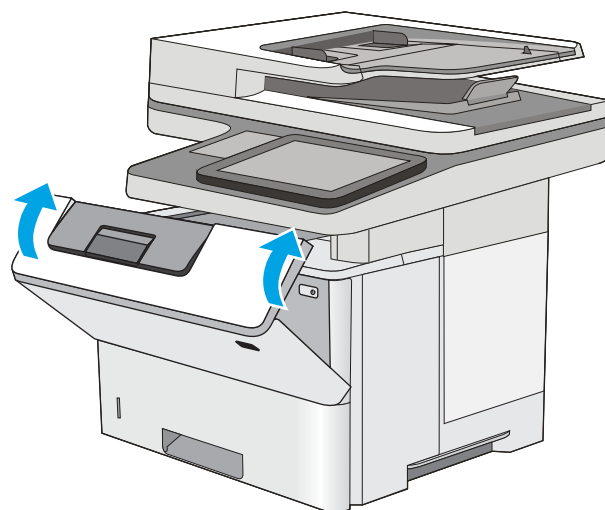
5. トナーカートリッジの両側を持ち、5~6回振り回します。



6. トナーカートリッジをスロットに合わせて、プリンタに挿入します。



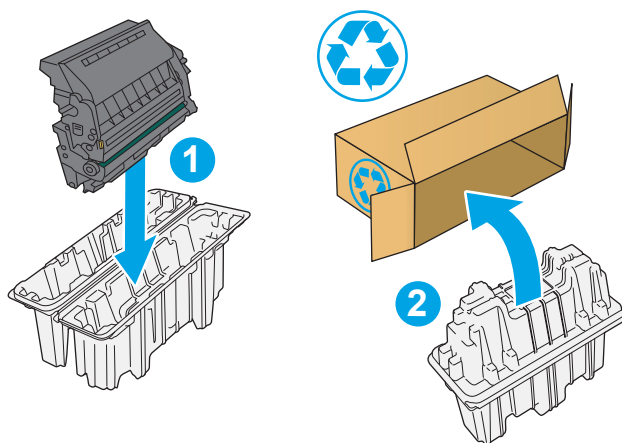
7. 正面ドアを閉じます。



8. 使用済みのトナーカートリッジを、新しいカートリッジが梱包されていた箱に梱包します。リサイクル情報については、同梱のリサイクルガイドを参照してください。

米国およびカナダでは、プリペイド出荷ラベルが箱に含まれています。その他の国や地域では、[www.hp.com/recycle](http://www.hp.com/recycle) にアクセスしてプリペイド出荷ラベルを印刷してください。

プリペイド出荷ラベルを箱に貼って、使用済みカートリッジをリサイクル用に HP に返送してください。



# ステイプルカートリッジの交換 (f、c、およびzモデル)

現在お使いのカートリッジが空になったときに、新しいステイプルカートリッジを取り付けます。

- [はじめに](#)
- [ステイプルカートリッジの取り外しと交換](#)

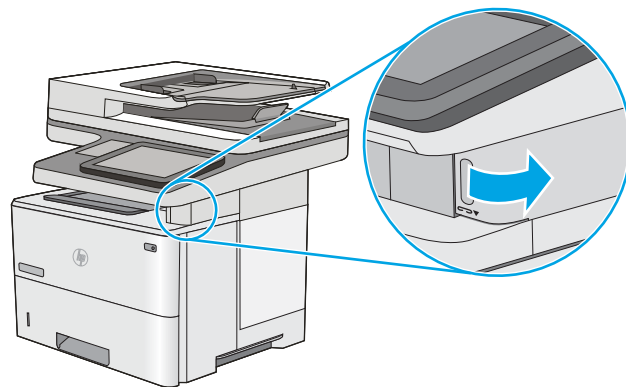
## はじめに

ここでステイプルカートリッジを交換する手順について説明します。

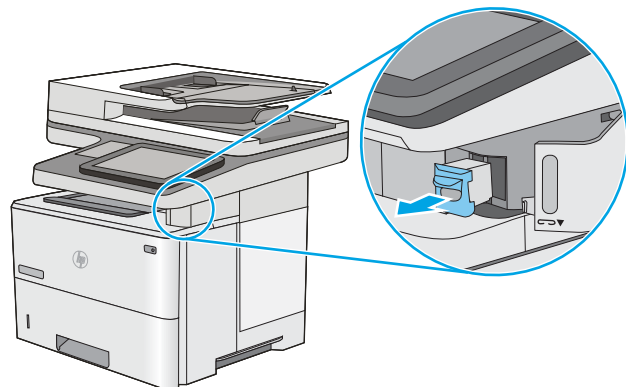
## ステイプルカートリッジの取り外しと交換

1. ステイプラのドアを開きます。

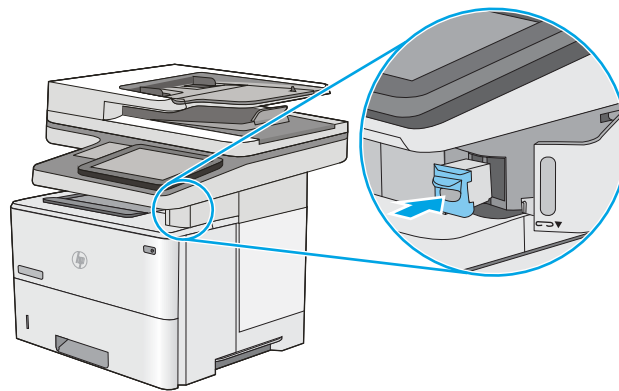
**注記：**ステイプラのドアを開くとステイプラが使用できなくなります。



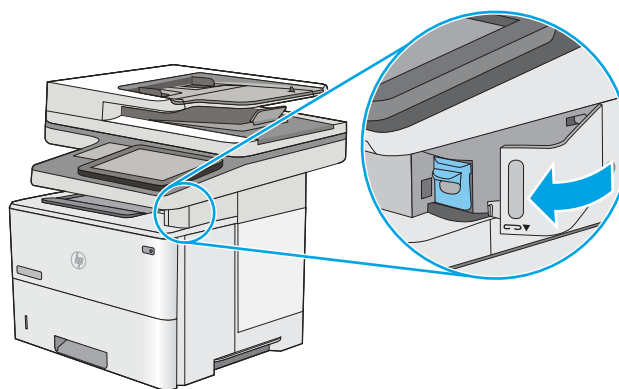
2. プリンタからステイプルカートリッジを取り外します。



3. ステイプラのドアの内側にある開口部に新しいステイプルカートリッジを挿入します。



4. ステイプラのドアを閉じます。



## 4 印刷

ソフトウェアを使用して印刷するか、モバイル デバイスまたは USB フラッシュ ドライブから印刷します。

- [印刷タスク \(Windows\)](#)
- [印刷タスク \(macOS\)](#)
- [プリンタに印刷ジョブを保存し、後で印刷するか、個人用として印刷](#)
- [モバイル印刷](#)
- [USB フラッシュ ドライブからの印刷](#)
- [高速 USB 2.0 ポート \(有線\) を使用して印刷する](#)

ビデオ アシスタンスについては、[www.hp.com/videos/LaserJet](http://www.hp.com/videos/LaserJet) を参照してください。

以下の情報は、発行時点で正確なものです。最新の詳細は、[www.hp.com/support/ljM528mfp](http://www.hp.com/support/ljM528mfp) を参照してください。

詳細は、[次を参照してください](#)。

お使いのプリンタに関する HP の包括的なヘルプには次の情報が含まれています。

- 設置と設定
- 学習と使用
- 問題の解決
- ソフトウェアのダウンロードとファームウェアの更新
- サポート フォーラムへの参加
- 保証および規制に関する情報の検索

## 印刷タスク (Windows)

Windows ユーザーの一般的な印刷タスクについて学習します。


- [印刷方法 \(Windows\)](#)
- [自動両面印刷 \(Windows\)](#)
- [手動両面印刷 \(Windows\)](#)
- [1 枚の用紙への複数ページの印刷 \(Windows\)](#)
- [用紙タイプの選択 \(Windows\)](#)
- [補足的な印刷タスク](#)

## 印刷方法 (Windows)

ソフトウェアアプリケーションの **[印刷]** オプションを使用して、プリンタと、印刷ジョブの基本的なオプションを選択します。

次の手順では、Windows での基本的な印刷処理について説明します。


1. ソフトウェア プログラムから、**[印刷]** オプションを選択します。
2. プリンタのリストからプリンタを選択します。設定を変更するには、**[プロパティ]** または **[ユーザー設定]** ボタンをクリックしてプリント ドライバを開きます。

 **注記** : ボタンの名前はソフトウェア プログラムの種類によって異なります。

Windows 10、8.1、および 8 の場合、これらのアプリケーションには、デスクトップアプリケーション用に、以下に示すものとは異なる機能を含むレイアウトが用意されます。スタート画面のアプリケーションから印刷機能にアクセスするには、次の手順を実行します。

- **Windows 10**: **[印刷]** を選択し、プリンタを選択します。
- **Windows 8.1 または Windows 8**: **[デバイス]** を選択し、**[印刷]** を選択してから、プリンタを選択します。

HP PCL-6 V4 ドライバの場合、**[その他の設定]** を選択すると、HP AiO プリンタのリモートアプリケーションが追加のドライバ機能をダウンロードします。

 **注記** : 詳細については、プリント ドライバのヘルプ ([?]) ボタンをクリックしてください。


3. プrint ドライバの各タブをクリックし、使用可能なオプションを設定します。たとえば、用紙の向きは **[仕上げ]** タブで設定し、給紙方法、用紙タイプ、用紙サイズ、品質設定は **[用紙/品質]** タブで設定します。
4. **[OK]** ボタンをクリックし、**[印刷]** ダイアログボックスに戻ります。印刷する部数をこの画面で選択します。
5. ジョブを印刷するには、**[印刷]** ボタンをクリックします。

## 自動両面印刷 (Windows)

ご使用のプリンタに、自動両面印刷ユニットが取り付けられている場合は、自動的に用紙の両面に印刷できます。両面印刷ユニットでサポートされている用紙のサイズとタイプを使用してください。

1. ソフトウェア プログラムから、**[印刷]** オプションを選択します。
2. プリンタのリストからプリンタを選択し、**[プロパティ]** または **[ユーザー設定]** ボタンをクリックしてプリントドライバを開きます。

---

 **注記** : ボタンの名前はソフトウェア プログラムの種類によって異なります。

Windows 10、8.1、および 8 の場合、これらのアプリケーションには、デスクトップアプリケーション用に、以下に示すものとは異なる機能を含むレイアウトが用意されます。スタート画面のアプリケーションから印刷機能にアクセスするには、次の手順を実行します。

- **Windows 10:** **[印刷]** を選択し、プリンタを選択します。
- **Windows 8.1 または Windows 8:** **[デバイス]** を選択し、**[印刷]** を選択してから、プリンタを選択します。

HP PCL-6 V4 ドライバの場合、**[その他の設定]** を選択すると、HP AiO プリンタのリモートアプリケーションが追加のドライバ機能をダウンロードします。

---


3. **[レイアウト]** タブをクリックします。
4. **[両面印刷]** を選択します。**[OK]** をクリックして、**[文書のプロパティ]** ダイアログを閉じます。
5. **[印刷]** ダイアログで、**[印刷]** をクリックして、ジョブを印刷します。

## 手動両面印刷 (Windows)

この手順は、自動両面印刷ユニットが取り付けられていないプリンタの場合、または両面印刷ユニットでサポートされていない用紙に印刷する場合に使用します。

1. ソフトウェア プログラムから、**[印刷]** オプションを選択します。
2. プリンタのリストからプリンタを選択し、**[プロパティ]** または **[ユーザー設定]** ボタンをクリックしてプリントドライバを開きます。

---

 **注記** : ボタンの名前はソフトウェア プログラムの種類によって異なります。

Windows 10、8.1、および 8 の場合、これらのアプリケーションには、デスクトップアプリケーション用に、以下に示すものとは異なる機能を含むレイアウトが用意されます。スタート画面のアプリケーションから印刷機能にアクセスするには、次の手順を実行します。

- **Windows 10:** **[印刷]** を選択し、プリンタを選択します。
- **Windows 8.1 または Windows 8:** **[デバイス]** を選択し、**[印刷]** を選択してから、プリンタを選択します。

HP PCL-6 V4 ドライバの場合、**[その他の設定]** を選択すると、HP AiO プリンタのリモートアプリケーションが追加のドライバ機能をダウンロードします。

---

3. **[レイアウト]** タブをクリックします。
4. **[両面印刷(手差し)]** を選択し、**[OK]** をクリックして、**文書のプロパティ** ダイアログを閉じます。
5. **印刷** ダイアログで、**[印刷]** をクリックしてジョブの 1 ページ目を印刷します。

6. 排紙ビンから印刷済みの用紙を取り出し、トレイ 1 に入れます。
7. 確認メッセージが表示された場合は、適切なコントロールパネル ボタンを選択して操作を続けます。

## 1 枚の用紙への複数ページの印刷 (Windows)

**[印刷]** オプションを使用して、ソフトウェア アプリケーションから印刷するときに、1 枚の用紙に複数のページを印刷するオプションを選択できます。たとえば、大きな文書を印刷するときに用紙を節約したい場合に、これを行うことができます。

1. ソフトウェア プログラムから、**[印刷]** オプションを選択します。
2. プリンタのリストからプリンタを選択し、**[プロパティ]** または **[ユーザー設定]** ボタンをクリックしてプリントドライバを開きます。

 **注記** : ボタンの名前はソフトウェア プログラムの種類によって異なります。

Windows 10、8.1、および 8 の場合、これらのアプリケーションには、デスクトップアプリケーション用に、以下に示すものとは異なる機能を含むレイアウトが用意されます。スタート画面のアプリケーションから印刷機能にアクセスするには、次の手順を実行します。

- **Windows 10:** **[印刷]** を選択し、プリンタを選択します。
- **Windows 8.1 または Windows 8:** **[デバイス]** を選択し、**[印刷]** を選択してから、プリンタを選択します。

HP PCL-6 V4 ドライバの場合、**[その他の設定]** を選択すると、HP AiO プリンタのリモート アプリケーションが追加のドライバ機能をダウンロードします。


3. **[レイアウト]** タブをクリックします。
4. **[1 枚の用紙に印刷するページ数]** ドロップダウンから、1 枚の用紙に印刷するページ数を選択します。
5. 適切な **[ページ境界線]**、**[ページの順序]**、**[印刷の向き]** オプションを選択します。**[OK]** をクリックして、**[文書のプロパティ]** ダイアログを閉じます。
6. **[印刷]** ダイアログで、**[印刷]** をクリックして、ジョブを印刷します。

## 用紙タイプの選択 (Windows)

**[印刷]** オプションを使用して、ソフトウェア アプリケーションからの印刷時に、印刷ジョブで使用している用紙タイプを設定できます。たとえば、デフォルトの用紙タイプがレターでも、印刷ジョブに異なるタイプの用紙を使用している場合は、その特定の用紙タイプを選択します。

1. ソフトウェア プログラムから、**[印刷]** オプションを選択します。
2. プリンタのリストからプリンタを選択し、**[プロパティ]** または **[ユーザー設定]** ボタンをクリックしてプリントドライバを開きます。



 **注記**： ボタンの名前はソフトウェア プログラムの種類によって異なります。

Windows 10、8.1、および 8 の場合、これらのアプリケーションには、デスクトップアプリケーション用に、以下に示すものとは異なる機能を含むレイアウトが用意されます。スタート画面のアプリケーションから印刷機能にアクセスするには、次の手順を実行します。

- **Windows 10:** **[印刷]** を選択し、プリンタを選択します。
- **Windows 8.1 または Windows 8:** **[デバイス]** を選択し、**[印刷]** を選択してから、プリンタを選択します。

HP PCL-6 V4 ドライバの場合、**[その他の設定]** を選択すると、HP AiO プリンタのリモートアプリケーションが追加のドライバ機能をダウンロードします。

3. **[用紙/品質]** タブをクリックします。
4. **[用紙の種類]** ドロップダウン リストから用紙の種類を選択します。
5. **[OK]** をクリックして、**[文書のプロパティ]** ダイアログを閉じます。**[印刷]** ダイアログで、**[印刷]** をクリックして、ジョブを印刷します。  
  
トレイを設定する必要がある場合は、プリンタのコントロールパネルにトレイ設定メッセージが表示されます。
6. 指定されたタイプとサイズ of 用紙をトレイにセットし、トレイを閉めます。
7. **[OK]** ボタンをタッチして検出されたタイプおよびサイズを受け入れるか、**[変更]** ボタンをタッチして別のサイズまたはタイプを選択します。
8. 正しいタイプとサイズを選択して、**[OK]** ボタンをタッチします。

## 補足的な印刷タスク

一般的な印刷タスクを実行するための Web 上の情報を確認します。

[www.hp.com/support/ljM528mfp](http://www.hp.com/support/ljM528mfp) にアクセスします。

たとえば、次のような印刷タスクの手順を参照できます。

- 印刷機能のショートカットおよびプリセットの作成と使用
- 用紙サイズの選択、またはカスタム用紙サイズの使用
- ページの印刷の向きを選択
- ブックレットの作成
- 特定の用紙サイズに収まるように文書を拡大縮小する
- 文書の最初または最後のページを異なる用紙に印刷する
- 文書に透かしを印刷する

## 印刷タスク (macOS)

両面印刷または1枚の用紙に複数ページを印刷するオプションを含む、MacOS用のHP印刷ソフトウェアを使用して印刷します。

- [印刷方法 \(macOS\)](#)
- [自動両面印刷 \(macOS\)](#)
- [手動両面印刷 \(macOS\)](#)
- [1枚の用紙に複数ページを印刷する \(macOS\)](#)
- [用紙タイプを選択する \(macOS\)](#)
- [補足的な印刷タスク](#)

## 印刷方法 (macOS)

次の手順では、macOSの基本的な印刷プロセスについて説明します。

1. **【ファイル】**メニューをクリックし、**【印刷】**オプションをクリックします。
2. 該当するプリンターを選択します。
3. **【詳細表示】**または**【部数とページ数】**をクリックし、その他のメニューを選択して印刷設定を調節します。

---


 **注記**：項目の名前はソフトウェアプログラムの種類によって異なります。


---

4. **【印刷】**ボタンをクリックします。

## 自動両面印刷 (macOS)

---

 **注記**：この情報は、自動両面印刷ユニットが装備されているプリンターに適用されます。

 **注記**：この機能は、HPプリントドライバをインストールしている場合に使用できます。AirPrintを使用する場合はこの機能を使用できない場合があります。

---

1. **【ファイル】**メニューをクリックし、**【印刷】**オプションをクリックします。
2. 該当するプリンターを選択します。
3. **【詳細表示】**または**【部数とページ数】**をクリックし、**【レイアウト】**メニューをクリックします。

---


 **注記**：項目の名前はソフトウェアプログラムの種類によって異なります。

---

4. **【両面印刷】**ドロップダウンリストから**【縦じ込み】**オプションを選択します。
5. **【印刷】**ボタンをクリックします。

## 手動両面印刷 (macOS)

---

 **注記**：この機能は、HPプリントドライバをインストールしている場合に使用できます。AirPrintを使用する場合はこの機能を使用できない場合があります。

---

1. [ファイル]メニューをクリックし、[印刷]オプションをクリックします。
2. 該当するプリンターを選択します。
3. [詳細表示]または[部数とページ数]をクリックし、[手動両面印刷]メニューをクリックします。

 **注記：**項目の名前はソフトウェアプログラムの種類によって異なります。

4. [手動両面印刷]ボックスをクリックし、[綴じ込み]オプションを選択します。
5. [印刷]ボタンをクリックします。
6. プリンタのトレイ1に入っている空白の用紙をすべて取り除きます。
7. 排紙ビンから印刷済みの用紙を取り出し、印刷面を下向きにして給紙トレイにセットします。
8. 確認メッセージが表示された場合は、適切なコントロールパネル ボタンをタッチして操作を続けます。

## 1 枚の用紙に複数ページを印刷する (macOS)

1. [ファイル]メニューをクリックし、[印刷]オプションをクリックします。
2. 該当するプリンターを選択します。
3. [詳細表示]または[部数とページ数]をクリックし、[レイアウト]メニューをクリックします。

 **注記：**項目の名前はソフトウェアプログラムの種類によって異なります。


4. [用紙あたりのページ数]ドロップダウン リストから、1 枚の用紙に印刷するページ数を選択します。
5. [[レイアウト方向]]領域で、用紙に印刷するページの順序と位置を選択します。
6. [[境界線]]メニューで、用紙の各ページの周囲に印刷する境界線の種類を選択します。
7. [印刷]ボタンをクリックします。

## 用紙タイプを選択する (macOS)

1. [ファイル]メニューをクリックし、[印刷]オプションをクリックします。
2. 該当するプリンターを選択します。
3. [詳細表示]または[部数とページ数]をクリックし、[メディアと品質]メニューまたは[用紙/品質]メニューをクリックします。

 **注記：**項目の名前はソフトウェアプログラムの種類によって異なります。

4. [メディアと品質]または[用紙/品質]オプションから選択します。

 **注記：**このリストには、使用可能なオプションのマスタ セットが含まれています。一部のオプションは、プリンタによっては使用できません。

- **【メディアタイプ】**: 印刷ジョブでメディアタイプに合ったオプションを選択します。
- **【印刷品質】**: 印刷ジョブの解像度を選択します。
- **【全幅印刷】**: 用紙の端近くまで印刷するには、このオプションを選択します。

5. **【印刷】** ボタンをクリックします。

## 補足的な印刷タスク

一般的な印刷タスクを実行するための Web 上の情報を確認します。

[www.hp.com/support/ljM528mfp](http://www.hp.com/support/ljM528mfp) にアクセスします。

たとえば、次のような印刷タスクの手順を参照できます。

- 印刷機能のショートカットおよびプリセットの作成と使用
- 用紙サイズを選択、またはカスタム用紙サイズの使用
- ページの印刷の向きを選択
- ブックレットの作成
- 特定の用紙サイズに収まるように文書を拡大縮小する
- 文書の最初または最後のページを異なる用紙に印刷する
- 文書に透かしを印刷する

# プリンタに印刷ジョブを保存し、後で印刷するか、個人用として印刷

- [はじめに](#)
- [保存ジョブの作成 \(Windows\)](#)
- [保存ジョブの作成 \(macOS\)](#)
- [保存ジョブの印刷](#)
- [保存ジョブの削除](#)
- [ジョブアカウントの目的でプリンタに送信される情報](#)

## はじめに

以下に、USB フラッシュドライブに保存されるドキュメントを作成および印刷する手順について説明します。これらのジョブは、後で印刷したり、プライベートで印刷したりすることができます。

## 保存ジョブの作成 (Windows)

プライベート印刷または遅延印刷のために、USB フラッシュドライブにジョブを保存します。

1. ソフトウェアプログラムから、**[印刷]** オプションを選択します。
2. プリンタの一覧からこのプリンタを選択し、**[プロパティ]** または **[ユーザー設定]** を選択します。

 **注記：** ボタンの名前はソフトウェアプログラムの種類によって異なります。

Windows 10、8.1、および 8 の場合、これらのアプリケーションには、デスクトップアプリケーション用に、以下に示すものとは異なる機能を含むレイアウトが用意されます。スタート画面のアプリケーションから印刷機能にアクセスするには、次の手順を実行します。

- **Windows 10:** **[印刷]** を選択し、プリンタを選択します。
- **Windows 8.1 または Windows 8:** **[デバイス]** を選択し、**[印刷]** を選択してから、プリンタを選択します。

HP PCL-6 V4 ドライバの場合、**[その他の設定]** を選択すると、HP AiO プリンタのリモートアプリケーションが追加のドライバ機能をダウンロードします。


3. **[ジョブ保存]** タブをクリックします。
4. **[ジョブ保存モード]** オプションを選択します。
  - **[[試し刷り後に保留]]：** ジョブを 1 部試し刷りしてから、追加の部数を印刷できます。
  - **[[Personal Job]] (個人ジョブ)：** ジョブは、ユーザーがプリンタのコントロールパネルで印刷を指示するまで印刷されません。このジョブ保存モードでは、**[ジョブをプライベート/セキュアに設定]** オプションのいずれか 1 つを選択できます。個人識別番号 (PIN) をジョブに割り当てる場合は、コントロールパネルで必要な PIN を入力する必要があります。ジョブを暗号化した場合は、コントロールパネルで必要なパスワードを入力する必要があります。この印刷ジョブは印刷後にメモリから削除され、プリンタの電源を切ると失われます。

- **[[Quick Copy]]**(クイックコピー) : 指定した部数だけジョブを印刷し、後で再度印刷できるようにプリンタのメモリにジョブを保存します。
  - **[[保存ジョブ]]** : プリンタにジョブを保存して、他のユーザーが後でいつでもそのジョブを印刷できるようにします。このジョブ保存モードでは、**[[ジョブをプライベート/セキュアに設定]]** オプションのいずれか1つを選択できます。個人識別番号 (PIN) をジョブに割り当てた場合は、そのジョブを印刷するユーザーがコントロールパネルで必要な PIN を入力する必要があります。ジョブを暗号化した場合は、そのジョブを印刷するユーザーがコントロールパネルで必要なパスワードを入力する必要があります。
5. カスタムユーザー名またはジョブ名を使用するには、**[[ユーザー設定]]** ボタンをクリックして、ユーザー名またはジョブ名を入力します。
- 別の保存ジョブに同じ名前が付いている場合に使用するオプションを選択します。
- **[[ジョブ名と1 ~ 99までの数値を使用する]]** : 固有の番号をジョブ名の末尾に追加します。
  - **[[既存のファイルを置換]]** : 既存の保存ジョブを新しいジョブで上書きします。
6. **[[OK]]** ボタンをクリックして、**[[文書のプロパティ]]** ダイアログ ボックスを閉じます。**[[印刷]]** ダイアログ ボックスで、**[[印刷]]** ボタンをクリックして、ジョブを印刷します。

## 保存ジョブの作成 (macOS)

プライベート印刷または遅延印刷のために、USB フラッシュドライブにジョブを保存します。

1. **[[ファイル]]** メニューをクリックし、**[[印刷]]** オプションをクリックします。
2. **[[プリンタ]]** メニューで、このプリンタを選択します。
3. デフォルトで、プリントドライバに **[[部数とページ]]** メニューが表示されます。ドロップダウンリストを開いて、**[[ジョブ保存]]** メニューをクリックします。

 **注記** : **[[ジョブ保存]]** メニューが表示されない場合は、印刷ウィンドウをいったん閉じて再度開いて、メニューをアクティブにします。


4. **[[モード]]** ドロップダウン リストで、保存するジョブの種類を選択します。
  - **[[試し刷り後に保留]]** : ジョブを1部試し刷りしてから、追加の部数を印刷できます。
  - **[[Personal Job]]** (個人ジョブ) : ジョブは、ユーザーがプリンタのコントロールパネルで印刷を指示するまで印刷されません。個人識別番号 (PIN) がジョブに割り当てられている場合は、コントロールパネルで必要な PIN を入力します。この印刷ジョブは印刷後にメモリから削除され、プリンタの電源を切ると失われます。
  - **[[Quick Copy]]**(クイックコピー) : 指定した部数だけジョブを印刷し、後で再度印刷できるようにプリンタのメモリにジョブを保存します。
  - **[[保存ジョブ]]** : プリンタにジョブを保存して、他のユーザーが後でいつでもそのジョブを印刷できるようにします。個人識別番号 (PIN) がジョブに割り当てられている場合は、そのジョブを印刷するユーザーがコントロールパネルで必要な PIN を入力する必要があります。
5. カスタムユーザー名またはジョブ名を使用するには、**[[ユーザー設定]]** ボタンをクリックして、ユーザー名またはジョブ名を入力します。

別の保存ジョブが同じ名前の場合に使用するオプションを選択します。

- [[ジョブ名と1～99までの数値を使用する]]：固有の番号をジョブ名の末尾に追加します。
  - [[既存のファイルを置換]]：既存の保存ジョブを新しいジョブで上書きします。
6. 手順4で[保存ジョブ]または[個人ジョブ]オプションを選択した場合、PINでジョブを保護できます。[印刷用のPINを使用]フィールドに4桁の番号を入力します。他のユーザーがこのジョブを印刷しようとする、このPIN番号の入力を求められます。
  7. [印刷]ボタンをクリックして、ジョブを処理します。

## 保存ジョブの印刷

次の手順に従って、プリンタのメモリに保存されているジョブを実行します。

1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、印刷アプリケーションに移動し、次に印刷アイコンを選択します。
2. ジョブ保存から印刷を選択します。
3. 選択を選択し、ジョブが保存されているフォルダの名前を選択します。
4. ジョブの名前を選択します。ジョブがプライベートであるか暗号化されている場合、PINまたはパスワードを入力する必要があります。
5. 部数を調整するには、画面の左下隅にある[部数]フィールドを選択します。キーパッドを使用して、印刷する部数を入力します。
6. [スタート]  または印刷を選択して、ジョブを印刷します。


## 保存ジョブの削除

プリンタに保存した文書が不要になったら、その文書を削除することができます。また、プリンタに保存するジョブの最大数を調整できます。

- [プリンタに保存されているジョブを削除](#)
- [ジョブ保存の制限を変更](#)

### プリンタに保存されているジョブを削除

コントロールパネルを使用して、プリンタのメモリに保存されているジョブを削除します。

1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、**印刷** アプリケーションに移動し、次に **印刷** アイコンを選択します。
2. **ジョブ保存から印刷** を選択します。
3. **選択** を選択し、ジョブが保存されているフォルダの名前を選択します。
4. ジョブの名前を選択します。ジョブがプライベートであるか暗号化されている場合、PIN またはパスワードを入力する必要があります。
5. **ゴミ箱**  ボタンを選択してジョブを削除します。

### ジョブ保存の制限を変更

新しいジョブをプリンタのメモリに保存するとき、ユーザー名とジョブ名が一致するジョブが既に存在していると、そのジョブは上書きされます。プリンタの空き容量が不足している場合に新規の保存ジョブを送信すると、最も古い保存ジョブから順に削除されます。

プリンタに保存できるジョブ数を変更するには、次の手順を実行します。

1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、**設定** アプリケーションに移動し、**設定** アイコンを選択します。
2. 以下のメニューを開きます。
  - **コピー/印刷** または **印刷**
  - **保存ジョブの管理**
  - **一時的なジョブ保存制限**
3. キーパッドを使用して、プリンタで保存するジョブ数を入力します。
4. **OK** または **完了** を選択して、この設定を保存します。

### ジョブアカウントの目的でプリンタに送信される情報

クライアント (PC など) のドライバから送信される印刷ジョブでは、個人を識別できる情報が HP の印刷およびイメージングデバイスに送信されることがあります。この情報には、印刷デバイスの管理者の決定に従って、ジョブアカウントの目的で使用できるジョブの発行元のユーザー名とクライアント名が含まれることがあります (ただしそれに限定されるわけではありません)。ジョブ保存機能を使用する場合、この同じ情報が印刷デバイスの大容量デバイス (ディスクドライブなど) にジョブとともに格納されることもあります。



# モバイル印刷

- [はじめに](#)
- [Wi-Fi、Wi-Fi Direct 印刷、NFC、および BLE 印刷](#)
- [HP ePrint \(電子メール使用\)](#)
- [AirPrint](#)
- [Android 内蔵印刷](#)

## はじめに

HP は、ラップトップ、タブレット、スマートフォン、またはその他のモバイルデバイスから HP プリンタで簡単に印刷できるように、複数のモバイル印刷ソリューションを提供しています。完全版リストを閲覧して最適な選択を行うには、[www.hp.com/go/LaserJetMobilePrinting](http://www.hp.com/go/LaserJetMobilePrinting) を参照してください。

## Wi-Fi、Wi-Fi Direct 印刷、NFC、および BLE 印刷

- [ワイヤレス印刷を有効にする](#)
- [Wi-Fi Direct 名の変更](#)

HP では、サポートされている HP Jetdirect 3100w BLE/NFC/Wireless Accessory 搭載のプリンタ向けに、Wi-Fi Direct 印刷、ニア フィールド通信印刷 (NFC)、および Bluetooth Low Energy (BLE) 印刷の機能を提供しています。このアクセサリは、HP プリンタ用のハードウェア統合ポケット (HIP) を含むオプションとして提供されています。

これらの機能を使用すると、ワイヤレスルーターを使用せずに、Wi-Fi 対応 (モバイル) デバイスを直接プリンタにワイヤレスネットワーク接続できます。

このモバイルウォークアップ印刷は、プリンタがネットワークに接続されていなくても機能します。

Wi-Fi Direct 印刷を使用すると、以下のデバイスからワイヤレスに印刷できます。

- Apple AirPrint を使用する iPhone、iPad、iPod Touch
- Android 内蔵印刷ソリューションを使用する Android モバイルデバイス





ワイヤレス印刷の詳細については、[www.hp.com/go/LaserJetMobilePrinting](http://www.hp.com/go/LaserJetMobilePrinting) にアクセスしてください。

NFC、BLE、および Wi-Fi Direct 印刷機能は、プリンタのコントロールパネルから有効/無効を切り替えることができます。

### ワイヤレス印刷を有効にする

1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、**設定** アプリケーションに移動し、**設定** アイコンを選択します。
2. 以下のメニューを開きます。
  - [ネットワークング](#)
  - [Wi-Fi Direct](#)
  - [ステータス](#)
3. **オン** を選択して、**OK** を選択し、ワイヤレス印刷を有効にします。

### Wi-Fi Direct 名の変更

 **注記:** 複数の同一プリンタ モデルが設置されている環境では、HP Wi-Fi Direct 印刷でプリンタを識別しやすくするため、各プリンタに固有の Wi-Fi Direct 名を指定すると便利です。[情報]  アイコンを選択して、[ネットワーク]  アイコンまたは [ワイヤレス]  アイコンを選択すると、ワイヤレスネットワーク名 (ワイヤレス、Wi-Fi Direct など) が情報画面に表示されます。

プリンタの Wi-Fi Direct 名を変更するには、次の手順に従ってください。

1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、**設定** アプリケーションに移動し、**設定** アイコンを選択します。
2. 以下のメニューを開きます。

- ネットワーキング
  - Wi-Fi Direct
  - Wi-Fi Direct 名
3. キーボードを使用して、[Wi-Fi Direct 名] テキスト フィールドの名前を変更して、[OK] を選択します。



## HP ePrint (電子メール使用)

HP ePrint を使用すると、電子メール対応デバイスからプリンタの電子メールアドレスに電子メールの添付ファイルとして文書を送信し、印刷できます。


HP ePrint を使用するには、プリンタが次の要件を満たしている必要があります。

- プリンタが有線ネットワークかワイヤレス ネットワークに接続されていて、インターネットにアクセスできる必要があります。
- [HP Web サービス] をプリンタで有効にし、プリンタを HP Connected に登録する必要があります。

以下の手順を使用して、HP Web サービスを有効にし、HP に接続してプリンタを登録します。

1. HP 内蔵 Web サーバ(EWS) を開きます。
  - a. プリンタのコントロールパネル上のホーム画面から、[情報]  アイコン、[ネットワーク]  アイコンの順に選択して、IP アドレスまたはホスト名を表示します。
  - b. プリンタと同じネットワーク上のコンピュータから、Web ブラウザを開きます。プリンタのコントロールパネルに表示されているのと同じ IP アドレスまたはホスト名をアドレスバーに正確に入力します。コンピュータのキーボードの **Enter** キーを押します。EWS が開きます。


---

 **注記** : Web サイトへのアクセスが安全でない可能性があることを示すメッセージが Web ブラウザに表示された場合は、Web サイトへのアクセスを続行するオプションを選択してください。この Web サイトへのアクセスによってコンピュータが損害を受けることはありません。

---

2. [HP Web サービス] タブをクリックします。
3. Web サービスを有効にするオプションを選択します。

---

 **注記** : Web サービスを有効にするのに数分かかる場合があります。

---

4. [www.hpconnected.com](http://www.hpconnected.com) にアクセスして HP ePrint アカウントを作成し、セットアップ手順を完了します。


## AirPrint

Apple の AirPrint を使った直接印刷は、iOS、および macOS 10.7 Lion 以降を実行する Mac コンピュータでサポートされています。次のモバイルアプリケーションで、iPad、iPhone (3GS 以降)、または iPod touch (第 3 世代以降) からプリンタに直接印刷するには、AirPrint を使用します。

- メール
- 写真
- Safari
- iBooks
- 選択したサードパーティのアプリケーション

AirPrint を使用するには、プリンタが Apple デバイスと同じネットワーク (サブネット) に接続されている必要があります。AirPrint の使用方法と AirPrint に対応する HP プリンタの詳細については、[www.hp.com/go/MobilePrinting](http://www.hp.com/go/MobilePrinting) を参照してください。

---

 **注記** : USB 接続で AirPrint を使用する前に、バージョン番号を確認してください。AirPrint バージョン 1.3 以前は、USB 接続をサポートしていません。

---

## Android 内蔵印刷

HP の Android および Kindle 用内蔵印刷ソリューションにより、ネットワーク上または Wi-Fi Direct 印刷のワイヤレス範囲に存在する HP プリンタを、自動的に検出して印刷することが可能となります。

印刷ソリューションは、多くのバージョンのオペレーティングシステムに内蔵されています。

---

 **注記** : デバイスで印刷が使用できない場合、[Google Play > Android アプリケーション](#) に進んで、HP のプリント サービス プラグインをインストールします。

---

Android 埋め込み印刷ソリューションの使い方と、対応する Android デバイスの詳細については、[www.hp.com/go/MobilePrinting](http://www.hp.com/go/MobilePrinting) を参照してください。

## USB フラッシュ ドライブからの印刷

このプリンタはイージー アクセスUSB 印刷機能を備えているため、コンピュータからファイルを送信せずにすばやくファイルを印刷できます。

- [USB ポートを有効化して印刷](#)
- [USB からの文書の印刷](#)

コントロールパネルの近くにある USB ポートには、標準の USB フラッシュ ドライブを接続できます。対応するファイルタイプ：

- .pdf
- .prn
- .pcl
- .ps
- .cht

## USB ポートを有効化して印刷

USB ポートは、デフォルトで無効になっています。この機能を使用する際は、USB ポートを有効にしてください。



- [方法 1: プリンタのコントロールパネルから USB ポートを有効化](#)
- [方法 2: HP 内蔵 Web サーバから USB ポートを有効化 \(ネットワークに接続しているプリンタのみ\)](#)

ポートを有効にするには、次のいずれかの方法を実行します。


### 方法 1: プリンタのコントロールパネルから USB ポートを有効化

1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、**設定** アプリケーションに移動し、**設定** アイコンを選択します。
2. 以下のメニューを開きます。
  - **コピー/印刷** または **印刷**
  - **デバイス USB の有効化**
3. USB ポートを有効にするには、**有効** を選択します。

### 方法 2: HP 内蔵 Web サーバから USB ポートを有効化 (ネットワークに接続しているプリンタのみ)

1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面から、**[情報]**  アイコン、**[ネットワーク]**  アイコンの順に選択して、IP アドレスまたはホスト名を表示します。
2. Web ブラウザを開き、プリンタのコントロールパネルに表示されている IP アドレスをアドレスバーに正確に入力します。コンピュータのキーボードの **Enter** キーを押します。EWS が開きます。

---

 **注記** : EWS を開こうとしたときに Web ブラウザに **[この Web サイトのセキュリティ証明書に問題があります]** というメッセージが表示された場合、**[このサイトの閲覧を続行する (推奨されません)]** をクリックします。

**[このサイトの閲覧を続行する (推奨されません)]** を選択しても、HP プリンタの EWS 内を参照している限り、コンピュータを損傷することはありません。


---

3. MFP モデルの場合は **[コピー/印刷]** タブ、SFP モデルの場合は **[印刷]** タブを選択します。
4. 左側のメニューで、**[USB ドライブからの印刷の設定]** を選択します。
5. **[USB ドライブからの印刷を有効化]** を選択します。
6. **[適用]** をクリックします。

## USB からの文書の印刷

1. USB フラッシュドライブをイーザーアクセス USB ポートに挿入します。


---

 **注記**：ポートにカバーが付いている場合があります。一部のプリンタについては、カバーはフリップ式です。その他のプリンタのカバーは、まっすぐ引いて取り外す形式です。


---

2. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、**印刷** アプリケーションに移動し、次に **印刷** アイコンを選択します。
3. **USB ドライブから印刷** を選択します。
4. **選択** を選択し、印刷する文書の名前を選択し、**選択** を選択します。

---

 **注記**：文書はフォルダ内にある場合があります。必要に応じてフォルダを開きます。

---

5. 部数を調整するには、**印刷** ボタンの左側のボックスをタッチし、表示されるキーパッドでコピーの部数を選択します。キーパッドを閉じるには、[閉じる]  ボタンを選択します。
6. **印刷** を選択して、文書を印刷します。

## 高速 USB 2.0 ポート (有線) を使用して印刷する

- [高速 USB ポートを有効化して印刷する](#)



## 高速 USB ポートを有効化して印刷する

このプリンタには、有線 USB 印刷用の高速 USB 2.0 ポートがあります。ポートはインタフェースポートにあり、デフォルトでは無効になっています。ポートを有効にするには、次のいずれかの方法を実行します。ポートが有効になったら、このポートを使用して印刷するために、製品ソフトウェアをインストールします。

- [方法 1: プリンタのコントロールパネルメニューから高速 USB 2.0 ポートを有効化](#)
- [方法 2: HP 内蔵 Web サーバから高速 USB 2.0 ポートを有効化 \(ネットワークに接続しているプリンタのみ\)](#)



### 方法 1: プリンタのコントロールパネルメニューから高速 USB 2.0 ポートを有効化


コントロールパネルを使用して、ポートを有効化します。


1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、**設定** アプリケーションに移動し、**設定** アイコンを選択します。
2. 以下のメニューを開きます。
  - **全般**
  - **デバイス USB の有効化**
3. **有効化** オプションを選択します。

### 方法 2: HP 内蔵 Web サーバから高速 USB 2.0 ポートを有効化 (ネットワークに接続しているプリンタのみ)

ポートを有効にするには、HP EWS を使用します。

1. プリンタの IP アドレスを見つけます。プリンタのコントロールパネルで、**[情報]**  ボタンを選択し、**[ネットワーク]**  アイコンを選択して、IP アドレスまたはホスト名を表示します。
2. Web ブラウザを開き、プリンタのコントロールパネルに表示されている IP アドレスをアドレスバーに正確に入力します。コンピュータのキーボードの **Enter** キーを押します。EWS が開きます。

 <https://10.10.XX.XXX/>

 **注記:** Web サイトへのアクセスが安全でない可能性があることを示すメッセージが Web ブラウザに表示された場合は、Web サイトへのアクセスを続行するオプションを選択してください。この Web サイトへのアクセスによってコンピュータが損害を受けることはありません。

3. **[セキュリティ]** タブを選択します。
4. 画面の左側で、**[一般セキュリティ]** を選択します。
5. **[ハードウェア ポート]** まで下にスクロールし、次の両方の項目を有効にするチェックボックスをオンにします。
  - **[デバイス USB の有効化]**
  - **[ホスト USB プラグアンドプレイの有効化]**
6. **[適用]** をクリックします。



## 5 コピー

プリンタでコピーし、両面の文書のコピー方法を確認し、Web 上の補足的なコピー タスクを特定します。

- [コピーする](#)
- [両面コピーする](#)
- [補足的なコピー タスク](#)

ビデオ アシスタンスについては、[www.hp.com/videos/LaserJet](http://www.hp.com/videos/LaserJet) を参照してください。

以下の情報は、発行時点で正確なものです。最新の詳細は、[www.hp.com/support/ljM528mfp](http://www.hp.com/support/ljM528mfp) を参照してください。


詳細は、[次を参照してください](#)。

お使いのプリンタに関する HP の包括的なヘルプには次の情報が含まれています。

- 設置と設定
- 学習と使用
- 問題の解決
- ソフトウェアのダウンロードとファームウェアの更新
- サポート フォーラムへの参加
- 保証および規制に関する情報の検索

### コピーする

1. 文書を下向きにしてスキャナのガラス面に置くか、文書を上に向けて文書フィーダにセットしてから文書サイズに合わせて用紙ガイドを調整します。
2. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、[コピー](#) アプリケーションに移動し、次に [コピー](#) アイコンを選択します。
3. [オプション](#) ペインで、部数を選択します。
4. コピーするイメージの種類に合わせて最適化するには、[テキスト/画像の最適化](#) を選択します。テキスト、グラフィックス、写真。次のいずれかの事前定義オプションを選択します。
5. プレビュー機能を使用する前に、黄色い三角形のマークが付いたオプションを設定します。

 **注記**：これらのオプションは、プレビュー スキャン後、メインの **オプション** リストから削除され、**事前スキャンオプション** リストにまとめられます。これらのオプションのいずれかを変更するには、プレビューを破棄して、最初からやり直します。

プレビュー機能の使用はオプションです。

6. 文書をプレビューするには、画面の右ペインをタッチします。プレビュー画面で、画面右側にあるボタンを使用して、プレビュー オプションを調整したり、ページを順序変更、回転、挿入または削除したりします。



2 ページ表示とサムネイル表示を切り替えるには、これらのボタンを使用します。サムネイル表示では、2 ページ表示よりも多くのオプションを使用できます。



選択したページをズームインまたはズームアウトするには、これらのボタンを使用します。

**注記**：これらのボタンを使用するときは、一度に1つのページのみを選択します。



ページを 180 度回転するには、このボタンを使用します。

**注記**：このボタンは、サムネイル表示でのみ使用できます。



選択したページを削除するには、このボタンを使用します。

**注記**：このボタンは、サムネイル表示でのみ使用できます。



文書内のページの順序を変更するには、これらのボタンを使用します。1つまたは複数のページを選択し、右または左に移動します。

**注記**：これらのボタンは、サムネイル表示でのみ使用できます。



文書にページを追加するには、このボタンを使用します。プリンタに、その他のページをスキャンするメッセージが表示されます。




プレビューで加えた変更をクリアして最初からやり直すには、このボタンを使用します。

7. 文書の準備が整ったら、**スタート** をタッチしてコピーを開始します。

## 両面コピーする

1. 文書を下向きにしてスキャナのガラス面に置くか、文書を上に向けて文書フィーダにセットしてから文書サイズに合わせて用紙ガイドを調整します。
2. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、**コピー** アプリケーションに移動し、次に **コピー** アイコンを選択します。
3. **オプション** ペインで、**片面原稿/両面原稿**を選択して、原稿について説明するオプションを選択します。
  - **自動検出** を使用して、原稿のページが片面印刷か、両面印刷かを検出することができます。
  - ページの片面のみに印刷されている原稿については、**片面** を使用します。
  - 本のような、ページの左端または右端が綴じられている原稿については、**両面 (製本スタイル)** を使用します。イメージが縦向きの場合は、出力されたページの綴じ向きは長辺側になります。イメージが横向きの場合は、出力されたページの綴じ向きは短辺側になります。
  - カレンダのような、ページの上部または下部が綴じられている原稿については、**両面 (綴込みスタイル)** を使用します。イメージが縦向きの場合は、出力されたページの綴じ向きは短辺側になります。イメージが横向きの場合は、出力されたページの綴じ向きは長辺側になります。
4. [出力面] を選択して、これらのオプションのいずれかを選択します。
  - **原稿と同じ** : 出力ページの形式が、原稿と同じになります。たとえば、原稿が片面であれば、出力ページも片面になります。ただし、管理者によって片面印刷が制限されており、原稿が片面である場合は、出力コピーは両面 (製本スタイル) になります。
  - **片面** : 出力コピーは片面になります。ただし、管理者によって片面印刷が制限されている場合は、出力コピーは両面 (製本スタイル) になります。
  - **両面 (製本スタイル)** : 出力コピーは、本のように、右端または左端が綴じられた状態になります。イメージが縦向きの場合は、出力されたページの綴じ向きは長辺側になります。イメージが横向きの場合は、出力されたページの綴じ向きは短辺側になります。
  - **両面 (綴込みスタイル)** : 出力コピーは、本のように、上部または下部が綴じられた状態になります。イメージが縦向きの場合は、出力されたページの綴じ向きは短辺側になります。イメージが横向きの場合は、出力されたページの綴じ向きは長辺側になります。
5. プレビュー機能を使用する前に、黄色い三角形のマークが付いたオプションを設定します。

---

 **注記** : これらのオプションは、プレビュー スキャン後、メインの **オプション** リストから削除され、**事前スキャンオプション** リストにまとめられます。これらのオプションのいずれかを変更するには、プレビューを破棄して、最初からやり直します。

プレビュー機能の使用はオプションです。

---
6. 文書をプレビューするには、画面の右ペインをタッチします。プレビュー画面で、画面右側にあるボタンを使用して、プレビュー オプションを調整したり、ページを順序変更、回転、挿入または削除したりします。



2ページ表示とサムネイル表示を切り替えるには、これらのボタンを使用します。サムネイル表示では、2ページ表示よりも多くのオプションを使用できません。



選択したページをズームインまたはズームアウトするには、これらのボタンを使用します。

**注記：**これらのボタンを使用するときは、一度に1つのページのみを選択します。



ページを180度回転するには、このボタンを使用します。

**注記：**このボタンは、サムネイル表示でのみ使用できます。



選択したページを削除するには、このボタンを使用します。

**注記：**このボタンは、サムネイル表示でのみ使用できます。



文書内のページの順序を変更するには、これらのボタンを使用します。1つまたは複数のページを選択し、右または左に移動します。

**注記：**これらのボタンは、サムネイル表示でのみ使用できます。



文書にページを追加するには、このボタンを使用します。プリンタに、その他のページをスキャンするメッセージが表示されます。



プレビューで加えた変更をクリアして最初からやり直すには、このボタンを使用します。

7. 文書の準備が整ったら、**スタート** をタッチしてコピーを開始します。

## 補足的なコピー タスク

一般的なコピー タスクを実行するための Web 上の情報を確認します。

[www.hp.com/support/ljM528mfp](http://www.hp.com/support/ljM528mfp) にアクセスします。

たとえば、以下のようなコピー タスクの手順を参照できます。

- 本またはその他の綴じられた文書のページのコピーまたはスキャン
- 複数のサイズが混在する原稿のコピー

- IDカードの両面のコピーまたはスキャン
- 文書をブックレット形式でコピーまたはスキャンします。





## 6 スキャン

ソフトウェアを使用してスキャンするか、電子メール、USB フラッシュドライブ、ネットワークフォルダ、または別の宛先に直接スキャンします。

- [\[スキャンして電子メールで送信\]のセットアップ](#)
- [\[スキャンデータをネットワークフォルダに送信\]のセットアップ](#)
- [\[スキャンして SharePoint® に保存\]のセットアップ \(Flow モデルのみ\)](#)
- [\[スキャンして USB ドライブに保存\]のセットアップ](#)
- [スキャンして電子メールで送信](#)
- [スキャンしてジョブ保存](#)
- [スキャンデータをネットワークフォルダに送信](#)
- [スキャンして SharePoint に保存](#)
- [スキャンして USB ドライブに保存](#)
- [HP JetAdvantage ビジネスソリューションの使用](#)
- [補足的なスキャンタスク](#)

ビデオ アシスタンスについては、[www.hp.com/videos/LaserJet](http://www.hp.com/videos/LaserJet) を参照してください。

以下の情報は、発行時点で正確なものです。最新の詳細は、[www.hp.com/support/ljM528mfp](http://www.hp.com/support/ljM528mfp) を参照してください。

詳細は、[次を参照してください](#)。

お使いのプリンタに関する HP の包括的なヘルプには次の情報が含まれています。

- [設置と設定](#)
- [学習と使用](#)
- [問題の解決](#)
- [ソフトウェアのダウンロードとファームウェアの更新](#)
- [サポート フォーラムへの参加](#)
- [保証および規制に関する情報の検索](#)

# [スキャンして電子メールで送信]のセットアップ

このプリンタは、文書をスキャンして、そのスキャンデータを1つ以上の電子メールアドレスに送信する機能を備えています。

- [はじめに](#)
- [作業を開始する前に](#)
- [手順1: HP 内蔵 Web サーバ \(EWS\) にアクセス](#)
- [手順2: \[ネットワーク ID\] 設定の設定](#)
- [手順3: \[電子メールへの送信\] 機能の設定](#)
- [手順4: クイックセットの設定 \(オプション\)](#)
- [手順5: Office 365 Outlook を使用するための \[電子メールへの送信\] のセットアップ \(オプション\)](#)

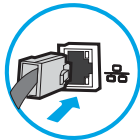
## はじめに

このスキャン機能を使用するには、プリンタをネットワークに接続する必要があります。この機能は設定されるまで利用できません。[スキャンして電子メールで送信]を設定するには、基本的な[スキャンして電子メールで送信セットアップウィザード]と高度な[電子メールセットアップ]の2つの方法があります。

以下の情報を使用して、スキャンして電子メールで送信 機能を設定してください。


## 作業を開始する前に

スキャンして電子メールで送信 機能をセットアップするには、プリンタにアクティブなネットワーク接続が存在している必要があります。




管理者は、設定プロセスを開始する前に以下の情報が必要です。

- プリンタへの管理者アクセス権
- DNS サフィックス (例: companyname.com)
- SMTP サーバ (例: smtp.mycompany.com)



 **注記:** SMTP サーバ名、SMTP ポート番号、または認証情報がわからない場合は、電子メール/インターネット サービス プロバイダまたはシステム管理者にお問い合わせください。SMTP サーバ名とポート番号は、通常はインターネットを検索すればわかります。たとえば、「Gmail smtp サーバ名」や「Yahoo smtp サーバ名前」などで検索します。


- 認証に使用されるユーザー名とパスワード (該当する場合) を含む、送信電子メール メッセージの SMTP サーバ認証要件

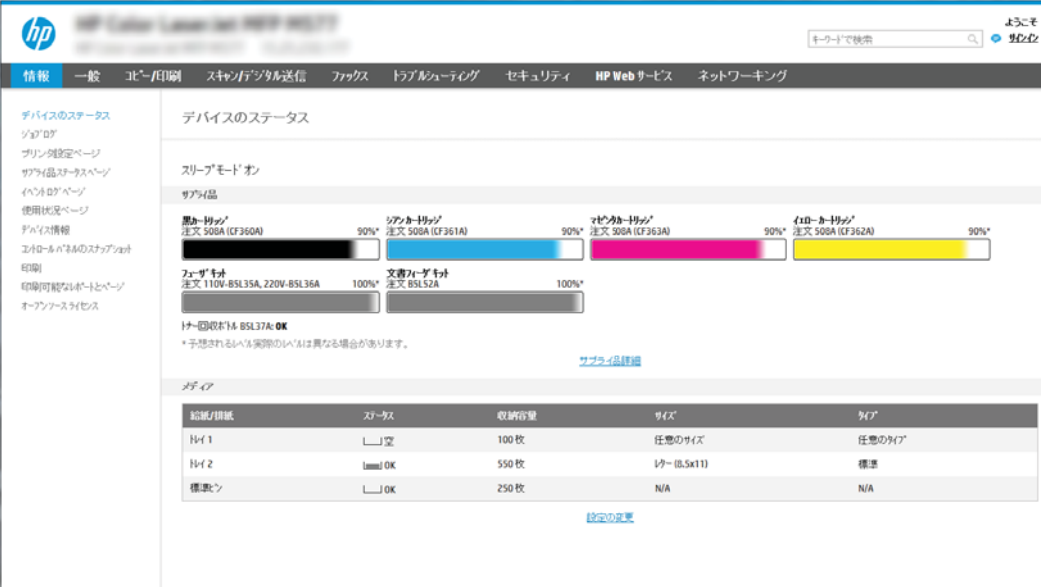
 **注記:** 電子メール アカウントのデジタル送信制限の詳細については、電子メール サービス プロバイダのマニュアルを参照してください。プロバイダによっては送信制限を超えると、一時的にアカウントがロックされる場合があります。

## 手順1 : HP 内蔵 Web サーバ (EWS) にアクセス

EWS を開き、セットアッププロセスを開始します。

1. プリンタのコントロールパネル上の[ホーム]画面から、[情報]  アイコン、[ネットワーク]  アイコンの順にタッチして、IP アドレスまたはホスト名を表示します。
2. Web ブラウザを開き、プリンタのコントロールパネルに表示されているのと同じ IP アドレスまたはホスト名をアドレスバーに正確に入力します。コンピュータのキーボードの **Enter** キーを押します。EWS が開きます。


 **注記:** Web サイトへのアクセスが安全でない可能性があることを示すメッセージが Web ブラウザに表示された場合は、Web サイトへのアクセスを続行するオプションを選択してください。この Web サイトへのアクセスによってコンピュータが損害を受けることはありません。




The screenshot shows the HP Embedded Web Server (EWS) interface. The top navigation bar includes tabs for '情報' (Information), '一般' (General), 'コピー/印刷' (Copy/Print), 'スキャン/デジタル送信' (Scan/Digital Send), 'ファックス' (Fax), 'トラブルシューティング' (Troubleshooting), 'セキュリティ' (Security), 'HP Web サービス' (HP Web Services), and 'ネットワーク' (Network). The main content area is titled 'デバイスのステータス' (Device Status) and includes sections for 'スリープモード' (Sleep Mode), 'サブライム' (Sublimation), 'メディア' (Media), and 'トナー' (Toner). The 'サブライム' section shows four ink levels: Black (90%), Cyan (90%), Magenta (90%), and Yellow (90%). The 'メディア' section shows a table of paper trays.

給紙/排紙	ステータス	収納容量	サイズ	タイプ
トレイ 1	空	100 枚	任意のサイズ	任意のタイプ
トレイ 2	OK	550 枚	4-1/2 x 11	標準
標準トレイ	OK	250 枚	N/A	N/A

## 手順2 : [ネットワーク ID] 設定の設定

 **注記:** [ネットワーク] タブでの電子メールセットアップの設定は、高度なプロセスであり、システム管理者の支援が必要になる可能性があります。


1. EWS の最上部のナビゲーションタブを使用して、[ネットワーク] をクリックします。

 **注記:** Office 365 を使用したネットワーク設定 : [88 ページの手順 5 : Office 365 Outlook を使用するための \[電子メールへの送信\] のセットアップ \(オプション\)](#)

2. 左側のナビゲーションウィンドウで [TCP/IP 設定] をクリックします。EWS の [ネットワーク ID] タブにアクセスするには、ユーザー名/パスワードが必要な場合があります。
3. [TCP/IP 設定] ダイアログで、[ネットワーク ID] タブをクリックします。

4. ネットワークで DNS が必要な場合は、[TCP/IP ドメイン サフィックス] 領域で、使用する電子メールクライアントの DNS サフィックスが表示されていることを確認します。DNS サフィックスの形式は、*companyname.com*、*gmail.com* などの形式になります。

The screenshot shows the HP ePrint Web Services interface for TCP/IP Settings. The 'Network Identification' tab is active. The 'TCP/IP Domain Suffix' section is highlighted with a blue box. It contains a 'DNS Suffixes' list and an 'Add' button. Below this is the 'WINS (IPv4 only)' section with 'Primary' and 'Secondary' input fields. The 'Bonjour' section has a 'Bonjour Service Name' input field. At the bottom right, there are 'Apply' and 'Cancel' buttons.

 **注記：**ドメイン名サフィックスがセットアップされていない場合は、IP アドレスを使用します。

5. **[[適用]]** をクリックします。
6. **[[OK]]** をクリックします。

### 手順3 : [電子メールへの送信] 機能の設定


[電子メールへの送信] を設定するには、基本的な設定の [電子メールセットアップウィザード] と高度な設定の [電子メールセットアップ] の2つのオプションがあります。[電子メールへの送信] 機能を設定するには、次のオプションを使用します。

- [方法1: \[電子メールセットアップウィザード\] を使用した基本的な設定](#)
- [方法2: 電子メールセットアップを使用した高度な設定](#)

#### 方法1: [電子メールセットアップウィザード] を使用した基本的な設定

このオプションにより、基本的な設定のために、HP 内蔵 Web サーバ (EWS) で [電子メールセットアップウィザード] が開きます。

1. EWS 上部のナビゲーションタブを使用して、[スキャン/デジタル送信] をクリックします。
2. 左側のナビゲーションウィンドウで、[ネットワークフォルダへのメール送信とスキャンのクイック設定ウィザード] をクリックします。
3. [ネットワークフォルダへのメール送信とスキャンのクイック設定ウィザード] ダイアログで、[電子メールセットアップ] リンクをクリックします。


 **注記:** [スキャンして電子メールで送信] 機能が無効であることを示すメッセージが表示された場合、[続行] をクリックして設定を続け、完了時に [スキャンして電子メールで送信] 機能を有効にします。



4. [電子メールサーバ (SMTP) を設定] ダイアログで、次のいずれかのオプションを選択して、手順を実行します。

#### オプション1: 電子メールで既に使用しているサーバを使用する

- ▲ [電子メールで既に使用しているサーバを使用する] を選択し、[次へ] をクリックします。


 **注記:** このオプションを使用すると、ファイアウォール内の送信 SMTP サーバのみ検出されます。


## オプション 2: 送信電子メール サーバのネットワークを検索

- a. [送信電子メール サーバのネットワークを検索] を選択し、[次へ] をクリックします。
- b. 適切なサーバを [電子メール サーバ (SMTP) を設定] リストから選択し、[次へ] をクリックします。
- c. サーバの認証要件、
  - [サーバによる認証が不要]: [サーバによる認証が不要] を選択し、[次へ] をクリックします。  
-または-
  - [サーバに認証が必要です]: ドロップダウン リストから、認証オプションを選択します。
    - o [コントロールパネルでのサインイン後に、ユーザー認証情報を使用して接続する]: [コントロールパネルでのサインイン後に、ユーザー認証情報を使用して接続する] を選択し、[次へ] をクリックします。  
-または-
    - o [常にこれらの認証情報を使用する]: [常にこれらの認証情報を使用する] を選択し、[ユーザー名] と [パスワード] を入力し、[次へ] をクリックします。

## オプション 3: SMTP サーバの追加

- a. [SMTP サーバの追加] を選択します。
- b. [サーバ名] と [ポート番号] を入力し、[次へ] をクリックします。


 **注記:** ほとんどの場合、デフォルトのポート番号を変更する必要はありません。

 **注記:** Gmail などのホスト SMTP サービスを使用している場合は、サービス プロバイダの Web サイトまたはその他のソースで SMTP アドレス、ポート番号、および SSL 設定を確認します。通常、Gmail の場合、SMTP アドレスは smtp.gmail.com、ポート番号は 465 で、SSL は有効にする必要があります。

オンラインソースを参照してこれらのサーバ設定が最新であり、設定の時点で有効である必要があります。

- c. 適切なサーバ認証オプションを選択します。
  - [サーバによる認証が不要]: [サーバによる認証が不要] を選択し、[次へ] をクリックします。  
-または-
  - [サーバに認証が必要です]: [サーバに認証が必要です] ドロップダウン リストからオプションを選択します。
    - o [コントロールパネルでのサインイン後に、ユーザー認証情報を使用して接続する]: [コントロールパネルでのサインイン後に、ユーザー認証情報を使用して接続する] を選択し、[次へ] をクリックします。  
-または-
    - o [常にこれらの認証情報を使用する]: [常にこれらの認証情報を使用する] を選択し、[ユーザー名] と [パスワード] を入力し、[次へ] をクリックします。

5. **[電子メールの設定]** ダイアログで、差出人の電子メールアドレスに関して以下の情報を入力し、**[次へ]** をクリックします。

 **注記:** **[差出人]**、**[件名]**、および**[メッセージ]** フィールドを設定するとき、**[ユーザーによる編集が可能]** チェック ボックスをオフにすると、電子メールを送信する際、ユーザーはプリンタ コントロールパネルで該当するフィールドを編集できません。

[Option (オプション)]	説明
<b>[送信元]</b> (必須)	<p><b>[差出人]</b> ドロップダウン リストから次のいずれかのオプションをタッチします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>[ユーザーのアドレス (サインインが必要)]</b></li> <li>• <b>[デフォルトの差出人]: [デフォルトの差出人電子メールアドレス] と [デフォルト表示名]</b> フィールドにデフォルトの電子メールアドレスと表示名を入力します。</li> </ul> <p><b>注記:</b> プリンタの電子メールアカウントを作成し、このアドレスをデフォルトの電子メールアドレスとして使用します。</p> <p><b>注記:</b> ユーザーがサインインしなければ電子メール機能を使用できないように設定します。これにより、ユーザーは自分のものでないアドレスから電子メールを送信できなくなります。</p>
<b>[件名]</b> (オプション)	電子メール メッセージのデフォルトの件名を入力します。
<b>[メッセージ]</b> (オプション)	<p>カスタムのメッセージを作成します。</p> <p>プリンタから送信するすべての電子メールにこのメッセージを使用するには、<b>[メッセージ]</b> の <b>[ユーザーによる編集が可能]</b> チェック ボックスをオフにします。</p>

6. **[ファイル スキャン設定を設定]** 領域で、デフォルトのスキャン設定を設定し、**[次へ]** をクリックします。


[Option (オプション)]	説明
<b>[ファイルタイプ]</b>	<p>スキャンした文書のデフォルトのファイルタイプを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>[PDF]</b></li> <li>• <b>[JPEG]</b></li> <li>• <b>[TIFF]</b></li> <li>• <b>[MTIFF]</b></li> <li>• <b>[.XPS]</b></li> <li>• <b>[PDF/A]</b></li> </ul>
<b>[カラー/モノクロ]</b>	<p>スキャンした文書のデフォルトのカラー設定を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>[カラー]</b></li> <li>• <b>[黒]</b></li> <li>• <b>[黒/グレー]</b></li> <li>• <b>[自動検出]</b></li> </ul>

[Option (オプション)]	説明
[品質およびファイルサイズ]	<p>スキャンした文書のデフォルトの出力品質を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• [低 (ファイルサイズ小)]</li> <li>• [標準]</li> <li>• [高 (ファイルサイズ大)]</li> </ul>
[解像度]	<p>スキャンした文書のデフォルトのスキャン解像度を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• [75dpi]</li> <li>• [150dpi]</li> <li>• [200dpi]</li> <li>• [300dpi]</li> <li>• [400dpi]</li> <li>• [600dpi]</li> </ul>

7. [サマリ] 領域を確認し、[終了] をクリックしてセットアップを完了します。

## 方法 2: 電子メールセットアップを使用した高度な設定

1. EWS 上部のナビゲーションタブを使用して [スキャン/デジタル送信] をクリックし、左側のナビゲーションウィンドウで [電子メールセットアップ] をクリックします。

 **注記:** デフォルトでは、[電子メールセットアップ] ページに [スキャンして電子メールで送信] セットアップの基本的な設定が表示されます。追加設定にアクセスするには、ページの下部にある [詳細設定] ボタンをクリックします。


2. [電子メールセットアップ] ダイアログで、[電子メールへの送信の有効化] チェックボックスをオンにします。このチェックボックスをオンにしないと、プリンタのコントロールパネルでこの機能を使用できません。







3. [送信電子メールサーバ(SMTP)]領域で、次のいずれかのオプションの手順を実行します。


- 表示されたサーバのいずれかを選択
- [次へ]をクリックして、SMTP ウィザードを開始します。
  1. SMTP ウィザードで、次のいずれかのオプションを選択します。
    - オプション 1: [SMTP サーバアドレスまたはホスト名 (わかっている場合)]: SMTP サーバのアドレスを入力し、[次へ]をクリックします。
    - オプション 2: SMTP サーバのアドレスが不明な場合は、[送信電子メールサーバのネットワークを検索]を選択して、[次へ]をクリックします。サーバを選択し、[次へ]をクリックします。

 **注記:** SMTP サーバが別のプリンタ機能向けに既に作成されている場合は、[別の機能で既に使用しているサーバを使用する]オプションが表示されます。このオプションを選択して電子メール機能に使用するよう設定します。

2. [サーバに接続するために必要な基本情報を設定します]ダイアログで、使用するオプションを設定し、[次へ]をクリックします。

 **注記:** 一部のサーバでは、5MB より大きい電子メールの送受信で問題が発生します。このような問題は、[このサイズより大きい場合電子メールを分割 (MB 単位)]に数字を入力することにより回避できます。


 **注記:** ほとんどの場合、デフォルトのポート番号を変更する必要はありません。ただし、SMTP SSL プロトコルの有効化 オプションを使用する場合は、ポート 587 を使用する必要があります。

 **注記:** 電子メールサービスに Google™ Gmail を使用している場合は、[SMTP SSL プロトコルの有効化]チェックボックスをオンにします。通常、Gmail の場合、SMTP アドレスは smtp.gmail.com、ポート番号 465 で SSL は有効にする必要があります。


オンラインソースを参照してこれらのサーバ設定が最新であり、設定の時点で有効である必要があります。

3. [サーバ認証要件]ダイアログで、サーバの認証要件、

- [サーバによる認証が不要]を説明するオプションを選択し、[次へ]をクリックします。
- [サーバによる認証が必要]
  - ドロップダウン ボックスから、[コントロールパネルでのサインイン後に、ユーザー認証情報を使用して接続する]を選択し、[次へ]をクリックします。
  - ドロップダウン ボックスから、[常にこれらの認証情報を使用する]を選択し、[ユーザー名]と[パスワード]を入力し、[次へ]をクリックします。

 **注記:** サインインしたユーザーの認証情報を使用する場合、プリンタのコントロールパネルで、ユーザーによるサインインが必要になるように電子メールを設定します。[セキュリティ]タブの[アクセス制御]ダイアログにある[サインインおよび権限ポリシー]領域の[デバイスゲスト]列で電子メールのチェックボックスをオフにして、電子メールへのデバイスゲストアクセスを拒否します。チェックボックスのアイコンがチェックマークからロックに変更されます。

4. **[サーバ使用状況]** ダイアログで、この SMTP サーバ経由で電子メールを送信するプリンタ機能を選択し、**[次へ]** ボタンをクリックします。

 **注記:** サーバが認証を要求する場合は、プリンタから自動警告とレポートを送信するためのユーザー名とパスワードが必要になります。

5. **[概要およびテスト]** ダイアログの**[テスト電子メールの宛先:]** フィールドに有効な電子メールアドレスを入力して**[テスト]** をクリックします。
6. すべての設定が正しいことを確認し、**終了** をクリックして、送信電子メールサーバのセットアップを完了します。

4. **[アドレス/メッセージフィールド制御]** 領域に**[差出人:]** 設定とその他のオプション設定を入力します。


#### [アドレス/メッセージフィールド制御] 設定

機能	説明
<b>[アドレスフィールドの制限]</b>	<p>ユーザーがアドレス帳から電子メールアドレスを選択する必要があるか、またはユーザーが手動で電子メールアドレスを入力できるかを指定します。</p> <p><b>注意:</b> <b>[ユーザーによるアドレス帳からの選択が必要]</b> が選択されていて、アドレスフィールドのいずれかが<b>[ユーザーによる編集が可能]</b> に設定されている場合、編集が可能なフィールドを変更すると、アドレス帳の対応する値も変更されます。</p> <p>ユーザーがプリンタのコントロールパネルでアドレス帳の連絡先を変更できないようにするには、<b>[セキュリティ]</b> タブの<b>[アクセス制御]</b> ページに進み、アドレス帳の変更を目的とした<b>[デバイスゲスト]</b> アクセスを拒否します。</p>
<b>[無効な電子メールアドレス形式を許可]</b>	無効な電子メールアドレス形式を許可する場合に選択します。
<b>[ユーザーによる編集が可能]</b>	<p>(ユーザーがサインインしていない場合) このプリンタから送信するすべての電子メールに<b>[デフォルトの差出人]</b> アドレスと<b>[デフォルト表示名]</b> を使用するには、<b>[ユーザーによる編集が可能]</b> チェックボックスをオンにしないでください。</p> <p>アドレスフィールドを設定する際、<b>[ユーザーによる編集が可能]</b> チェックボックスをオフにしておくと、電子メールの送信時、ユーザーによるプリンタのコントロールパネルでの該当フィールドの編集はできなくなります。自分に送信する機能を使用するには、<b>[ユーザーによる編集が可能]</b> チェックボックスを<b>[差出人:]</b>、<b>[宛先:]</b>、<b>[CC:]</b>、<b>[BCC:]</b> フィールドを含むすべてのアドレスフィールドでオフにして、そのユーザーの電子メール送信の<b>[差出人:]</b> を自分の電子メールアドレスに、<b>[宛先:]</b> を自分の電子メールアドレスに設定します。</p>
<b>[デフォルトの差出人:] および [デフォルトの表示名:]</b>	<p>電子メールメッセージの<b>[差出人:]</b> アドレスに使用する電子メールアドレスと名前を入力します。</p> <p><b>注記:</b> プリンタの電子メールアカウントを作成し、このアドレスをデフォルトの電子メールアドレスとして使用します。</p> <p><b>注記:</b> ユーザーがサインインしなければ電子メール機能を使用できないように設定します。これにより、ユーザーは自分のものでないアドレスから電子メールを送信できなくなります。</p>
<b>[宛先:]</b>	電子メールに宛先(受信者)の電子メールアドレスを入力します。
<b>[CC:]</b>	電子メールに CC する電子メールアドレスを入力します。
<b>[BCC:]</b>	電子メールに BCC する電子メールアドレスを入力します。
<b>[タイトル:]</b>	電子メールメッセージのデフォルトの件名を入力します。

機能	説明
[メッセージ:]	カスタムのメッセージを作成します。プリンタから送信するすべての電子メールにこのメッセージを使用するには、[メッセージ:]の[ユーザーによる編集が可能]チェックボックスをオフにします。

<sup>1</sup> この設定は、[詳細設定] ページでのみ使用可能です。

5. [署名と暗号化] 領域で、署名と暗号化 設定を設定します。


 **注記:** これらの設定は、[詳細設定] ページでのみ使用可能です。

[署名と暗号化] 設定:

機能	説明
[署名]	セキュリティ証明書に署名するかどうかを選択します。 プリンタのコントロールパネルでこの設定を編集可能にするには、[ユーザーによる編集が可能] チェックボックスをオンにします。
[ハッシュ アルゴリズム]	証明書に署名するために使用するアルゴリズムを選択します。
[暗号化]	電子メールを暗号化するかどうかを選択します。 プリンタのコントロールパネルでこの設定を編集可能にするには、[ユーザーによる編集が可能] チェックボックスをオンにします。
[暗号化アルゴリズム]	電子メールの暗号化に使用するアルゴリズムを選択します。
[受信者公開鍵の属性]	LDAP から受信者の公開鍵証明書を取得するためにどの属性を使用するかを入力します。
[受信者の公開鍵証明書を使用して受信者を確認します]	受信者の公開鍵証明書を使用して受信者を確認するには、この設定を選択します。

6. [通知設定] 領域で、送信された電子メールに関する通知をユーザーがいつ受信するかを選択します。デフォルト設定では、サインインしたユーザーの電子メールアドレスが使用されます。受信者の電子メールが空白の場合、通知は送信されません。

7. [スキャン設定] 領域で、デフォルトのスキャン設定を設定します。

 **注記:** これらの設定は、[詳細設定] ページでのみ使用可能です。

[スキャン設定]:

機能	説明
[原稿のサイズ]	原稿のサイズを選択します。
[原稿の面数]	原稿が片面か両面かを選択します。
[テキスト/画像の最適化]	特定のコンテンツタイプの出力を最適化するために選択します。
[内容の向き]	原稿の内容をページ上に配置する方向を選択します。[縦]または[横]。
[背景のクリーンアップ]	背景からぼやけたイメージを削除したり、薄い背景色を削除したりする値を選択します。
[濃さ]	ファイルの濃さを調整する値を選択します。
[コントラスト]	ファイルのコントラストを調整する値を選択します。

機能	説明
[鮮明度]	ファイルの鮮明度を調整する値を選択します。
[画像プレビュー]	ジョブの表示されたプレビューを必須またはオプションにするかまたはプレビューを無効にする場合に選択します。
[トリミングオプション]	ジョブのトリミングを許可するかどうか、およびトリミングオプションのタイプを選択します。
[エッジの消去]	ジョブの表側および裏側で消去するエッジマージンをインチまたはミリメートル単位で指定するためにこの設定を選択します。

8. [ファイル設定] 領域で、デフォルトのファイル設定を設定します。

[ファイル設定] :

機能	説明
[ファイル名プレフィックス] <sup>1</sup>	ネットワークフォルダに保存したファイルに使用されているデフォルトのファイル名プレフィックスを設定します。
[ファイル名]	保存するファイルのデフォルトのファイル名です。  プリンタのコントロールパネルでこの設定を編集可能にするには、[ユーザーによる編集が可能] チェックボックスをオンにします。
[ファイル名サフィックス] <sup>1</sup>	ネットワークフォルダに保存したファイルに使用されているデフォルトのファイル名サフィックスを設定します。  ファイル名が重複した場合のデフォルトのサフィックス[ファイル名]_YYYYMMDDT
[ファイル名プレビュー] <sup>1</sup>	ファイル名を入力し、[プレビューを更新] ボタンをクリックします。
[ファイル番号のフォーマット] <sup>1</sup>	ジョブが複数のファイルに分割されている場合にファイル名形式を選択します。
[ジョブが1つのファイルのみの場合、番号を追加(例: _1-1)] <sup>1</sup>	複数のファイルではなく1つのファイルのみのジョブの場合、この設定を選択してファイル名に番号を追加します。
[ファイルタイプ]	保存したファイルのファイル形式を選択します。  プリンタのコントロールパネルでこの設定を編集可能にするには、[ユーザーによる編集が可能] チェックボックスをオンにします。
[高圧縮(小さいファイル)] <sup>1</sup>	スキャンしたファイルを圧縮してファイルサイズを小さくするには、この設定を選択します。ただし、高圧縮ファイルのスキャンの処理は、通常の圧縮ファイルの処理よりも時間がかかる場合があります。
[PDF 暗号化] <sup>1</sup>	ファイルタイプがPDFの場合、出力PDFファイルを暗号化します。暗号化の一環としてパスワードを指定する必要があります。ファイルを開くには同じパスワードを使用する必要があります。パスワードを設定せずに実行すると、ジョブをスキャンする前にパスワードを入力するよう要求されます。
[解像度]	ファイルの解像度を設定します。解像度が高いほどインチあたりのドット数(dpi)が多くなり、より詳細に表示されます。解像度が低いほどインチあたりのドット数が少なくなりイメージの詳細度は低下しますが、ファイルサイズが小さくなります。
[品質およびファイルサイズ]	ファイルの品質を選択します。高画質のイメージは低画質のイメージよりも大きなファイルサイズが必要になり、送信時間も長くなります。
[カラー/モノクロ]	カラー、黒とグレー、黒のみのいずれでコピーするかを指定します。

機能	説明
[空白ページの省略]	[空白ページの削除] オプションが有効な場合、空白ページは無視されます。
[複数のファイルの作成]	事前に設定した1ファイル当たりの最大ページ数に基づいて、ページを個別のファイルにスキャンするには、この設定を選択します。

<sup>1</sup> この設定は、[詳細設定] ページでのみ使用可能です。

9. 選択したオプションを確認して正確であることを確認し、[適用] をクリックしてセットアップを完了します。

## 手順4 : クイックセットの設定 (オプション)

クイックセットは、メインのホーム画面またはプリンタのクイックセットアプリケーション内でアクセスできるオプションのショートカットジョブです。


1. 左側のナビゲーション ウィンドウの [電子メールセットアップ] 領域で、[クイックセット] をクリックします。
2. 以下のオプションから1つ選択してください。
  - 表のクイックセット アプリケーションで既存のクイックセットを選択します。
  - または-
  - [追加] をクリックし、[クイックセット] ウィザードを開始します。
3. [追加] を選択すると、[クイックセット設定] ページが開きます。次の情報を入力します。
  - [クイックセット名]: 新しいクイックセットのタイトルを入力します。
  - [クイックセットの説明]: クイックセットの説明を入力します。
  - [クイックセット開始オプション]: クイックセットの開始方法を設定するには、[ユーザーは、アプリケーションに入って[スタート]を押します] または [ホーム画面での選択後、直ちに開始します] のいずれかをクリックします。
4. クイックセットに[アドレス/メッセージフィールド制御]、[署名と暗号化]、[通知設定]、[スキャン設定]、[ファイル設定]の各設定を定義します。
5. [終了] をクリックして、クイックセットを保存します。

## 手順 5 : Office 365 Outlook を使用するための [電子メールへの送信] のセットアップ (オプション)

- [はじめに](#)
- [Office 365 Outlook アカウントから電子メールを送信するための送信電子メールサーバ \(SMTP\) の設定](#)

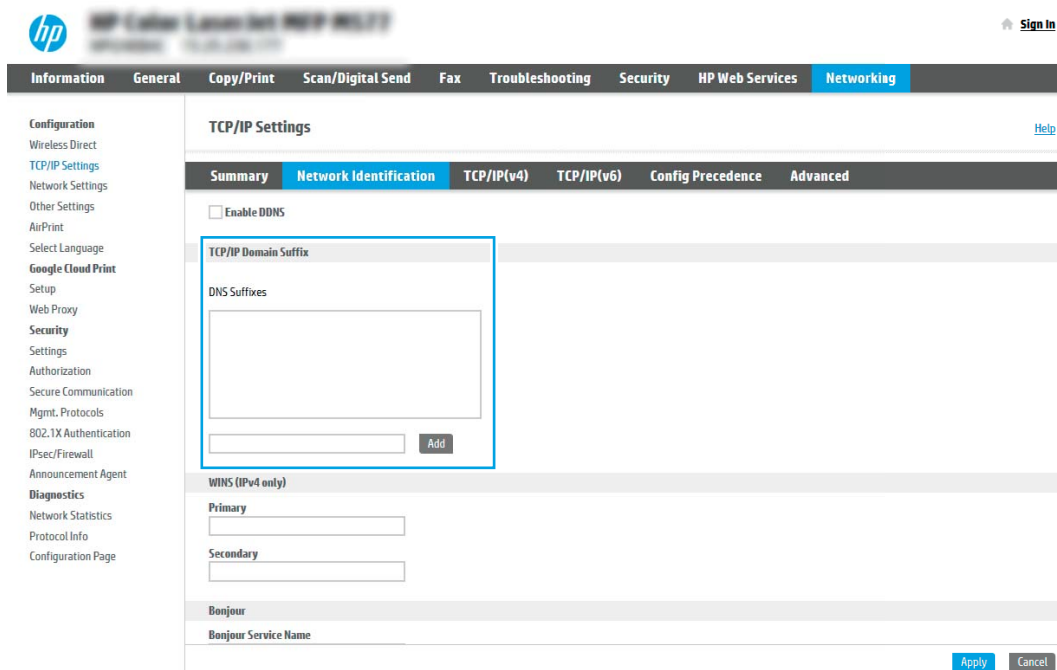
### はじめに


Microsoft Office 365 Outlook は、Microsoft が提供するクラウド ベースの電子メールシステムで、Microsoft の SMTP (Simple mail transfer protocol) サーバを使用して電子メールの送受信を実行します。プリンタで、コントロールパネルから Office 365 Outlook アカウントを使用して電子メールを送信できるようにするには、次を実行します。

 **注記 :** EWS で設定を構成するには、Office 365 Outlook の電子メール アドレス アカウントを持っている必要があります。

### Office 365 Outlook アカウントから電子メールを送信するための送信電子メールサーバ (SMTP) の設定

1. EWS の最上部のナビゲーションタブを使用して、**[ネットワーク]** をクリックします。
2. 左側のナビゲーションウィンドウで **[TCP/IP 設定]** をクリックします。
3. **[TCP/IP 設定]** 領域で、**[ネットワーク ID]** タブをクリックします。
4. ネットワークで DNS が必要な場合は、**[TCP/IP ドメイン サフィックス]** 領域で、使用する電子メールクライアントの DNS サフィックスが表示されていることを確認します。DNS サフィックスの形式は、*companyname.com*、Gmail.com などの形式になります。




 **注記 :** ドメイン名サフィックスがセットアップされていない場合は、IP アドレスを使用します。

5. **[適用]** をクリックします。

6. [スキャン/デジタル送信] タブをクリックします。
7. 左側のナビゲーション ウィンドウで、[電子メールセットアップ] をクリックします。
8. [電子メールセットアップ] ページで、[電子メールへの送信の有効化] チェック ボックスをオンにします。このチェック ボックスが使用できない場合、プリンタのコントロールパネルでこの機能を使用できません。



9. [送信電子メール サーバ (SMTP)] 領域で [追加] をクリックして、SMTP ウィザードを起動します。
10. [SMTP サーバアドレスまたはホスト名 (わかっている場合)] フィールドで、「smtp.onoffice.com」と入力し、[次へ] をクリックします。
11. [サーバに接続するために必要な基本情報を設定します] ダイアログの、[ポート番号] フィールドに「587」と入力します。

 **注記：**一部のサーバでは、5MB より大きい電子メールの送受信で問題が発生します。このような問題は、[このサイズより大きい場合電子メールを分割 (MB 単位)] に数字を入力することにより回避できます。

12. [SMTP SSL プロトコルの有効化] チェック ボックスをオンにして、[次へ] をクリックします。
13. [サーバ認証要件] ダイアログで、次の情報を入力します。
  - a. [サーバに認証が必要です] を選択します。
  - b. ドロップダウン リストで、[常に次の資格証明を使用する:] を選択します。
  - c. [ユーザー名] フィールドに Office 365 Outlook の電子メール アドレスを入力します。
  - d. [パスワード] フィールドに Office 365 Outlook のアカウント パスワードを入力し、[次へ] をクリックします。
14. [サーバ使用状況] ダイアログで、この SMTP サーバ経由で電子メールを送信するプリンタ機能を選択し、[次へ] ボタンをクリックします。

15. **【概要およびテスト】**ダイアログの**【テスト電子メールの宛先：】**フィールドに有効な電子メールアドレスを入力して**【テスト】**をクリックします。
16. すべての設定が正しいことを確認し、**終了**をクリックして、送信電子メールサーバのセットアップを完了します。




# [スキャンデータをネットワークフォルダに送信]のセットアップ

- [はじめに](#)
- [作業を開始する前に](#)
- [手順1：HP内蔵Webサーバ\(EWS\)にアクセス](#)
- [手順2：\[スキャンデータをネットワークフォルダに送信\]のセットアップ](#)

## はじめに


この文書は、スキャンデータをネットワークフォルダに送信する機能を有効にして設定する方法について説明しています。このプリンタは、文書をスキャンして、そのデータをネットワークフォルダに保存する機能を備えています。このスキャン機能を使用するには、プリンタをネットワークに接続する必要があります。この機能は設定されるまで利用できません。[スキャンデータをネットワークフォルダに送信]を設定するには、基本的なセットアップの[[ネットワークフォルダに保存]セットアップウィザード]と高度なセットアップの[[ネットワークフォルダに保存]のセットアップ]の2つの方法があります。

## 作業を開始する前に

 **注記：**スキャンデータをネットワークフォルダに送信する機能をセットアップするには、プリンタにアクティブなネットワーク接続が存在している必要があります。



管理者は、設定プロセスを開始する前に以下の項目が必要です。


- プリンタへの管理者アクセス権
- 宛先フォルダの完全修飾ドメイン名 (FQDN) (例：\\servername.us.companyname.net\scans) またはサーバの IP アドレス (例：\\16.88.20.20\scans)

 **注記：**このコンテキストで使用する「サーバ」という用語は共有フォルダが存在するコンピュータを指します。

## 手順1：HP内蔵Webサーバ(EWS)にアクセス

EWSを開き、セットアッププロセスを開始します。

1. プリンタのコントロールパネル上の[ホーム]画面から、[情報]  アイコン、[ネットワーク]  アイコンの順にタッチして、IPアドレスまたはホスト名を表示します。
2. Webブラウザを開き、プリンタのコントロールパネルに表示されているのと同じIPアドレスまたはホスト名をアドレスバーに正確に入力します。コンピュータのキーボードの **Enter** キーを押します。EWSが開きます。

 **注記：**Webサイトへのアクセスが安全でない可能性があることを示すメッセージがWebブラウザに表示された場合は、Webサイトへのアクセスを続行するオプションを選択してください。このWebサイトへのアクセスによってコンピュータが損害を受けることはありません。

HP Color LaserJet MFP M4277 キーワードで検索 ようこそ

情報 一般 コピー印刷 スキャン/デジタル送信 ファックス トラブルシューティング セキュリティ HP Web サービス ネットワーキング

デバイスのステータス

デバイスのステータス  
[ジョブログ](#)  
[プリンタ設定ページ](#)  
[ソフトウェアステータスページ](#)  
[イベントログページ](#)  
[使用状況ページ](#)  
[デバイス情報](#)  
[エコーモードのステータス](#)  
[印刷](#)  
[印刷可能なレポートとページ](#)  
[オプションサービス](#)

デバイスのステータス

スリープモード オン

サプライ品

<b>黒色トナー</b> 注文 508A (CF360A) 90%*	<b>シアントナー</b> 注文 508A (CF361A) 90%*	<b>マゼンタトナー</b> 注文 508A (CF363A) 90%*	<b>イエロートナー</b> 注文 508A (CF362A) 90%*
<b>フューザキット</b> 注文 110V-B5L35A, 220V-B5L36A 100%*	<b>文書フューザキット</b> 注文 B5L52A 100%*		

トナー回収料は B5L37A OK  
 \*予想されるレベル。実際のレベルは異なる場合があります。

[サプライ品詳細](#)

メディア

紙の種類	ソース	収納容量	サイズ	タイプ
トイ 1	1 空	100 枚	任意のサイズ	任意のタイプ
トイ 2	1mm OK	550 枚	4 <sup>1</sup> / <sub>2</sub> x 11	標準
標準トレイ	1 OK	250 枚	N/A	N/A




[設定の変更](#)

## 手順2:[スキャンデータをネットワークフォルダに送信]のセットアップ


- [方法1:\[スキャンデータをネットワークフォルダに送信ウィザード\]の使用](#)
- [方法2:\[スキャンデータをネットワークフォルダに送信セットアップ\]の使用](#)


### 方法1:[スキャンデータをネットワークフォルダに送信ウィザード]の使用

このオプションにより、プリンタのHP内蔵Webサーバ(EWS)にあるセットアップウィザードが開きます。このセットアップウィザードには、基本的な設定のためのオプションが含まれます。


 **注記:** 作業を開始する前に: プリンタのIPアドレスまたはホスト名を表示するには、プリンタのコントロールパネルで[情報]  アイコンをタッチして、[ネットワーク]  アイコンにタッチします。

1. EWS 上部のナビゲーションタブを使用して、[スキャン/デジタル送信]タブをクリックします。  
[ネットワークフォルダへのメール送信とスキャンのクイック設定ウィザード]ダイアログが開きます。
2. 左側のナビゲーションウィンドウで、[ネットワークフォルダへのメール送信とスキャンのクイック設定ウィザード]をクリックします。
3. [[ネットワークフォルダに保存]クイックセットウィザード]をクリックします。
4. [[ネットワークフォルダに保存]の追加または削除クイックセット]ダイアログで、[追加]をクリックします。

 **注記:** クイックセットは、プリンタのホーム画面またはクイックセットアプリケーション内でアクセスできるショートカットジョブです。


 **注記:** [ネットワークフォルダに保存]機能は、クイックセットを作成しなくても、最小限の設定が可能です。ただし、クイックセットを使用しない場合、ユーザーはコントロールパネルで各スキャンジョブの宛先フォルダの情報を入力する必要があります。クイックセットには、[ネットワークフォルダに保存]のメタデータを含める必要があります。

5. [フォルダクイックセットの追加]ダイアログで、次の情報を入力します。
  - a. [クイックセットタイトル]フィールドにタイトルを入力します。

 **注記:** クイックセットにユーザーがすぐに理解できるような名前を付けます(例:「スキャンしてフォルダに保存」)。
  - b. [クイックセットの説明]フィールドに、クイックセットが保存する内容の説明を追加します。
  - c. [[次へ]]をクリックします。
6. [宛先フォルダの設定]ダイアログで、次の情報を入力します。
  - a. [UNC フォルダパス]フィールドに、スキャンが移動するフォルダパスを入力します。


フォルダパスは、完全修飾ドメイン名(FQDN)(例: \\servername.us.companyname.net\scans)またはサーバのIPアドレス(例: \\16.88.20.20\scans)のいずれも可能です。FQDNまたはIPアドレスの後にフォルダパス(例: \scans)を続けます。

---

 **注記** : FQDN は IP アドレスより信頼性が高いです。サーバが DHCP を通じて IP アドレスを取得する場合、IP アドレスは変更可能です。ただし、プリンタで宛先サーバを見つけるために DNS を使用する必要がないため、IP アドレスでの接続のほうが高速である可能性があります。


---

- b. **[認証設定]** ドロップダウンから、次のいずれかのオプションを選択します。
- **[コントロールパネルでサインオン後、ユーザー資格証明を使用して接続する]**
  - **[常にこれらの認証情報を使用する]**

 **注記** : **[常にこれらの認証情報を使用する]** が選択されている場合、対応するフィールドにユーザー名とパスワードを入力し、**[アクセスの確認]** をクリックして、フォルダへのプリンタのアイコンを確認する必要があります。

---

- c. **[Windows ドメイン]** フィールドに Windows ドメインを入力します。

 **ヒント** : Windows 7 で Windows ドメインを見つけるには、**[スタート]**、**[コントロールパネル]**、**[システム]** の順にクリックします。

Windows 8 で Windows ドメインを見つけるには、**[検索]** をクリックし、検索ボックスに「**システム**」と入力し、**[システム]** をクリックします。

ドメインが **[コンピュータ名、ドメインおよびワークグループの設定]** の下に一覧表示されません。

---

- d. **[[次へ]]** をクリックします。




7. **[ファイル スキャン設定を設定]** ダイアログで、クイックセットのデフォルトのスキャン設定を設定し、**[次へ]** をクリックします。
8. **[サマリ]** ダイアログを確認し、**[終了]** をクリックします。

## 方法2:[スキャンデータをネットワークフォルダに送信セットアップ]の使用

このオプションでは、プリンタ用のHP内蔵Webサーバ(EWS)を使用することにより、[ネットワークフォルダに保存]機能の高度な設定が可能です。

- [手順1: 設定の開始](#)
- [手順2: スキャンデータをネットワークフォルダに送信する設定の構成](#)
- [手順3: 設定の完了](#)

---

 **注記:** 作業を開始する前に: プリンタのIPアドレスまたはホスト名を表示するには、プリンタのコントロールパネルで情報  アイコンをタッチして、ネットワーク  アイコンにタッチします。

---

### 手順1: 設定の開始


1. [スキャン/デジタル送信] タブをクリックします。
2. 左側のナビゲーションメニューで、[スキャンデータをネットワークフォルダに送信セットアップ] リンクをクリックします。


## 手順2：スキャンデータをネットワークフォルダに送信する設定の構成

- [手順1：設定の開始](#)
- [ダイアログ1: コントロールパネルでクイックセット名、説明、およびユーザー操作のためのオプションを設定します。](#)
- [ダイアログ2: フォルダ設定](#)
- [ダイアログ3: 通知設定](#)
- [ダイアログ4: Scan Settings \(スキャンの設定\)](#)
- [ダイアログ5: File Settings \(ファイル設定\)](#)
- [ダイアログ6: サマリ](#)

### 手順1：設定の開始

1. **[[スキャンデータをネットワークフォルダに送信]のセットアップ]** ページで、**[スキャンデータをネットワークフォルダに送信を有効化]** チェック ボックスを選択します。このボックスがオフになっていると、プリンタのコントロールパネルでこの機能を使用できません。
2. 左側のナビゲーションウィンドウの**[スキャンデータをネットワークフォルダに送信]** 領域で、**[クイックセット]** をクリックします。**[クイックセット設定]** ダイアログを開くには、**[追加]** をクリックします。

 **注記：** クイックセットは、プリンタのホーム画面またはクイックセットアプリケーション内でアクセスできるショートカット ジョブです。


 **注記：** **[スキャンデータをネットワークフォルダに送信]** 機能は、クイックセットを作成しなくても、最小限の設定を行うことができます。ただし、クイックセットを使用しない場合、ユーザーはコントロールパネルで各スキャン ジョブの宛先フォルダの情報を入力する必要があります。クイックセットには、**[スキャンデータをネットワークフォルダに送信]** のメタデータを含める必要があります。

**[クイックセット設定]** ですべての設定を指定し、**[スキャンデータをネットワークフォルダに送信]** 機能を完全に設定します。

### ダイアログ1: コントロールパネルでクイックセット名、説明、およびユーザー操作のためのオプションを設定します。

**[コントロールパネルでクイックセットとユーザー操作のためのオプションのボタンの場所を設定します]** ダイアログを使用して、**[クイックセット]** ボタンがプリンタのコントロールパネルのどこに表示されるかを設定し、プリンタのコントロールパネルでのユーザー操作のレベルを設定します。

1. **[クイックセット名]** フィールドにタイトルを入力します。


 **注記：** クイックセットにユーザーがすぐに理解できるような名前を付けます (例: 「スキャンしてフォルダに保存」)。

2. **[クイックセットの説明]** フィールドに、クイックセットが保存する内容の説明を追加します。
3. **[クイックセット開始オプション]** リストから、次のいずれかのオプションを選択します。
  - オプション1: **[アプリケーションに入ってからユーザーが[開始]を押します]**
  - オプション2: **[選択後、直ちに開始します]**

以下のプロンプトから1つ選択してください。

- [原稿側のプロンプト]
- [追加ページのプロンプト]
- プレビューが必要

---

 **注記:** [選択後、直ちに開始します]が選択されている場合は、次の手順で宛先フォルダを入力する必要があります。

---

4. [[次へ]]をクリックします。

## ダイアログ 2: フォルダ設定

[ファイル設定] ダイアログを使用して、スキャンした文書を送信するフォルダのタイプを設定します。

- [スキャンした文書の宛先フォルダの設定](#)
- [宛先フォルダのアクセス権の選択](#)

宛先フォルダは次の 2 つのタイプから選択できます。

- 共有フォルダまたは FTP フォルダ
- 個人用共有フォルダ

フォルダのアクセス権は次の 2 つのタイプから選択できます。

- 読み取り/書き込みアクセス権
- 書き込みアクセス権のみ

以下の情報では、フォルダ設定を構成する方法について説明します。



The screenshot shows the HP Scan software interface. The main window is titled 'クイックセット設定' (Quick Set Settings). On the left, there is a navigation pane with various settings categories. The main content area is titled 'フォルダ設定' (Folder Settings). It contains the following text and options:

標準の共有フォルダは、宛先がSMB/シリア/UNCパスです。個人共有フォルダのパスは、ユーザーがサインインした後で取得されます。Microsoft Active Directoryで指定されているユーザーのホームフォルダ。

共有フォルダまたは FTP フォルダに保存

[追加] [キャンセル] [OK]

個人用共有フォルダに保存

フォルダパスを作成するには、ユーザーサインインとそのユーザーに固有の情報が必要です。

読み取り/書き込みアクセス権を持つフォルダにのみ送信

このオプションは、フォルダの検証とシリアの通知をサポートしています。

シリア開始前のフォルダアクセスの確認

オフにするとシリアをすばやく保存できますが、フォルダが使用できない場合はシリアが失敗する可能性があります。

書き込みアクセス権のみを持つフォルダへの送信を許可

このオプションは、フォルダの検証またはシリアの通知をサポートしていません。

At the bottom right, there are buttons for '前へ' (Previous), '次へ' (Next), '終了' (End), and 'キャンセル' (Cancel).



## スキャンした文書の宛先フォルダの設定

- [オプション1: プリンタを設定して共有フォルダまたはFTP フォルダに保存](#)
- [オプション2: プリンタを設定して個人用共有フォルダに保存](#)

宛先フォルダを設定するには、次のオプションのいずれかを選択します。

### オプション1: プリンタを設定して共有フォルダまたはFTP フォルダに保存

スキャンした文書を標準共有フォルダまたはFTP フォルダに保存するには、以下の手順を実行します。

1. まだ選択されていない場合は、**[共有フォルダまたはFTP フォルダに保存]**を選択します。
2. **[追加...]**をクリックします。**[ネットワーク フォルダパスの追加]**ダイアログが開きます。
3. **[ネットワーク フォルダパスの追加]**ダイアログで、次のいずれかのオプションを選択します。
  - オプション1:**[標準共有ネットワーク フォルダに保存]**

The screenshot shows the HP printer's web interface. The main heading is 'Quick Setup'. Under 'Add Network Folder', the 'Standard Shared Network Folder' option is selected. The 'UNC Folder Path' field is empty. The 'IP Address' field is empty. The 'Domain' dropdown menu is set to 'None'. There are 'OK' and 'Cancel' buttons at the bottom right.

**注記**：共有ネットワーク フォルダの作成に関する詳細については、[共有フォルダの設定 \(c04431534\)](#) を参照してください。

1. まだ選択されていない場合は、**[標準共有ネットワーク フォルダに保存]**を選択します。
2. **[UNC フォルダパス]** フィールドにフォルダパスを入力します。

フォルダパスは、完全修飾ドメイン名 (FQDN) (例：\\servername.us.companyname.net \scans) またはサーバの IP アドレス (例：\\16.88.20.20\scans) のいずれも可能です。FQDN または IP アドレスの後にフォルダパス (例：\scans) を続けます。


**注記**：FQDN は IP アドレスより信頼性が高いです。サーバが DHCP を通じて IP アドレスを取得する場合、IP アドレスは変更可能です。ただし、プリンタで宛先サーバを見つけるために DNS を使用する必要がないため、IP アドレスでの接続のほうが高速である可能性があります。

3. 宛先フォルダにスキャンした文書のサブフォルダを自動的に作成するには、**[カスタムサブフォルダ]** リストからサブフォルダ名の形式を選択します。

サブフォルダへのアクセスをスキャン ジョブを作成したユーザーに限定するには、**[サブフォルダへのアクセスをユーザーに限定]**を選択します。

4. スキャンした文書の完全なフォルダパスを表示するには、**[プレビューを更新]**をクリックします。
5. **[認証設定]** リストから、次のいずれかのオプションを選択します。
  - **[コントロールパネルでサインオン後、ユーザー資格証明を使用して接続する]**
  - **[常にこれらの認証情報を使用する]**


---

 **注記:** **[常にこれらの認証情報を使用する]** が選択されている場合、対応するフィールドにユーザー名とパスワードを入力する必要があります。

---


6. **[Windows ドメイン]** フィールドに Windows ドメインを入力します。


---

 **注記:** Windows 7 で Windows ドメインを見つけるには、**[スタート]**、**[コントロールパネル]**、**[システム]** の順にクリックします。

Windows 8 で Windows ドメインを見つけるには、**[検索]** をクリックし、検索ボックスに「**システム**」と入力し、**[システム]** をクリックします。

ドメインが**[コンピュータ名、ドメインおよびワークグループの設定]**の下に一覧表示されます。

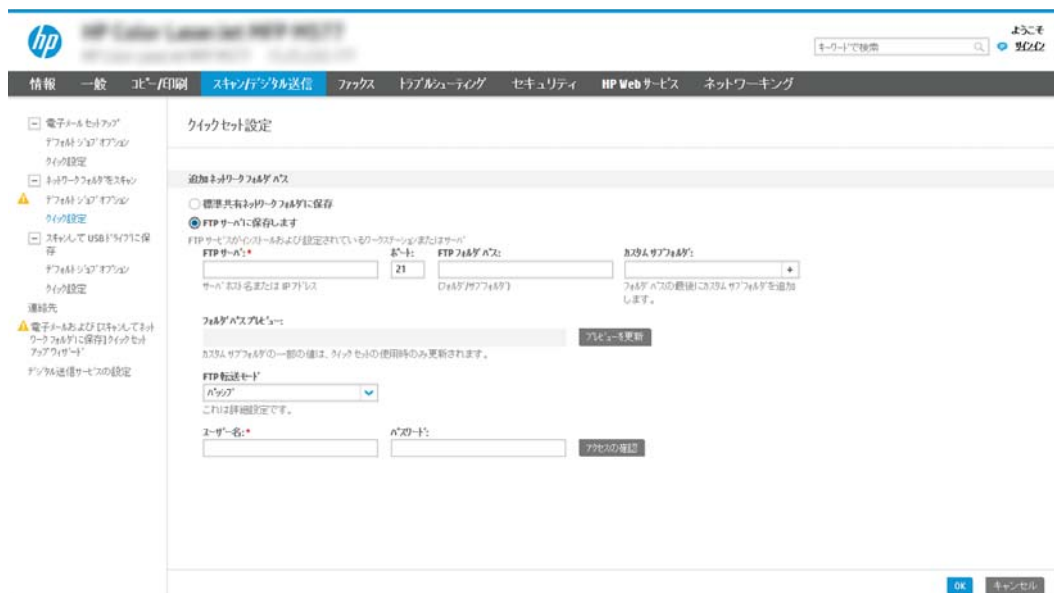
 **注記:** すべてのユーザーがアクセスできるように共有フォルダが設定されている場合、ワークグループ名(デフォルトは「Workgroup」です)、ユーザー名、およびパスワードの値を対応するフィールドに入力する必要があります。ただし、フォルダが公開フォルダでなく特定のユーザーのフォルダ内に存在する場合、そのユーザーのユーザー名とパスワードを使用する必要があります。


 **注記:** コンピュータ名の代わりに、IP アドレスが必要になる場合があります。多くのホーム ルーターではコンピュータ名を処理できることが少なく、ドメイン ネーム サーバー (DNS) もありません。この場合、新しい IP アドレスを割り当てる DHCP の問題を軽減するため、共有 PC に静的 IP アドレスを設定することをお勧めします。通常のホーム ルーターでこの設定を行うには、同じサブネット上にあるが DHCP アドレス範囲内にはない静的 IP アドレスを設定します。

---

7. **[OK]** をクリックします。

- オプション 2: FTP サーバに保存



 **注記:** FTP サイトがファイアウォールの外側にある場合は、ネットワーク設定でプロキシサーバを指定する必要があります。これらの設定は、[EWS ネットワーク] タブの [詳細設定] オプションの下にあります。

1. [FTP サーバに保存] を選択します。
2. [FTP サーバ] フィールドに FTP サーバ名または IP アドレスを入力します。
3. [ポート] フィールドにポート番号を入力します。


 **注記:** ほとんどの場合、デフォルトのポート番号を変更する必要はありません。

4. 宛先フォルダにスキャンした文書のサブフォルダを自動的に作成するには、[カスタム サブフォルダ] リストからサブフォルダ名の形式を選択します。
5. スキャンした文書の完全なフォルダパスを表示するには、[プレビューを更新] をクリックします。
6. [FTP 転送モード] リストから、次のいずれかのオプションを選択します。
  - [パッシブ]
  - [アクティブ]
7. [ユーザー名] フィールドに、ユーザー名を入力します。
8. [パスワード] フィールドに、パスワードを入力します。
9. [アクセスの確認] をクリックして、宛先にアクセスできることを確認します。
10. [[OK]] をクリックします。

## オプション2: プリンタを設定して個人用共有フォルダに保存

スキャンした文書を個人用共有フォルダに保存するには、以下の手順を実行します。


---

 **注記**：このオプションは、管理者が各ユーザーの共有フォルダを設定するドメイン環境で使用します。個人用共有フォルダに保存する機能が設定されている場合、ユーザーはWindows 認証情報またはLDAP 認証を使用して、プリンタのコントロールパネルでサインインするように要求されます。

---

1. [個人用共有フォルダに保存] を選択します。
2. [この属性を使用してデバイスユーザーの名前を取得] フィールドに、Microsoft Active Directory でユーザーのホーム フォルダを入力します。

---

 **注記**：ユーザーがこのホーム フォルダのネットワーク上の場所を把握していることを確認します。

---

3. フォルダパスの末尾にユーザー名サブフォルダを追加するには、[ユーザー名に基づいてサブフォルダを作成] を選択します。

サブフォルダへのアクセスをスキャン ジョブを作成したユーザーに限定するには、[サブフォルダへのアクセスをユーザーに限定] を選択します。


## 宛先フォルダのアクセス権の選択

- [オプション 1: 読み取り/書き込みアクセス権の設定](#)
- [オプション 2: 書き込みアクセス権のみを設定する](#)


宛先フォルダのアクセス権を設定するには、次のオプションのいずれかを選択します。

### オプション 1: 読み取り/書き込みアクセス権の設定

スキャンした文書を読み取り/書き込みアクセス権が設定されたフォルダに送信するには、以下の手順を実行します。

 **注記:** [\[読み取り/書き込みアクセス権を持つフォルダにのみ送信\]](#) は、フォルダの検証とジョブ通知をサポートします。


1. まだ選択されていない場合は、[\[読み取り/書き込みアクセス権を持つフォルダにのみ送信\]](#) を選択します。
2. スキャン ジョブを開始する前に、プリンタでフォルダ アクセスの確認を行う必要がある場合は、[\[ジョブ開始前のフォルダ アクセスの確認\]](#) を選択します。


 **注記:** [\[ジョブ開始前のフォルダ アクセスの確認\]](#) が選択されていないほうが、スキャン ジョブは迅速に完了できます。ただし、フォルダが利用できない場合は、スキャン ジョブが失敗します。

3. [\[\[次へ\]\]](#) をクリックします。

### オプション 2: 書き込みアクセス権のみを設定する

スキャンした文書を書き込みのアクセス許可のみがあるフォルダに送信するには、以下の手順を実行します。

 **注記:** [\[書き込みのアクセス許可のみがあるフォルダへの送信を許可する\]](#) は、フォルダの検証とジョブ通知をサポートしません


 **注記:** このオプションがオンになっていると、プリンタでスキャン ファイル名のインクリメントは実行されません。すべてのスキャンに同じファイル名を送信します。

スキャン ファイル名の時刻関連のファイル名プレフィックスまたはサフィックスを選択し、各スキャンが一意的なファイルとして保存され、前のファイルを上書きしないようにします。このファイル名は、クイックセット ウィザードの [\[ファイル設定\]](#) ダイアログの情報によって指定されます。

1. [\[書き込みのアクセス許可のみがあるフォルダへの送信を許可する\]](#) を選択します。
2. [\[\[次へ\]\]](#) をクリックします。

### ダイアログ 3: 通知設定

▲ [\[通知設定\]](#) ダイアログで、次のいずれかのタスクを完了します。

 **注記:** 通知電子メールを送信するには、電子メール ジョブを送信するため SMTP サーバを使用するようプリンタがセットアップされている必要があります。電子メールを送信するための SMTP サーバの設定の詳細については、[\[電子メールをスキャン\]のセットアップ](#) (c04017973) を参照してください。

- オプション 1: [\[通知しない\]](#)

1. [通知しない] を選択します。
  2. ユーザーが通知設定を確認するように求めるには、[ジョブを開始する前にユーザーに通知] を選択し、[次へ] をクリックします。
- オプション 2: [ジョブの完了時に通知する]
    1. [ジョブの完了時に通知する] を選択します。
    2. [通知の送信に使用する方法] リストから通知を送信する方法を選択します。  
 選択されている通知方法が [電子メール] である場合、[通知電子メールアドレス] フィールドに電子メールアドレスを入力します。
    3. 通知に最初にスキャンしたページのサムネイル画像を含めるには、[サムネイルを含める] を選択します。
    4. ユーザーが通知設定を確認するように求めるには、[ジョブを開始する前にユーザーに通知] を選択し、[次へ] をクリックします。
  - オプション 3: [ジョブの失敗時にのみ通知する]
    1. [ジョブの失敗時にのみ通知する] を選択します。
    2. [通知の送信に使用する方法] リストから通知を送信する方法を選択します。  
 選択されている通知方法が [電子メール] である場合、[通知電子メールアドレス] フィールドに電子メールアドレスを入力します。
    3. 通知に最初にスキャンしたページのサムネイル画像を含めるには、[サムネイルを含める] を選択します。
    4. ユーザーが通知設定を確認するように求めるには、[ジョブを開始する前にユーザーに通知] を選択し、[次へ] をクリックします。

#### ダイアログ 4: Scan Settings (スキャンの設定)

[スキャン設定] ダイアログで、クイックセットのデフォルトのスキャン設定を設定し、[次へ] をクリックします。

[スキャン設定] :

機能	説明
[原稿のサイズ]	原稿のサイズを選択します。
[原稿の面数]	原稿が片面か両面かを選択します。
[テキスト/画像の最適化]	特定のコンテンツタイプの出力を最適化するために選択します。
[内容の向き]	原稿の内容をページ上に配置する方向を選択します。[縦] または [横]。
[背景のクリーンアップ]	背景からぼやけたイメージを削除したり、薄い背景色を削除したりする値を選択します。
[濃さ]	ファイルの濃さを調整する値を選択します。
[コントラスト]	ファイルのコントラストを調整する値を選択します。
[鮮明度]	ファイルの鮮明度を調整する値を選択します。

機能	説明
[画像プレビュー]	ジョブの表示されたプレビューを必須またはオプションにするかまたはプレビューを無効にする場合に選択します。
[トリミングオプション]	ジョブのトリミングを許可するかどうか、およびトリミングオプションのタイプを選択します。
[エッジの消去]	ジョブの表側および裏側で消去するエッジマージンをインチまたはミリメートル単位で指定するためにこの設定を選択します。

## ダイアログ 5: File Settings (ファイル設定)

[ファイル設定] ダイアログで、クイックセットのデフォルトのファイル設定を設定し、[次へ]をクリックします。

[ファイル設定]:

機能	説明
[ファイル名プレフィックス]	ネットワークフォルダに保存したファイルに使用されているデフォルトのファイル名プレフィックスを設定します。
[ファイル名]	保存するファイルのデフォルトのファイル名です。  プリンタのコントロールパネルでこの設定を編集可能にするには、[ユーザーによる編集が可能] チェックボックスをオンにします。
[ファイル名サフィックス]	ネットワークフォルダに保存したファイルに使用されているデフォルトのファイル名サフィックスを設定します。
[ファイル名プレビュー]	ファイル名を入力し、[プレビューを更新] ボタンをクリックします。
[ファイル番号のフォーマット]	ジョブが複数のファイルに分割されている場合にファイル名形式を選択します。
[ジョブが1つのファイルのみの場合、番号を追加 (例: _1-1)]	複数のファイルではなく1つのファイルのみのジョブの場合、この設定を選択してファイル名に番号を追加します。
[ファイルタイプ]	保存したファイルのファイル形式を選択します。  プリンタのコントロールパネルでこの設定を編集可能にするには、[ユーザーによる編集が可能] チェックボックスをオンにします。
[高圧縮 (小さいファイル)]	スキャンしたファイルを圧縮してファイルサイズを小さくするには、この設定を選択します。ただし、高圧縮ファイルのスキャンの処理は、通常の圧縮ファイルの処理よりも時間がかかる場合があります。
[PDF 暗号化]	ファイルタイプがPDFの場合、出力PDFファイルを暗号化します。暗号化の一環としてパスワードを指定する必要があります。ファイルを開くには同じパスワードを使用する必要があります。パスワードを設定せずに実行すると、ジョブをスキャンする前にパスワードを入力するよう要求されます。
[解像度]	ファイルの解像度を設定します。解像度が高いほどインチあたりのドット数 (dpi) が多くなり、より詳細に表示されます。解像度が低いほどインチあたりのドット数が少なくなりイメージの詳細度は低下しますが、ファイルサイズが小さくなります。
[品質およびファイルサイズ]	ファイルの品質を選択します。高画質のイメージは低画質のイメージよりも大きなファイルサイズが必要になり、送信時間も長くなります。
[カラー/モノクロ]	カラー、黒とグレー、黒のみのいずれかでコピーするかを指定します。

機能	説明
[空白ページの省略]	[空白ページの削除] オプションが有効な場合、空白ページは無視されます。
[メタデータファイル形式]	ドロップダウンリストを使用して、メタデータ情報のファイル形式を選択します。
[複数のファイルの作成]	事前に設定した1ファイル当たりの最大ページ数に基づいて、ページを個別のファイルにスキャンするには、この設定を選択します。

## ダイアログ 6: サマリ

[概要] ダイアログで、[概要] ダイアログを確認し、[終了] をクリックします。

### 手順 3 : 設定の完了

1. 左側のナビゲーションウィンドウで、[スキャンデータをネットワークフォルダに送信] をクリックします。
2. [スキャンデータをネットワークフォルダに送信] ページで、選択されている設定を確認し、[適用] をクリックしてセットアップを完了します。



# [スキャンして SharePoint® に保存] のセットアップ (Flow モデルのみ)

[スキャンして SharePoint® に保存] を使用して、文書をスキャンして直接 Microsoft® SharePoint サイトに送ります。この機能により、文書をネットワーク フォルダ、USB フラッシュドライブ、または電子メール メッセージにスキャンして、ファイルを手動で SharePoint サイトにアップロードする手間がかりません。


- [はじめに](#)
- [作業を開始する前に](#)
- [手順 1 : HP 内蔵 Web サーバ \(EWS\) にアクセス](#)
- [手順 2 : \[スキャンして SharePoint® に保存\] の有効化および \[スキャンして SharePoint に保存\] クイックセットの作成](#)
- [Microsoft® SharePoint サイトにファイルを直接スキャン](#)
- [クイックセットのスキャン設定および \[スキャンして SharePoint® に保存\] のオプション](#)

## はじめに

[スキャンして SharePoint® に保存] 機能を設定し、文書をスキャンして直接 SharePoint® サイトに送ります。

[スキャンして SharePoint® に保存] は、文書をイメージとしてスキャンする機能や、OCR 機能を使ってテキスト ファイルまたはサーチャブル PDF を作成する機能など、すべてのスキャン オプションをサポートします。

この機能は、デフォルトで無効です。HP 内蔵 Web サーバ (EWS) で [SharePoint® に保存] を有効にします。

 **注記 :** [スキャンして SharePoint® に保存] 機能は、ワークフロー対応のプリンタのみで使用できます。

## 作業を開始する前に


この手順を完了する前に、スキャン ファイルが保存される宛先フォルダが SharePoint サイトに存在し、宛先フォルダに書き込みのアクセス許可を有効にする必要があります。[スキャンして SharePoint® に保存] はデフォルトでは無効になっています。

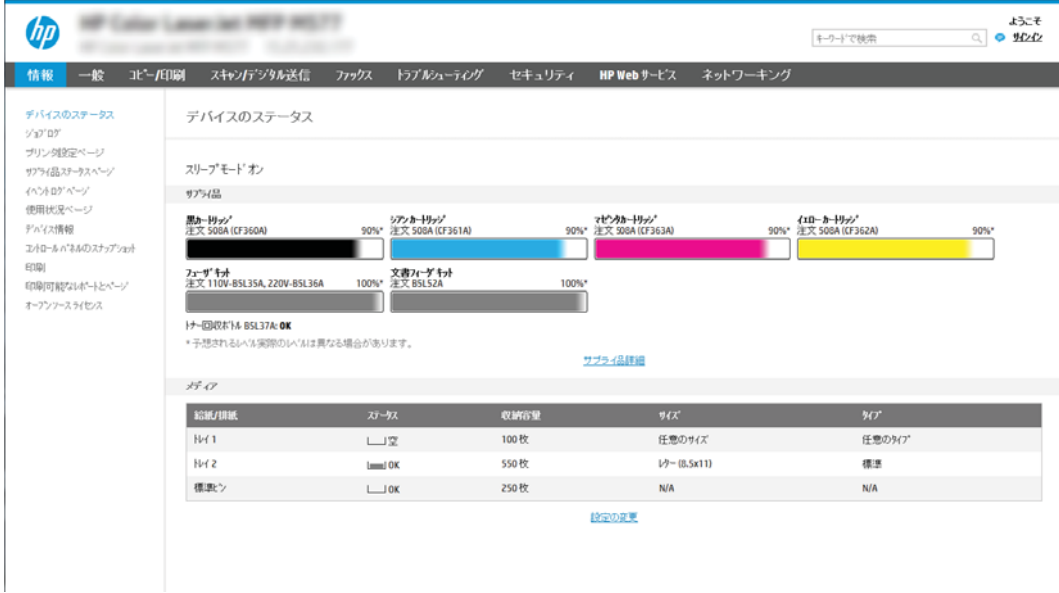
## 手順 1 : HP 内蔵 Web サーバ (EWS) にアクセス

EWS を開き、セットアッププロセスを開始します。

1. プリンタのコントロールパネル上の [ホーム] 画面から、[情報] ⓘ アイコン、[ネットワーク] 📶 アイコンの順にタッチして、IP アドレスまたはホスト名を表示します。

- Web ブラウザを開き、プリンタのコントロールパネルに表示されているのと同じ IP アドレスまたはホスト名をアドレスバーに正確に入力します。コンピュータのキーボードの **Enter** キーを押します。EWS が開きます。

 **注記:** Web サイトへのアクセスが安全でない可能性があることを示すメッセージが Web ブラウザに表示された場合は、Web サイトへのアクセスを続行するオプションを選択してください。この Web サイトへのアクセスによってコンピュータが損害を受けることはありません。



The screenshot shows the HP EWS interface with the following details:


- デバイスステータス (Device Status):**
  - スリープモードオン (Sleep Mode On)
  - サブスクリプション (Subscriptions):
    - 黒色トナー (Black Toner): 90% (HP 508A)
    - シアントナー (Cyan Toner): 90% (HP 508A)
    - マゼンタトナー (Magenta Toner): 90% (HP 508A)
    - イエロートナー (Yellow Toner): 90% (HP 508A)
  - フューザキート (Fuser Kit): 100% (HP B5L35A/B5L36A)
  - 文書フューザキート (Document Fuser Kit): 100% (HP B5L52A)
- メディア (Media):**

紙種/用紙 (Paper/Sheet)	ソース (Source)	収納容量 (Capacity)	サイズ (Size)	タイプ (Type)
トイ 1 (T1)	空 (Empty)	100 枚 (100 sheets)	任意のサイズ (Any size)	任意のタイプ (Any type)
トイ 2 (T2)	OK	550 枚 (550 sheets)	14 x 11 (11x14)	標準 (Standard)
標準用紙 (Standard Paper)	OK	250 枚 (250 sheets)	N/A	N/A



## 手順 2 : [スキャンして SharePoint® に保存] の有効化および [スキャンして SharePoint に保存] クイックセットの作成

[スキャンして SharePoint に保存] 機能を有効にして [スキャンして SharePoint に保存] クイックセットを作成するには、次の手順を実行します。

- 上部ナビゲーションタブを使用して、[スキャン/デジタル送信] をクリックします。
- 左側のナビゲーションウィンドウで、[スキャンして SharePoint® に保存] をクリックします。

 **注記:** クイックセットは、プリンタのホーム画面または [クイックセット] アプリケーション内でアクセスできるショートカットジョブです。


- [[スキャンして SharePoint® に保存] の有効化] を選択し、[適用] をクリックします。
- 左側のナビゲーションウィンドウの [スキャンして SharePoint® に保存] 領域で、[クイックセット] をクリックします。[追加] をクリックし、[クイックセットウィザード] を起動します。
- [クイックセット名] (「Sharepoint のスキャン」など) と [クイックセットの説明] を入力します。
- [クイックセット開始オプション] を選択して、プリンタのコントロールパネルでクイックセットを選択した後の動作を決定し、[次へ] ボタンをクリックします。
- SharePoint フォルダへのパスを追加するには、次の手順を実行します。

- a. [SharePoint® の宛先設定] ページで [追加] をクリックし、[SharePoint® パスの追加] ページを開きます。
  - b. 別のブラウザ ウィンドウを開き、使用する SharePoint フォルダに移動して、ブラウザ ウィンドウから SharePoint フォルダのフォルダ パスをコピーします。
  - c. SharePoint フォルダのパスを[SharePoint® パス:]フィールドに入力します。
  - d. デフォルトでは、新しいファイルと同じファイル名の既存のファイルは上書きされます。**[既存のファイルを上書きします]** をオフにすると、既存のファイルと同じ名前の新しいファイルには、更新された日時のタイムスタンプが付きます。
  - e. **[認証設定]** ドロップダウン メニューからオプションを選択します。認証情報を使用して SharePoint サイトにサインインする必要がある、またはクイック セット内に認証情報を保存するのいずれかを選択します。
- 
-  **注記:** **[認証設定]** ドロップダウン メニューで**[コントロールパネルでのサインイン後に、ユーザー認証情報を使用して接続する]**を選択した場合、ログインするユーザーは指定された SharePoint サイトへの書き込みアクセス権を持っている必要があります。
- 
-  **注記:** セキュリティ上の理由により、クイック セット ウィザードに入力された認証情報はプリンタに表示されません。
- 
- f. **[OK]** をクリックして SharePoint パスのセットアップを完了し、**[SharePoint の宛先設定]** ページに戻ります。
8. **[ジョブの開始前にフォルダアクセスを確認]** を選択し、クイック セットを使用するたびに宛先フォルダにアクセスできるように、SharePoint フォルダが指定されていることを確認します。このオプションが選択されていない場合は、ジョブを SharePoint フォルダにより高速に保存できません。ただし、このオプションが選択されておらず、さらに SharePoint フォルダにアクセスできない場合はジョブが失敗します。
  9. **[[次へ]]** をクリックします。
  10. **[通知するときの条件:]** を**[通知の設定]** ページに設定します。この設定ではクイックセットを構成し、ジョブが正常に完了した、または失敗した際に通知しないようにするか、電子メールメッセージを送信したり概要ページを印刷するようにします。**[通知するときの条件:]**ドロップダウンメニューから、次のオプションの1つを選択します。
    - ジョブが正常に完了した場合または失敗した場合に、クイック セットで通知処理を実行しないようにするには、**[通知しない]** を選択します。
    - ジョブが正常に完了した場合にクイック セットで通知を送信するようにするには、**[ジョブが完了した場合に通知]** を選択します。
    - ジョブが失敗した場合にのみクイック セットで通知を送信するようにするには、**[ジョブが失敗した場合にのみ通知]** を選択します。

**[ジョブが完了した場合に通知]** または **[ジョブが失敗した場合にのみ通知]** のどちらかを選択するには、**[通知の配信方法:]**を設定する必要があります。以下のオプションのどれかを選択します。


    - **[電子メール]:** 選択した通知条件が発生した場合は、このオプションを使用して電子メールを送信します。このオプションでは、**[通知電子メールアドレス:]**フィールドに有効な電子メールアドレスが指定されている必要があります。フィールドに入力します。

---

 **注記**：電子メール通知機能を使用するには、最初にプリンタで電子メール機能を設定します。

---

- **[印刷]**：選択した通知条件が発生した場合は、このオプションを使用して通知を印刷します。


 **注記**：いずれかの通知オプションに、ジョブのスキャン ページの最初のページのサムネイル画像を含めるには、**[サムネイルを含める]**を選択します。

---


11. **[[次へ]]** をクリックします。
12. **[スキャン設定]** ページでオプションを選択し、**[次へ]** をクリックします。詳細については、「[111 ページの表 6-1 「\[スキャンして SharePoint® に保存\] のスキャン設定」](#)」を参照してください。
13. **[ファイル設定]** ページでオプションを選択し、**[次へ]** をクリックします。詳細については、「[112 ページの表 6-2 「\[スキャンして SharePoint に保存\] のファイル設定」](#)」を参照してください。
14. 設定の概要を確認し、**[終了]** ボタンをクリックしてクイック セットを保存するか、**[前へ]** ボタンをクリックして設定を編集します。

## Microsoft® SharePoint サイトにファイルを直接スキャン

1. 文書を下向きにしてスキャナのガラス面に置くか、文書を上に向けて文書フィーダにセットしてから文書サイズに合わせて用紙ガイドを調整します。
2. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、**スキャン** アプリケーションに移動し、次に **スキャン** アイコンを選択し、**スキャンして SharePoint® に保存** を選択します。

 **注記**：この機能を使用するには、サインインが必要な場合があります。

---


3. クイックセットを選択するには、**クイックセットとデフォルト** 領域で **読み込み** をタッチします。クイックセットを選択して、**読み込み** をタッチします。
4. **ファイル名**：テキストフィールドをタッチしてキーボードを開き、オンスクリーン キーボードまたは物理キーボードを使ってファイル名を入力します。Enter  をタッチします。
5. **オプション** をタッチして、ドキュメントの設定を表示、設定します。
6. 文書をプレビューするには、画面の右ペインをタッチします。プレビュー画面で、画面右側にあるボタンを使用して、プレビュー オプションを調整したり、ページを順序変更、回転、挿入または削除したりします。



1 ページ表示とサムネイル表示を切り替えるには、これらのボタンを使用します。サムネイル表示では、1 ページ表示よりも多くのオプションを使用できます。



	<p>選択したページをズームインまたはズームアウトするには、これらのボタンを使用します。</p> <p><b>注記：</b>これらのボタンを使用するときは、一度に1つのページのみを選択します。</p>
	
	<p>ページを180度回転するには、このボタンを使用します。</p> <p><b>注記：</b>このボタンは、サムネイル表示でのみ使用できます。</p>
	<p>選択したページを削除するには、このボタンを使用します。</p> <p><b>注記：</b>このボタンは、サムネイル表示でのみ使用できます。</p>
	<p>文書内のページの順序を変更するには、これらのボタンを使用します。1つまたは複数のページを選択し、右または左に移動します。</p> <p><b>注記：</b>これらのボタンは、サムネイル表示でのみ使用できます。</p>
	
	<p>文書にページを追加するには、このボタンを使用します。プリンタに、その他のページをスキャンするメッセージが表示されます。</p>
	<p>プレビューで加えた変更をクリアして最初からやり直すには、このボタンを使用します。</p>
	<p>プレビュー画面を折りたたみ、コピー画面に戻るには、このボタンをタッチします。</p>

7. スタート  ボタンをタッチしてファイルを保存します。

## クイックセットのスキャン設定および[スキャンして SharePoint® に保存]のオプション

次の表は、[スキャンして SharePoint® に保存]のクイックセットを追加、編集、またはコピーする場合に[クイックセットウィザード]で利用可能な設定とオプションを示します。

表 6-1 [スキャンして SharePoint® に保存]のスキャン設定

機能	説明
[原稿のサイズ]	原稿のサイズを選択します。
[原稿の面数]	原稿が片面か両面かを選択します。
[テキスト/画像の最適化]	特定のコンテンツタイプの出力を最適化するために選択します。
[内容の向き]	原稿の内容をページ上に配置する方向を選択します。[縦]または[横]。

表 6-1 [スキャンして SharePoint® に保存] のスキャン設定 (続き)

機能	説明
[背景のクリーンアップ]	背景からぼやけたイメージを削除したり、薄い背景色を削除したりする値を選択します。
[濃さ]	ファイルの濃さを調整する値を選択します。
[コントラスト]	ファイルのコントラストを調整する値を選択します。
[鮮明度]	ファイルの鮮明度を調整する値を選択します。
[画像プレビュー]	ジョブの表示されたプレビューを必須またはオプションにするかまたはプレビューを無効にする場合に選択します。
[トリミングオプション]	ジョブのトリミングを許可するかどうか、およびトリミングオプションのタイプを選択します。
[エッジの消去]	ジョブの表側および裏側で消去するエッジマージンをインチまたはミリメートル単位で指定するためにこの設定を選択します。

表 6-2 [スキャンして SharePoint に保存] のファイル設定

機能	説明
[ファイル名プレフィックス]	保存するファイルに使用するデフォルトのファイル名プレフィックスを設定します。
[ファイル名]	保存するファイルのデフォルトのファイル名です。  プリンタのコントロールパネルでこの設定を編集可能にするには、[ユーザーによる編集が可能] チェックボックスをオンにします。
[ファイル名サフィックス]	保存するファイルに使用するデフォルトのファイル名サフィックスを設定します。 ファイル名が重複した場合のデフォルトのサフィックス [ファイル名]_YYYYMMDDT
[ファイル名プレビュー]	ファイル名を入力し、[プレビューを更新] ボタンをクリックします。
[ファイル番号のフォーマット]	ジョブが複数のファイルに分割されている場合にファイル名形式を選択します。
[ジョブが1つのファイルのみの場合、番号を追加 (例: _1-1)]	複数のファイルではなく1つのファイルのみのジョブの場合、この設定を選択してファイル名に番号を追加します。
[ファイルタイプ]	保存したファイルのファイル形式を選択します。  プリンタのコントロールパネルでこの設定を編集可能にするには、[ユーザーによる編集が可能] チェックボックスをオンにします。
[高圧縮 (小さいファイル)]	スキャンしたファイルを圧縮してファイルサイズを小さくするには、この設定を選択します。ただし、高圧縮ファイルのスキャンの処理は、通常の圧縮ファイルの処理よりも時間がかかる場合があります。
[PDF 暗号化]	ファイルタイプがPDFの場合、出力PDFファイルを暗号化します。暗号化の一環としてパスワードを指定する必要があります。ファイルを開くには同じパスワードを使用する必要があります。パスワードを設定せずに実行すると、ジョブをスキャンする前にパスワードを入力するよう要求されます。
[解像度]	ファイルの解像度を設定します。解像度が高いほどインチあたりのドット数 (dpi) が多くなり、より詳細に表示されます。解像度が低いほどインチあたりのドット数が少なくなりイメージの詳細度は低下しますが、ファイルサイズが小さくなります。

表 6-2 [スキャンして SharePoint に保存] のファイル設定 (続き)

機能	説明
[品質およびファイルサイズ]	ファイルの品質を選択します。高画質のイメージは低画質のイメージよりも大きなファイルサイズが必要になり、送信時間も長くなります。
[カラー/モノクロ]	カラー、黒とグレー、黒のみのいずれでコピーするかを指定します。
[空白ページの省略]	[空白ページの削除] オプションが有効な場合、空白ページは無視されます。
[複数のファイルの作成]	事前に設定した1ファイル当たりの最大ページ数に基づいて、ページを個別のファイルにスキャンするには、この設定を選択します。

# [スキャンして USB ドライブに保存] のセットアップ

- [はじめに](#)
- [手順 1 : HP 内蔵 Web サーバ \(EWS\) にアクセス](#)
- [手順 2 : \[スキャンして USB ドライブに保存\] の有効化](#)
- [手順 3 : クイック セットの設定 \(オプション\)](#)
- [\[スキャンして USB ドライブに保存\] のセットアップのデフォルトのスキャン設定](#)
- [\[USB に保存\] のセットアップのデフォルトのファイル設定](#)


## はじめに

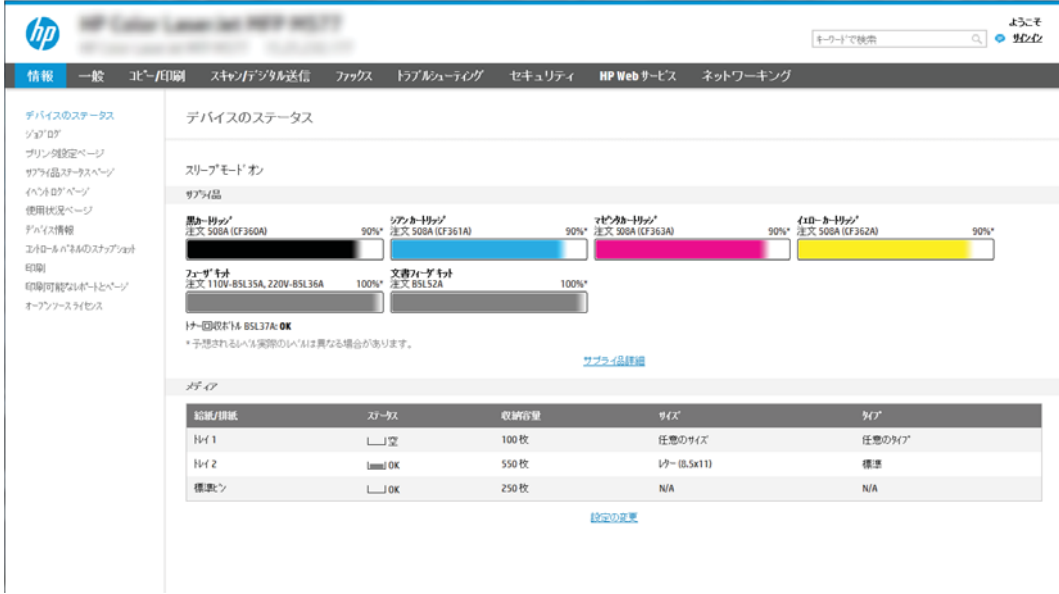
このプリンタは、文書をスキャンして、そのデータを USB フラッシュ ドライブに保存する機能を備えています。HP 内蔵 Web サーバ (EWS) を通じて設定するまで、この機能は使用できません。

## 手順 1 : HP 内蔵 Web サーバ (EWS) にアクセス

EWS を開き、セットアップ プロセスを開始します。

1. プリンタのコントロールパネル上の [ホーム] 画面から、[情報] ⓘ アイコン、[ネットワーク] 📶 アイコンの順にタッチして、IP アドレスまたはホスト名を表示します。
2. Web ブラウザを開き、プリンタのコントロールパネルに表示されているのと同じ IP アドレスまたはホスト名をアドレスバーに正確に入力します。コンピュータのキーボードの **Enter** キーを押します。EWS が開きます。

 **注記:** Web サイトへのアクセスが安全でない可能性があることを示すメッセージが Web ブラウザに表示された場合は、Web サイトへのアクセスを続行するオプションを選択してください。この Web サイトへのアクセスによってコンピュータが損害を受けることはありません。




The screenshot shows the HP Embedded Web Server (EWS) interface. The top navigation bar includes links for Information, General, Copy/Print, Scan/Fax/Digital Send, Fax, Troubleshooting, Security, HP Web Services, and Networking. The main content area is titled 'デバイスのステータス' (Device Status) and shows the printer is in 'スリープモード' (Sleep Mode) and 'オン' (On). Below this, there are four ink level indicators: Cyan (90%), Magenta (90%), Yellow (90%), and Black (100%). There are also two paper tray indicators, both at 100%. A table at the bottom shows the status of the paper trays:

紙張/排紙	ステータス	収納容量	サイズ	タイプ
トレイ 1	空	100 枚	任意のサイズ	任意のタイプ
トレイ 2	OK	550 枚	レター (8.5x11)	標準
標準トレイ	OK	250 枚	N/A	N/A




## 手順2 : [スキャンして USB ドライブに保存] の有効化

1. [セキュリティ] タブを選択します。
2. [ハードウェア ポート] までスクロールして、[ホスト USB プラグアンドプレイを有効にする] が有効になっているかどうかを確認します。
3. MFP モデルの場合は [コピー/印刷] タブ、SFP モデルの場合は [印刷] タブを選択します。
4. [USB への保存の有効化] チェック ボックスを選択します。
5. ページ下端にある [適用] をクリックします。

 **注記 :** ほとんどのデバイスはハードディスク ドライブ (HDD) がインストールされた状態で出荷されます。場合によっては、USB を介して追加のストレージ デバイスを追加することもできます。[USB に保存] 機能を USB およびハードドライブに展開する必要があるか確認します。

## 手順3 : クイック セットの設定 (オプション)

 **注記 :** クイック セットは、プリンタのホーム画面またはクイック セット アプリケーション内でアクセスできるショートカット ジョブです。


1. 左側のナビゲーション ウィンドウの [スキャンして USB ドライブに保存] 領域で、[クイック セット] をクリックします。
2. 以下のオプションから 1 つ選択してください。
  - 表のクイック セット アプリケーションで既存のクイック セットを選択します。  
-または-
  - [追加] をクリックし、[クイック セット] ウィザードを開始します。
3. [追加] を選択すると、[クイック セット設定] ページが開きます。次の情報を入力します。
  - [クイック セット名]: 新しいクイック セットのタイトルを入力します。
  - [クイック セットの説明]: クイック セットの説明を入力します。
  - [クイック セット開始オプション]: クイック セットの開始方法を設定するには、[ユーザーは、アプリケーションに入って [スタート] を押します] または [ホーム画面での選択後、直ちに開始します] のいずれかをクリックします。
4. コントロールパネルの USB ポートに挿入されている USB ストレージ デバイスにスキャンしたファイルを保存するデフォルトの場所を選択し、[次へ] をクリックします。デフォルトの場所のオプションは次のとおりです。
  - [USB ストレージ デバイスのルート ディレクトリに保存します]
  - [USB ストレージ デバイス上のこのフォルダ内に作成するか、配置します] — このファイルの場所のオプションを使用する場合は、USB ストレージ デバイスのフォルダパスを指定する必要があります。パスのフォルダ名\サブフォルダ名を区切るには、バックスラッシュ \ を使用する必要があります。

5. [通知するときの条件:]ドロップダウン リストからオプションを選択し、[次へ]をクリックします。


[USB に保存]クイックセット ジョブが完了または失敗した場合に、ユーザーに通知されるかどうかやどのように通知されるかは、この設定で決まります。[通知するときの条件:]設定のオプションは、次のとおりです。

- [通知しない]
- [ジョブの完了時に通知する]
- [ジョブの失敗時にのみ通知する]

6. クイックセットの[スキャン設定]を選択して、[次へ]をクリックします。

 **注記:** 使用可能なスキャン設定の詳細については、「[116 ページの\[スキャンして USB ドライブに保存\]のセットアップのデフォルトのスキャン設定](#)」を参照してください。

7. クイックセットの[ファイル設定]を選択して、[次へ]をクリックします。

 **注記:** 使用可能なファイル設定の詳細については、「[116 ページの\[スキャンして USB ドライブに保存\]のセットアップのデフォルトのスキャン設定](#)」を参照してください。

8. 設定の概要を確認し、[終了]をクリックしてクイックセットを保存するか、[前へ]をクリックして設定を編集します。

## [スキャンして USB ドライブに保存]のセットアップのデフォルトのスキャン設定

表 6-3 [スキャンして USB ドライブに保存]のセットアップのスキャン設定:

機能	説明
[原稿のサイズ]	原稿のサイズを選択します。
[原稿の面数]	原稿が片面か両面かを選択します。
[テキスト/画像の最適化]	特定のコンテンツタイプの出力を最適化するために選択します。
[内容の向き]	原稿の内容をページ上に配置する方向を選択します。[縦]または[横]。
[背景のクリーンアップ]	背景からぼやけたイメージを削除したり、薄い背景色を削除したりする値を選択します。
[濃さ]	ファイルの濃さを調整する値を選択します。
[コントラスト]	ファイルのコントラストを調整する値を選択します。
[鮮明度]	ファイルの鮮明度を調整する値を選択します。
[画像プレビュー]	ジョブの表示されたプレビューを必須またはオプションにするかまたはプレビューを無効にする場合に選択します。
[トリミングオプション]	ジョブのトリミングを許可するかどうか、およびトリミング オプションのタイプを選択します。
[エッジの消去]	ジョブの表側および裏側で消去するエッジマージンをインチまたはミリメートル単位で指定するためにこの設定を選択します。

## [USB に保存] のセットアップのデフォルトのファイル設定

表 6-4 [USB に保存] のセットアップのファイル設定 :

オプション名	説明
[ファイル名プレフィックス]	ネットワークフォルダに保存したファイルに使用されているデフォルトのファイル名プレフィックスを設定します。
[ファイル名]	保存するファイルのデフォルトのファイル名です。 プリンタのコントロールパネルでこの設定を編集可能にするには、 <b>[ユーザーによる編集が可能]</b> チェックボックスをオンにします。
[ファイル名サフィックス]	ネットワークフォルダに保存したファイルに使用されているデフォルトのファイル名サフィックスを設定します。 ファイル名が重複した場合のデフォルトのサフィックス [ファイル名]_YYYYMMDDT
[ファイル名プレビュー]	ファイル名を入力し、 <b>[プレビューを更新]</b> ボタンをクリックします。
[ファイル番号のフォーマット]	ジョブが複数のファイルに分割されている場合にファイル名形式を選択します。
[ジョブが1つのファイルのみの場合、番号を追加 (例: _1-1)]	複数のファイルではなく1つのファイルのみのジョブの場合、この設定を選択してファイル名に番号を追加します。
[ファイルタイプ]	保存したファイルのファイル形式を選択します。 プリンタのコントロールパネルでこの設定を編集可能にするには、 <b>[ユーザーによる編集が可能]</b> チェックボックスをオンにします。
[高圧縮 (小さいファイル)]	スキャンしたファイルを圧縮してファイルサイズを小さくするには、この設定を選択します。ただし、高圧縮ファイルのスキャンの処理は、通常の圧縮ファイルの処理よりも時間がかかる場合があります。
[PDF 暗号化]	ファイルタイプがPDFの場合、出力PDFファイルを暗号化します。暗号化の一環としてパスワードを指定する必要があります。ファイルを開くには同じパスワードを使用する必要があります。パスワードを設定せずに実行すると、ジョブをスキャンする前にパスワードを入力するよう要求されます。
[解像度]	ファイルの解像度を設定します。解像度が高いほどインチあたりのドット数 (dpi) が多くなり、より詳細に表示されます。解像度が低いほどインチあたりのドット数が少なくなりイメージの詳細度は低下しますが、ファイルサイズが小さくなります。
[品質およびファイルサイズ]	ファイルの品質を選択します。高画質のイメージは低画質のイメージよりも大きなファイルサイズが必要になり、送信時間も長くなります。
[カラー/モノクロ]	カラー、黒とグレー、黒のみのいずれかでコピーするかを指定します。
[空白ページの省略]	<b>[空白ページの削除]</b> オプションが有効な場合、空白ページは無視されます。
[複数のファイルの作成]	事前に設定した1ファイル当たりの最大ページ数に基づいて、ページを個別のファイルにスキャンするには、この設定を選択します。

# スキャンして電子メールで送信

- [はじめに](#)
- [スキャンして電子メールで送信](#)


## はじめに

このプリンタは、文書をスキャンして、そのスキャンデータを1つ以上の電子メールアドレスに送信する機能を備えています。

## スキャンして電子メールで送信

1. 文書を下向きにしてスキャナガラス面に置くか、文書を上に向けて文書フィーダにセットしてから文書サイズに合わせて用紙ガイドを調整します。
2. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、[スキャン](#) アプリケーションに移動し、次に [スキャン](#) アイコンを選択し、[スキャンして電子メールで送信](#) を選択します。


---

 **注記**：ユーザー名とパスワードの入力を要求された場合は入力します。

---


3. [宛先](#) フィールドをタッチしてキーボードを開きます。

---

 **注記**：プリンタにサインインしている場合、ユーザー名などのデフォルト情報が [差出人](#) フィールドに表示されることがあります。この場合、その情報を変更できないことがあります。

---


4. 次のいずれかの方法で受信者を指定します。

▲ [宛先](#) フィールドにアドレスを入力します。複数の電子メールアドレスに送信する場合は、アドレス間をセミコロンで区切るか、または各アドレスの入力後にタッチスクリーンキーボードの Enter  ボタンを選択します。

a. [宛先](#) フィールドの横にある [連絡先](#)  ボタンを選択して、[連絡先](#) 画面を開きます。


b. 適切な連絡先リストを選択します。

c. 連絡先のリストで名前を選択して、その名前を受信者リストに追加し、[追加](#) を選択します。

5. フィールドにタッチし、タッチスクリーンキーボードを使用して、[件名](#)、[ファイル名](#)、および [メッセージ](#) フィールドに情報を入力します。キーボードを閉じる必要があるときは、[閉じる](#)  ボタンを選択します。

6. クイックセットをロードするには、[ロード](#)、[\[クイックセット\]](#)の順に選択し、[クイックセット](#) リストで、[ロード](#) を選択します。

---

 **注記**：[クイックセット](#) は、[テキスト](#)、[写真](#)、[高品質](#) など、さまざまなタイプの出力用にあらかじめ定義された設定です。[\[クイックセット\]](#) を選択すると、説明を表示することができます。

---

7. [ファイルのタイプと解像度](#)、[片面原稿/両面原稿](#)、[内容の向き](#) などの設定を指定するには、左下隅で [オプション](#) を選択し、[オプション](#) メニューから設定を選択します。要求された場合は、[完了](#) を選択します。

8. オプションのプレビュー：文書をプレビューするには、画面の右ペインをタッチします。プレビューペインの左側にある [展開](#) および [折り畳み](#) ボタンを使用して、プレビュー画面を展開および折り畳むことができます。

展開 ボタン



折り畳み ボタン



画面右側にあるボタンを使用して、プレビュー オプションを調整したり、ページを順序変更、回転、挿入または削除したりします。



2 ページ表示とサムネイル表示を切り替えます。サムネイル表示では、2 ページ表示よりも多くのオプションを使用できます。



選択したページをズームインまたはズームアウトします。

**注記：**これらのボタンを使用するときは、一度に1つのページのみを選択します。



ページを 180° 回転します。

**注記：**このボタンは、サムネイル表示でのみ使用できます。



選択したページを削除します。

**注記：**このボタンは、サムネイル表示でのみ使用できます。



文書内でページの順序を変更します。1つまたは複数のページを選択し、右または左に移動します。

**注記：**これらのボタンは、サムネイル表示でのみ使用できます。




文書にページを追加します。プリンタに、その他のページをスキャンするメッセージが表示されます。



プレビューで行った変更をクリアして、やり直します。

9. 文書の準備が整ったら、送信 を選択して電子メールで送信します。

 **注記**：連絡先リストに電子メールアドレスを追加するよう指示される場合があります。


---

# スキャンしてジョブ保存

- [はじめに](#)
- [スキャンしてプリンタのジョブ保存に送信する](#)
- [プリンタのジョブ保存からの印刷](#)

## はじめに


このプリンタは、文書をスキャンして、そのデータをプリンタのジョブ保存フォルダに保存する機能を備えています。必要に応じて、プリンタから文書を取得して印刷できます。

 **注記** : スキャンしてプリンタの保存フォルダに送信する前に、プリンタ管理者またはIT 部門は、HP 内蔵 Web サーバを使用して機能の有効化と設定を行う必要があります。


## スキャンしてプリンタのジョブ保存に送信する




次の手順に従って、文書をスキャンしてプリンタのジョブ保存フォルダに保存します。これにより、いつでもコピー文書を印刷できます。

1. 文書を下向きにしてスキャナのガラス面に置くか、文書を上に向けて文書フィーダにセットしてから文書サイズに合わせて用紙ガイドを調整します。
2. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、**スキャン** アプリケーションに移動し、次に **スキャン** アイコンを選択し、**スキャンしてジョブ保存** を選択します。

 **注記** : ユーザー名とパスワードの確認メッセージが表示されたら、ユーザー名とパスワードを入力します。

3. **フォルダ** に表示されている、デフォルトの保存フォルダ名を選択します。

 **注記** : プリンタの管理者がオプションを設定している場合は、新しいフォルダを作成できます。以下の手順に従って、新しいフォルダを作成します。

- a. **新規フォルダ**  アイコンを選択します。
  - b. **新規フォルダ** フィールドを選択して、フォルダ名を入力し、**OK** を選択します。
4. 適切なフォルダを選択していることを確認します。
  5. **ジョブ名** テキスト フィールドをタッチしてタッチスクリーン キーボードを開き、ファイルの名前を入力し、**Enter**  ボタンを選択します。
  6. ジョブをプライベートにするには、**PIN**  ボタンを選択し、**PIN** フィールドに4桁のPIN を入力してから、タッチスクリーン キーパッドを閉じます。
  7. **面** および **内容の向き** などの設定を指定するには、左下隅で **オプション** を選択し、**オプション** メニューから設定を選択します。メッセージが表示されたら、各設定で **実行** を選択します。
  8. オプションのプレビュー : 文書をプレビューするには、画面の右ペインをタッチします。プレビュー ペインの左側にある **展開** および **折り畳み** ボタンを使用して、プレビュー画面を展開および折り畳むことができます。

展開 ボタン



折り畳み ボタン



画面右側にあるボタンを使用して、プレビュー オプションを調整したり、ページを順序変更、回転、挿入または削除したりします。



2 ページ表示とサムネイル表示を切り替えます。サムネイル表示では、2 ページ表示よりも多くのオプションを使用できます。



選択したページをズームインまたはズームアウトします。

**注記:** これらのボタンを使用するときは、一度に1つのページのみを選択します。



ページを 180° 回転します。

**注記:** このボタンは、サムネイル表示でのみ使用できます。



選択したページを削除します。

**注記:** このボタンは、サムネイル表示でのみ使用できます。



文書内でページの順序を変更します。1つまたは複数のページを選択し、右または左に移動します。

**注記:** これらのボタンは、サムネイル表示でのみ使用できます。



文書にページを追加します。プリンタに、その他のページをスキャンするメッセージが表示されます。




プレビューで行った変更をクリアして、やり直します。

9. 文書の準備が整ったら、**保存** を選択してストレージフォルダへファイルを保存します。



## プリンタのジョブ保存からの印刷

以下の手順に従って、プリンタのジョブ保存フォルダにあるスキャン済み文書を印刷します。

1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、**印刷** アプリケーションに移動し、次に **印刷** アイコンを選択し、**ジョブ保存から印刷** を選択します。
2. **印刷する保存済みジョブ** の下で **選択** を選択し、文書が保存されているフォルダを選択し、文書を選択してから、**選択** を選択します。
3. 文書がプライベートの場合は、**パスワード** フィールドに4桁のPINを入力し、**OK** を選択します。
4. 部数を調整するには、**印刷** ボタンの左側のボックスをタッチし、表示されるキーパッドでコピーの部数を選択します。キーパッドを閉じるには、**[閉じる]**  ボタンを選択します。
5. **印刷** を選択して、文書を印刷します。

# スキャンデータをネットワークフォルダに送信


- [はじめに](#)
- [スキャンデータをネットワークフォルダに送信](#)


## はじめに


ファイルをスキャンし、そのデータをネットワークの共有フォルダに保存できます。


## スキャンデータをネットワークフォルダに送信


文書をスキャンしてネットワークフォルダに保存するには、以下の手順に従います。

 **注記：** この機能を使用するには、サインインが必要な場合があります。

1. 文書を下向きにしてスキャナガラス面に置くか、文書を上に向けて文書フィーダにセットしてから文書サイズに合わせて用紙ガイドを調整します。
2. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、[スキャン](#) アプリケーションに移動し、次に [スキャン](#) アイコンを選択し、[スキャンデータをネットワークフォルダに送信](#) を選択します。
3. フォルダの宛先を指定します。フォルダ オプションは最初にプリンタ管理者によって設定される必要があります。
  - 管理者がすでにセットアップしたフォルダの場所を選択するには、[クイックセットとデフォルト](#) の下で [ロード](#) を選択し、フォルダを選択してから [ロード](#) を選択します。
  - 新しいフォルダの場所を指定するには、[フォルダパス](#) フィールドをタッチしてタッチスクリーンキーボードを開き、フォルダへのパスを入力して、Enter  ボタンを選択します。要求された場合は、ユーザーの認証情報を入力して [保存](#) を選択し、パスを保存します。

 **注記：** パス名には次の形式を使用します： \\server\folder 「server」部分には共有フォルダをホストするサーバの名前、「folder」部分には共有フォルダの名前が表示されます。フォルダが他のフォルダ内にネストされている場合は、フォルダへのアクセスに必要なすべてのパスのセグメントを指定します。例： \\server\folder\folder

 **注記：** [フォルダパス] フィールドには、事前定義パスが設定されており、編集できない場合があります。この場合、このフォルダは、管理者により共通アクセス用として設定されています。

4. [ファイル名](#) テキスト フィールドをタッチしてタッチスクリーンキーボードを開き、ファイルの名前を入力し、Enter  ボタンを選択します。
5. [ファイルのタイプと解像度](#)、[片面原稿/両面原稿](#)、[内容の向き](#) などの設定を指定するには、左下隅で [オプション](#) を選択し、[オプション](#) メニューから設定を選択します。メッセージが表示されたら、各設定で [実行](#) を選択します。
6. オプションのプレビュー：文書をプレビューするには、画面の右ペインをタッチします。プレビューペインの左側にある [展開](#) および [折り畳み](#) ボタンを使用して、プレビュー画面を展開および折り畳むことができます。

展開 ボタン



折り畳み ボタン



画面右側にあるボタンを使用して、プレビュー オプションを調整したり、ページを順序変更、回転、挿入または削除したりします。



2 ページ表示とサムネイル表示を切り替えます。サムネイル表示では、2 ページ表示よりも多くのオプションを使用できます。



選択したページをズームインまたはズームアウトします。

**注記：**これらのボタンを使用するときは、一度に1つのページのみを選択します。



ページを 180° 回転します。

**注記：**このボタンは、サムネイル表示でのみ使用できます。



選択したページを削除します。

**注記：**このボタンは、サムネイル表示でのみ使用できます。



文書内でページの順序を変更します。1つまたは複数のページを選択し、右または左に移動します。

**注記：**これらのボタンは、サムネイル表示でのみ使用できます。



文書にページを追加します。プリンタに、その他のページをスキャンするメッセージが表示されます。



プレビューで行った変更をクリアして、やり直します。

7. 文書の準備が整ったら、送信を選択してネットワークフォルダへファイルを保存します。


## スキャンして SharePoint に保存

- [はじめに](#)
- [スキャンして SharePoint に保存](#)

### はじめに


ワークフロー搭載型のプリンタを使用している場合は、文書をスキャンして Microsoft® SharePoint サイトに送信できます。この機能により、文書をネットワークフォルダ、USB フラッシュドライブ、または電子メールメッセージにスキャンして、ファイルを手動で SharePoint サイトにアップロードする手間がかかりません。


[スキャンして SharePoint® に保存] は、文書をイメージとしてスキャンする機能や、OCR 機能を使ってテキストファイルまたはサーチャブル PDF を作成する機能など、すべてのスキャンオプションをサポートします。

 **注記**：スキャンして SharePoint に送信する前に、プリンタ管理者または IT 部門は、HP 内蔵 Web サーバを使用して機能の有効化と設定を行う必要があります。

### スキャンして SharePoint に保存

1. 文書を下向きにしてスキャナのカラス面に置くか、文書を上に向けて文書フィーダにセットしてから文書サイズに合わせて用紙ガイドを調整します。
2. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、[スキャン](#) アプリケーションに移動し、次に [スキャン](#) アイコンを選択し、[スキャンして SharePoint® に保存](#) を選択します。

 **注記**：この機能を使用するには、サインインが必要な場合があります。

3. クイックセットを選択するには、[クイックセット](#)の [選択](#) をタッチし、クイックセットを選択して [ロード](#) を選択します。
4. [ファイル名](#)： を選択します。テキストフィールドを選択してキーボードを開き、ファイルの名前を入力し、[Enter](#)  ボタンを選択します。
5. [ファイルのタイプと解像度](#)、[面](#)、[内容の向き](#) などの設定を指定するには、左下隅で [オプション](#) を選択し、[オプション](#) メニューから設定を選択します。要求された場合は、[完了](#) を選択します。
6. [オプションのプレビュー](#)：文書をプレビューするには、画面の右ペインをタッチします。プレビュー ペインの左側にある [展開](#) および [折り畳み](#) ボタンを使用して、プレビュー画面を展開および折り畳むことができます。

展開 ボタン



折り畳み ボタン



画面右側にあるボタンを使用して、プレビュー オプションを調整したり、ページを順序変更、回転、挿入または削除したりします。



2 ページ表示とサムネイル表示を切り替えます。サムネイル表示では、2 ページ表示よりも多くのオプションを使用できます。



選択したページをズームインまたはズームアウトします。

**注記：**これらのボタンを使用するときは、一度に1つのページのみを選択します。



ページを 180° 回転します。

**注記：**このボタンは、サムネイル表示でのみ使用できます。



選択したページを削除します。

**注記：**このボタンは、サムネイル表示でのみ使用できます。



文書内でページの順序を変更します。1つまたは複数のページを選択し、右または左に移動します。

**注記：**これらのボタンは、サムネイル表示でのみ使用できます。



文書にページを追加します。プリンタに、その他のページをスキャンするメッセージが表示されます。



プレビューで行った変更をクリアして、やり直します。

7. 文書の準備が整ったら、**送信** を選択して SharePoint の場所にファイルを保存します。


# スキャンして USB ドライブに保存


- [はじめに](#)
- [スキャンして USB ドライブに保存](#)

## はじめに

このプリンタでは、ファイルをスキャンして USB フラッシュ ドライブに保存することができます。

## スキャンして USB ドライブに保存

 **注記**：この機能を使用するには、サインインが必要な場合があります。

1. 文書を下向きにしてスキャナのカラス面に置くか、文書を上に向けて文書フィーダにセットしてから文書サイズに合わせて用紙ガイドを調整します。
2. USB ドライブをプリンタのコントロールパネル付近の USB ポートに挿入します。
3. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、[スキャン](#) アプリケーションに移動し、次に [スキャン](#) アイコンを選択し、[スキャンして USB ドライブに保存](#) を選択します。
4. [排紙先](#) で USB ドライブを選択し、次に保存場所 (USB ドライブのルートまたは既存のフォルダ) を選択します。
5. [ファイル名](#) テキスト フィールドをタッチしてタッチスクリーン キーボードを開き、ファイルの名前を入力し、Enter  ボタンを選択します。
6. [ファイルのタイプと解像度](#)、[片面原稿/両面原稿](#)、[内容の向き](#) などの設定を指定するには、左下隅で [オプション](#) を選択し、[オプション](#) メニューから設定を選択します。要求された場合は、[完了](#) を選択します。
7. オプションのプレビュー：文書をプレビューするには、画面の右ペインをタッチします。プレビュー ペインの左側にある [展開](#) および [折り畳み](#) ボタンを使用して、プレビュー画面を展開および折り畳むことができます。

[展開](#) ボタン



[折り畳み](#) ボタン



画面右側にあるボタンを使用して、プレビュー オプションを調整したり、ページを順序変更、回転、挿入または削除したりします。



2 ページ表示とサムネイル表示を切り替えます。サムネイル表示では、2 ページ表示よりも多くのオプションを使用できます。



選択したページをズームインまたはズームアウトします。

**注記：**これらのボタンを使用するときは、一度に1つのページのみを選択します。



ページを 180° 回転します。

**注記：**このボタンは、サムネイル表示でのみ使用できます。



選択したページを削除します。

**注記：**このボタンは、サムネイル表示でのみ使用できます。



文書内でページの順序を変更します。1つまたは複数のページを選択し、右または左に移動します。

**注記：**これらのボタンは、サムネイル表示でのみ使用できます。



文書にページを追加します。プリンタに、その他のページをスキャンするメッセージが表示されます。



プレビューで行った変更をクリアして、やり直します。

8. 文書の準備が整ったら、**保存** を選択して USB ドライブにファイルを保存します。

## HP JetAdvantage ビジネスソリューションの使用

HP JetAdvantage ソリューションは、ネットワークとクラウドの両方を活用して簡単に利用できるワークフロー/印刷ソリューションです。HP JetAdvantage ソリューションは、ヘルスケア、金融サービス、製造、公共機関など、あらゆる業種に対応しており、多くのプリンタとスキャナを管理できます。

HP JetAdvantage ソリューションには、次のような製品があります。

- HP JetAdvantage セキュリティ ソリューション
- HP JetAdvantage Management ソリューション

- HP JetAdvantage ワークフロー ソリューション
- HP JetAdvantage モバイル印刷ソリューション

ビジネス向け HP JetAdvantage ワークフロー/印刷ソリューションについての詳細は、[www.hp.com/go/PrintSolutions](http://www.hp.com/go/PrintSolutions) を参照してください。

## 補足的なスキャンタスク

[www.hp.com/support/ljM528mfp](http://www.hp.com/support/ljM528mfp) にアクセスします。

たとえば、次のようなスキャンタスクの実行手順を参照できます。

- 本またはその他の綴じられた文書のページのコピーまたはスキャン
- スキャンした文書をプリンタのメモリ内のフォルダに保存
- ID カードの両面のコピーまたはスキャン
- 文書をブックレット形式でコピーまたはスキャンします。



---

## 7 ファックス

ファックス機能を設定して、プリンタを使用してファックスを送受信します。

- [ファックスのセットアップ](#)
- [ファックス設定の変更](#)
- [ファックスの送信](#)
- [補足的なファックスタスク](#)

ビデオ アシスタンスについては、[www.hp.com/videos/LaserJet](http://www.hp.com/videos/LaserJet) を参照してください。

以下の情報は、発行時点で正確なものです。最新の詳細は、[www.hp.com/support/ljM528mfp](http://www.hp.com/support/ljM528mfp) を参照してください。

**詳細は、次を参照してください。**

お使いのプリンタに関する HP の包括的なヘルプには次の情報が含まれています。

- 設置と設定
- 学習と使用
- 問題の解決
- ソフトウェアのダウンロードとファームウェアの更新
- サポート フォーラムへの参加
- 保証および規制に関する情報の検索

# ファックスのセットアップ


- [はじめに](#)
- [プリンタのコントロールパネルを使用したファックスのセットアップ](#)

## はじめに

この情報は、ファックスおよびFlow モデル、またはオプションのアナログ ファックス アクセサリが取り付けられたその他のプリンタに適用されます。次に進む前に、プリンタを電話回線に接続するか(アナログ ファックスの場合)、インターネットまたはネットワーク ファックス サービスに接続します。

## プリンタのコントロールパネルを使用したファックスのセットアップ


1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、[設定](#) アプリケーションに移動し、[設定](#) アイコンを選択します。
2. 以下のメニューを開きます。
  - [ファックス](#)
  - [内蔵ファックスモデムのセットアップ](#)

 **注記:** [内蔵ファックスモデムのセットアップ](#) メニューがメニュー リストに表示されない場合は、LAN ファックスまたはインターネット ファックスが有効になっている可能性があります。LAN ファックスまたはインターネット ファックスを有効にすると、アナログ ファックス アクセサリが無効になり、[内蔵ファックスモデムのセットアップ](#) メニューは表示されません。LAN ファックス、アナログ ファックス、またはインターネット ファックスのいずれかのファックス機能のみを有効にすることができます。LAN ファックスが有効なときにアナログ ファックスを使用するには、HP 内蔵 Web サーバを使用して LAN ファックスを無効にします。

3. 画面の右側のリストから場所を選択し、[次へ](#) を選択します。
4. [会社名](#) テキストフィールドをタッチし、キーパッドを使用して会社名を入力します。
5. [ファックス番号](#) テキストフィールドをタッチし、キーパッドを使用して送信側のファックス番号を入力します。[次へ](#) を選択します。
6. データと時間の設定が正しいか確認します。必要に応じて変更し、[次へ](#) を選択します。
7. ファックスの送信にダイヤルプレフィックスが必要な場合は、[ダイヤルプレフィックス](#) テキストフィールドをタッチし、キーパッドを使用して番号を入力します。
8. 左側ペインのすべての情報を確認し、[終了](#) を選択して、ファックスのセットアップを完了します。

# ファックス設定の変更

- [ファックスダイヤル設定](#)
- [一般的なファックス送信設定](#)
- [ファックス受信設定](#)

 **注記**：コントロールパネルを使用して指定した設定は、HP 内蔵 Web サーバで行った設定よりも優先されます。

## ファックスダイヤル設定

1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、**設定** アプリケーションに移動し、**設定** アイコンを選択します。
2. 以下のメニューを開きます。
  - [ファックス](#)
  - [ファックス送信設定](#)
  - [ファックスダイヤル設定](#)

次の設定のいずれかを設定して、**実行** を選択します。

メニュー項目	説明
エラー時のリダイヤル	エラー発生時のリダイヤル機能では、ファックス送信中にエラーが発生したときの、ファックス番号のリダイヤル回数を設定します。
応答がない場合のリダイヤル	無応答時のリダイヤル回数設定では、ダイヤルした番号に応答がない場合にファックス アクセサリがリダイヤルを行う回数を選択します。リダイヤルの回数は、場所の設定に応じて 0~1 (米国で使用) または 0~2 のいずれかです。リダイヤルの間隔は [リダイヤルの間隔] 設定で設定します。
通話中の場合のリダイヤル	通話中の場合のリダイヤル設定では、通話中の場合にファックス アクセサリがリダイヤルを行う回数 (0~9) を選択します。リダイヤルの間隔は [リダイヤルの間隔] 設定で設定します。
リダイヤルの間隔	リダイヤル間隔設定では、ダイヤルした番号が通話中または応答しない場合、またはエラーが発生した場合のリダイヤル間隔を分単位で選択します。 <b>注記</b> ：通話中の場合のリダイヤルと無応答時のリダイヤル回数 の両方をオフに設定すると、コントロールパネルにリダイヤルメッセージが表示される場合があります。このエラーは、ファックス アクセサリが番号をダイヤルし、接続を確立した後に、接続が切断されると発生します。このエラー状況の結果として、ファックス アクセサリはリダイヤル設定に関係なくリダイヤルを自動的に 3 回試行します。このリダイヤル操作中に、リダイヤル中であることを示すメッセージがコントロールパネルに表示されます。
ファックス送信速度	ファックスの送信速度設定では、ファックス送信時のアナログファックスモデムのモデムビットレート (ビット/秒) を設定します。 <ul style="list-style-type: none"><li>● <a href="#">高速 (v.34 - 33.6k)</a></li><li>● <a href="#">標準 (v.17 - 14.4k)</a></li><li>● <a href="#">低速 (v.29 - 9.6k)</a></li></ul>

メニュー項目	説明
回線モニタ音量	ファックスの送信時にプリンタのダイヤル音量レベルを設定するには、 <a href="#">回線モニタ音量</a> 設定を使用します。
ダイヤルモード	<a href="#">ダイヤルモード</a> 設定では、使用するダイヤルタイプをトーン(プッシュホン)またはパルス(ダイヤル式電話)のいずれかに設定します。
ダイヤル局番	<a href="#">ダイヤルプレフィックス</a> 設定では、ダイヤル時の局番(外線発信時の「9」など)を入力できます。ダイヤル時には、この局番がすべての電話番号に自動的に追加されます。
ダイヤルトーンを検出	<a href="#">ダイヤルトーンを検出</a> 設定では、ファックスを送信する前にダイヤルトーンを確認するかどうかを決定します。

## 一般的なファックス送信設定

1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、[設定](#) アプリケーションに移動し、[設定](#) アイコンを選択します。
2. 以下のメニューを開きます。
  - [ファックス](#)
  - [ファックス送信設定](#)
  - [一般的なファックス送信設定](#)

次の設定のいずれかを設定して、[実行](#) を選択します。

メニュー項目	説明
<a href="#">ファックス番号の確認</a>	<a href="#">ファックス番号の確認</a> 機能が有効になっている場合、正しく入力されているかどうかを確認するために、ファックス番号を2回入力する必要があります。この機能は、デフォルトで無効です。
<a href="#">PCファックス送信</a>	PCからファックスを送信するには、 <a href="#">PCファックス送信</a> 機能を使用します。この機能は、デフォルトで有効になっています。
<a href="#">エラー修正モード</a>	通常、ファックスアクセサリではファックスの送受信中に電話線の信号が監視されます。 <a href="#">エラー修正モード</a> 設定がオンになっている場合にファックスアクセサリによって伝送時のエラーが検出されると、ファックスのエラー箇所の再送信が要求されます。  デフォルトでは、 <a href="#">エラー修正モード</a> 機能が有効になっています。ファックスの送受信に問題がある場合と、伝送時のエラーや予想される画質品質の低下を許容する場合にのみオフにします。海外とファックスを送受信する場合や、衛星電話を接続している場合は、この設定をオフにすると便利です。  <b>注記：</b> 一部のVoIPプロバイダは、 <a href="#">エラー修正モード</a> 設定を無効に設定するように推奨しています。しかし、通常、この操作は不要です。
<a href="#">ファックスヘッダ</a>	<a href="#">ファックスヘッダ</a> 機能を使用して、先頭にヘッダを付加して内容を下に下げるか、前のヘッダにヘッダをオーバーレイするかを設定します。



## ファックス受信設定


1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、**設定** アプリケーションに移動し、**設定** アイコンを選択します。
2. 以下のメニューを開きます。
  - ファックス
  - ファックス受信設定
  - ファックス受信のセットアップ

次の設定のいずれかを設定して、**実行** を選択します。

メニュー項目	説明
Receive Mode (受信モード)	<p>予約モード設定は、ファックス アクセサリがファックス ジョブを受信する方法を決定します。以下のオプションから1つ選択してください。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● 自動</li><li>● TAM</li><li>● Fax/Tel</li><li>● 手動</li></ul>
応答するまでの呼び出し回数	<p>応答するまでの呼び出し回数設定では、ファックス アクセサリが応答するまでに呼び出し音が鳴る回数を決定します。</p> <p><b>注記：</b> 応答するまでの呼び出し回数設定で選択可能なオプションのデフォルト範囲は、場所によって異なります。対応する 応答するまでの呼び出し回数 オプションの範囲は、場所によって制限されます。</p> <p>ファックス アクセサリが応答せず、<b>応答するまでの呼び出し回数</b> が1に設定されている場合は、2の設定を試してください。</p>
呼び出し音量	呼び出し音量設定を使用すると、呼び出し音量を調整できます。
ファックス受信速度	<p>ファックスの受信速度 ドロップダウン メニューをタッチして、次のいずれかのオプションを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● 高速 (v.34 – 33.6k)</li><li>● 標準 (v.17 – 14.4k)</li><li>● 低速 (v.29 – 9.6k)</li></ul>
内線電話	この設定では、ファックス機能と同時に別の電話を使用することができます。
再印刷の許可	この設定では、受信したファックスを再印刷することができます。
PC に受信	この設定では、コンピュータで直接ファックスを受信できます。
ファックス ポーリング	この設定では、ファックスのポーリング機能を有効または無効にできます。
Fax/Tel 呼び出し時刻	この設定では、ファックス/電話モードが応答するまでに呼び出し音が鳴る回数を決定します。

## ファックスの送信

1. 文書を下向きにしてスキャナのガラス面に置くか、文書を上に向けて文書フィーダにセットしてから文書サイズに合わせて用紙ガイドを調整します。
2. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、**ファックス**アプリケーションに移動し、次に**ファックス**アイコンを選択します。ユーザー名とパスワードの入力が要求されることがあります。
3. 次のいずれかの方法で受信者を指定します。
  - ▲ **ファックス宛先** テキスト フィールドをタッチし、キーパッドを使用してファックス番号を入力します。複数のファックス番号に送信する場合は、番号間をセミコロンで区切るか、各番号の入力後にタッチスクリーン キーボードの Enter  ボタンを選択します。
  - a. **ファックス宛先** フィールドの横にある連絡先  ボタンを選択して、**連絡先** 画面を開きます。
  - b. 適切な連絡先リストを選択します。
  - c. 連絡先のリストで名前を選択して、その名前を受信者リストに追加し、**追加** を選択します。
4. クイックセットをロードするには、**ロード**、[クイックセット]の順に選択し、**クイックセット** リストで、**ロード** を選択します。

 **注記** : **クイックセット** は、**テキスト**、**写真**、**高品質** など、さまざまなタイプの出力用にあらかじめ定義された設定です。[クイックセット]を選択すると、説明を表示することができます。

5. **解像度**、**面**、**内容の向き** などの設定を指定するには、左下隅で **オプション** を選択し、**オプション** メニューから設定を選択します。要求された場合は、**完了** を選択します。
6. オプションのプレビュー : 文書をプレビューするには、画面の右ペインをタッチします。プレビュー ペインの左側にある **展開** および **折り畳み** ボタンを使用して、プレビュー画面を展開および折り畳むことができます。

展開 ボタン



折り畳み ボタン



画面右側にあるボタンを使用して、プレビュー オプションを調整したり、ページを順序変更、回転、挿入または削除したりします。



2 ページ表示とサムネイル表示を切り替えます。サムネイル表示では、2 ページ表示よりも多くのオプションを使用できます。





選択したページをズームインまたはズームアウトします。

**注記：**これらのボタンを使用するときは、一度に1つのページのみを選択します。



ページを 180° 回転します。

**注記：**このボタンは、サムネイル表示でのみ使用できます。



選択したページを削除します。

**注記：**このボタンは、サムネイル表示でのみ使用できます。



文書内でページの順序を変更します。1つまたは複数のページを選択し、右または左に移動します。

**注記：**これらのボタンは、サムネイル表示でのみ使用できます。



文書にページを追加します。プリンタに、その他のページをスキャンするメッセージが表示されます。



プレビューで行った変更をクリアして、やり直します。

7. 文書の準備が整ったら、**送信** を選択してファックスを送信します。

## 補足的なファックスタスク

一般的なファックスタスクを実行するための Web 上の情報を確認します。

[www.hp.com/support/ljM528mfp](http://www.hp.com/support/ljM528mfp) にアクセスします。

たとえば、以下のようなファックスタスクの手順を参照できます。

- ファックス短縮ダイアルの作成と管理
- ファックス請求書コードの設定
- ファックス印刷スケジュールの使用
- 着信ファックスのブロック
- ファックスアーカイブおよび転送





## 8 プリンタの管理

管理ツールを使用して、セキュリティと省エネ設定を設定し、プリンタのファームウェアの更新を管理します。

- [HP 内蔵 Web サーバ\(EWS\)の高度な設定](#)
- [IP ネットワークの設定](#)
- [プリンタのセキュリティ機能](#)
- [省エネ設定](#)
- [HP Web Jetadmin](#)
- [ソフトウェアおよびファームウェアの更新](#)

ビデオ アシスタンスについては、[www.hp.com/videos/LaserJet](http://www.hp.com/videos/LaserJet) を参照してください。

以下の情報は、発行時点で正確なものです。最新の詳細は、[www.hp.com/support/ljM528mfp](http://www.hp.com/support/ljM528mfp) を参照してください。

詳細は、[次を参照してください。](#)

お使いのプリンタに関する HP の包括的なヘルプには次の情報が含まれています。

- 設置と設定
- 学習と使用
- 問題の解決
- ソフトウェアのダウンロードとファームウェアの更新
- サポート フォーラムへの参加
- 保証および規制に関する情報の検索

# HP 内蔵 Web サーバ (EWS) の高度な設定

- [はじめに](#)
- [HP 内蔵 Web サーバ \(EWS\) へのアクセス方法](#)
- [HP 内蔵 Web サーバの機能](#)


## はじめに

HP 内蔵 Web サーバを使用して、プリンタのコントロールパネルではなく、コンピュータから印刷機能を管理できます。



- プリンタの状態に関する情報の表示
- すべてのサプライ品の寿命の確認と新しいサプライ品の注文
- トレイの設定の表示および変更
- プリンタの [コントロールパネル] メニューの構成の表示と変更
- 内部ページの表示および印刷
- プリンタとサプライ品に関するイベントの通知の受信
- ネットワークの設定の表示および変更


HP 内蔵 Web サーバは、プリンタが IP ベースのネットワークに接続されている場合に機能します。IPX ベースのプリンタ接続では機能しません。HP 内蔵 Web サーバを起動して使用するために、インターネットに接続する必要はありません。

プリンタをネットワークに接続すると、自動的に HP 内蔵 Web サーバが利用可能になります。

 **注記:** ネットワーク ファイアウォールを越えて HP 内蔵 Web サーバにアクセスすることはできません。

## HP 内蔵 Web サーバ (EWS) へのアクセス方法

1. プリンタのコントロールパネル上のホーム画面から、[情報]  アイコン、[ネットワーク]  アイコンの順に選択して、IP アドレスまたはホスト名を表示します。
2. Web ブラウザを開き、プリンタのコントロールパネルに表示されているのと同じ IP アドレスまたはホスト名をアドレスバーに正確に入力します。コンピュータのキーボードの **Enter** キーを押します。EWS が開きます。

 **注記:** Web サイトへのアクセスが安全でない可能性があることを示すメッセージが Web ブラウザに表示された場合は、Web サイトへのアクセスを続行するオプションを選択してください。この Web サイトへのアクセスによってコンピュータが損害を受けることはありません。

HP 内蔵 Web サーバを使用するには、ブラウザが次の要件を満たしている必要があります。

### Windows® 7

- Internet Explorer (バージョン 8.x 以降)
- Google Chrome (バージョン 34.x 以降)
- Firefox (バージョン 20.x 以降)

### Windows® 8 以降

- Internet Explorer (バージョン 9.x 以降)
- Google Chrome (バージョン 34.x 以降)
- Firefox (バージョン 20.x 以降)

### macOS

- Safari (バージョン 5.x 以降)
- Google Chrome (バージョン 34.x 以降)

### Linux

- Google Chrome (バージョン 34.x 以降)
- Firefox (バージョン 20.x 以降)

## HP 内蔵 Web サーバの機能

- [情報 タブ](#)
- [一般 タブ](#)
- [コピー/印刷 タブ](#)
- [スキャン/デジタル送信 タブ](#)
- [ファックス タブ](#)
- [サプライ品 タブ](#)
- [トラブルシューティング タブ](#)
- [セキュリティ タブ](#)
- [HP Web サービス タブ](#)
- [Networking \(ネットワーキング\) タブ](#)
- [その他のリンクのリスト](#)

### [情報] タブ

表 8-1 HP 内蔵 Web サーバの [情報] タブ

メニュー	説明
[デバイスのステータス]	プリンタのステータスと HP サプライ品の推定寿命を表示します。各トレイにセットされている用紙のタイプとサイズも表示されます。デフォルトの設定を変更する場合は、 <b>[設定の変更]</b> リンクをクリックします。
[設定ページ]	設定ページの情報を表示します。
[サプライ品ステータス ページ]	プリンタのサプライ品のステータスを表示します。
[イベント ログ ページ]	プリンタのすべてのイベントとエラーの一覧を表示します。 <b>[HP Instant Support]</b> リンク (HP 内蔵 Web サーバのすべてのページにある <b>[その他のリンク]</b> 領域) を使用して、問題の解決に役立つ一連の動的 Web ページに接続します。これらのページでも、プリンタで使用できる追加サービスが表示されます。
[使用状況ページ]	用紙のサイズ、タイプ、および用紙印刷経路別に、印刷したページ数を表示します。
[デバイス情報]	プリンタのネットワーク名、アドレス、およびモデル情報を表示します。この情報をカスタマイズする場合は、 <b>[一般]</b> タブの <b>[デバイス情報]</b> をクリックします。
[コントロールパネルのスナップショット]	コントロールパネルディスプレイに現在の画面のイメージを表示します。
[印刷可能なレポートとページ]	プリンタの内部のレポートおよびページを一覧表示します。印刷または表示する項目を1つ以上選択してください。
[オープンソースライセンス]	プリンタで使用できるオープンソースソフトウェアプログラムのライセンスの概要を示します。

### [一般] タブ

表 8-2 HP 内蔵 Web サーバの [一般] タブ

メニュー	説明
[コントロールパネルのカスタマイズ]	コントロールパネルディスプレイで機能の並べ替え、表示、非表示を設定します。  コントロールパネルのデフォルトの表示言語およびキーボードレイアウトを変更します。
[クイックセット]	プリンタのコントロールパネルのホーム画面にある [クイックセット] 領域で印刷可能なジョブを設定します。
[警告]	さまざまなプリンタやサプライ品に関する電子メール警告をセットアップします。
[コントロールパネル設定アプリケーション]	プリンタのコントロールパネルで使用できる設定アプリ オプションを表示します。
[全般的な設定]	プリンタを紙詰まりから復旧する方法およびその他の一般的なプリンタの設定を行います。
[AutoSend]	プリンタの設定とサプライ品に関する自動電子メールを特定の電子メールアドレスに送信するように設定します。
[その他のリンクの編集]	別の Web サイトへのリンクを追加またはカスタマイズできます。このリンクは、HP 内蔵 Web サーバのすべてのページのフッター領域に表示されます。
[アクセサリおよびサプライ品の購入について]	交換用プリントカートリッジの注文に関する情報を入力します。この情報はサプライ品ステータス ページに表示されます。
[デバイス情報]	プリンタに名前を付け、アセット番号を割り当てます。プリンタに関する情報を受信するユーザーの名前を入力します。
[言語]	HP 内蔵 Web サーバの情報を表示する言語を設定します。
[ファームウェアのアップグレード]	プリンタのファームウェア アップグレード ファイルをダウンロードしてインストールします。
[日付/時刻の設定]	日時を設定したり、ネットワークタイム サーバと同期したりします。
[電力設定]	プリンタの復帰時刻、スリープ時刻、およびスリープ遅延を設定または編集します。各曜日および休日に異なるスケジュールを設定します。  プリンタをスリープモードから復帰させる操作を設定します。
[バックアップと復元]	プリンタ データとユーザー データを格納するバックアップファイルを作成します。必要に応じて、このファイルを使用してプリンタにデータを復元します。
[出荷時の設定に戻す]	プリンタの設定を出荷時のデフォルトに戻します。
[ソリューション インストーラ]	プリンタの機能を拡張または変更するためのサードパーティ製のソフトウェアをインストールします。
[ジョブ統計設定]	サードパーティのジョブ統計サービスについての接続情報を示します。
[クォータ設定]	サードパーティのジョブクォータ サービスについての接続情報を示します。

## [コピー/印刷] タブ

表 8-3 HP 内蔵 Web サーバの [コピー/印刷] タブ

メニュー	説明
[USB ドライブからの印刷設定]	コントロールパネルの <b>USB ドライブから印刷</b> メニューを有効または無効にします。
[保存ジョブの管理]	プリンタのメモリにジョブを保存する機能を有効または無効にします。 ジョブ保存オプションを設定します。
[デフォルト印刷オプション]	印刷ジョブのデフォルト オプションを設定します。
[カラー印刷の制限] (カラー プリンタのみ)	カラー印刷およびカラー コピーを許可または制限します。 個々のユーザーまたは特定のソフトウェア プログラムから送信されたジョブの権限を指定します。
[PCL および PostScript の設定]	コピー ジョブとファックス受信を含む、すべての印刷ジョブの PCL および PostScript の設定を調整します。
[印刷品質]	カラー調整、画像登録、および許容される用紙タイプを含む、印刷品質の設定を行います。
[コピー設定]	コピー ジョブのデフォルト オプションとクイックセットを設定します。 <b>注記:</b> ジョブ開始時にコントロールパネルでジョブ固有のコピー設定オプションが設定されていない場合、そのジョブにはデフォルトの設定が使用されます。
[[トレイの管理]]	用紙トレイの設定を指定します。

## [スキャン/デジタル送信] タブ

表 8-4 HP 内蔵 Web サーバの [スキャン/デジタル送信] タブ

メニュー	説明
[[スキャンして電子メールで送信] 設定]	以下をはじめとする、デジタル送信用の電子メールのデフォルト設定を指定します。 <ul style="list-style-type: none"><li>送信メール (SMTP) サーバの設定</li><li>電子メールクイックセットジョブのデフォルトの設定</li><li>デフォルトのメッセージ設定 (「送信元」 アドレス、件名など)</li><li>デジタル署名と暗号化の設定</li><li>電子メール通知の設定</li><li>電子メール ジョブのデフォルトのスキャン設定</li><li>電子メール ジョブのデフォルトのファイル設定</li></ul>

表 8-4 HP 内蔵 Web サーバの [スキャン/デジタル送信] タブ (続き)

メニュー	説明
[[スキャン データをネットワーク フォルダに送信] 設定]	<p>以下をはじめとする、デジタル送信用のネットワーク フォルダを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ネットワーク フォルダに保存されているクイックセット ジョブの設定</li> <li>通知の設定</li> <li>ネットワーク フォルダに保存されているジョブのデフォルトのスキャン設定</li> <li>ネットワーク フォルダに保存されているジョブのデフォルトのファイル設定</li> </ul>
[[スキャンして SharePoint® に保存] 設定] (Flow モデルのみ)	<p>デジタル送信用の Microsoft SharePoint® 設定を設定します。以下の機能が含まれます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>SharePoint® サイトのドキュメント ライブラリに保存されているクイックセット ジョブの設定</li> <li>SharePoint® サイト上の文書ライブラリに保存されているジョブのデフォルト設定</li> </ul>
[スキャンして USB ドライブに保存 設定]	<p>以下をはじめとする、デジタル送信用の USB を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>USB フラッシュ ドライブに保存されているクイックセット ジョブの設定</li> <li>通知の設定</li> <li>USB フラッシュ ドライブに保存されているジョブのデフォルトのスキャン設定</li> <li>USB フラッシュ ドライブに保存されているジョブのデフォルトのファイル設定</li> </ul>
[連絡先]	<p>連絡先管理を行います。以下の機能が含まれます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>一度に1つずつ電子メールアドレスを追加します。</li> <li>頻繁に使用する電子メールアドレスの大きなリストを、1つずつではなく、一括でプリンタにロードします。</li> <li>プリンタからコンピュータ上の .CSV ファイルにデータバックアップとして連絡先をエクスポートしたり、別の HP プリンタにレコードをインポートします。</li> <li>プリンタに保存されている電子メールアドレスを編集します。</li> </ul>
[電子メールセットアップウィザードおよび[スキャン データをネットワーク フォルダに送信]クイックセットアップウィザード]	<p>スキャンしたイメージを電子メール添付ファイルとして送信するよう設定します。</p> <p>スキャンしたイメージがネットワーク フォルダクイックセットに保存されるよう設定します。クイックセットでは、ネットワーク上に保存されているファイルに簡単にアクセスできます。</p>
[デジタル送信ソフトウェア セットアップ]	<p>オプションのデジタル送信ソフトウェアの使用に関連する項目を設定します。</p>

## [ファックス]タブ

表 8-5 HP 内蔵 Web サーバの [ファックス] タブ

メニュー	説明
[ファックス送信設定]	以下をはじめとする、ファックス送信を設定します。 <ul style="list-style-type: none"><li>送信ファックスのデフォルトの設定</li><li>クイック セット ジョブのファックス設定</li><li>通知の設定</li><li>内蔵ファックス モデムによるファックス送信のデフォルトの設定</li><li>LAN ファックス サービスの使用の設定</li><li>インターネット ファックス サービスの使用の設定</li></ul>
[ファックス短縮ダイヤル]	次を含め、短縮ダイヤルを管理します。 <ul style="list-style-type: none"><li>電子メールアドレス、ファックス番号、ユーザー レコードなどを含む .CSV ファイルをインポートして、プリンタからアクセスできるようにします。</li><li>プリンタからコンピュータ上のファイルにデータ バックアップとして電子メール、ファックス、またはユーザー レコードをエクスポートしたり、別の HP プリンタにレコードをインポートします。</li></ul>
[ファックス受信のセットアップ]	受信ファックスに関するデフォルトの印刷オプション、および、ファックス印刷スケジュールを設定します。
[ファックスのアーカイブと転送]	ファックス アーカイブおよびファックス転送を有効または無効にし、それぞれの基本項目を設定します。 <ul style="list-style-type: none"><li>ファックス アーカイブとは、すべての送受信ファックスのコピーを電子メールアドレス、ネットワーク フォルダ、または FTP サーバに送信する方法です。</li><li>ファックス転送とは、受信ファックスを別のファックス デバイスに転送する方法です。</li></ul>
[ファックス使用状況ログ]	このプリンタで送受信されたファックスが一覧表示されます。

## [サプライ品]タブ

表 8-6 HP 内蔵 Web サーバの [サプライ品] タブ

メニュー	説明
[サプライ品の管理]	サプライ品の状態が「非常にわずか」になったときのプリンタの動作方法を設定します。

## [トラブルシューティング]タブ



表 8-7 HP 内蔵 Web サーバの [トラブルシューティング] タブ

メニュー	説明
[一般的なトラブルシューティング]	プリンタに関する問題の解決に役立つ、さまざまなレポートとテストから選択します。
[Online Help]	印刷の問題をトラブルシューティングできるクラウドベースの HP オンラインヘルプへのリンク。
[診断データ]	プリンタの情報をファイルにエクスポートして、詳細な問題分析に利用することができます。
<b>注記:</b> この項目は、管理者パスワードを [セキュリティ] タブで設定した場合だけ選択できます。	
[校正/クリーニング] (カラー プリンタのみ)	自動クリーニング機能の有効化、クリーニング ページを作成して印刷、プリンタを迅速に校正するオプションの選択を行うことができます。
[出荷時の設定を復元]	プリンタの設定を出荷時のデフォルトに戻します。
[ファームウェアのアップグレード]	プリンタのファームウェア アップグレード ファイルをダウンロードしてインストールします。

## [セキュリティ] タブ

表 8-8 HP 内蔵 Web サーバの [セキュリティ] タブ

メニュー	説明
[一般セキュリティ]	次を含む、一般セキュリティの設定です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>プリンタの特定の機能へのアクセスを制限するため、管理者パスワードを設定します。</li> <li>PJL コマンドを処理するための PJL パスワードを設定します。</li> <li>ファイル システム アクセスとファームウェア アップグレードのセキュリティを設定します。</li> <li>コンピュータから直接印刷するための、コントロールパネルのホスト USB ポートまたはフォーマッタの USB 接続ポートを有効または無効にします。</li> <li>すべてのセキュリティ設定のステータスを表示します。</li> </ul>
[アカウント ポリシー]	管理者アカウントの設定を有効にします。
[アクセス制御]	特定の個人やグループに対するプリンタ機能へのアクセスの設定、個人がプリンタへのサインインに使用する方法の選択を行います。
[保存データの保護]	プリンタの内蔵ハード ドライブを設定および管理します。 プリンタのハード ドライブに格納されているジョブを設定します。
[リモート接続の管理]	デバイスで本製品を使用できるようにする証明書をインポートまたは削除することで、リモート アプリケーションを管理するかまたはホワイト リストに追加します。
[証明書の管理]	プリンタおよびネットワークにアクセスするためのセキュリティ証明書をインストールおよび管理します。

表 8-8 HP 内蔵 Web サーバの [セキュリティ] タブ (続き)

メニュー	説明
[Web サービスセキュリティ]	別のドメインからの Web ページによる本プリンタのリソースへのアクセスを許可します。リストに追加されたサイトがない場合、すべてのサイトが信頼されたサイトとなります。
[セルフテスト]	セキュリティ機能が、目的のシステムパラメータに応じて実行されていることを確認します。

## [HP Web サービス] タブ

[HP Web サービス] タブでは、このプリンタ用に HP Web サービスを設定して有効にします。HP ePrint 機能を使用するには、HP Web サービスを有効にする必要があります。

表 8-9 HP 内蔵 Web サーバの [HP Web サービス] タブ

メニュー	説明
[Web Services Setup (Web サービスの設定)]	HP Web サービスを有効にして、このプリンタを Web 上の HP Connected に接続します。
[Web Proxy (Web プロキシ)]	HP Web サービスの有効化やプリンタとインターネットの接続に問題がある場合は、プロキシサーバを設定します。
[HP JetAdvantage]	プリンタの機能を拡張するソリューションにアクセスします。
[Smart Cloud Print]	Smart Cloud Print を有効にし、プリンタの機能を拡張する Web ベースのアプリケーションにアクセスできるようにします。

## [Networking] (ネットワーキング) タブ

[ネットワーク] タブでは、プリンタが IP ベースのネットワークに接続されている場合に、プリンタのネットワーク設定を設定して保護します。このタブは、プリンタが別のタイプのネットワークに接続されている場合は表示されません。

表 8-10 HP 内蔵 Web サーバの [ネットワーキング] タブ

メニュー	説明
設定	
[Wireless Station (ワイヤレスステーション)]	初期ワイヤレス設定を構成します。
[Wi-Fi Direct]	内蔵の Wi-Fi Direct 印刷および NFC 印刷を搭載したプリンタ、またはワイヤレスアクセサリが取り付けられているプリンタで、Wi-Fi Direct 設定を設定します。 <b>注記:</b> 使用可能な設定オプションは、お使いのプリントサーバモデルによって異なります。
[TCP/IP 設定]	IPv4 および IPv6 ネットワークの TCP/IP 設定を設定します。 <b>注記:</b> 使用可能な設定オプションは、お使いのプリントサーバモデルによって異なります。
[ネットワーク設定]	プリントサーバモデルに応じて、IPX/SPX、AppleTalk、DLC/LLC、SNMP 設定を設定します。

表 8-10 HP 内蔵 Web サーバの [ネットワーキング] タブ (続き)

メニュー	説明
[その他の設定]	プリントサーバでサポートされる全般的な印刷プロトコルとサービスを設定します。使用可能なオプションはプリントサーバのモデルによって異なりますが、ファームウェア更新、LPD キュー、USB 設定、サポート情報、リフレッシュ速度が含まれることがあります。
[AirPrint]	Apple 対応プリンタからのネットワーク印刷を有効化、セットアップ、または無効化します。
[言語の選択]	HP 内蔵 Web サーバにより表示される言語を変更します。このページは、Web ページで複数の言語がサポートされている場合に使用可能です。または、ブラウザの言語の優先順位設定を使用して、サポートする言語を選択します。
[場所の選択]	プリンタを使用する国/地域を選択します。
Google クラウド プリント	
[セットアップ]	Google クラウド プリントのオプションを設定します。
[Web Proxy (Web プロキシ)]	プロキシ設定を構成します。
セキュリティ	
[設定]	現在のセキュリティ設定を表示し、出荷時の設定に戻します。 セキュリティ設定ウィザードを使用してセキュリティ設定を行います。 <b>注記:</b> HP Web Jetadmin などのネットワーク管理アプリケーションを使用してセキュリティを設定している場合は、セキュリティ設定ウィザードを使用しないでください。
[許可]	本プリンタの設定管理および使用を制御します。以下の機能が含まれます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>管理者パスワードを設定または変更して、設定パラメータへのアクセスを制御します。</li> <li>HP Jetdirect プリントサーバでのデジタル証明書の要求、インストール、および管理を行います。</li> <li>アクセス制御リスト (ACL) を通して本プリンタへのホストアクセスを制限します (IPv4 ネットワーク上の選択したプリントサーバのみ)。</li> </ul>
[安全な通信]	セキュリティ設定を構成します。
[管理プロトコル]	本プリンタのセキュリティプロトコルを設定管理します。以下の機能が含まれます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>HP 内蔵 Web サーバのセキュリティ管理レベルを設定し、HTTP および HTTPS 上のトラフィックを制御します。</li> <li>SNMP (Simple Network Management Protocol) の動作を設定します。プリントサーバで SNMP v1/v2c エージェントや SNMP v3 エージェントを有効または無効にします。</li> <li>印刷プロトコル、印刷サービス、検出プロトコル、名前の解決サービス、設定管理プロトコルなど、安全性が確約されていないプロトコルを通じたアクセスを制御します。</li> </ul>

表 8-10 HP 内蔵 Web サーバの [ネットワーク] タブ (続き)

メニュー	説明
[[802.1X Authentication]]	ネットワーク上のクライアント認証に必要な Jetdirect プリント サーバの 802.1X 認証設定を設定したり、802.1X 認証設定を出荷時の設定に戻したりします。  <b>注意：</b> 802.1X 認証設定を変更すると、プリンタの接続が失われることがあります。再接続するには、プリントサーバを出荷時の状態に戻し、プリンタを取り付け直す必要がある場合があります。
[IPsec/ファイアウォール]	ファイアウォール ポリシーまたは IPsec/ファイアウォール ポリシーを表示または設定します。
[通知エージェント]	HP デバイス通知エージェントを有効または無効にします。証明書による相互認証を設定します。
<b>診断</b>	
[ネットワーク統計]	HP Jetdirect プリント サーバに収集して保存されているネットワーク統計を表示します。
[プロトコル情報]	プロトコル別に HP Jetdirect プリント サーバのネットワーク設定のリストを表示します。
[設定ページ]	ステータスおよび設定情報が記載された HP Jetdirect 設定ページを表示します。

## [その他のリンク] のリスト

[一般] タブの [その他のリンクの編集] メニューを使用して、HP 内蔵 Web サーバのフッターにどのリンクを表示するかを設定します。

 **注記：**以下の項目は、デフォルトのリンクです。

表 8-11 HP 内蔵 Web サーバ [その他のリンク] のリスト

メニュー	説明
[HP Instant Support]	HP の Web サイトに接続して、プリンタの問題の解決方法を検索します。
[サプライ品の購入]	HP SureSupply Web サイトに接続し、HP 純正サプライ品 (例：カートリッジ、用紙) の購入情報を取得します。
[製品のサポート]	プリンタのサポートサイトに接続し、さまざまなトピックのヘルプを検索します。

## IP ネットワークの設定

- [プリンタ共有の免責条項](#)
- [ネットワーク設定の表示または変更](#)
- [ネットワーク上でのプリンタ名の変更](#)
- [コントロールパネルから IPv4 TCP/IP パラメータを手動で設定](#)
- [コントロールパネルから IPv6 TCP/IP パラメータを手動で設定](#)
- [リンク速度と二重通信設定](#)

### プリンタ共有の免責条項


HP はピアツーピア ネットワークをサポートしていません。これは、Microsoft オペレーティング システムの機能であり、HP プリンタ ドライバの機能ではありません。Microsoft の Web サイト [www.microsoft.com](http://www.microsoft.com) にアクセスしてください。

### ネットワーク設定の表示または変更

HP 内蔵 Web サーバを使用して、IP 設定を表示または変更します。

1. HP 内蔵 Web サーバ (EWS) を開きます。
  - a. プリンタのコントロールパネル上の [ホーム] 画面から、[情報] ⓘ アイコン、[ネットワーク] 📶 アイコンの順にタッチして、IP アドレスまたはホスト名を表示します。
  - b. Web ブラウザを開き、プリンタのコントロールパネルに表示されているのと同じ IP アドレスまたはホスト名をアドレスバーに正確に入力します。コンピュータのキーボードの **Enter** キーを押します。EWS が開きます。

---

 **注記** : Web サイトへのアクセスが安全でない可能性があることを示すメッセージが Web ブラウザに表示された場合は、Web サイトへのアクセスを続行するオプションを選択してください。この Web サイトへのアクセスによってコンピュータが損害を受けることはありません。

---

2. **[ネットワーク]** タブをクリックし、ネットワーク情報を取得します。必要に応じて設定を変更します。


### ネットワーク上でのプリンタ名の変更

プリンタを一意に識別できるようにネットワーク上でプリンタ名を変更する場合は、HP 内蔵 Web サーバを使用します。

1. HP 内蔵 Web サーバ (EWS) を開きます。
  - a. プリンタのコントロールパネル上の [ホーム] 画面から、[情報] ⓘ アイコン、[ネットワーク] 📶 アイコンの順にタッチして、IP アドレスまたはホスト名を表示します。

- b. Web ブラウザを開き、プリンタのコントロールパネルに表示されているのと同じ IP アドレスまたはホスト名をアドレスバーに正確に入力します。コンピュータのキーボードの **Enter** キーを押します。EWS が開きます。


---

 **注記** : Web サイトへのアクセスが安全でない可能性があることを示すメッセージが Web ブラウザに表示された場合は、Web サイトへのアクセスを続行するオプションを選択してください。この Web サイトへのアクセスによってコンピュータが損害を受けることはありません。

---

2. **[一般]** タブを開きます。
3. **[デバイス情報]** ページの **[デバイス名]** フィールドにデフォルトのプリンタ名が表示されています。プリンタを一意に識別するために、この名前を変更できます。

---

 **注記** : このページの他のフィールドへの入力は省略可能です。

---

4. 変更を保存するには、**[適用]** ボタンをクリックします。

## コントロールパネルから IPv4 TCP/IP パラメータを手動で設定

コントロールパネルの **設定** メニューを使用して IPv4 アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを手動で設定します。

1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、**設定** アプリケーションに移動し、**設定** アイコンを選択します。
2. 以下のメニューを開きます。
  - **ネットワーキング**
  - **イーサネット**
  - **TCP/IP**
  - **IPV 4 設定**
  - **設定方法**
3. **手動** オプションを選択し、**保存** ボタンをタッチします。
4. **手動設定** メニューを開きます。
5. **IP アドレス**、**サブネットマスク** または **デフォルトゲートウェイ** オプションをタッチします。
6. 最初のフィールドをタッチしてキーパッドを開きます。フィールドに正しい数字を入力して、**OK** ボタンをタッチします。


このプロセスをフィールドごとに繰り返した後、**保存** ボタンをタッチします。

## コントロールパネルから IPv6 TCP/IP パラメータを手動で設定


コントロールパネルの **設定** メニューを使用して、IPv6 アドレスを手動で設定します。


1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、**設定** アプリケーションに移動し、**設定** アイコンを選択します。
2. 手動設定を有効にするため、次の各メニューを開きます。
  - ネットワーキング
  - イーサネット
  - TCP/IP
  - IPV6 設定
3. **有効化** を選択し、次に **オン** を選択します。
4. **手動設定の有効化** オプションを選択し、**完了** ボタンをタッチします。
5. アドレスを設定するには、**アドレス** メニューを開いてから、フィールドをタッチしてキーパッドを開きます。
6. キーパッドを使用してアドレスを入力し、**OK** ボタンをタッチします。
7. **[保存]** をタッチします。

## リンク速度と二重通信設定

 **注記** : この情報は、Ethernet ネットワークのみに適用されます。ワイヤレスネットワークには適用されません。

プリントサーバのリンク速度と通信モードはネットワークハブと一致する必要があります。特別な場合を除き、自動モードから変更しないでください。リンク速度と二重通信設定を誤って変更すると、プリンタと他のネットワーク デバイス間の通信ができなくなります。変更する必要がある場合は、プリンタのコントロールパネルを使用します。

 **注記** : プリンタの設定は、ネットワークデバイス(ネットワークハブ、スイッチ、ゲートウェイ、ルーター、またはコンピュータ)の設定と一致している必要があります。

 **注記** : 設定を変更すると、プリンタがいったんオフになってから再びオンになります。変更を加える場合は、プリンタがアイドル状態のときに操作してください。

1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、**設定** アプリケーションに移動し、**設定** アイコンを選択します。
2. 以下のメニューを開きます。
  - ネットワーキング
  - イーサネット
  - リンク速度
3. 以下のオプションから1つ選択してください。
  - **自動**: 使用しているネットワークで可能な最高のリンク速度と通信モードに自動的に設定されます。
  - **10T Half**: 10Mbps、ハーフ二重

- 10T Full: 10Mbps、フル二重
  - 10T Auto: 10Mbps、自動二重
  - 100TX Half: 100Mbps、ハーフ二重
  - 100TX Full: 100Mbps、フル二重
  - 100TX Auto: 100Mbps、自動二重
  - 1000T Full: 1000Mbps、フル二重
4. 保存 ボタンをタッチします。プリンタの電源を入れ直します。



# プリンタのセキュリティ機能

- [はじめに](#)
- [セキュリティステートメント](#)
- [管理者パスワードの割り当て](#)
- [IPセキュリティ](#)
- [暗号化サポート：HPハイパフォーマンスセキュアハードディスク](#)
- [フォーマッタのロック](#)

## はじめに

プリンタには、構成設定やセキュアデータにアクセス権を持つユーザーを制限したり、重要なハードウェアコンポーネントへのアクセスを防ぐセキュリティ機能が複数搭載されています。

## セキュリティステートメント

このプリンタでは、プリンタの安全な状態の維持、ネットワーク上の重要な情報の保護、プリンタの監視および管理方法の効率化に役立つセキュリティ規格および推奨プロトコルをサポートしています。

## 管理者パスワードの割り当て


プリンタおよびHP 内蔵 Web サーバにアクセスするための管理者パスワードを割り当てて、権限のないユーザーがプリンタの設定を変更できないようにします。

- [HP 内蔵 Web サーバ \(EWS\) を使用してパスワードを設定する](#)
- [プリンタのコントロールパネルでユーザーのアクセス認証情報を入力する](#)

### HP 内蔵 Web サーバ (EWS) を使用してパスワードを設定する

1. HP 内蔵 Web サーバ (EWS) を開きます。
  - a. プリンタのコントロールパネル上の [ホーム] 画面から、[情報] ⓘ アイコン、[ネットワーク] 📶 アイコンの順にタッチして、IP アドレスまたはホスト名を表示します。
  - b. Web ブラウザを開き、プリンタのコントロールパネルに表示されているのと同じ IP アドレスまたはホスト名をアドレスバーに正確に入力します。コンピュータのキーボードの **Enter** キーを押します。EWS が開きます。


---

 **注記** : Web サイトへのアクセスが安全でない可能性があることを示すメッセージが Web ブラウザに表示された場合は、Web サイトへのアクセスを続行するオプションを選択してください。この Web サイトへのアクセスによってコンピュータが損害を受けることはありません。

---

2. [セキュリティ] タブをクリックします。
3. [一般セキュリティ] メニューを開きます。
4. [ローカル管理者パスワードを設定] 領域で、[ユーザー名] フィールドのパスワードに対応する名前を入力します。
5. [新しいパスワード] フィールドにパスワードを入力し、[パスワードの確認] フィールドにパスワードを再度入力します。


---

 **注記** : 現在のパスワードを変更する際は、最初に [古いパスワード] フィールドに現在のパスワードを入力します。

---

6. [適用] をクリックします。

---

 **注記** : パスワードをメモして、安全な場所に保管してください。管理者パスワードは復元できません。管理者パスワードを紛失するか忘れた場合、完全にプリンタをリセットする方法については、[support.hp.com](http://support.hp.com) にお問い合わせください。

---

### プリンタのコントロールパネルでユーザーのアクセス認証情報を入力する

コントロールパネルの一部の機能は、権限のないユーザーが利用できないよう、保護できます。保護されている機能を利用しようとする、サインインを要求されます。プリンタのコントロールパネルで **サインイン** を選択すると、サインインを求めるプロンプトが表示される前にサインインすることもできます。

通常、プリンタへのサインインの認証情報は、ネットワークにサインインするときのものと同じです。使用する資格情報について不明な点がある場合は、このプリンタを管理しているネットワーク管理者にお問い合わせください。

1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、[サインイン](#) を選択します。
2. プロンプトに従って認証情報を入力します。

 **注記** : プリンタのセキュリティを維持するため、プリンタ使用後に [サインアウト](#) を選択します。

## IP セキュリティ

IP セキュリティ (IPsec) は、IP ベースのネットワーク上でプリンタの送受信トラフィックを制御するプロトコルセットです。ネットワーク通信において、ホスト間の認証、データの整合性チェック、および暗号化を行います。

ネットワーク接続されており、かつ HP Jetdirect プリント サーバを備えているプリンタの場合については、HP 内蔵 Web サーバで **[ネットワーク]** タブを使用して、IPsec を設定できます。

## 暗号化サポート : HP ハイパフォーマンスセキュアハードディスク

このハードディスクではハードウェアベースの暗号化が利用できるため、プリンタの性能に影響を与えることなく、機密性のあるデータを安全に保存できます。このハードディスクは、最新の AES (Advanced Encryption Standard) を使用し、汎用性のある時間節約機能と堅牢な機能を備えています。

HP 内蔵 Web サーバの **[セキュリティ]** メニューを使用して、このディスクを設定します。

## フォーマッタのロック

フォーマッタには、セキュリティ ケーブルを取り付けるのに使用できるスロットが付いています。フォーマッタをロックすることで、重要なコンポーネントがフォーマッタから外れるのを防ぐことができます。

## 省エネ設定


- [EconoMode での印刷](#)
- [スリープタイマをセットし、1W 以下の電力を使用するようプリンタを設定します。](#)
- [スリープスケジュールの設定](#)

## EconoMode での印刷

本プリンタでは、ドラフト段階の文書を印刷する場合に、EconoMode をご利用いただけます。EconoMode を使用すると、トナーの使用量を削減できますが、印刷品質が低下する場合があります。

- [プリントドライバから EconoMode を設定する](#)
- [プリンタのコントロールパネルから EconoMode を設定](#)

HP では、EconoMode を常時使用することをお勧めしていません。EconoMode を常に使用すると、トナーを使い切る前に、トナーカートリッジ内の機械部品の寿命が終了する可能性があります。印刷品質が低下し始めたり、十分な品質が保てなくなった場合は、トナーカートリッジの交換を検討してください。

 **注記:** プリントドライバがこのオプションに対応していない場合は、プリンタのコントロールパネルを使用して設定します。

### プリントドライバから EconoMode を設定する

1. ソフトウェアプログラムから、**[印刷]** オプションを選択します。
2. プリンタを選択し、**[プロパティ]** または **[ユーザー設定]** ボタンをクリックします。
3. **[[用紙/品質]]** タブをクリックします。
4. **[EconoMode]** チェックボックスをオンにしてこの機能を有効にし、**[OK]** をクリックします。

### プリンタのコントロールパネルから EconoMode を設定

プリンタのコントロールパネルを使用して EconoMode 設定を変更します。


1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、**設定** アプリケーションに移動し、**設定** アイコンを選択します。
2. 以下のメニューを開きます。
  - [コピー/印刷](#) または [印刷](#)
  - [デフォルト印刷オプション](#)
  - [エコノモード](#)
3. この機能の無効/有効を切り替えるには、**オン/オフ** を選択します。

### スリープタイマをセットし、1W 以下の電力を使用するようプリンタを設定します。

スリープ設定は、プリンタの消費電力、スリープ/スリープ復帰時刻、プリンタがスリープモードに入る速度、およびスリープモードから復帰する速度に影響します。

プリンタのスリープモード時の消費電力を1ワット以下に設定するには、**アイドル状態後スリープ** と **スリープ後自動オフ** 設定の両方に時間を入力します。

1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、**設定** アプリケーションに移動し、**設定** アイコンを選択します。
2. 以下のメニューを開きます。
  - **全般**
  - **電力設定**
  - **スリープ設定**
3. 製品がスリープモードに入る前にどのくらいの時間(分)アイドル状態であるかを指定するには、**アイドル状態後スリープ** を選択します。適切な時間を入力します。
4. 一定時間のスリープ後にさらに深い省電力モードに入るには、**スリープ後自動オフ** を選択します。適切な時間を入力します。

 **注記** : デフォルトでは、プリンタはUSB や Wi-Fi 以外の操作にตอบสนองして自動オフから復帰します。電力をさらに節約する設定をするには、**シャットダウン(電源ボタンのみで復帰)** を選択して、電源ボタンを押した場合のみスリープから復帰するよう設定できます。

5. **完了** を選択して設定を保存します。

## スリープスケジュールの設定

**スリープスケジュール** 機能は、プリンタが自動的にスリープから復帰したり、特定の曜日の特定の時間にスリープモードになるように設定する場合に使用します。

1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、**設定** アプリケーションに移動し、**設定** アイコンを選択します。
2. 以下のメニューを開きます。
  - **全般**
  - **電力設定**
  - **スリープスケジュール**
3. **新しいイベント** ボタンを選択し、スケジュール設定するイベントの種類(**復帰イベント** または **スリープイベント**) を選択します。
4. 復帰またはスリープイベントについては、イベントの時間と曜日を設定します。設定を保存するには、**保存** をクリックします。

## HP Web Jetadmin

HP Web Jetadmin は高い評価を得ている業界最高水準のツールで、ネットワーク接続されたさまざまな HP 製品(例: プリンタ、多機能プリンタ、デジタル送信装置)を効率的に管理できます。このソフトウェア1つで、印刷/画像処理環境におけるリモートインストール、監視、保守、トラブルシューティング、セキュリティ確保の各作業を行うことができます。これにより、時間の節約、コストの抑制、および既存資産の有効利用が可能になるので、業務の生産性が向上します。

特定のプリンタ機能をサポートする HP Web Jetadmin の更新プログラムは定期的に提供されています。詳細については、[www.hp.com/go/webjetadmin](http://www.hp.com/go/webjetadmin) をご覧ください。

## ソフトウェアおよびファームウェアの更新

HP では、プリンタ ファームウェアの機能を定期的に更新しています。プリンタ ファームウェアをアップデートすると、最新機能を利用できます。最新のファームウェア更新ファイルを Web からダウンロードしてください。

[www.hp.com/support/ljM528mfp](http://www.hp.com/support/ljM528mfp) にアクセスします。次に【ドライバ&ソフトウェア】をクリックします。





## 9 問題の解決

プリンタの問題をトラブルシューティングします。ヘルプおよびテクニカルサポートの追加リソースを確認します。

- [カスタマーサポート](#)
- [コントロールパネルのヘルプシステム](#)
- [出荷時の設定に戻す](#)
- [「カートリッジ残量わずか」または「カートリッジ残量非常にわずか」のメッセージがプリンタのコントロールパネルに表示される](#)
- [給紙されない、または給紙ミスが発生する](#)
- [紙詰まりの解消](#)
- [印刷品質の問題の解決](#)
- [コピーのイメージ品質を向上させる](#)
- [スキャンのイメージ品質を向上させる](#)
- [ファックスの画像品質の向上](#)
- [有線ネットワークに関する問題の解決](#)
- [ワイヤレスネットワークに関する問題の解決](#)
- [ファックスに関する問題の解決](#)
- [USB フラッシュドライブからの応答がない](#)

ビデオ アシスタンスについては、[www.hp.com/videos/LaserJet](http://www.hp.com/videos/LaserJet) を参照してください。

以下の情報は、発行時点で正確なものです。最新の詳細は、[www.hp.com/support/ljM528mfp](http://www.hp.com/support/ljM528mfp) を参照してください。

詳細は、[次を参照してください](#)。

お使いのプリンタに関する HP の包括的なヘルプには次の情報が含まれています。

- 設置と設定
- 学習と使用
- 問題の解決

- ソフトウェアのダウンロードとファームウェアの更新
- サポートフォーラムへの参加
- 保証および規制に関する情報の検索

## カスタマーサポート

国/地域の電話サポートを受ける プリンタ名、シリアル番号、購入日、および問題の説明をご用意ください。	国/地域の電話番号については、プリンタに同梱のパンフレットまたは <a href="http://support.hp.com">support.hp.com</a> をご覧ください。
24時間インターネットサポートの利用と、ソフトウェアユーティリティおよびドライバのダウンロード	<a href="http://www.hp.com/support/ljM528mfp">www.hp.com/support/ljM528mfp</a>
その他の HP サービスまたは保守契約の注文	<a href="http://www.hp.com/go/carepack">www.hp.com/go/carepack</a>
プリンタの登録	<a href="http://www.register.hp.com">www.register.hp.com</a>

## コントロールパネルのヘルプシステム

このプリンタには、各画面の使い方を説明するヘルプシステムが組み込まれています。ヘルプシステムを開くには、画面の右上隅にある [ヘルプ] ? ボタンにタッチします。



一部の画面では、[ヘルプ] にタッチすると、特定のトピックを検索できるグローバルメニューが表示されることがあります。メニューのボタンにタッチして、メニュー構造を参照できます。

一部の [ヘルプ] 画面には、紙詰まりの解消などの具体的な手順を示すアニメーションが含まれています。

プリンタでエラーや警告が表示される場合は、[ヘルプ] ? ボタンをタッチして、問題を説明するメッセージを表示します。このメッセージには、問題解決に役立つ手順も記載されています。

## 出荷時の設定に戻す

プリンタ設定を出荷時のデフォルト設定に戻すと、問題の解決に役立つことがあります。

- [はじめに](#)
- [方法 1: プリンタのコントロールパネルで出荷時の設定に戻す](#)
- [方法 2: HP 内蔵 Web サーバから出荷時の設定に戻す \(ネットワーク接続されているプリンタのみ\)](#)

### はじめに

プリンタを出荷時の設定に戻すには、次の方法のいずれかを実行します。


### 方法 1: プリンタのコントロールパネルで出荷時の設定に戻す

設定を元の値に戻すには、プリンタのコントロールパネルを使用します。

1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、**設定** アプリケーションに移動し、**設定** アイコンを選択します。
2. 以下のメニューを開きます。
  - **全般**
  - **出荷時の設定に戻す**
3. **リセット** を選択します。

リセット機能を実行するとデータの損失が起こる可能性があることを知らせる確認メッセージが表示されます。
4. **リセット** を選択して、処理を完了します。



---

 **注記** : リセット操作が完了すると、プリンタが自動的に再起動します。

---

### 方法 2: HP 内蔵 Web サーバから出荷時の設定に戻す (ネットワーク接続されているプリンタのみ)

プリンタ設定を元の設定にリセットするには、HP EWS を使用します。

1. プリンタのコントロールパネルで、**[情報]**  ボタンを選択し、**[ネットワーク]**  アイコンを選択して、IP アドレスまたはホスト名を表示します。
2. **[一般]** タブを開きます。
3. 画面左側で、**[出荷時の設定に戻す]** をクリックします。
4. **[リセット]** ボタンをクリックします。

---

 **注記** : リセット操作が完了すると、プリンタが自動的に再起動します。

---

## 「カートリッジ残量わずか」または「カートリッジ残量非常にわずか」のメッセージがプリンタのコントロールパネルに表示される

- [「非常にわずか」の設定の変更](#)
- [\[Order supplies \(サプライ品の注文\)\]](#)

**カートリッジ残量わずか**：トナーカートリッジの残量が少なくなると、プリンタに表示されます。実際のトナーカートリッジの寿命は異なる場合があります。印刷品質が許容範囲を下回った際に備え、交換用サプライ品をご用意ください。今すぐトナーカートリッジを交換する必要はありません。

カートリッジを再分散させても、印刷品質が使用に耐えるレベルにならない場合には、プリントカートリッジを交換します。トナーを再分散させるには、プリンタからトナーカートリッジを取り出し、カートリッジを水平方向に前後にゆっくりと振ります。図解については、カートリッジの交換手順を参照してください。トナーカートリッジをプリンタに取り付け直し、カバーを閉じます。

**カートリッジ残量が非常にわずか**：トナーカートリッジの残量が非常に少なくなると、プリンタに表示されます。実際のトナーカートリッジの寿命は異なる場合があります。印刷品質が許容範囲を下回った際に備え、交換用サプライ品をご用意ください。適切な印刷品質が得られている場合、すぐにトナーカートリッジを交換する必要はありません。

使用可能なカートリッジの寿命が終了に近づいており、HPのプレミアムプロテクション保証が終了します。サプライ品ステータスページまたは、HP内蔵Webサーバ(EWS)のステータスを確認してください。

## 「非常にわずか」の設定の変更

サプライ品の状態が「非常にわずか」になったときのプリンタの動作方法を変更できます。これらの設定は、新しいカートリッジを取り付けるときに再設定する必要はありません。

- [コントロールパネルで「残量ごくわずか」の設定を変更する](#)
- [ファックス機能付きのプリンタの場合](#)

### コントロールパネルで「残量ごくわずか」の設定を変更する

プリンタのコントロールパネルで設定を変更します。

1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、**設定** アプリケーションに移動し、**設定** アイコンを選択します。
2. 以下のメニューを開きます。
  - [サプライ品の管理](#)
  - [\[非常にわずか\]時の動作](#)
  - [黒カートリッジ](#)または[カラーカートリッジ](#)
3. 以下のオプションから1つ選択してください。
  - カートリッジの残量が**非常にわずか**のしきい値に達したときに印刷を停止するようプリンタを設定するには、**停止** オプションを選択します。
  - カートリッジの残量が**非常にわずか**のしきい値に達したときに印刷を続行するようプリンタを設定するには、**続行を要求** オプションを選択します。メッセージを承認するか、またはカートリッジを交換して印刷を再開することができます。
  - カートリッジの残量が非常にわずかという警報を表示し、**非常にわずか**の設定を超えても操作なしで印刷を続けるようプリンタを設定するには、**継続** オプションを選択します。この場合、満足な印刷品質が得られないことがあります。

### ファックス機能付きのプリンタの場合

プリンタが**停止**または**続行を要求**オプションに設定されている場合、プリンタが印刷を再開する際、一部のファックスが印刷されなくなるリスクがあります。この問題は、プリンタが、待機中にメモリに保持できる容量より多くのファックスを受信した場合に発生する可能性があります。

カートリッジに対して**継続**オプションを選択した場合は、「非常にわずか」のしきい値を超えても、中断することなくファックスを印刷できますが、印刷品質は劣化する可能性があります。

### [Order supplies (サプライ品の注文)]

サプライ品や用紙を注文する	<a href="http://www.hp.com/go/SureSupply">http://www.hp.com/go/SureSupply</a>
サービス代理店経由で注文する	HPの正規サービス代理店に問い合わせてください。
HP内蔵 Web サーバ (EWS) を使って注文する	アクセスするには、お使いのコンピュータでサポートされている Web ブラウザのアドレスまたは URL フィールドに、プリンタの IP アドレスまたはホスト名を入力します。EWS には HP SureSupply Web サイトへのリンクがあります。このリンクを選択すると HP 純正のサプライ品の購入オプションにアクセスできます。

## 給紙されない、または給紙ミスが発生する

- [はじめに](#)
- [用紙がピックアップされない](#)
- [複数枚の用紙がピックアップされる](#)
- [文書フィーダで紙詰まり、スキューが起こったり、複数枚の用紙がピックアップされる](#)

### はじめに


プリンタのトレイから用紙が給紙されない場合、または同時に複数の用紙が給紙される場合は、次のソリューションが問題解決に役立ちます。次のいずれかの状況は、紙詰まりが原因となっている可能性があります。

### 用紙がピックアップされない

トレイから用紙がピックアップされない場合、次の解決策を試してください。

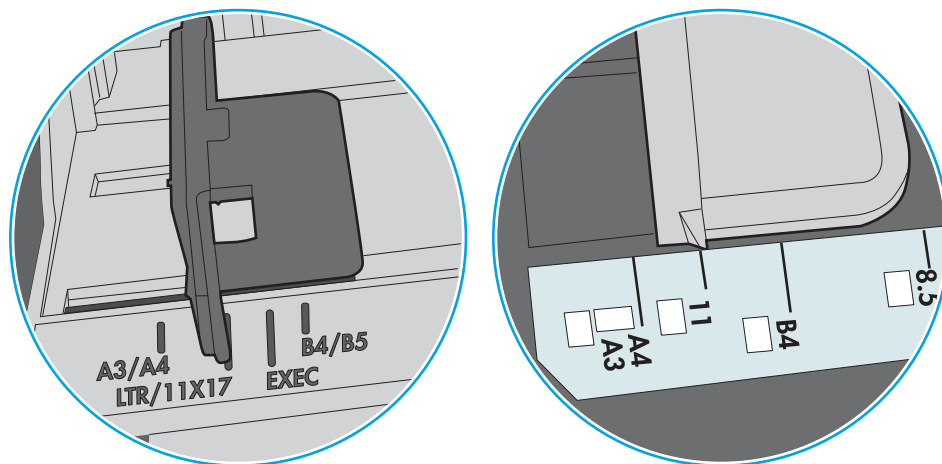
1. プリンタのカバーを開け、詰まっている用紙を取り除きます。プリンタ内部に紙の切れ端が残っていないことを確認します。
2. ジョブに適したサイズの用紙をトレイにセットします。
3. プリンタのコントロールパネルで用紙サイズと用紙タイプが正しく設定されていることを確認します。

4. トレイの用紙ガイドの位置を用紙サイズに合わせて調整します。トレイの適切な目印に合わせてガイドを調整します。トレイのガイドにある矢印とトレイのマークの位置を正確に揃える必要があります。

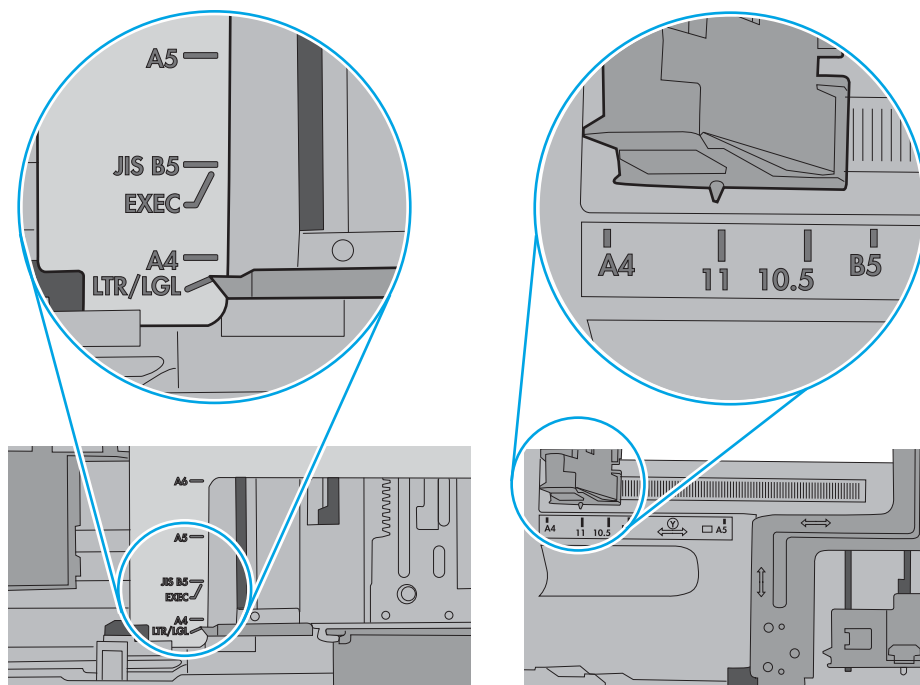
 **注記**：用紙ガイドで用紙束をきつく固定しないようにしてください。用紙ガイドは、トレイの刻み目やマークに合わせて調整してください。

下の図は、さまざまなプリンタのトレイにある用紙サイズを示すマークの例です。ほとんどのHPプリンタには、ここに挙げたものと同様のマークが付いています。

 **9-1** トレイ1または汎用トレイのサイズマーク



 **9-2** カセットトレイのサイズマーク

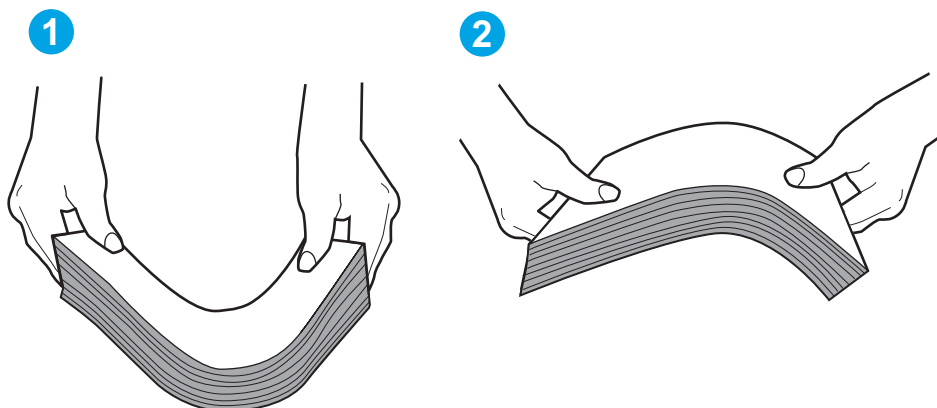


5. 室内の湿気がこのプリンタの仕様の範囲内であることと、用紙が未開封のパッケージに保存されていることを確認します。ほとんどの用紙は、乾燥状態を保つために、防湿性のある包装紙に梱包されて販売されています。

高湿度の環境では、トレイ内の用紙束の上部にある用紙が湿気を吸収する可能性があり、波打ちやむらが生じることがあります。この場合は、用紙束の上から5～10枚の用紙を取り除きます。

低湿度の環境では、過剰な静電気によって用紙がくっつき合うおそれがあります。この場合は、トレイから用紙を取り除き、用紙の両端を持ってU字状になるように上側で両端を合わせ、用紙束を曲げます。その後、両端を反転させて下向きのU字状にします。次に、用紙束の両側面を持って、この手順を繰り返します。この処理により、静電気を生じさせることなく用紙をばらすことができます。用紙束をトレイに戻す前に、テーブル上で用紙を揃えます。

図 9-3 用紙束の曲げ方

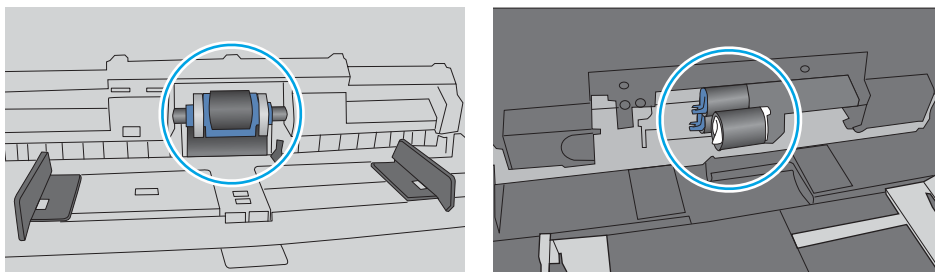


6. 手差しでの給紙が表示されているかどうかを、プリンタのコントロールパネルで確認します。用紙をセットして続行します。
7. トレイの上にあるローラーが汚れている可能性があります。水で湿らせた糸くずのない布でローラーを拭きます。使用できる場合は蒸留水を使用します。

**⚠ 注意:** プリンタに直接水を吹き付けしないでください。布に水を吹き付けるか布を水に軽く浸して絞ってから、ローラーをクリーニングしてください。

下の図は、各種プリンタのローラーの場所の例です。

図 9-4 トレイ1または汎用トレイのローラーの場所



## 複数枚の用紙がピックアップされる

トレイから複数枚の用紙がピックアップされる場合、次の解決策を試してください。

1. トレイから用紙の束を取り出してさばき、左右を入れ替え、裏返します。用紙の束を振らないでください。用紙の束をトレイに戻します。




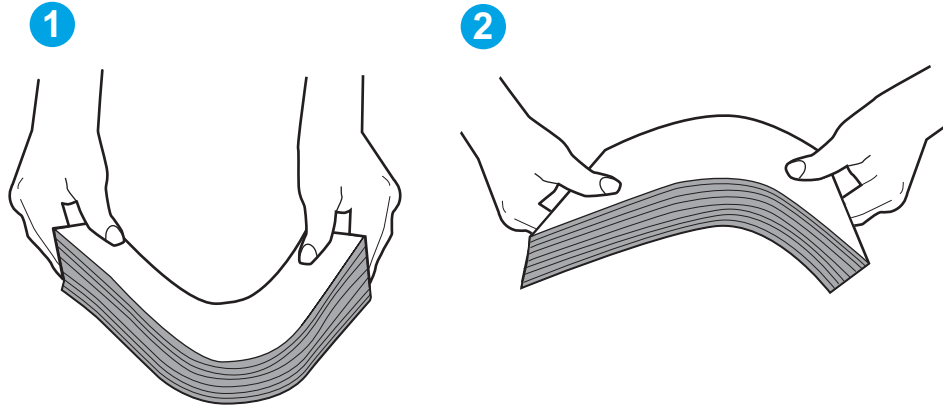
 **注記：**用紙をあおると、静電気が発生します。用紙をあおるのではなく、用紙束の両端を持ってU字状になるように上側で両端を合わせ、用紙束を曲げます。その後、両端を反転させて下向きのU字状にします。次に、用紙束の両側面を持って、この手順を繰り返します。この処理により、静電気を生じさせることなく用紙をばらすことができます。用紙束をトレイに戻す前に、テーブル上で用紙を揃えます。

図 9-5 用紙束の曲げ方



2. このプリンタに対応する HP の仕様を満たす用紙だけを使用します。
3. 室内の湿気がこのプリンタの仕様の範囲内であることと、用紙は未開封のパッケージに保存されていることを確認します。ほとんどの用紙は、乾燥状態を保つために、防湿性のある包装紙に梱包されて販売されています。

高湿度の環境では、トレイ内の用紙束の上部にある用紙が湿気を吸収する可能性があり、波打ちやむらが生じることがあります。この場合は、用紙束の上から 5 ~ 10 枚の用紙を取り除きます。

低湿度の環境では、過剰な静電気によって用紙がくっつき合うおそれがあります。この場合は、トレイから用紙を取り除き、前述の方法で用紙束を曲げます。

4. しわ、折り目、損傷などがない用紙を使用します。必要があれば、別のパッケージの用紙を使用する。

5. トレイ内部の積載制限マークを確認して、トレイがあふれていないことを確認します。あふれている場合は、用紙束全体をトレイから取り出してまっすぐ揃え、その一部をトレイに戻します。

下の図は、各種プリンタのトレイに付いている積載制限マークの例です。ほとんどのHPプリンタには、ここに挙げたものと同様のマークが付いています。さらに、すべての用紙が積載制限マークの近くにあるつまみよりも下にあることを確認します。これらのつまみは、プリンタに送られる用紙を正しい位置に保持するためのものです。

図 9-6 積載制限マーク

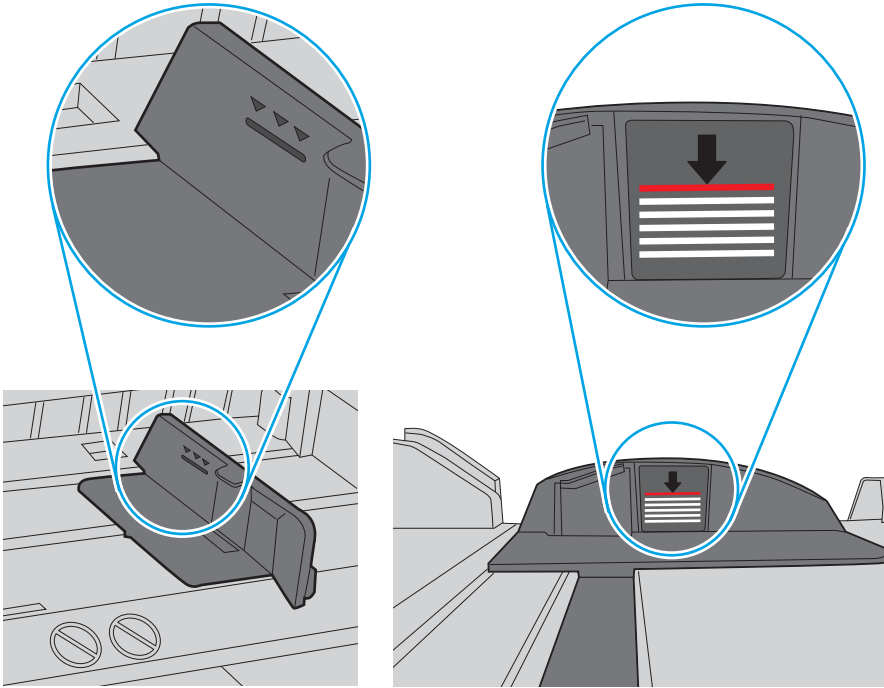
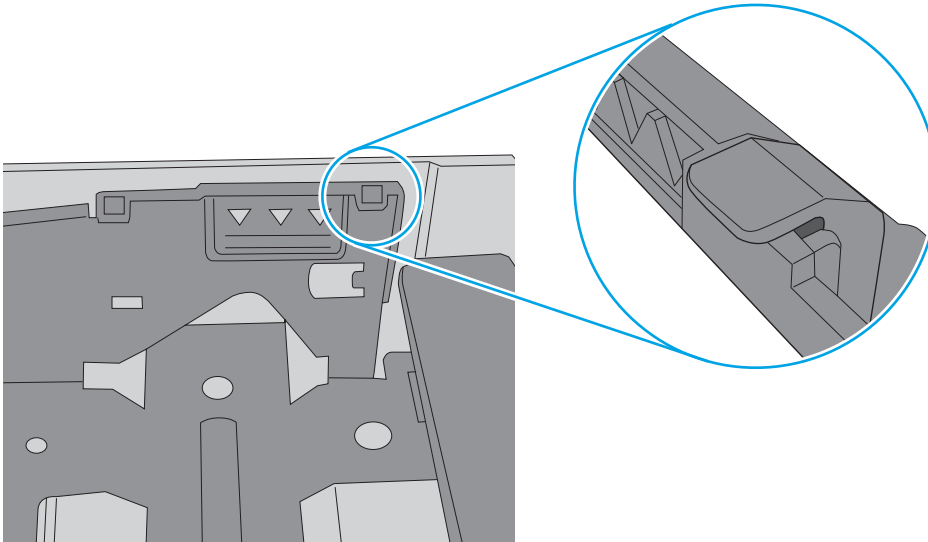



図 9-7 用紙束用のつまみ

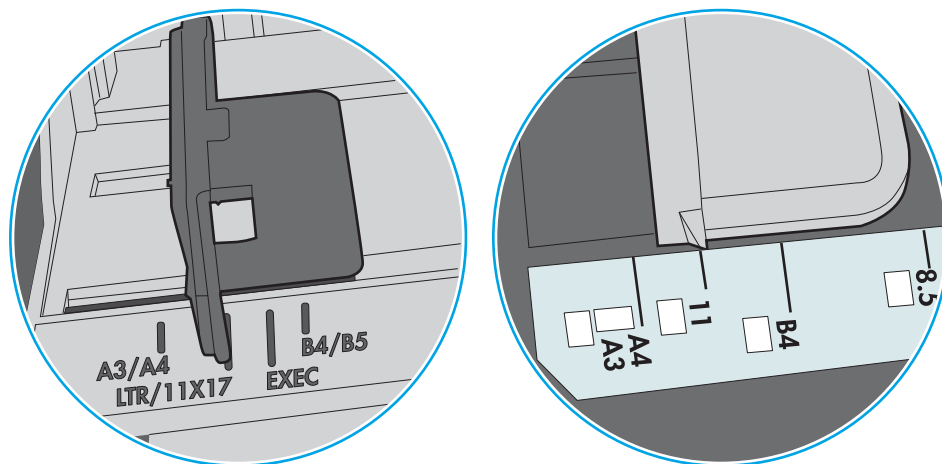


6. トレイの用紙ガイドの位置を用紙サイズに合わせて調整します。トレイの適切な目印に合わせてガイドを調整します。トレイのガイドにある矢印とトレイのマークの位置を正確に揃える必要があります。

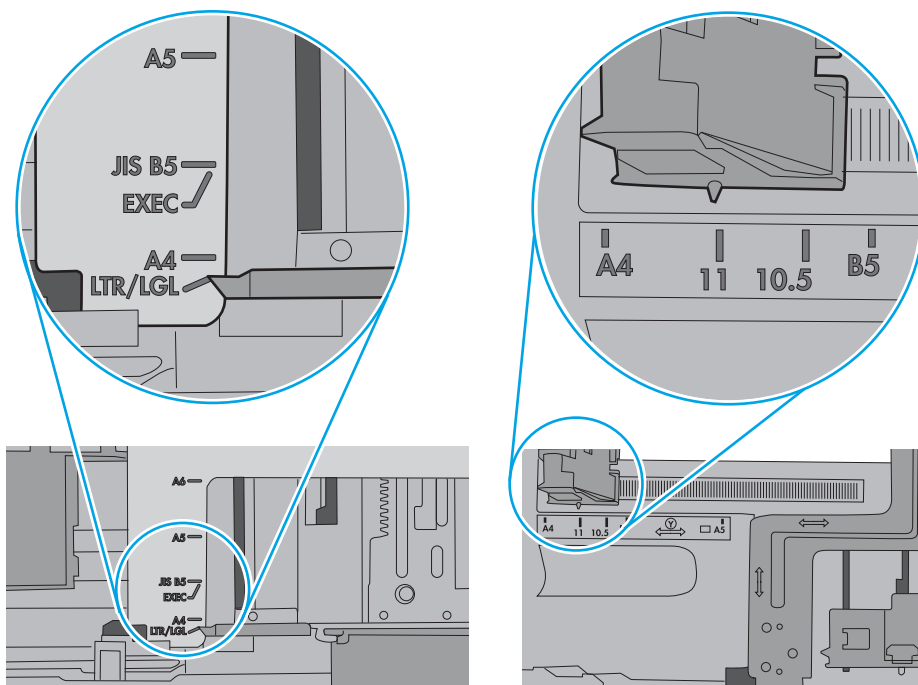
 **注記**：用紙ガイドで用紙束をきつく固定しないようにしてください。用紙ガイドは、トレイの刻み目やマークに合わせて調整してください。

下の図は、さまざまなプリンタのトレイにある用紙サイズを示すマークの例です。ほとんどのHPプリンタには、ここに挙げたものと同様のマークが付いています。

**図 9-8** トレイ1または汎用トレイのサイズマーク



**図 9-9** カセットトレイのサイズマーク



7. 印刷環境が推奨される仕様の範囲内であることを確認します。

## 文書フィーダで紙詰まり、スキューが起こったり、複数枚の用紙がピックアップされる

 **注記:** この情報は、MFP プリンタのみに適用されます。

- 原稿にステイプルまたはシールなどが付着している可能性があります。これらは取り外す必要があります。
- すべてのローラーが正しい場所にあり、文書フィーダ内のローラー アクセスカバーが閉じていることを確認します。
- 文書フィーダの上部カバーが閉じていることを確認します。
- ページが正しくセットされていない可能性があります。ページをまっすぐにそろえて、スタックが中央になるように用紙ガイドを調整します。
- 用紙ガイドを適切に機能させるには、用紙ガイドが用紙スタックの両側に接触している必要があります。用紙スタックをまっすぐにそろえて、用紙ガイドを用紙スタックに合わせます。
- 文書フィーダの給紙トレイまたは排紙ビンに最大枚数を超えるページが置かれている可能性があります。用紙スタックが給紙トレイのガイドの下に収まっていることを確認し、排紙ビンからページを取り除きます。
- 紙の断片、ステイプル、クリップ、またはその他のごみが用紙経路にないことを確認します。
- 文書フィーダ ローラーと仕分けパッドをクリーニングします。エアスプレー、またはぬるま湯で湿らせた繊維の残らない布を使用します。それでも給紙ミスが解決しない場合は、ローラーを交換します。
- プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、[\[サプライ品\]](#) ボタンまでスクロールしてタッチします。文書フィーダキットのステータスを確認して、必要な場合には交換します。

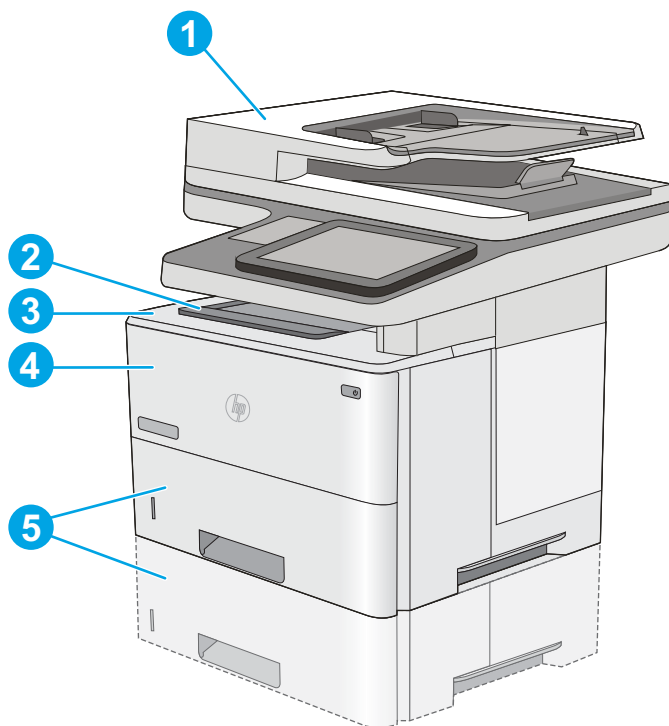
# 紙詰まりの解消

- [はじめに](#)
- [紙詰まりの発生場所](#)
- [自動ナビゲーションによる紙詰まり解消](#)
- [紙詰まりが頻繁に、または繰り返し発生する](#)
- [文書フィーダにおける紙詰まりの解消 - 31.13.yz](#)
- [トレイ1の紙詰まりの解消 - 13.A1](#)
- [トレイ2、トレイ3、トレイ4、トレイ5の紙詰まりを解消 - 13.A2、13.A3、13.A4、13.A5](#)
- [排紙ビンの紙詰まりの解消 - 13.E1](#)
- [両面印刷ユニットでの紙詰まりの解消 - 13.CX.XX、13.DX.XX](#)
- [トナーカートリッジ付近の紙詰まりの解消](#)
- [フューザでの紙詰まりの解消 - 13.B9、13.B2、13.FF](#)

## はじめに

次の情報には、プリンタの紙詰まりを解消する手順が含まれています。

## 紙詰まりの発生場所



1	文書フィーダ
2	排紙ビン

3	上部カバーとトナーカートリッジの周辺
4	トレイ1
5	トレイ2 およびオプションの550枚トレイ


**注記：**トレイ2を取り外して、両面印刷ユニットの紙詰まり箇所アクセスします。

## 自動ナビゲーションによる紙詰まり解消

コントロールパネルに表示される操作手順によって、紙詰まり解消をサポートする機能です。手順にある操作手順を完了するまで、1つの手順を完了すると、次の手順に関する指示が表示されます。

## 紙詰まりが頻繁に、または繰り返し発生する

紙詰まりを減らすには、次の解決策を試してください。

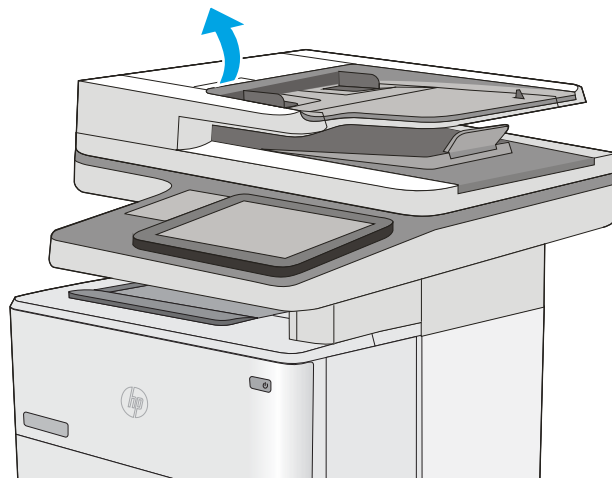
 **注記：**紙詰まりの発生回数を減らすようにする用紙のセット方法を説明するビデオを再生するには、[ここ](#)をクリックしてください。

1. このプリンタに対応する HP の仕様を満たす用紙だけを使用します。
2. しわ、折り目、損傷などが無い用紙を使用します。必要があれば、別のパッケージの用紙を使用する。
3. 印刷またはコピーされた用紙でない、新品の用紙を使用します。
4. トレイから用紙があふれていないかどうかを確認します。あふれている場合は、用紙の束全体をトレイから取り出し、束をまっすぐ揃え、その一部をトレイに戻します。
5. トレイの用紙ガイドの位置を用紙サイズに合わせて調整します。用紙ガイドは、用紙の束にちょうど触れる位置に動かします。用紙がたわまないようにします。
6. トレイがプリンタにしっかり挿入されているかどうかを確認します。
7. 厚紙、エンボス加工された用紙、またはミシン目が入っている用紙に印刷する場合、手動用紙送り機能を利用し、一度に1枚ずつ用紙を送ります。
8. プリンタのコントロールパネルで **トレイ** メニューを開きます。トレイが用紙のタイプとサイズに合わせて適切に設定されていることを確認します。
9. 印刷環境が推奨される仕様の範囲内であることを確認します。

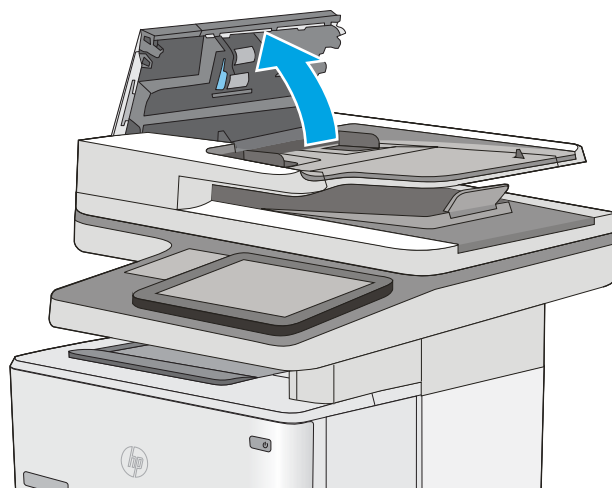
## 文書フィーダにおける紙詰まりの解消 – 31.13.yz

以下の情報は、文書フィーダの紙詰まりを解消する方法について説明するものです。詰まりが発生すると、コントロールパネルに詰まりを取り除くときに役立つ手順が表示されます。

1. ラッチを持ち上げて、文書フィーダのカバーを解放します。



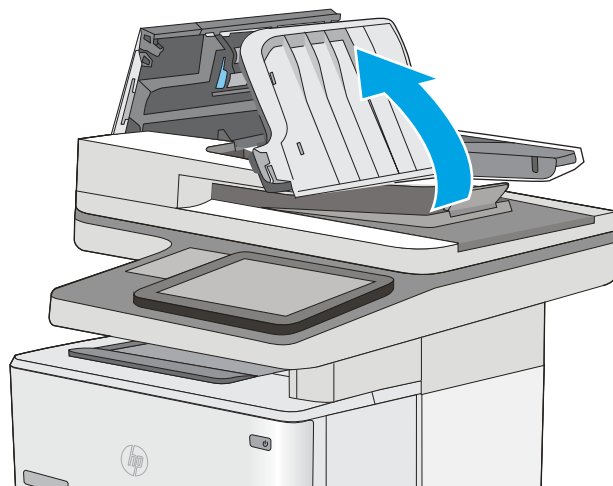
2. 文書フィーダのカバーを開けます。



3. 詰まっている用紙をすべて取り除きます。

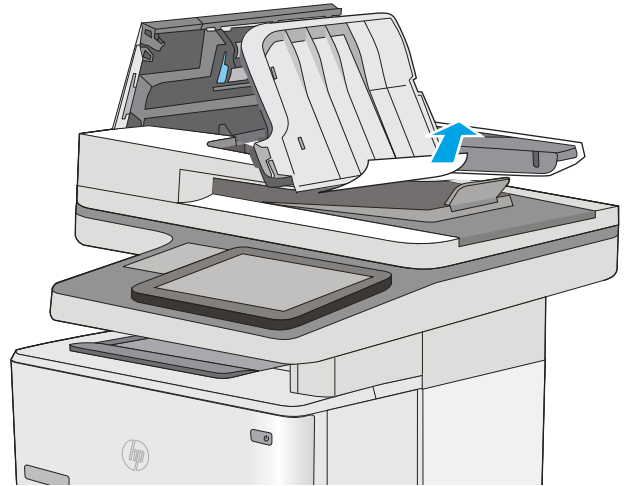


4. 文書フィーダの給紙トレイを持ち上げます。

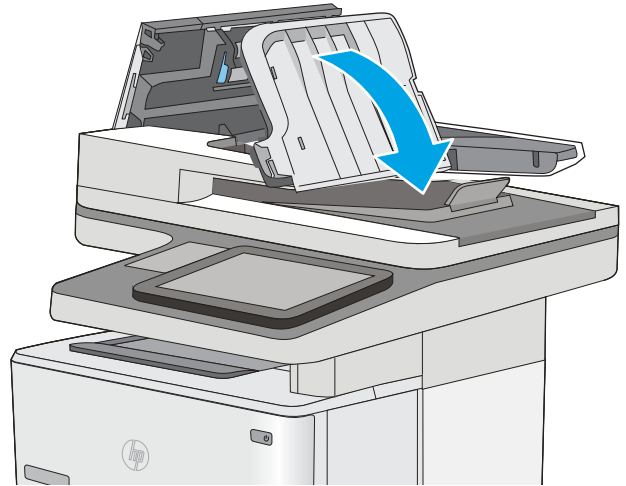




- 詰まっている用紙をすべて取り除きます。

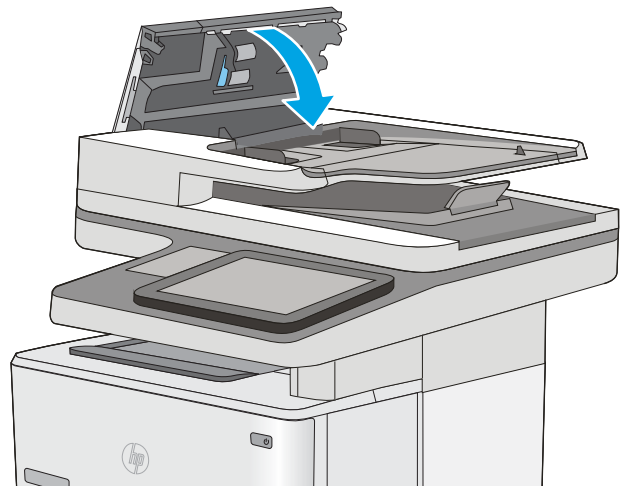



6. 文書フィーダの給紙トレイを下げます。




7. 文書フィーダのカバーを閉じます。

**注記：**文書フィーダのカバーの上部に付いているラッチが完全に閉じていることを確認します。



 **注記：**紙詰まりを防ぐため、文書フィーダ給紙トレイのガイドが文書に合わせて調整されており、文書が曲がっていないことを確認します。幅の狭い文書をコピーする場合は、フラットベッドスキャナを使用します。ステイプルや用紙クリップはすべて原稿から取り外してください。

 **注記：**原稿を厚手光沢紙に印刷する場合は、普通紙に印刷するよりも紙詰まりが発生しやすくなります。

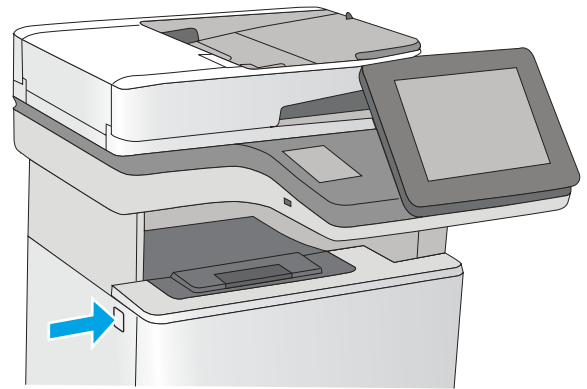
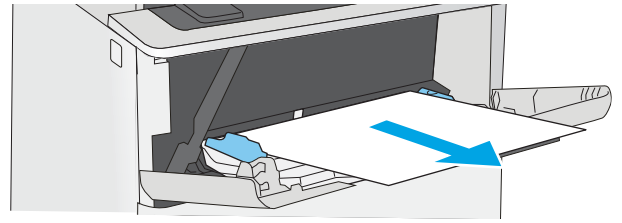
## トレイ 1 の紙詰まりの解消 - 13.A1

以下の手順を使用して、トレイ 1 の紙詰まりを解消します。詰まりが発生すると、コントロールパネルに詰まりを取り除くときに役立つ手順が表示されます。

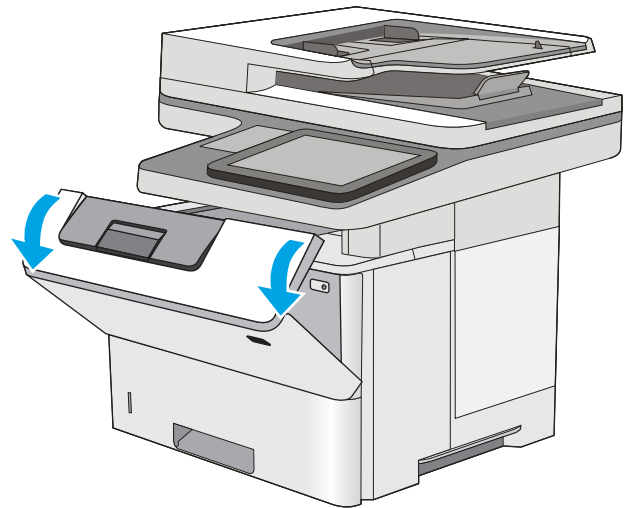
1. 用紙のほぼ全体がトレイに見える場合は、詰まった用紙をゆっくりとプリンタから引き抜きます。用紙全体が取り除かれていることを確認します。詰まった用紙が破れた場合は、続けて次の手順を実行し、残った用紙を見つけます。

用紙の大部分がプリンタ内部に引き込まれている場合は、次の手順を続行します。

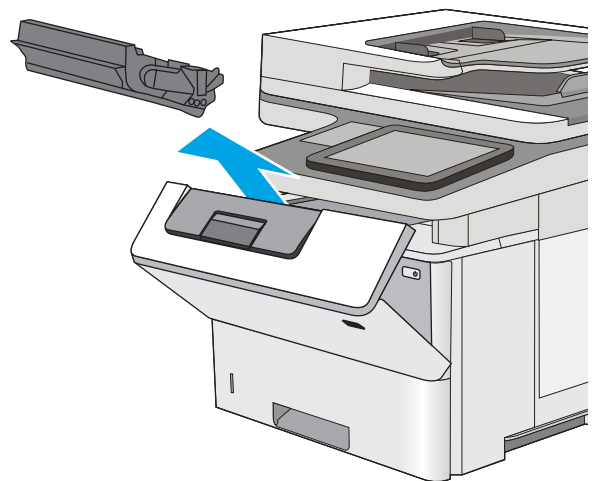
2. プリンタの左側にある上部カバー解放ボタンを押します。



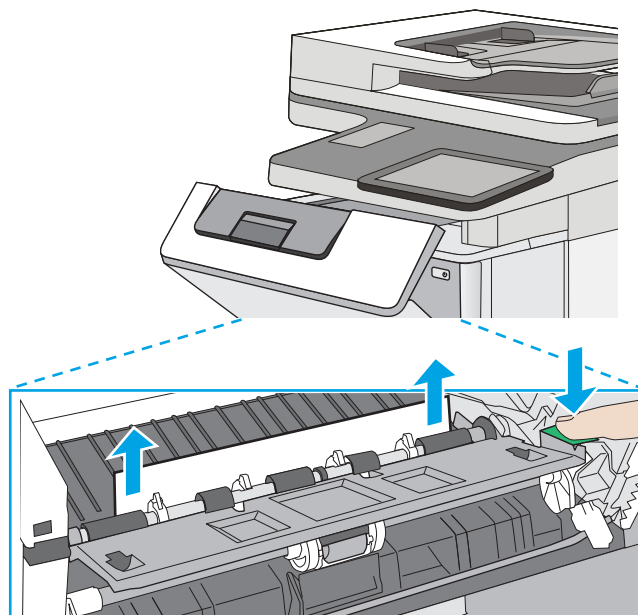
3. 正面ドアを開きます。



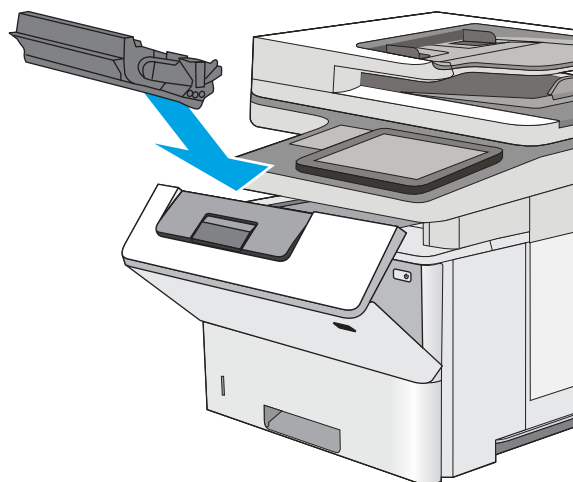
4. トナーカートリッジを取り外します。



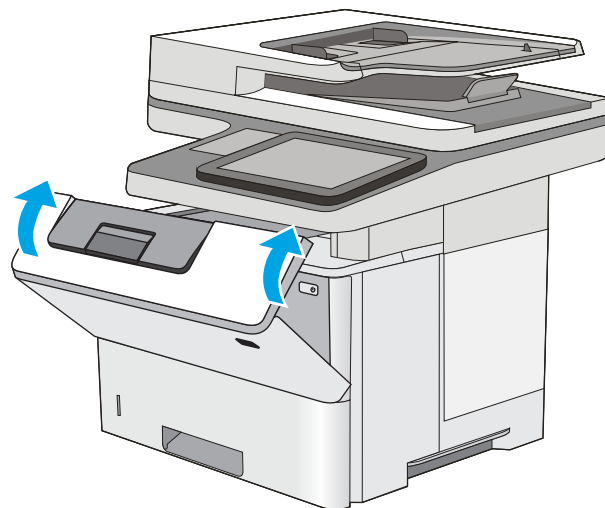
5. 紙詰まりアクセスカバーを持ち上げ、すべての詰まっている用紙をゆっくり取り除きます。用紙が破れないように注意してください。



6. トナーカートリッジを再度取り付けます。



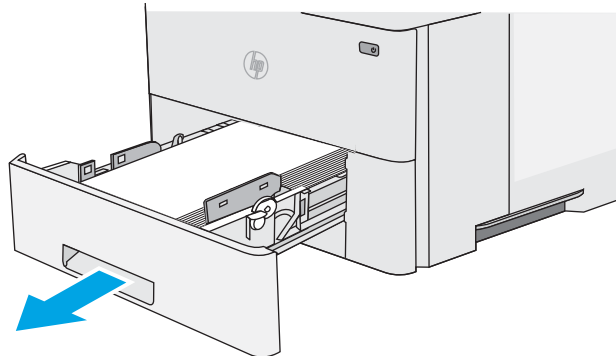
7. 正面ドアを閉じます。



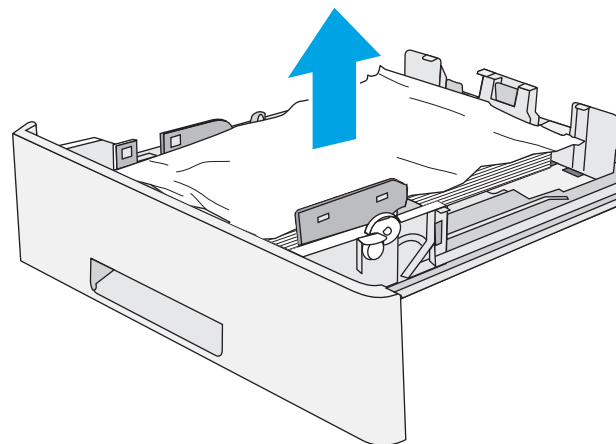
## トレイ 2、トレイ 3、トレイ 4、トレイ 5 の紙詰まりを解消 - 13.A2、13.A3、13.A4、13.A5

以下の手順を使用して、トレイ 2 および 550 枚トレイに関連する場所で詰まりが発生している可能性があるすべての場所の用紙を確認します。詰まりが発生すると、コントロールパネルに詰まりを取り除くときに役立つ手順が表示されます。

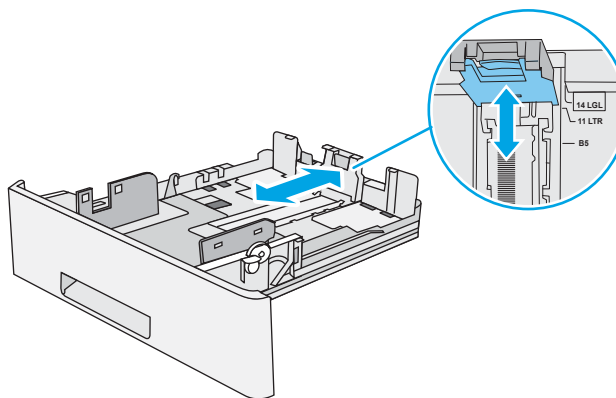
1. プリンタからトレイを取り外します。



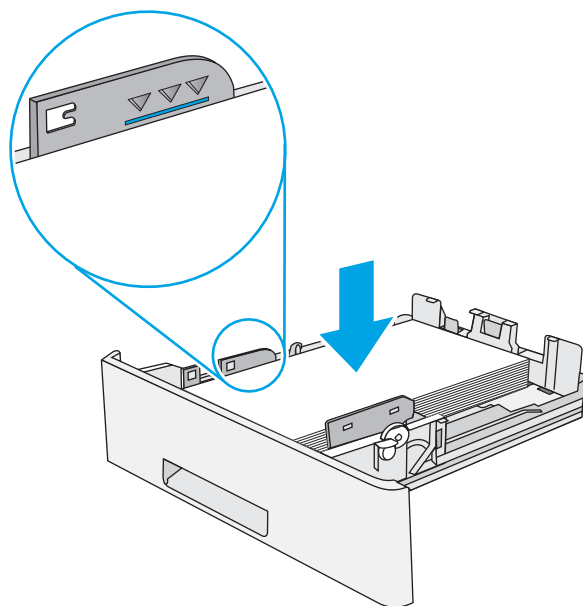
2. トレイから用紙を取り除き、破損した用紙は破棄します。



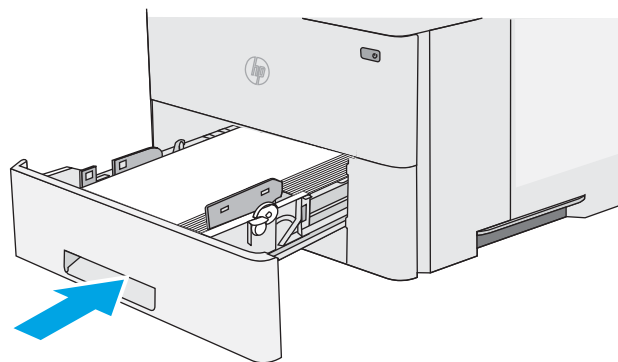
3. 背面にある用紙ガイドが正しい用紙サイズのくぼみに調整されていることを確認します。必要に応じて、リリースをつまみ、背面にある用紙ガイドを正しい位置まで移動させます。カチッと音がしてはまります。



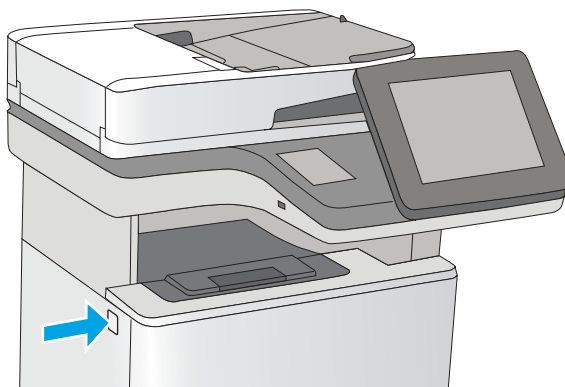
4. トレイに用紙をセットします。用紙束の四隅が偏りなく同じ高さになっていることを確認します。また、用紙束の高さが最大許容枚数インジケータを超えないようにしてください。



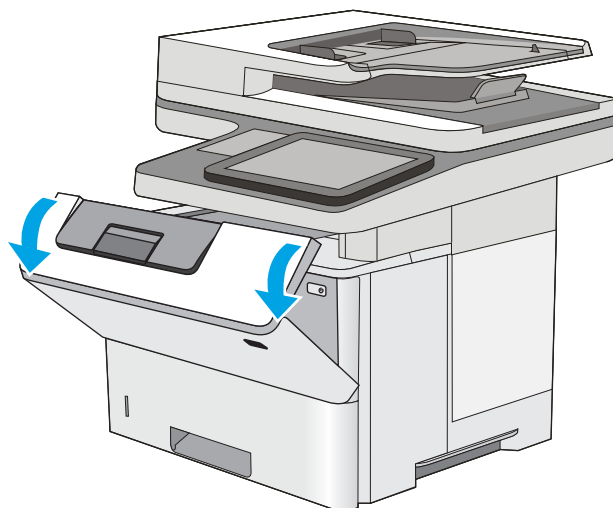
5. トレイを再度取り付けて閉じます。



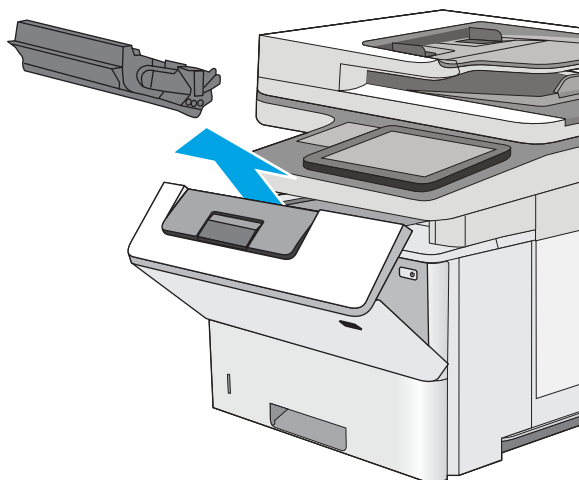
6. プリンタの左側にある上部カバー解放ボタンを押します。



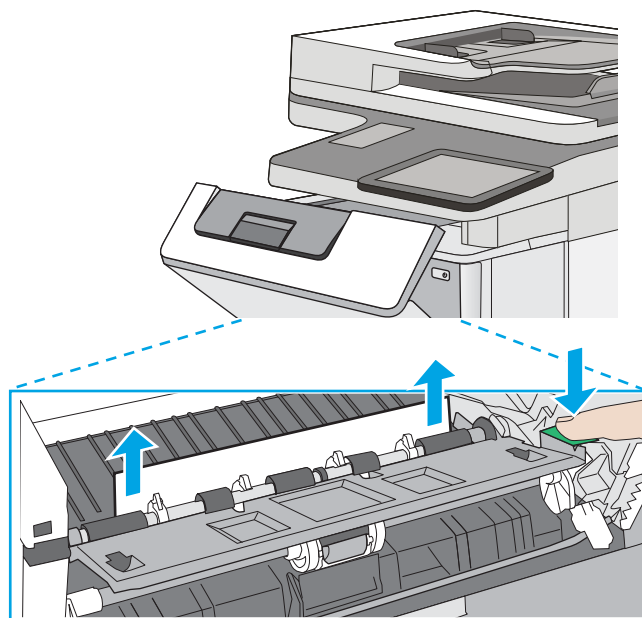
7. 正面ドアを開きます。



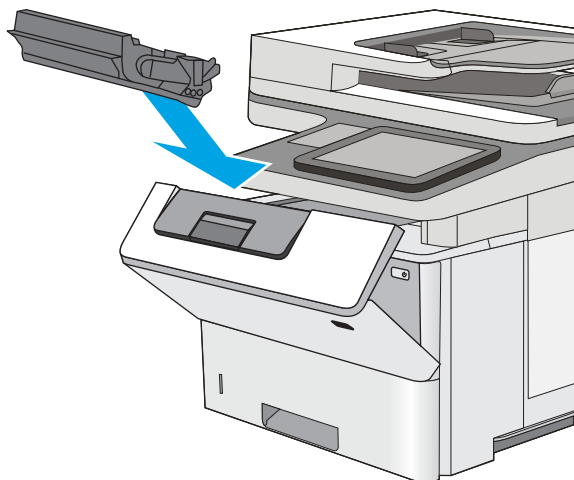
8. トナーカートリッジを取り外します。



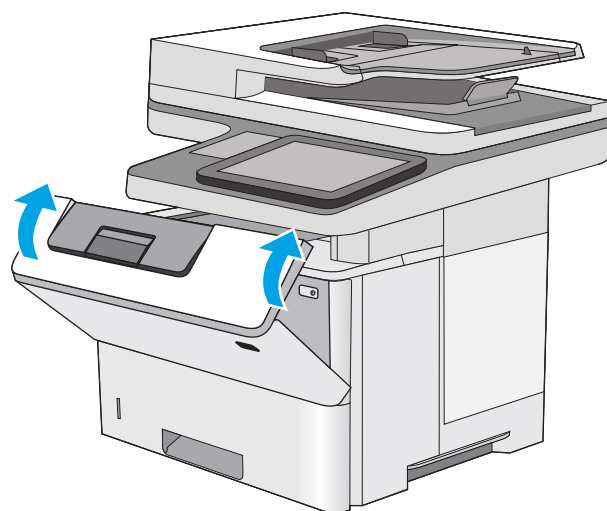
9. 紙詰まりアクセスカバーを持ち上げ、すべての詰まっている用紙をゆっくり取り除きます。用紙が破れないように注意してください。



10. トナーカートリッジを再度取り付けます。



11. 正面ドアを閉じます。

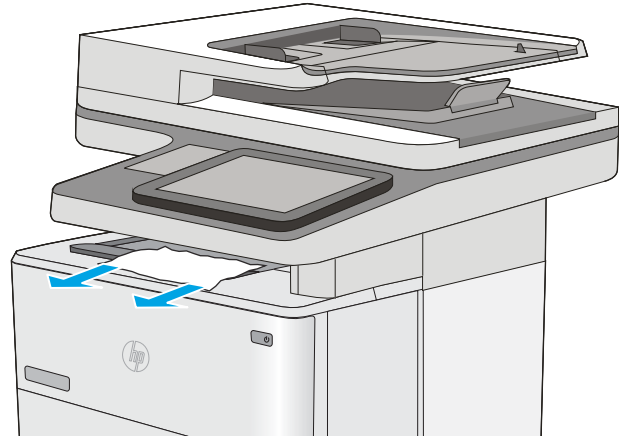


## 排紙ビンの紙詰まりの解消 - 13.E1

以下の手順を使用して、排紙ビン内の紙詰まりが発生している可能性があるすべての場所で用紙の有無を確認してください。詰まりが発生すると、コントロールパネルに詰まりを取り除くときに役立つ手順が表示されます。



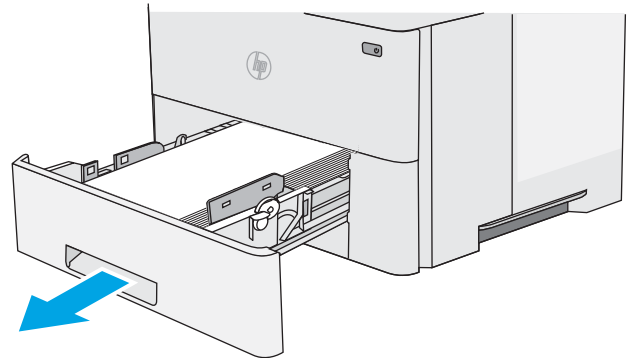
1. 排紙ビン内の用紙が見える場合は、上端をつかんで取り除きます。



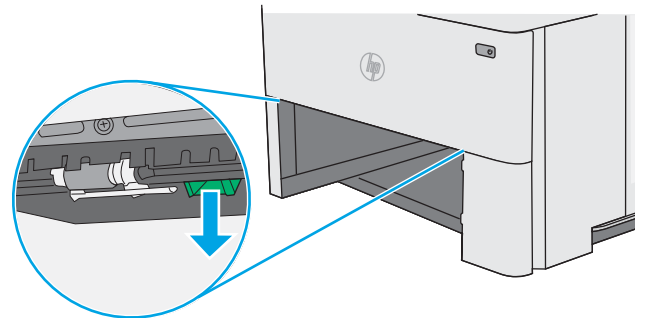
## 両面印刷ユニットでの紙詰まりの解消 – 13.CX.XX、13.DX.XX

以下の手順を使用して、自動両面印刷ユニット内の紙詰まりが発生している可能性があるすべての場所で用紙の有無を確認してください。詰まりが発生すると、コントロールパネルに詰まりを取り除くときに役立つ手順が表示されます。

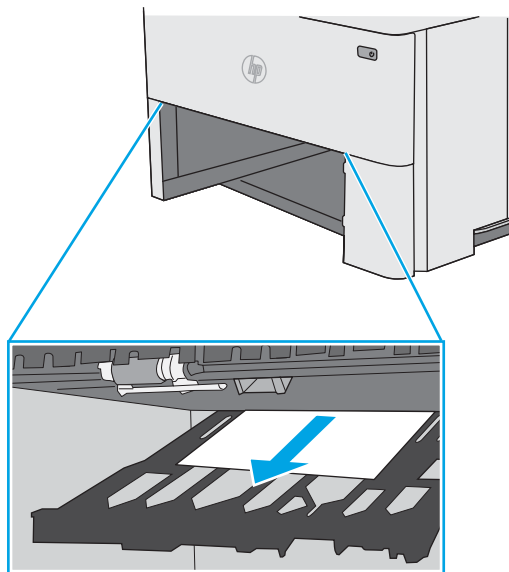
1. プリンタからトレイ2を取り外します。



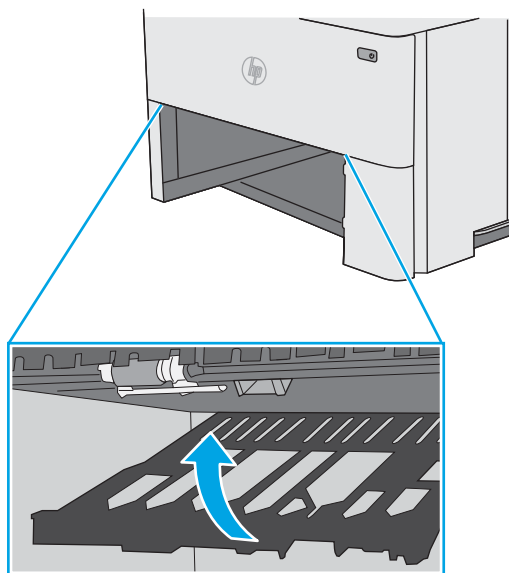
2. トレイ部分内部の緑色のタブを前方に引いて、両面印刷パンを解放します。



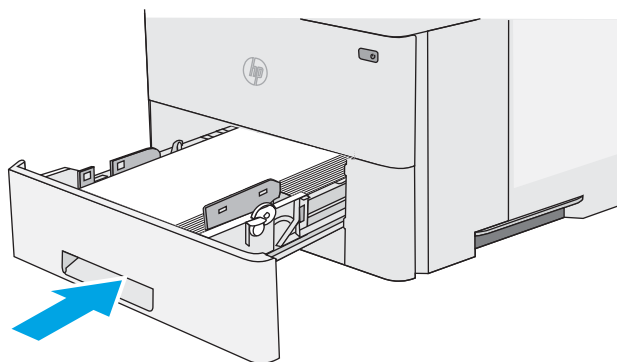
3. 詰まっている用紙をすべて取り除きます。



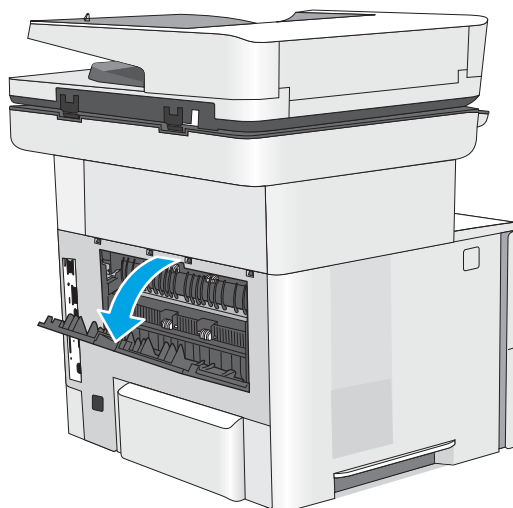
4. 両面印刷パンを閉じます。



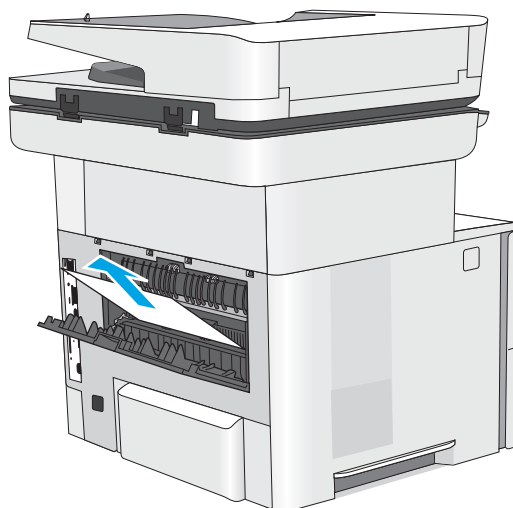
5. トレイを再度取り付けて閉じます。



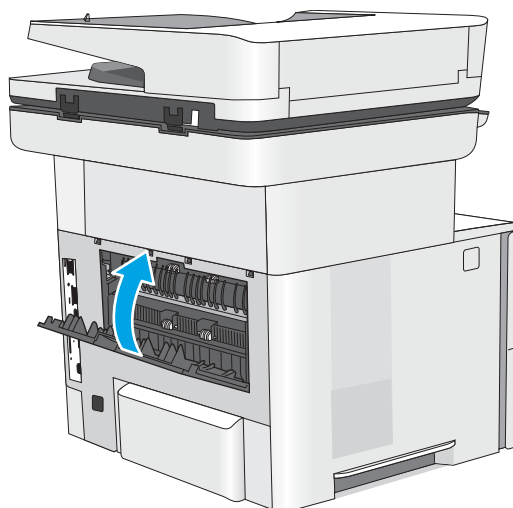
6. 背面ドアを開きます。



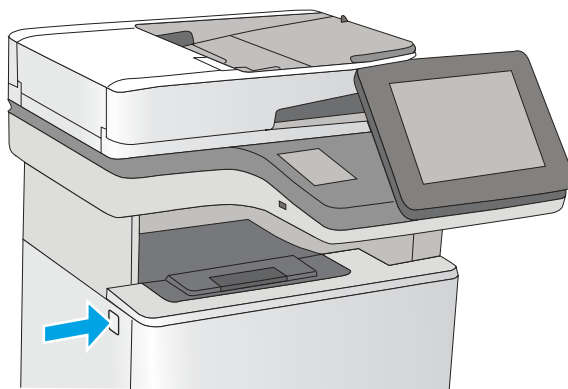
7. 詰まっている用紙をすべて取り除きます。



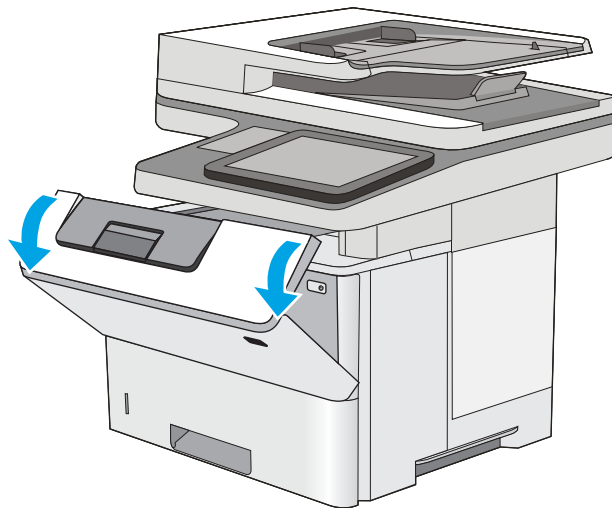
8. 背面ドアを閉じる



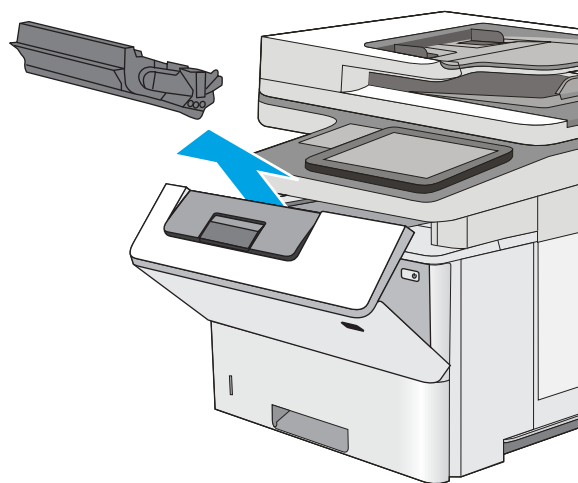
9. プリンタの左側にある上部カバー解放ボタンを押します。



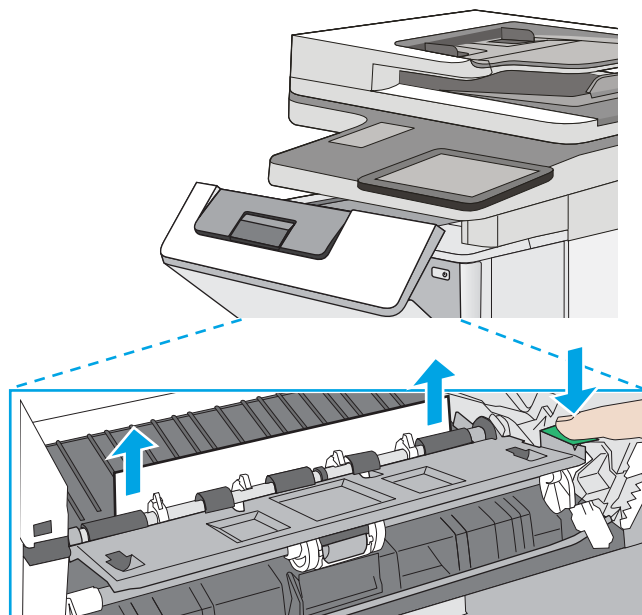
10. 正面ドアを開きます。



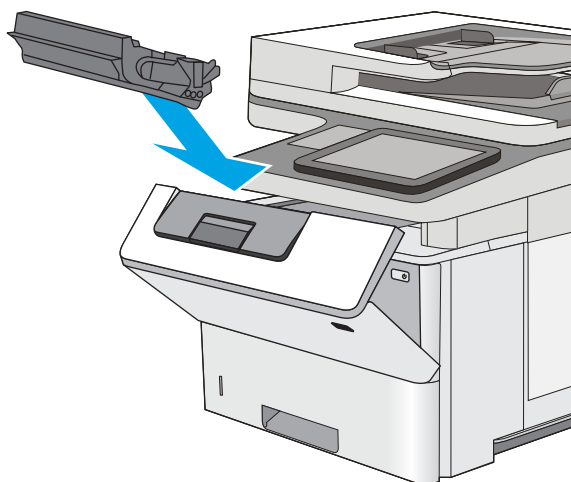
11. トナーカートリッジを取り外します。



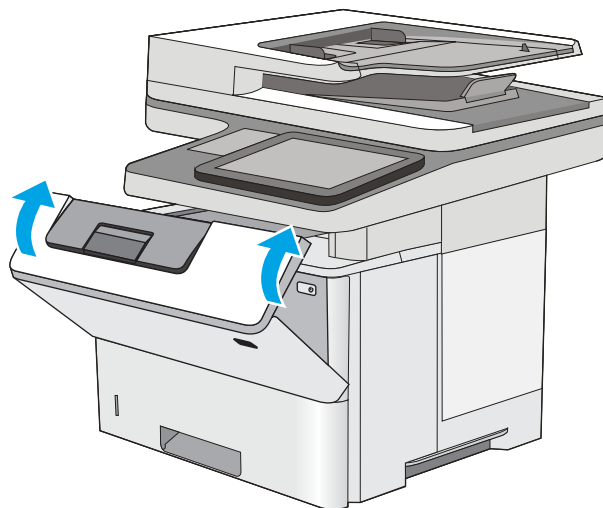
12. 紙詰まりアクセスカバーを持ち上げ、すべての詰まっている用紙をゆっくり取り除きます。用紙が破れないように注意してください。



13. トナーカートリッジを再度取り付けます。



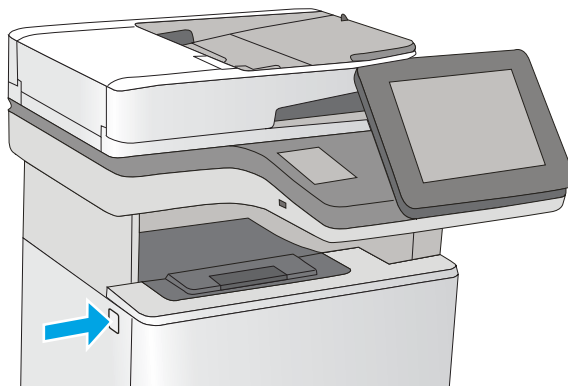
14. 正面ドアを閉じます。



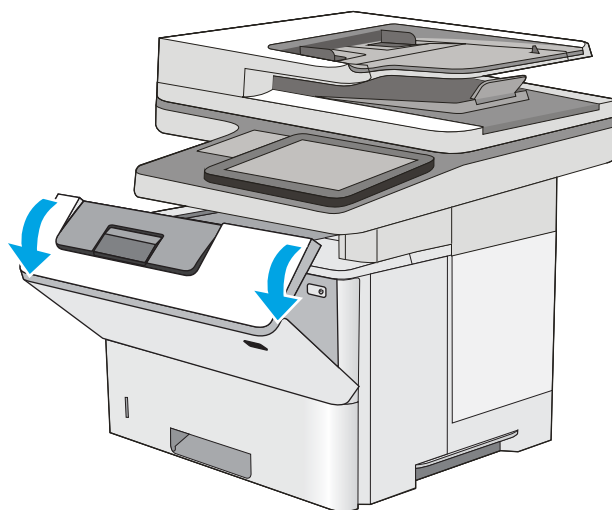
## トナーカートリッジ付近の紙詰まりの解消

以下の手順を使用して、トナーカートリッジ付近の紙詰まりが発生している可能性があるすべての場  
所で用紙の有無を確認してください。詰まりが発生すると、コントロールパネルに詰まりを取り除く  
ときに役立つ手順が表示されます。

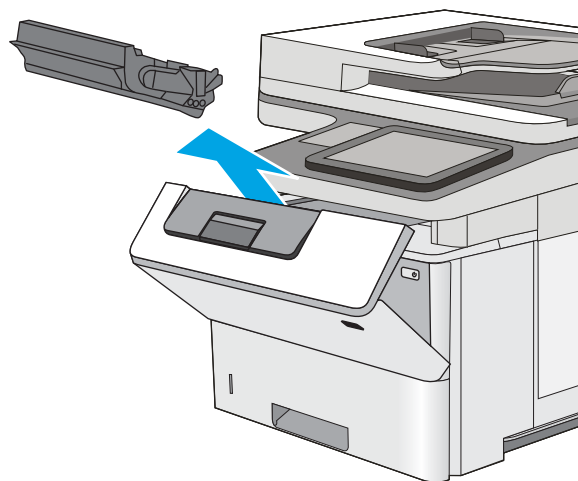
1. プリンタの左側にある上部カバー解放ボタンを押します。



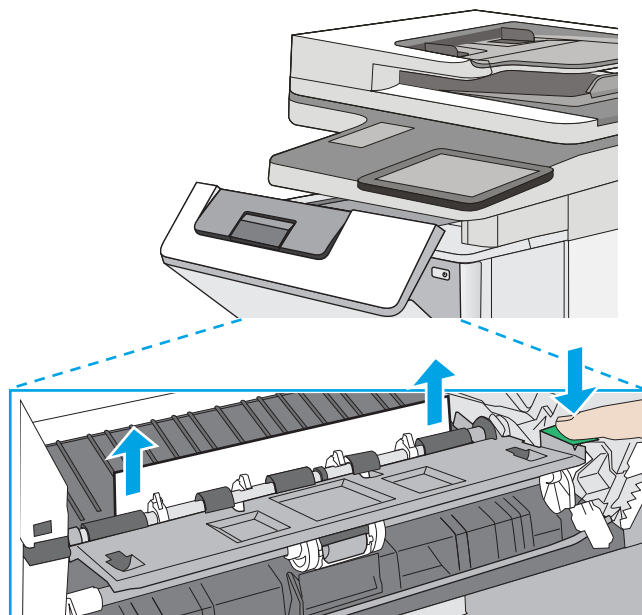
2. 正面ドアを開きます。



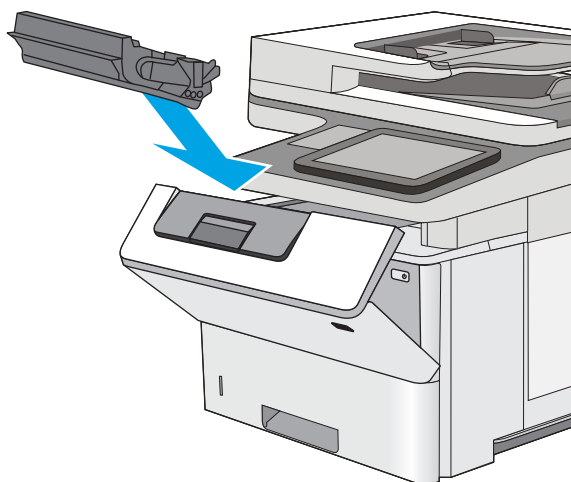
3. トナーカートリッジを取り外します。



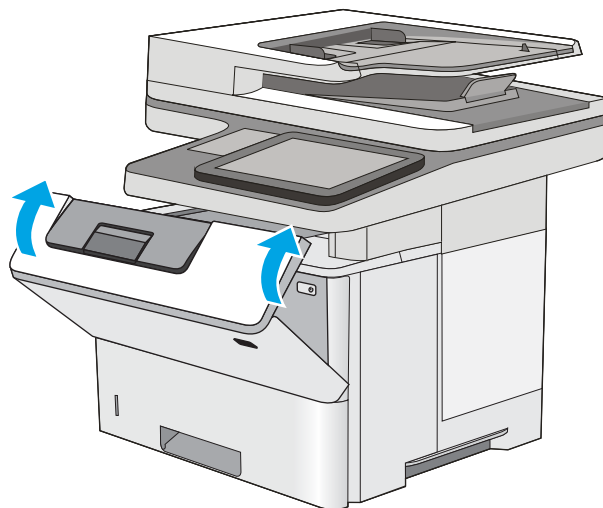
4. 紙詰まりアクセスカバーを持ち上げ、すべての詰まっている用紙をゆっくり取り除きます。用紙が破れないように注意してください。



5. トナーカートリッジを再度取り付けます。




6. 正面ドアを閉じます。

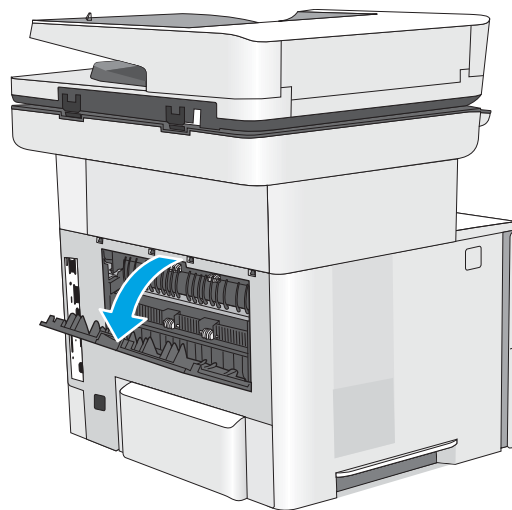


## フューザでの紙詰まりの解消 - 13.B9、13.B2、13.FF

以下の手順に従って、後部ドアおよびフューザ部分での紙詰まりを解消します。詰まりが発生すると、コントロールパネルに詰まりを取り除くときに役立つ手順が表示されます。

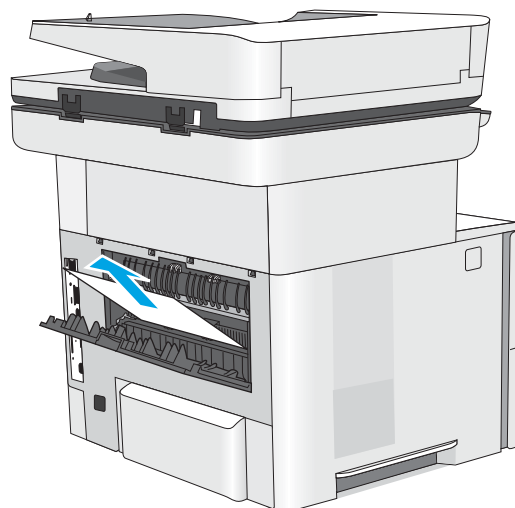
 **注記：** プリンタの使用中はフューザが高温になります。フューザが冷めるまで待ってから詰まった紙を取り除いてください。

1. 背面ドアを開きます。

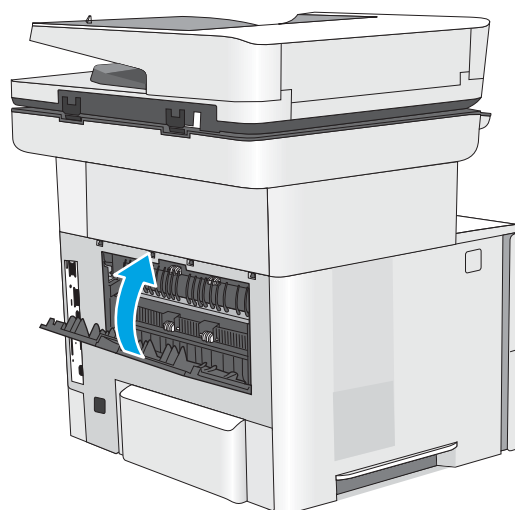




2. 詰まっている用紙をすべて取り除きます。



3. 背面ドアを閉じる



# 印刷品質の問題の解決

- [はじめに](#)
- [印刷品質のトラブルシューティング](#)

## はじめに

画像品質の問題を含め、印刷品質の問題を解決するには、次の情報を使用します。

トラブルシューティングの手順は、次の問題の解決に役立ちます。

- 空白ページ
- 黒いページ
- 丸まった用紙
- 濃いまたは薄い縞
- 濃いまたは薄い縦線
- 不鮮明な印刷
- 灰色の背景または印刷が濃い
- 薄い印刷
- トナーが落ちやすい
- トナーがない
- トナーの汚れが点在している
- ゆがんだイメージ
- 汚れ
- 縞模様

## 印刷品質のトラブルシューティング

印刷品質の問題を解決するには、指示された順に以下の手順を試してください。

- [プリンターのファームウェアをアップデートする](#)
- [別のソフトウェアプログラムからの印刷](#)
- [印刷ジョブで使用する用紙タイプ設定の確認](#)
- [トナーカートリッジステータスの確認](#)
- [クリーニングページの印刷](#)
- [トナーカートリッジを目視で検査します。](#)
- [用紙および印刷環境の確認](#)
- [別のプリントドライバで試行](#)
- [EconoMode 設定の確認](#)
- [印刷濃度を調整する](#)
- [画像の不具合のトラブルシューティング](#)

特定の画像の不具合に関するトラブルシューティングを行うには、「画像の不具合のトラブルシューティング」を参照してください。

### プリンターのファームウェアをアップデートする

プリンタ ファームウェアのアップグレードを試行します。

詳細については、[www.hp.com/support](http://www.hp.com/support) を参照してください。

### 別のソフトウェアプログラムからの印刷

別のソフトウェアプログラムを使って印刷してみます。ページが正しく印刷された場合は、印刷したソフトウェアプログラムに問題があります。

## 印刷ジョブで使用する用紙タイプ設定の確認

ソフトウェア プログラムから印刷しているときに、印刷されたページに汚れがある、印刷が薄いまたは濃い、用紙がカールする、トナーが点状に散らばる、トナーが固まらない、トナーが白抜けしているなどの問題が発生する場合は、用紙タイプ設定を確認します。

- [プリンタ用紙タイプ設定の確認](#)
- [用紙タイプ設定の変更 \(Windows\)](#)
- [用紙タイプ設定の確認 \(macOS\)](#)

### プリンタ用紙タイプ設定の確認

プリンタのコントロールパネルで用紙タイプの設定を確認し、必要に応じて設定を変更します。

1. トレイを開きます。
2. 正しい種類の用紙がトレイにセットされていることを確認します。
3. トレイを閉じます。
4. トレイの用紙タイプ設定を確認または変更するには、コントロールパネルの手順に従います。

### 用紙タイプ設定の変更 (Windows)

Windows の場合の用紙タイプの設定を確認し、必要に応じて設定を変更します。

1. ソフトウェア プログラムから、**[印刷]** オプションを選択します。
2. プリンタを選択し、**[プロパティ]** または **[ユーザー設定]** ボタンをクリックします。
3. **[[用紙/品質]]** タブをクリックします。
4. **[用紙の種類]** ドロップダウン リストから、**[詳細...]** オプションをクリックします。
5. **[用紙の種類 : ]** オプションのリストを展開します。
6. 使用する用紙の説明として最適な用紙タイプのカテゴリを展開します。
7. 使用する用紙のタイプに合ったオプションを選択して、**[OK]** ボタンをクリックします。
8. **[[OK]]** ボタンをクリックして、**[[文書のプロパティ]]** ダイアログ ボックスを閉じます。**[印刷]** ダイアログ ボックスで、**[OK]** ボタンをクリックして、ジョブを印刷します。

### 用紙タイプ設定の確認 (macOS)

macOS の場合の用紙タイプの設定を確認し、必要に応じて設定を変更します。

1. **[ファイル]** メニューをクリックし、**[印刷]** オプションをクリックします。
2. **[プリンタ]** メニューで、このプリンタを選択します。
3. デフォルトで、プリント ドライバに **[部数とページ]** メニューが表示されます。メニューのドロップダウン リストを開いて、**[用紙/品質]** メニューをクリックします。
4. **[用紙の種類]** ドロップダウン リストからタイプを選択します。
5. **[印刷]** ボタンをクリックします。

## トナーカートリッジステータスの確認

次の手順に従って、トナーカートリッジの推定残量を確認し、該当する場合は、他の交換可能なメンテナンス部品の状態も確認します。

- [手順1：サプライ品ステータスページの印刷](#)
- [手順2：サプライ品ステータスのチェック](#)

### 手順1：サプライ品ステータスページの印刷

サプライ品ステータスページには、カートリッジのステータスが表示されます。

1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、[レポート](#)アプリケーションに移動し、次に[レポート](#)アイコンを選択します。
2. [設定/ステータスページ](#)メニューを選択します。
3. [サプライ品ステータスページ](#)を選択し、[印刷](#)ページを選択してページを印刷します。

### 手順2：サプライ品ステータスのチェック

1. サプライ品ステータスのレポートを確認して、トナーカートリッジの残量の割合をチェックし、該当する場合は、他の交換可能なメンテナンス部品の状態も確認します。

推定寿命に達したトナーカートリッジを使用すると、印刷品質の問題が発生する場合があります。サプライ品の残量が非常に少なくなると、サプライ品ステータスページに表示されます。HPのサプライ品の残量が下限値に達したとき、このサプライ品に対するHPのプレミアムプロテクション保証は終了します。

適切な印刷品質が得られている場合、すぐにトナーカートリッジを交換する必要はありません。印刷品質が許容範囲を下回った際に備え、交換用サプライ品をご用意ください。

トナーカートリッジまたは他の交換可能なメンテナンス部品を交換する必要があると考えられる場合、サプライ品ステータスページには、HP純正品の部品番号が一覧表示されます。

2. HP純正のカートリッジを使用しているかどうかを確認します。

HP純正のトナーカートリッジには、カートリッジ上に「HP」という文字、またはHPのロゴが表示されています。HP製カートリッジの確認の詳細については、[www.hp.com/go/learnaboutesupplies](http://www.hp.com/go/learnaboutesupplies)を参照してください。

## クリーニングページの印刷

印刷処理中に紙くず、トナー、埃がプリンタ内部にたまり、これが原因でトナーの染みやはね、汚れ、かすれ、筋、同じ汚れの繰り返しなどの印刷品質の問題が発生することがあります。

次の手順に従って、プリンタの用紙経路をクリーニングします。

1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、[サポートツール](#)アプリケーションに移動し、次に[サポートツール](#)アイコンを選択します。
2. 以下のメニューを選択します。

- [メンテナンス](#)
- [校正/クリーニング](#)
- [クリーニングページ](#)

3. [\[印刷\]](#) を選択して、ページを印刷します。

プリンタのコントロールパネルに **クリーニング中...** のメッセージが表示されます。クリーニングプロセスは数分で完了します。クリーニングプロセスが終了するまで、プリンタの電源を切らないでください。クリーニングが完了したら、印刷されたページは破棄してください。

### トナーカートリッジを目視で検査します。

次の手順に従って、各トナーカートリッジを確認します。

1. トナーカートリッジをプリンタから取り外します。
2. メモリチップに損傷がないか確認します。
3. 緑色のイメージングドラムの表面を確認します。

**⚠ 注意：** イメージングドラムには触れないでください。イメージングドラムに指紋が付着すると印刷品質に問題が生じることがあります。

4. イメージングドラムに傷、指紋、またはその他の損傷が見られる場合は、トナーカートリッジを交換します。
5. トナーカートリッジを再度取り付け、試しに印刷を行い、問題が解決されているかどうか確認します。

## 用紙および印刷環境の確認

- [手順1：HP仕様を満たす用紙を使用](#)
- [手順2：環境の確認](#)
- [手順3：各トレイ位置を設定](#)

### 手順1：HP仕様を満たす用紙を使用

HPの仕様を満たしていない用紙を使用すると、次のような印刷品質の問題が発生する場合があります。

- タイプと重量がこのプリンタでサポートされている用紙タイプを必ず使用してください。
- 傷、裂け目、しみ、ほぐれ、ほこり、しわなどがなく、端がめくれていたり折れたりしていない良質の用紙を使用します。
- 未印刷の用紙を使用します。
- ラメなどの金属を含まない用紙を使用します。
- レーザープリンタ用の用紙を使用します。インクジェット式プリンタ専用の用紙は使用しないでください。
- あまりしわのない用紙を使用します。一般に、用紙にしわが少ないほど、印刷品質が良好になります。

### 手順2：環境の確認

環境が印刷品質に直接影響することがあります。一般的には、これが印刷品質や給紙の問題の原因になります。次のソリューションを実行してみてください。

- 開け放した窓やドア、空調システムの排気口などの空気の流れが生じる場所から離れたところにプリンタを設置し直します。
- 温度または湿度がプリンタの仕様を超える環境にプリンタが設置されていないことを確認します。
- プリンタをキャビネットなどの密閉された場所に設置しないようにします。
- プリンタを平らで安定した面に設置します。
- プリンタの通気孔をふさがないようにします。上部も含めて、プリンタのすべての面の周囲に十分な空気が流れている必要があります。
- 空気中のごみ、ほこり、蒸気、油脂、またはその他の物質がプリンタ内部に蓄積しないようプリンタを保護します。

### 手順3：各トレイ位置を設定

特定のトレイから印刷したときに、印刷されたページでテキストやイメージが用紙の中心にない場合や適切な位置に調整されていない場合は、次の手順に従います。

1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、[設定](#)アプリケーションに移動し、[設定](#)アイコンを選択します。
2. 以下のメニューを選択します。

- コピー/印刷 または 印刷
  - 印刷品質
  - イメージレジストレーション
3. **トレイ** ボタンを選択し、調整するトレイを選択します。
  4. **テストページの印刷** に選択してから、印刷したページに表示されている指示に従います。
  5. **テストページの印刷** を再度選択して結果を確認し、必要に応じて、さらに調整します。
  6. **完了** を選択して新しい設定を保存します。

## 別のプリントドライバで試行

ソフトウェア プログラムから印刷しているときに、印刷ページのグラフィックスに予期しない線が印刷されている、テキストやグラフィックスが印刷されない、誤った形式または代替フォントが使用されている場合には、別のプリントドライバを試してください。

次のいずれかのドライバを HP の Web サイトからダウンロードします。 [www.hp.com/support/ljM528mfp](http://www.hp.com/support/ljM528mfp)。


HP PCL6 ドライバ	利用可能な場合、このプリンタ固有のプリントドライバは、Windows® XP や Windows Vista® など、以前のオペレーティングシステムをサポートします。対応オペレーティングシステムの一覧は、 <a href="http://www.hp.com/go/support">www.hp.com/go/support</a> を参照してください。
HP PCL 6 ドライバ	このプリンタ固有のプリントドライバは、Windows 7 およびバージョン 3 のドライバをサポートする新しいオペレーティングシステムをサポートしています。対応オペレーティングシステムの一覧は、 <a href="http://www.hp.com/go/support">www.hp.com/go/support</a> を参照してください。
HP PCL-6 ドライバ	このプリンタ固有のプリントドライバは、Windows 8 およびバージョン 4 のドライバをサポートする新しいオペレーティングシステムをサポートしています。対応オペレーティングシステムの一覧は、 <a href="http://www.hp.com/go/support">www.hp.com/go/support</a> を参照してください。
HP UPD PS ドライバ	<ul style="list-style-type: none"> <li>● Adobe® ソフトウェア プログラム、または他の高グラフィックス集約型ソフトウェアプログラムを使用して印刷する場合に推奨</li> <li>● PostScript エミュレーションからの印刷、または PostScript フラッシュ フォントをサポート</li> </ul>
HP UPD PCL 6	<ul style="list-style-type: none"> <li>● すべての Windows 環境での印刷に推奨</li> <li>● ほとんどのユーザーにとって、速度、印刷品質、および利用可能なプリンタ機能の面で最高レベルです。</li> <li>● Windows Graphic Device Interface (GDI) を使用して作成されているので、Windows 環境での動作が高速です。</li> <li>● PCL 5 ベースのサードパーティまたはカスタム ソフトウェア プログラムと完全な互換性がない場合がある</li> </ul>

## EconoMode 設定の確認

HP では、EconoMode を常時使用することをお勧めしていません。EconoMode を常に使用すると、トナーを使い切る前に、トナーカートリッジ内の機械部品の寿命が終了する可能性があります。印刷品質



が低下し始めたり、十分な品質が保てなくなった場合は、トナーカートリッジの交換を検討してください。

 **注記** : この機能は、Windows の PCL 6 プリント ドライバで利用できます。このドライバを使用していない場合は、HP 内蔵 Web サーバを使用して、この機能を有効にすることができます。

ページ全体が暗すぎるまたは明るすぎる場合は、次の手順に従います。

1. ソフトウェア プログラムから、**[印刷]** オプションを選択します。
2. プリンタを選択し、**[プロパティ]** または **[ユーザー設定]** ボタンをクリックします。
3. **[用紙/品質]** タブをクリックし、**[印刷品質]** 領域の位置を確認します。
4. ページ全体が暗すぎる場合は、次の手順を実行します。
  - **[600 dpi]** オプションを選択します (使用できる場合)。
  - **[EconoMode]** チェック ボックスをオンにして、有効にします。

ページ全体が明るすぎる場合は、次の手順を実行します。

- **[FastRes 1200]** オプションを選択します (使用できる場合)。
  - **[EconoMode]** チェック ボックスをオフにして、無効にします。
5. **[OK]** ボタンをクリックして、**[[文書のプロパティ]]** ダイアログ ボックスを閉じます。**[印刷]** ダイアログで、**[OK]** ボタンをクリックしてジョブを印刷します。

## 印刷濃度を調整する


プリンタのコントロールパネルを使って、印刷濃度を調整します。

1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、**設定** アプリケーションに移動し、**設定** アイコンを選択します。
2. 以下のメニューを開きます。
  - **コピー/印刷** または **印刷**
  - **印刷品質**
  - **トナー濃度**
3. スライダを **薄い** または **濃い** のいずれかの方向に動かして、目的の濃度設定を指定します。

## 画像の不具合のトラブルシューティング


画像の不具合と、これらの不具合を解決する手順の例を確認します。

表 9-1 画像の不具合一覧のクイックリファレンス

サンプル	説明	実行できる処置
<a href="#">209 ページの表 9-8 「薄い印刷」</a>	<a href="#">208 ページの表 9-6 「灰色の背景または印刷が濃い」</a>	<a href="#">206 ページの表 9-4 「空白ページ印刷されない」</a>
		
<a href="#">206 ページの表 9-3 「黒いページ」</a>	<a href="#">205 ページの表 9-2 「バンディングの発生」</a>	<a href="#">211 ページの表 9-10 「縦線の不具合」</a>
		
<a href="#">207 ページの表 9-5 「定着/フューザの不具合」</a>	<a href="#">208 ページの表 9-7 「画像位置の不具合」</a>	<a href="#">210 ページの表 9-9 「排紙の不具合」</a>
		

画像の不具合は、どのような原因であれ、多くの場合同じ手順により解決できます。画像の不具合の問題を解決する最初の段階として、次の手順を実行します。

1. 文書を印刷します。印刷品質の不具合は、断続的に発生するものか、印刷を続けることで解決するものがあります。
2. カートリッジの状態を確認します。カートリッジが**非常にわずか**になっている場合(製品寿命期を経過した場合)、カートリッジを交換します。
3. ドライバとトレイの印刷モード設定がトレイにセットされているメディアと一致していることを確認します。異なるメディアや別のトレイを使用してみます。別の印刷モードを使用してみます。
4. プリンタがサポートされている動作温度/湿度の範囲内であることを確認してください。
5. 用紙のタイプ、サイズ、および重量がプリンタでサポートされていることを確認します。プリンタでサポートされる用紙のサイズやタイプの一覧については、プリンタのサポートページ([support.hp.com](http://support.hp.com))を参照してください。

 **注記** : 「溶解」とは、トナーを用紙に定着させる印刷処理のことを意味しています。

以下の例は、プリンタの短辺を最初に移動するレターサイズ用の紙について説明しています。

**表 9-2** バンディングの発生

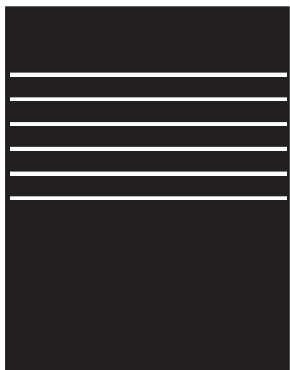
サンプル	説明	実行できる処置
	<p>ページの長さ方向に向かって繰り返し現れる暗色または明色の線で、幅は広かったり、非常に細かったりします。これらの線は、くっきりしていたり、曖昧だったりします。この不具合は、塗りつぶされた部分のみに現れます。テキストまたは印刷内容がないページでは発生しません。</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 文書を印刷します。</li> <li>2. 別のトレイから印刷してみます。</li> <li>3. カートリッジを交換します。</li> <li>4. 異なるタイプの用紙を使用します。</li> <li>5. <b>エンタープライズモデルのみ</b>: プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、<b>用紙タイプの調整</b>メニューに移動し、使用しているメディアよりも少し厚手のメディアに対応する印刷モードを選択します。これにより、印刷速度が低下して印刷品質が向上する可能性があります。</li> <li>6. それでも問題が解決しないときは、<a href="http://support.hp.com">support.hp.com</a>を参照してください。</li> </ol>

表 9-3 黒いページ


サンプル	説明	実行できる処置
	<p>印刷されたページ全体が黒くなります。</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. カートリッジが損傷していないか目視で確認します。</li> <li>2. カートリッジが正しく装着されていることを確認します。</li> <li>3. カートリッジを交換します。</li> <li>4. それでも問題が解決しないときは、<a href="http://support.hp.com">support.hp.com</a> を参照してください。</li> </ol>

表 9-4 空白ページ印刷されない


サンプル	説明	実行できる処置
	<p>ページが完全に空白で、何も印刷されていません。</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. カートリッジが HP 純正カートリッジであることを確認します。</li> <li>2. カートリッジが正しく装着されていることを確認します。</li> <li>3. 別のカートリッジで印刷します。</li> <li>4. 用紙トレイの用紙タイプの確認し、プリンタの設定と一致するよう調整します。必要に応じて、薄い用紙の種類を選択します。</li> <li>5. それでも問題が解決しないときは、<a href="http://support.hp.com">support.hp.com</a> を参照してください。</li> </ol>

表 9-5 定着/フューザの不具合

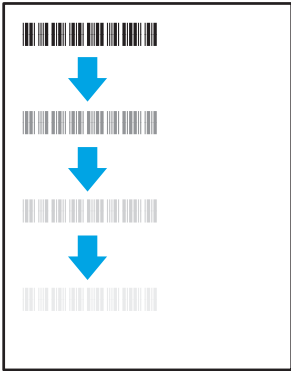
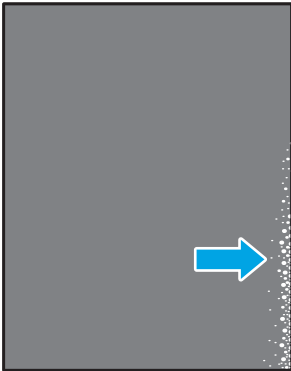
サンプル	説明	実行できる処置
	<p>わずかなシャドウ(オフセット)のある画像が用紙に沿って繰り返し現れます。この画像は、繰り返すごとに徐々に消えていきます。</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 文書を印刷します。</li> <li>2. 用紙トレイの用紙タイプの確認し、プリンタの設定と一致するよう調整します。必要に応じて、薄い用紙の種類を選択します。</li> <li>3. それでも問題が解決しないときは、<a href="http://support.hp.com">support.hp.com</a> を参照してください。</li> </ol>
	<p>トナーがページの端に沿って付着します。この問題は多くの場合、印刷量の多いジョブのフチの部分に、薄いメディアを使用する場合に発生しますが、ページのどの部分でも発生します。</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 文書を印刷します。</li> <li>2. 用紙トレイの用紙タイプの確認し、プリンタの設定と一致するよう調整します。必要に応じて、厚手の用紙に変えてみてください。</li> <li>3. <b>エンタープライズモデルのみ:</b> プリンタのコントロールパネルから、<b>最小マージン</b> メニューに移動し、<b>標準</b> を選択します。文書を印刷します。</li> <li>4. <b>エンタープライズモデルのみ:</b> プリンタのコントロールパネルで、<b>自動的にマージンを含む</b> を選択し、文書を再印刷します。</li> <li>5. それでも問題が解決しないときは、<a href="http://support.hp.com">support.hp.com</a> を参照してください。</li> </ol>

表 9-6 灰色の背景または印刷が濃い


サンプル	説明	実行できる処置
	<p>画像やテキストが期待より暗かったり、背景がグレーになったりします。</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. トレイの用紙がプリンタで使用済みでないことを確認します。</li> <li>2. 異なるタイプの用紙を使用します。</li> <li>3. 文書を印刷します。</li> <li>4. <b>モノクロモデルのみ</b>: プリンタのコントロールパネルのホーム画面から、<a href="#">トナー濃度の調整</a>メニューに移動し、トナー濃度のレベルを下げます。</li> <li>5. プリンタがサポートされている動作温度/湿度の範囲内であることを確認してください。</li> <li>6. カートリッジを交換します。</li> <li>7. それでも問題が解決しないときは、<a href="http://support.hp.com">support.hp.com</a> を参照してください。</li> </ol>

表 9-7 画像位置の不具合


サンプル	説明	実行できる処置
	<p>画像が中心に位置していない、またはページ上で傾いています。この不具合は、用紙がトレイから引き出された用紙が用紙経路を通るように適切に配置されていない場合に発生します。</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 文書を印刷します。</li> <li>2. 用紙を取り出し、トレイをセットし直します。すべての用紙の端がすべての辺で平らになっていることを確認します。</li> <li>3. 用紙束の高さがトレイの上限線を超えないようにしてください。トレイに用紙を入れすぎないでください。</li> <li>4. トレイの用紙ガイドの位置を用紙に適したサイズに合わせて調整します。用紙ガイドで用紙束をきつく固定しないようにしてください。用紙ガイドは、トレイの刻み目やマークに合わせて調整してください。</li> <li>5. それでも問題が解決しないときは、<a href="http://support.hp.com">support.hp.com</a> を参照してください。</li> </ol>

表 9-8 薄い印刷

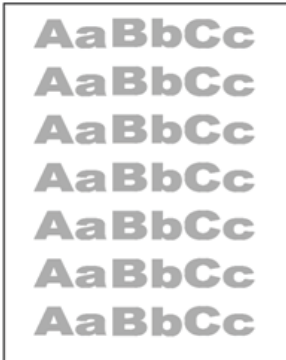
サンプル	説明	実行できる処置
	<p>ページ全体の印刷内容が薄く、色あせています。</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 文書を印刷します。</li> <li>2. カートリッジを取り外して振って、トナーを拡散させます。</li> <li>3. <b>モノクロ モデルのみ:</b>コントロールパネルおよびプリンタドライバの両方でEconoModeの設定が無効になっていることを確認します。</li> <li>4. カートリッジが正しく装着されていることを確認します。</li> <li>5. サプライ品ステータス ページを印刷し、カートリッジの寿命と使用状況を確認します。</li> <li>6. カートリッジを交換します。</li> <li>7. それでも問題が解決しないときは、<a href="http://support.hp.com">support.hp.com</a> を参照してください。</li> </ol>

表 9-9 排紙の不具合


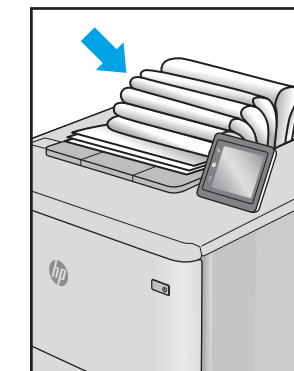
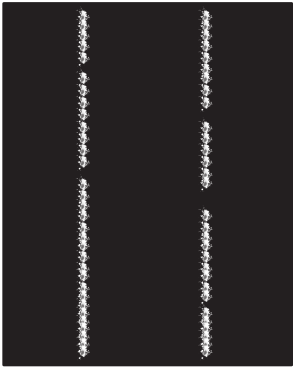
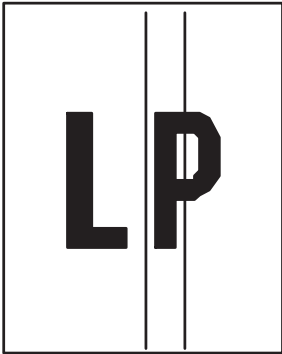
サンプル	説明	実行できる処置
	<p>印刷された用紙の端が反り返っています。反り返りは、用紙の短辺または長辺に沿って発生します。反り返りには2つのタイプがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>正の反り返り</b>：用紙が印刷面に向かって反り返ります。この不具合は、乾燥した環境で、または印刷量の多いページを印刷すると発生します。</li> <li>● <b>負の反り返り</b>：用紙が印刷面とは反対方向に反り返ります。この不具合は、湿度の高い環境で、または印刷量の少ないページを印刷すると発生します。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 文書を印刷します。</li> <li>2. <b>正の反り返り</b>：プリンタのコントロールパネルで、厚手の用紙タイプを選択します。厚手の用紙タイプでは、印刷時に温度が上がります。 <b>負の反り返り</b>：プリンタのコントロールパネルで、薄い用紙タイプを選択します。薄い用紙タイプでは、印刷時に温度が下がります。事前に用紙を乾燥した環境で保管するか、新たに開封した用紙を使用します。</li> <li>3. 両面モードで印刷します。</li> <li>4. それでも問題が解決しないときは、<a href="http://support.hp.com">support.hp.com</a> を参照してください。</li> </ol>
	<p>用紙が排紙トレイにきちんと積まれません。紙積みが平らにならずに傾むく、またはページがトレイから押し出されて床に落ちる場合があります。この不具合は、次のいずれかの条件が原因となります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 極端に反り返った用紙</li> <li>● トレイの用紙のしわや変形</li> <li>● 標準ではない用紙タイプ(封筒など)</li> <li>● 排紙トレイがいっぱいになっている</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 文書を印刷します。</li> <li>2. 排紙ピンの延長トレイを伸ばします。</li> <li>3. 極端に反り返った用紙が原因の場合、用紙の反り返りのトラブルシューティング手順を参照します。</li> <li>4. 異なるタイプの用紙を使用します。</li> <li>5. 新たに開封した用紙を使用してください。</li> <li>6. トレイがいっぱいになる前に、排紙トレイから用紙を取り出します。</li> <li>7. それでも問題が解決しないときは、<a href="http://support.hp.com">support.hp.com</a> を参照してください。</li> </ol>



表 9-10 縦線の不具合

サンプル	説明	実行できる処置
	<p>明るい縦方向の線が、通常はページの長さ全体にわたって現れます。この不具合は、塗りつぶされた部分のみに現れます。テキストまたは印刷内容がないページでは発生しません。</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 文書を印刷します。</li> <li>2. カートリッジを取り外して振って、トナーを拡散させます。</li> <li>3. それでも問題が解決しないときは、<a href="http://support.hp.com">support.hp.com</a> を参照してください。</li> </ol>
	<p>用紙の長さに沿って発生する濃い垂直の線。この不具合は、どのようなページでも (塗りつぶしや印刷内容のないページ) 発生する可能性があります。</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 文書を印刷します。</li> <li>2. カートリッジを取り外して振って、トナーを拡散させます。</li> <li>3. クリーニングページを印刷します。</li> <li>4. カートリッジのトナー残量を確認します。</li> <li>5. それでも問題が解決しないときは、<a href="http://support.hp.com">support.hp.com</a> を参照してください。</li> </ol>

## コピーのイメージ品質を向上させる

プリンタのコピー品質に問題がある場合、以下に示すソリューションを順番に実行して問題を解決してください。

- [スキャナガラスにごみや汚れがないか検査する](#)
- [スキャナの校正](#)
- [用紙設定を確認する](#)
- [イメージ調整設定を確認する](#)
- [テキストまたは画像に合わせてコピー品質を最適化する](#)
- [最小マージンコピー](#)

まず、次のシンプルな手順を試してください。

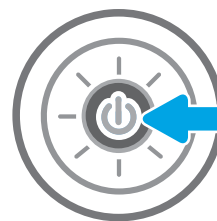
- 文書フィーダではなく、フラットベッドスキャナを使用します。
- 高い品質の原稿を使用します。
- 文書フィーダを使用する場合は、画像が不鮮明になったり歪んだりしないように、用紙ガイドを使用して、原稿をフィーダに正しく設定します。

依然として問題が残る場合は、次のソリューションも試してください。これらのソリューションを実行しても問題が解決されない場合は、「印刷品質の改善」でその他のソリューションを参照してください。

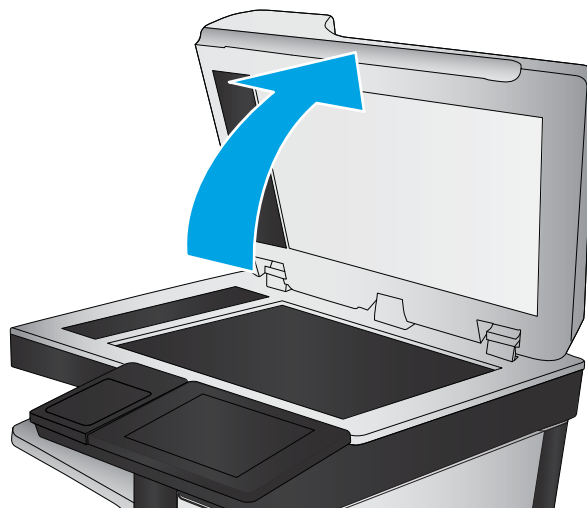
### スキャナガラスにごみや汚れがないか検査する

時間が経つにつれ、スキャナのガラス板やビニール製の白い裏張り部分に細かいごみがたまり、性能が劣化する場合があります。印刷したページに筋状の汚れ、不適切な線、トナーの黒い汚れ、印刷品質の低下、不鮮明なテキストなどの問題がある場合は、次の手順を使用してスキャナをクリーニングします。

1. プリンタの電源ボタンをオフにして、コンセントから電源ケーブルを外します。



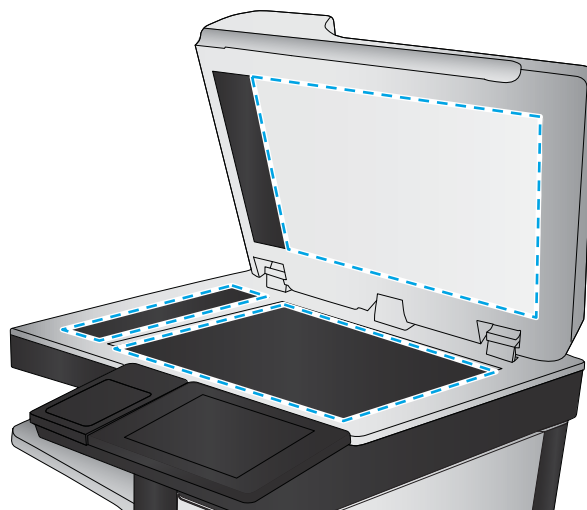
2. スキャナ カバーを開きます。



3. 非研磨性ガラスクリーナーを含ませた柔らかい布またはスポンジでスキャナのガラス板と文書フィーダ部分をクリーニングします。

**注意：**プリンタのどの部分にも研磨材、アセトン、ベンゼン、アンモニア、エチルアルコール、および四塩化炭素は使用しないでください。これらは、プリンタを損傷するおそれがあります。また、ガラス板やプラテンには液体を直接かけないでください。液体が漏れてプリンタを損傷するおそれがあります。


**注記：**文書フィーダを使用すると、読み取った文書が筋状に汚れる問題が発生している場合は、スキャナの左側にある小さいガラスストリップをクリーニングしてください。



4. しみが残らないように、乾いたセーム革またはセルロース スポンジでガラス板とビニール製の白い裏張り部分を拭き取ります。
5. 電源ケーブルをコンセントに接続し、電源ボタンを押し、プリンタの電源を入れます。

## スキャナの校正

イメージがページの正しい位置にコピーされない場合は、次の手順に従ってスキャナを校正します。

 **注記：** 文書フィーダを使用する場合には、給紙トレイのガイドを原稿に合わせて調整します。

1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、サポート ツール アプリケーションに移動し、次にサポート ツール アイコンを選択します。
2. 以下のメニューを開きます。

- メンテナンス
  - 校正/クリーニング
  - スキャナの校正
3. スタート ボタンをタッチして、校正処理を開始します。画面の指示に従います。
  4. 校正処理が終了するまで待ちます。終了したら再度コピーを試します。

## 用紙設定を確認する

コピーしたページに汚れがある、印刷が不鮮明または濃い、用紙が丸まる、または顔料が印刷されない箇所がある場合には、次の手順に従います。

- [用紙選択オプションを確認します。](#)


### 用紙選択オプションを確認します。

1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、**コピー** アプリケーションに移動し、次に **コピー** アイコンを選択します。
2. **オプション** を選択し、**用紙の選択** までスクロールして選択します。
3. **用紙サイズ** を選択して、事前定義オプションのいずれかを選択します。
4. **用紙タイプ** を選択して、事前定義オプションのいずれかを選択します。
5. **用紙トレイ** を選択して、事前定義オプションのいずれかを選択します。
6. **完了** を選択し、用紙選択オプションを保存します。

## イメージ調整設定を確認する

以下の追加の設定を調整して、コピー品質を改善します。


- **[シャープネス]**: イメージを鮮明にしたり柔らかくしたりします。たとえば、鮮明度を上げるとテキストがはっきりと表示され、鮮明度を下げると写真が滑らかに表示されます。
  - **[濃さ]**: スキャンしたイメージのカラーで使用する白および黒の量を増減します。
  - **[コントラスト]**: ページ内の最も明るい色と最も暗い色の差を増減します。
  - **背景の除去**: スキャンしたイメージの背景から不鮮明な色を除去します。たとえば、原稿がカラー用紙に印刷されている場合、この機能を使用することでイメージの濃さに影響を与えることなく背景を明るくできます。
  - **自動トーン**: Flow プリンタのみ。**濃さ**、**コントラスト**、および **背景の除去** の設定がスキャンしたドキュメントに最も適した値となるように自動的に調整されます。
1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、**コピー** アプリケーションに移動し、次に **コピー** アイコンを選択します。
  2. **オプション** を選択し、**イメージ調整** までスクロールして選択します。
  3. スライダを調節してレベルを設定し、**完了** を選択します。
  4. **コピー** を選択してコピー ジョブを開始します。

 **注記**: これらの設定値は一時的なものです。ジョブが完了すると、デフォルト設定に戻ります。

## テキストまたは画像に合わせてコピー品質を最適化する

コピー中の次の画像タイプに合わせてコピー ジョブを最適化します: テキスト、グラフィックス、写真。

1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、**コピー** アプリケーションに移動し、次に **コピー** アイコンを選択します。
2. **オプション** を選択し、**テキスト/画像の最適化** を選択します。
3. 次のいずれかの事前定義オプションを選択します。
4. **コピー** を選択してコピー ジョブを開始します。

 **注記**：これらの設定値は一時的なものです。ジョブが完了すると、デフォルト設定に戻ります。

## 最小マージン コピー

原稿が用紙の端近くに印刷される場合は、この機能を使用して、コピーの端にシャドウが印刷されるのを防ぎます。

1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、**コピー** アプリケーションに移動し、次に **コピー** アイコンを選択します。
2. **オプション** を選択し、**Edge-To-Edge** を選択します。
3. 原稿が用紙の端近くに印刷される場合は、**最小マージン出力** を選択します。
4. **コピー** を選択してコピー ジョブを開始します。

## スキヤンのイメージ品質を向上させる

- [スキヤナ ガラスにごみや汚れがないか検査する](#)
- [解像度設定を確認する](#)
- [カラー設定を確認する](#)
- [イメージ調整設定を確認する](#)
- [テキストまたは画像のスキヤン品質を最適化する](#)
- [出力品質設定を確認する](#)

まず、次のシンプルな手順を試してください。

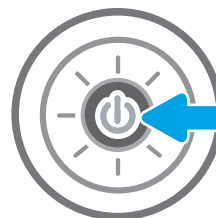
- 文書フィーダではなく、フラットベッド スキヤナを使用します。
- 高い品質の原稿を使用します。
- 文書フィーダを使用する場合は、画像が不鮮明になったり歪んだりしないように、用紙ガイドを使用して、原稿をフィーダに正しく設定します。

依然として問題が残る場合は、次のソリューションも試してください。これらのソリューションを実行しても問題が解決されない場合は、「印刷品質の改善」でその他のソリューションを参照してください。

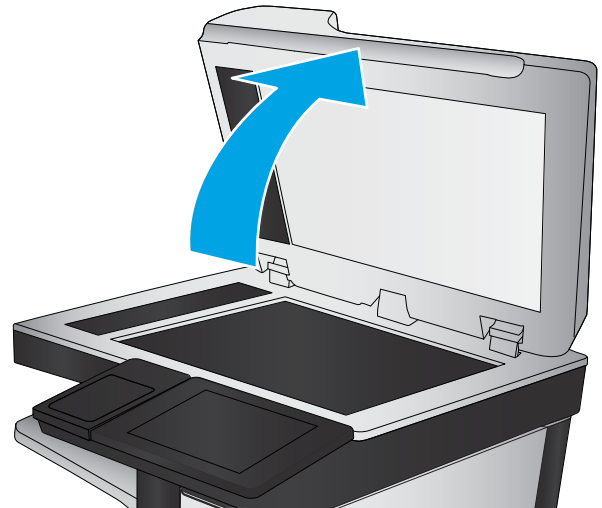
### スキヤナ ガラスにごみや汚れがないか検査する

時間が経つにつれ、スキヤナのガラス板やビニール製の白い裏張り部分に細かいごみがたまり、性能が劣化する場合があります。印刷したページに筋状の汚れ、不適切な線、トナーの黒い汚れ、印刷品質の低下、不鮮明なテキストなどの問題がある場合は、次の手順を使用してスキヤナをクリーニングします。

1. プリンタの電源ボタンをオフにして、コンセントから電源ケーブルを外します。



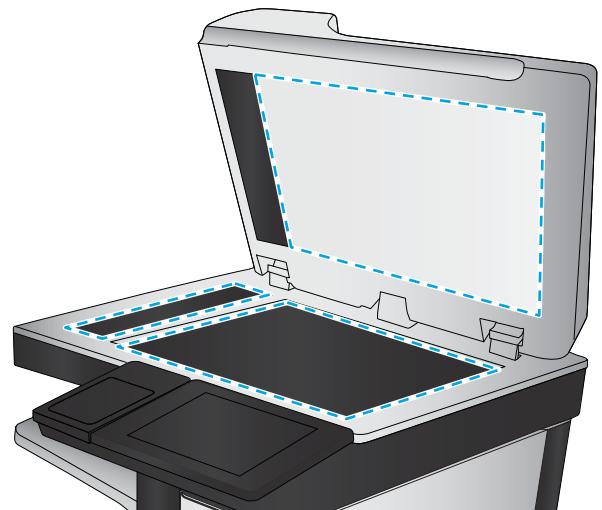
2. スキャナカバーを開きます。



3. 非研磨性ガラスクリーナーを含ませた柔らかい布またはスポンジでスキャナのガラス板と文書フィーダ部分をクリーニングします。


**注意：**プリンタのどの部分にも研磨材、アセトン、ベンゼン、アンモニア、エチルアルコール、および四塩化炭素は使用しないでください。これらは、プリンタを損傷するおそれがあります。また、ガラス板やプラテンには液体を直接かけないでください。液体が漏れてプリンタを損傷するおそれがあります。

**注記：**文書フィーダを使用すると、読み取った文書が筋状に汚れる問題が発生している場合は、スキャナの左側にある小さいガラスストリップをクリーニングしてください。



4. しみが残らないように、乾いたセーム革またはセルローズ スポンジでガラス板とビニール製の白い裏張り部分を拭き取ります。
5. 電源ケーブルをコンセントに接続し、電源ボタンを押し、プリンタの電源を入れます。

## 解像度設定を確認する

 **注記：**解像度を高い値に設定すると、ファイルサイズが大きくなり、スキャン時間が長くなります。

次の手順に従って解像度設定を調整します。

1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、**スキャン** アプリケーションに移動し、次に **スキャン** アイコンを選択します。
2. 次のスキャン機能のいずれかを選択します。
  - **電子メールにスキャン**
  - **スキャンデータをネットワークフォルダに送信**



- スキャンして USB ドライブに保存
  - SharePoint® にスキャン
3. オプション を選択し、ファイルのタイプと解像度 を選択します。
  4. 事前定義済みの 解像度 オプションのいずれかを選択し、完了 を選択します。
  5. 送信 または 保存 を選択してスキャンを開始します。

## カラー設定を確認する

次の手順に従ってカラー設定を調整します。

1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、スキャン アプリケーションに移動し、次に スキャン アイコンを選択します。
2. 次のスキャン機能のいずれかを選択します。
  - デバイス メモリに保存
  - スキャンして電子メールで送信
  - スキャン データをネットワーク フォルダに送信
  - スキャンして USB デバイスに保存する
  - SharePoint® にスキャン
3. オプション ボタンをタッチします。
4. [オプション] ペインで、カラー/モノクロ までスクロールして選択します。
5. 次のいずれかの事前定義オプションを選択します。
6. 送信 ボタンをタッチします。

## イメージ調整設定を確認する

以下の追加の設定を調整して、スキャン品質を改善します。

- [シャープネス]: イメージを鮮明にしたり柔らかくしたりします。たとえば、鮮明度を上げるとテキストがはっきりと表示され、鮮明度を下げると写真が滑らかに表示されます。
  - [濃さ]: スキャンしたイメージのカラーで使用する白および黒の量を増減します。
  - [コントラスト]: ページ内の最も明るい色と最も暗い色の差を増減します。
  - 背景の除去: スキャンしたイメージの背景から不鮮明な色を除去します。たとえば、原稿がカラー用紙に印刷されている場合、この機能を使用することでイメージの濃さに影響を与えることなく背景を明るくできます。
  - 自動トーン: Flow プリンタのみ。濃さ、コントラスト、および背景の除去の設定がスキャンしたドキュメントに最も適した値となるように自動的に調整されます。
1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、スキャン アプリケーションに移動し、次に スキャン アイコンを選択します。
  2. 次のスキャン機能のいずれかを選択します。


- スキャンして電子メールで送信
  - スキャンデータをネットワークフォルダに送信
  - スキャンしてUSBドライブに保存
  - スキャンしてジョブ保存
  - SharePoint® にスキャン
3. オプションを選択し、イメージ調整を選択します。
  4. スライダを調節してレベルを設定し、完了を選択します。
  5. 送信または保存を選択してスキャンを開始します。

 **注記**：これらの設定値は一時的なものです。ジョブが完了すると、デフォルト設定に戻ります。

## テキストまたは画像のスキャン品質を最適化する

スキャン中の次の画像タイプに合わせてスキャンジョブを最適化します：テキスト、グラフィックス、写真。

1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、スキャンアプリケーションに移動し、次にスキャンアイコンを選択します。
2. 次のスキャン機能のいずれかを選択します。
  - スキャンして電子メールで送信
  - スキャンデータをネットワークフォルダに送信
  - スキャンしてUSBドライブに保存
  - スキャンしてジョブ保存
  - SharePoint® にスキャン
3. オプションを選択し、テキスト/画像の最適化を選択します。
4. 次のいずれかの事前定義オプションを選択します。
5. 送信または保存を選択してスキャンを開始します。

 **注記**：これらの設定値は一時的なものです。ジョブが完了すると、デフォルト設定に戻ります。

## 出力品質設定を確認する

この設定では、ファイル保存時の圧縮レベルを調整します。最高の品質を確保するには、最高値の設定を選択します。

1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、スキャンアプリケーションに移動し、次にスキャンアイコンを選択します。
2. 次のスキャン機能のいずれかを選択します。

- 電子メールにスキャン
  - スキャンデータをネットワークフォルダに送信
  - スキャンしてUSBドライブに保存
  - SharePoint® にスキャン
3. オプションを選択し、ファイルのタイプと解像度を選択します。
  4. 事前定義済みの品質およびファイルサイズオプションのいずれかを選択し、完了を選択します。
  5. 送信または保存を選択してスキャンを開始します。

## ファックスの画像品質の向上

プリンタのファックス品質に問題がある場合は、次のソリューションを記載されている順に実行して問題を解決してください。

- [スキャナガラスにごみや汚れがないか検査する](#)
- [送信ファックスの解像度設定を確認する](#)
- [イメージ調整設定を確認する](#)
- [テキストまたは画像のファックス品質を最適化する](#)
- [エラー修正設定を確認する](#)
- [用紙の大きさに合わせる設定を確認する](#)
- [異なるファックス機に送信する](#)
- [送信側のファックス機を確認する](#)

まず、次のシンプルな手順を試してください。

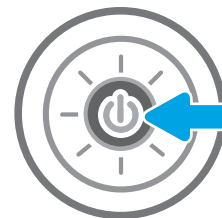
- 文書フィーダではなく、フラットベッド スキャナを使用します。
- 高い品質の原稿を使用します。
- 文書フィーダを使用する場合は、画像が不鮮明になったり歪んだりしないように、用紙ガイドを使用して、原稿をフィーダに正しく設定します。

依然として問題が残る場合は、次のソリューションも試してください。これらのソリューションを実行しても問題が解決されない場合は、「印刷品質の改善」でその他のソリューションを参照してください。

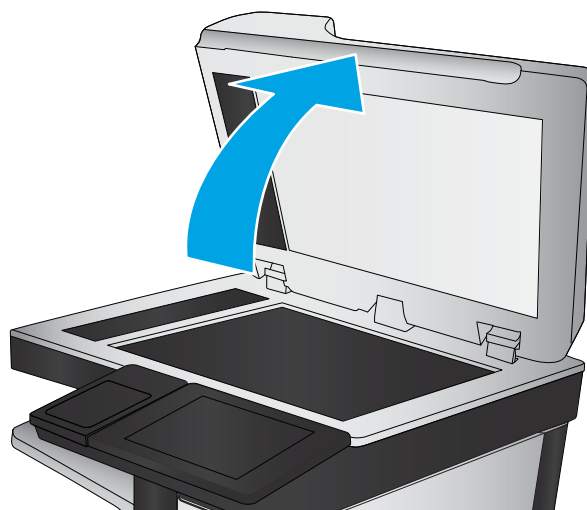
### スキャナ ガラスにごみや汚れがないか検査する

時間が経つにつれ、スキャナのガラス板やビニール製の白い裏張り部分に細かいごみがたまり、性能が劣化する場合があります。印刷したページに筋状の汚れ、不適切な線、トナーの黒い汚れ、印刷品質の低下、不鮮明なテキストなどの問題がある場合は、次の手順を使用してスキャナをクリーニングします。

1. プリンタの電源ボタンをオフにして、コンセントから電源ケーブルを外します。



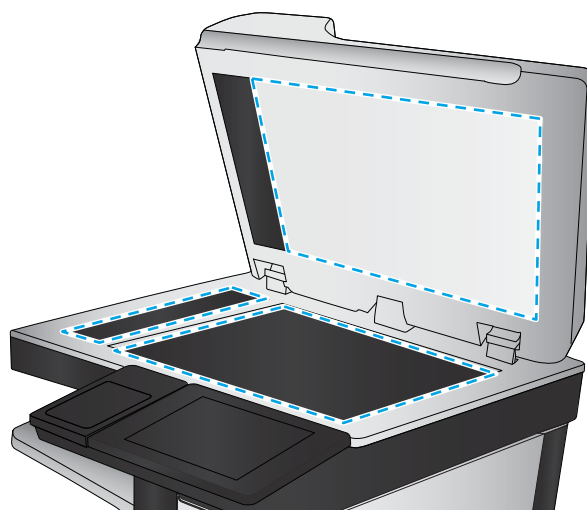
2. スキャナ カバーを開きます。



3. 非研磨性ガラスクリーナーを含ませた柔らかい布またはスポンジでスキャナのガラス板と文書フィーダ部分をクリーニングします。

**注意：**プリンタのどの部分にも研磨材、アセトン、ベンゼン、アンモニア、エチルアルコール、および四塩化炭素は使用しないでください。これらは、プリンタを損傷するおそれがあります。また、ガラス板やプラテンには液体を直接かけないでください。液体が漏れてプリンタを損傷するおそれがあります。


**注記：**文書フィーダを使用すると、読み取った文書が筋状に汚れる問題が発生している場合は、スキャナの左側にある小さいガラスストリップをクリーニングしてください。



4. しみが残らないように、乾いたセーム革またはセルローススポンジでガラス板とビニール製の白い裏張り部分を拭き取ります。
5. 電源ケーブルをコンセントに接続し、電源ボタンを押し、プリンタの電源を入れます。

## 送信ファックスの解像度設定を確認する

次の手順に従って送信ファックスの解像度を調整します。

 **注記：** 解像度を上げると、ファックスのサイズが大きくなり、送信時間が長くなります。

1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、**ファックス**アプリケーションに移動し、次に**ファックス**アイコンを選択します。
2. **オプション**を選択します。
3. [オプション]ペインで、**解像度**までスクロールして選択します。
4. 事前定義オプションの1つを選択してから、**送信**を選択してファックスを送信します。

## イメージ調整設定を確認する

以下の追加の設定を調整して、送信ファックスの品質を改善します。

- **[シャープネス]**: イメージを鮮明にしたり柔らかくしたりします。たとえば、鮮明度を上げるとテキストがはっきりと表示され、鮮明度を下げると写真が滑らかに表示されます。
  - **[濃さ]**: スキャンしたイメージのカラーで使用する白および黒の量を増減します。
  - **[コントラスト]**: ページ内の最も明るい色と最も暗い色の差を増減します。
  - **背景の除去**: スキャンしたイメージの背景から不鮮明な色を除去します。たとえば、原稿がカラー用紙に印刷されている場合、この機能を使用することでイメージの濃さに影響を与えることなく背景を明るくできます。
  - **自動トーン**: Flow プリンタのみ。**濃さ**、**コントラスト**、および **背景の除去** の設定がスキャンしたドキュメントに最も適した値となるように自動的に調整されます。
1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、**ファックス** アプリケーションに移動し、次に **ファックス** アイコンを選択します。
  2. **オプション** を選択します。
  3. [オプション] ペインで、**イメージ調整** までスクロールして選択します。
  4. スライダを調節してレベルを設定し、**完了** を選択します。
  5. **送信** を選択するとファックスが送信されます。

---

 **注記**: これらの設定値は一時的なものです。ジョブが完了すると、デフォルト設定に戻ります。

---

## テキストまたは画像のファックス品質を最適化する

スキャン中の次の画像タイプに合わせてファックス ジョブを最適化します: テキスト、グラフィックス、写真。

1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、**ファックス** アプリケーションに移動し、次に **ファックス** アイコンを選択します。
2. **オプション** を選択します。
3. [オプション] ペインで、**テキスト/画像の最適化** までスクロールして選択します。
4. 次のいずれかの事前定義オプションを選択します。
5. **送信** を選択するとファックスが送信されます。

---

 **注記**: これらの設定値は一時的なものです。ジョブが完了すると、デフォルト設定に戻ります。

---

## エラー修正設定を確認する

**[エラー修正モード]** 設定が無効になっている可能性があり、それが原因で印刷品質が低下している可能性があります。この設定を再度有効にするには、次の手順に従います。

1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、**設定** アプリケーションに移動し、**設定** アイコンを選択します。
2. 以下のメニューを開きます。

- ファックス
- ファックス送信設定
- 全般的なファックス送信設定

3. エラー修正モード オプションを選択します。完了 ボタンをタッチします。

## 用紙の大きさに合わせる設定を確認する

用紙の大きさに合わせる 設定が有効になっており、受信したファックスがデフォルトページサイズよりも大きい場合は、イメージがページに収まるように縮小されます。この設定が無効になっていると、サイズの大きいイメージが複数のページに分割されます。

1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、設定 アプリケーションに移動し、設定 アイコンを選択します。
2. 以下のメニューを開きます。
  - ファックス
  - ファックス受信設定
  - デフォルト ジョブ オプション
  - 用紙の大きさに合わせる
3. 設定を有効にするには、オン オプションを選択し、無効にするには、オフ オプションを選択します。

## 異なるファックス機に送信する

異なるファックス機にファックス送信を試行します。ファックス品質が良好な場合、問題は最初の受信者のファックス機の設定またはサプライ品の状態に関係しています。

## 送信側のファックス機を確認する

送信側に別のファックス機から送信するように依頼します。ファックス品質が向上する場合は、送信側のファックス機に問題があります。別のファックス機を使用できない場合は、送信側に次の変更を検討するよう依頼します。

- 原稿を白地(色付きでなく)にする。
- ファックスの解像度、品質レベル、またはコントラストの設定を高くする。
- 可能な場合には、コンピュータのソフトウェア プログラムからファックスを送信する。

# 有線ネットワークに関する問題の解決

- [はじめに](#)
- [物理接続が不適切である](#)
- [コンピュータがプリンタと通信できない](#)
- [プリンタで使用しているネットワークのリンク設定と二重通信設定に誤りがある](#)
- [新規に導入したソフトウェアにおいて、互換性問題が発生している可能性がある](#)
- [コンピュータまたはワークステーションが正しくセットアップされていない可能性がある](#)
- [プリンタが無効になっているか、その他のネットワーク設定に誤りがある](#)

## はじめに

問題の特定のタイプにより、ネットワーク通信に問題があることが示されます。これらの問題には、次のような問題が含まれます。

## 物理接続が不適切である

1. プリンタが適切な長さのケーブルで適切なネットワークポートに接続されているかどうかを確認します。
2. ケーブルが確実に接続されているかどうかを確認します。
3. プリンタ背面のネットワークポート接続を見て、黄色の動作ランプが点滅してネットワークトラフィックを示し、緑のリンクステータスランプが点灯してネットワークリンクを示していることを確認します。
4. 問題が解決しない場合は、別のケーブルを試すか、または、ハブの別のポートに接続してみます。

## コンピュータがプリンタと通信できない

1. ping コマンドを実行してネットワーク通信をテストします。
  - a. コンピュータでコマンドラインプロンプトを開きます。
    - Windows の場合は、[スタート]メニューの[ファイル名を指定して実行]をクリックし、「cmd」と入力し、Enter キーを押します。
    - macOS の場合は、[アプリケーション]、[ユーティリティ]の順に進んで、[ターミナル]を開きます。
  - b. ping と入力し、その後にプリンタの IP アドレスを入力して、実行します。
  - c. ウィンドウに往復時間が表示される場合、ネットワークは稼動しています。
2. ping コマンドが失敗した場合は、ネットワークハブの電源が入っているかどうかを確認してから、プリンタとコンピュータが同じネットワーク(サブネットとも呼ばれています)に対して設定されているかどうかを確認します。
3. プリンタのプロパティダイアログボックスを開き、[ポート]タブをクリックします。このプリンタの現在の IP アドレスが設定されているかどうかを確認します。プリンタの IP アドレスは設定ページに記載されています。



4. HP 標準の TCP/IP ポートを使用してプリンタを接続した場合、**[IP アドレスが変更された場合でも常にこのプリンタに印刷する]**とラベルされたボックスを選択します。
5. Microsoft 標準の TCP/IP ポートを使用してプリンタを接続した場合、IP アドレスではなくプリンタのホスト名を使用します。
6. IP アドレスが正しい場合は、プリンタをいったん削除し、再度追加します。

## プリンタで使用しているネットワークのリンク設定と二重通信設定に誤りがある

HP では、これらの設定を自動モード(デフォルト設定)のままにすることをお勧めしています。これらの設定を変更した場合、ネットワーク側でも変更する必要があります。

## 新規に導入したソフトウェアにおいて、互換性問題が発生している可能性がある

新規に導入したすべてのソフトウェアプログラムが正しくインストールされているかどうか、およびそれらのソフトウェアプログラムで正しいプリントドライバが使用されているかどうかを確認します。

## コンピュータまたはワークステーションが正しくセットアップされていない可能性がある

1. ネットワーク ドライバ、プリント ドライバ、およびネットワークのリダイレクト設定を確認します。
2. OS が正しく設定されているかどうかを確認します。

## プリンタが無効になっているか、その他のネットワーク設定に誤りがある


1. プリンタの設定/ネットワークのページを確認して、ネットワーク設定とプロトコルのステータスを確認します。
2. 必要があれば、ネットワーク設定をやり直します。


# ワイヤレスネットワークに関する問題の解決

- [はじめに](#)
- [ワイヤレス接続チェックリスト](#)
- [ワイヤレス設定が完了しても印刷されない](#)
- [印刷されない\(コンピュータにサードパーティのファイアウォールがインストールされている場合\)](#)
- [ワイヤレスルーターまたはプリンタの移動後、ワイヤレス接続がうまくいかない](#)
- [ワイヤレスプリンタにコンピュータを追加接続できない](#)
- [VPN に接続すると、ワイヤレスプリンタの通信が切断される](#)
- [対象のネットワークが、ワイヤレスネットワークリストに表示されていない](#)
- [ワイヤレスネットワークが機能していない](#)
- [ワイヤレスネットワークの干渉の軽減](#)

## はじめに

問題を解決するには、トラブルシューティング情報を使用します。

 **注記** : HP NFC、Wi-Fi、BLE、またはその他のワイヤレス印刷機能がプリンタで有効になっているかどうかを確認するには、プリンタのコントロールパネルから設定ページを印刷します。

 **注記** : 断続的にネットワークの接続性が失われる場合、まずプリンタのファームウェアをアップデートします。プリンタのファームウェアのアップデート手順については、<http://support.hp.com> にアクセスし、お使いのプリンタを検索して、[ファームウェアのアップデート]を検索してください。

## ワイヤレス接続チェックリスト

- 有線および無線接続を同時にサポートしないプリンタについては、ネットワークケーブルが接続されていないことを確認します。
- プリンタおよびワイヤレスルーターがオンになっていて、電源が供給されていることを確認します。また、プリンタのワイヤレス通信機がオンになっていることも確認します。(ネットワークのワイヤレスインジケータは、プリンタがワイヤレスネットワークに接続されている場合には点灯し、ワイヤレスネットワークの検索中には点滅します。)
- SSID (Service Set Identifier) が正しいことを確認します。
  - ネットワークにワイヤレス接続している場合、モバイルデバイスが、適切なルーター/アクセスポイントに接続されていることを確認します。
  - Wi-Fi Direct 接続の場合に、プリンタの SSID を確認するには、設定ページを印刷します。

SSID が正しいかどうか不明な場合は、ワイヤレスセットアップをもう一度実行する。

- セキュリティで保護されたネットワークについて、セキュリティ情報が正しいことを確認する。セキュリティ情報が正しくない場合は、ワイヤレスセットアップをもう一度実行する。

- ワイヤレス ネットワークが正しく動作している場合は、同じワイヤレス ネットワークの他のコンピュータにアクセスしてみる。ネットワークがインターネットに接続されている場合は、ワイヤレス接続経路でインターネットに接続してみる。
- プリンタの暗号化方法 (AES または TKIP) が (WPA セキュリティを使用しているネットワーク上の) ワイヤレス アクセス ポイントと同じであることを確認します。
- プリンタがワイヤレス ネットワークの範囲内にあることを確認します。大半のネットワークでは、ワイヤレス アクセス ポイント (ワイヤレス ルーター) の 30m 以内にプリンタを設置する必要があります。
- 障害物がワイヤレス信号を妨害していないことを確認する。アクセス ポイントとプリンタの間に大きな金属製物体があれば、取り除きます。金属やコンクリートを含む柱や壁、支柱により、プリンタとワイヤレス アクセス ポイントが隔てられていないことを確認します。
- プリンタが、ワイヤレス信号に干渉する可能性のある電子装置から離れたところにあることを確認します。モーター、コードレス フォン、監視カメラ、ワイヤレス ネットワーク、一部の Bluetooth デバイスなどがワイヤレス信号に干渉する可能性がある。
- コンピュータにプリント ドライバがインストールされていることを確認します。
- 正しいプリンタ ポートが選択されていることを確認する。
- コンピュータとプリンタが同じワイヤレス ネットワークに接続されていることを確認します。
- お使いの環境に複数のワイヤレス信号が存在し、2.4GHz および 5GHz 帯の両方でデュアルバンド ネットワークをサポートするプリンタが必要な場合は、HP Jetdirect 2900nw プリント サーバのアクセサリを取り付けます。
- macOS の場合は、ワイヤレス ルーターで Bonjour がサポートされていることを確認します。

## ワイヤレス設定が完了しても印刷されない

1. プリンタの電源が入っていて準備完了状態になっていることを確認します。
2. コンピュータでサードパーティのファイアウォールをすべてオフにします。
3. ワイヤレス ネットワークが正しく動作していることを確認します。
4. コンピュータが正常に動作していることを確認します。必要に応じて、コンピュータを再起動します。
5. ネットワーク上にあるコンピュータから、プリンタの HP 内蔵 Web サーバを開くことができることを確認します。

## 印刷されない(コンピュータにサードパーティのファイアウォールがインストールされている場合)

1. 製造元から最新の更新プログラムを入手し、ファイアウォールを更新します。
2. プリンタをインストールまたは印刷しようとしたときにプログラムからファイアウォールへのアクセスが要求された場合は、必ずプログラムに実行を許可してください。
3. 一時的にファイアウォールをオフにし、コンピュータにワイヤレス プリンタをインストールします。ワイヤレス インストールが完了したら、ファイアウォールを有効にします。

## ワイヤレスルーターまたはプリンタの移動後、ワイヤレス接続がうまくいかない

1. ルーターまたはプリンタが、コンピュータと同じネットワークに接続されていることを確認します。
2. 設定ページを印刷します。
3. 設定ページの SSID (Service Set Identifier) を、コンピュータのプリンタ設定の SSID と比較します。
4. 数値が異なる場合、これらのデバイスは同じネットワークに接続されていません。プリンタのワイヤレスセットアップを再設定します。

## ワイヤレスプリンタにコンピュータを追加接続できない

1. 他のコンピューターがワイヤレス範囲内にあり、信号をさえぎる障害物がないことを確認してください。大半のネットワークでは、ワイヤレス範囲はワイヤレスアクセスポイントから 30m の範囲です。
2. プリンタの電源が入っていて準備完了状態になっていることを確認します。
3. 1 度に 5 人を超えるワイヤレスダイレクト印刷ユーザーが接続していないか確認します。
4. コンピューターでサードパーティのファイアウォールをすべてオフにします。
5. ワイヤレスネットワークが正しく動作していることを確認します。
6. コンピューターが正常に動作していることを確認します。必要に応じて、コンピュータを再起動します。

## VPN に接続すると、ワイヤレスプリンタの通信が切断される

- 通常、VPN とその他のネットワークに同時に接続することはできません。

## 対象のネットワークが、ワイヤレスネットワークリストに表示されていない

- ワイヤレスルーターがオンになっていて、電源が供給されていることを確認してください。
- ネットワークが非表示になっている可能性があります。ただし、非表示のネットワークでも接続は可能です。モバイルデバイスで検出された使用可能なネットワークの SSID を確認することにより、ルーター/アクセスポイントが SSID を通知していることを確認します。

## ワイヤレスネットワークが機能していない

1. ワイヤード/ワイヤレス接続を同時にサポートしないプリンタの場合は、ネットワークケーブルが接続されていないことを確認します。
2. ネットワークの通信が切断されているかどうかを確認するには、他のデバイスをネットワークに接続してみます。
3. ping コマンドを実行してネットワーク通信をテストします。
  - a. コンピューターでコマンドラインプロンプトを開きます。

- Windows の場合は、[スタート]メニューの[ファイル名を指定して実行]をクリックし、「cmd」と入力し、Enter キーを押します。
  - macOS の場合は、[アプリケーション]、[ユーティリティ]の順に進んで、[ターミナル]を開きます。
- b. 「ping」の後にルーターのIPアドレスを入力します。
  - c. ウィンドウに往復時間が表示される場合、ネットワークは稼動しています。
4. ルーターまたはプリンタが、コンピュータと同じネットワークに接続されていることを確認します。
- a. 設定ページを印刷します。
  - b. 設定レポートのSSID (Service Set Identifier) を、コンピュータのプリンタ設定のSSIDと比較します。
  - c. 数値が異なる場合、これらのデバイスは同じネットワークに接続されていません。プリンタのワイヤレスセットアップを再設定します。

## ワイヤレスネットワークの干渉の軽減

次のヒントを実践することで、ワイヤレスネットワークの干渉は軽減できます。

- ワイヤレスデバイスを、ファイルキャビネットなど、金属製の大きな物体、あるいは、電子レンジやコードレス電話など、その他の電子機器から遠ざけます。こうした機器は、無線信号を混乱させる可能性があります。
- ワイヤレスデバイスを、石造りの大きな構造物やその他の建造物から遠ざけます。こうした建造物は、無線電波を吸収したり、信号の強度を減衰させたりする可能性があります。
- ワイヤレスルーターは、ネットワーク上のワイヤレスプリンタとの見通し線の中央の場所に配置します。


## ファックスに関する問題の解決

プリンタのファックス機能に関連する問題を解決するには、次のセクションを使用します。


- [ファックスの問題を解決するためのチェックリスト](#)
- [一般的なファックスの問題](#)

## ファックスの問題を解決するためのチェックリスト

次のチェックリストを使用して、ファックスに関する問題の発生原因を突き止めてください。

- [どのような種類の電話回線を使用していますか？](#)
  - [サージ保護装置を使用していますか？](#)
  - [電話会社が提供する音声メッセージサービスまたは留守番電話を使用していますか？](#)
  - [電話回線に割り込み通話機能はありますか？](#)
  - [ファクスアクセサリのステータスの確認](#)
  - **ファクスアクセサリに付属のファクスケーブルを使用していますか？** このファクスアクセサリは、付属のファクスケーブルを使用して RJ11 仕様および機能仕様への準拠がテストされています。その他のファクスケーブルは使用しないでください。アナログファクスアクセサリにはアナログのファクスケーブルが必要です。また、アナログの電話接続も必要です。
  - **ファクス/電話線コネクタがファクスアクセサリの差し込み口に接続されていますか？** 電話ジャックが差し込み口にしっかりと接続されていることを確認してください。コネクタをカチッと音がするまで差し込み口に挿入します。
- 
-  **注記：** フォンジャックがネットワークポートではなくファクスポートに接続されていることを確認してください。これらのポートは類似しています。
- 
- **壁の電話ジャックは正常に機能していますか？** 壁のジャックに電話を接続して、ダイヤルトーンが聞こえることを確認してください。ダイヤルトーンが聞こえて、電話をかけたたり受けたりできますか？

### どのような種類の電話回線を使用していますか？

- **専用回線：** ファックスの送受信に標準的なファクス/電話回線が割り当てられています。
- 
-  **注記：** 電話回線はプリンタファクス専用とし、他の種類の電話装置と共有しないでください。たとえば、警備会社への通知に電話回線を使う警報システムなどとの回線の共有は避けます。
- 
- **PBX システム：** ビジネス環境の電話システム。標準的な家庭用電話とファクスアクセサリではアナログ電話信号を使用します。一部の PBX システムはデジタルであるため、ファクスアクセサリと互換性がない場合があります。ファクス機をデジタル PBX システムに接続するには、インタフェースのアナログ電話アダプタ (ATA) が必要になる場合があります。
  - **ロールオーバー回線：** 最初に着信する回線が通話中の場合に、新たにかかってきた電話を次の使用可能な回線に「ロールオーバー」する電話システム機能。最初に着信する電話回線にプリンタを接続してください。ファクスアクセサリは、応答するまでの呼び出し回数設定で設定されている回数だけ呼び出し音が鳴った後に電話に応答します。

### サージ保護装置を使用していますか？

壁のジャックとファクスアクセサリ間でサージ保護装置を使用すると、電話線を通る電流からファクスアクセサリを保護できます。このような装置が原因となって電話信号の品質が低下し、ファクス通信に問題が発生する場合があります。ファックスの送受信に問題があり、このような装置を使用している場合は、壁の電話ジャックにプリンタを直接接続して、問題の原因がサージ保護装置であるかどうかを確認してください。

## 電話会社が提供する音声メッセージサービスまたは留守番電話を使用していますか？

メッセージサービスの呼び出し回数設定がファックス アクセサリの呼び出し回数設定よりも少ない場合は、メッセージサービスが呼び出しに応答するため、ファックス アクセサリでファックスを受信できません。ファックス アクセサリの呼び出し回数設定がメッセージサービスの呼び出し回数設定よりも少ない場合は、ファックス アクセサリですべての呼び出しに応答します。

## 電話回線に割り込み通話機能はありますか？

ファックス電話回線で割り込み通話機能がアクティブになっていると、割り込み通知によって進行中のファックス コールが中断され、通信エラーが発生する場合があります。ファックス電話回線の割り込み通話機能がアクティブではないことを確認してください。


## ファックス アクセサリのステータスの確認

アナログ ファックス アクセサリが機能していないと思われる場合は、[設定ページ](#) レポートを印刷してステータスを確認します。

1. ホーム画面で、[レポート](#) までスクロールして選択します。
2. 以下のメニューを開きます。
  - [設定/ステータス ページ](#)
  - [設定ページ](#)
3. [印刷](#) ボタンをタッチしてレポートを印刷するか、[表示](#) ボタンをタッチしてレポートを画面に表示します。レポートは、数ページで構成されています。

 **注記：** プリンタの IP アドレスまたはホスト名は、[Jetdirect](#) ページに記載されています。

設定ページのファックス アクセサリ ページで、[ハードウェア情報] という見出しの下にある [モデムステータス] を確認します。次の表は、そのステータスと考えられる解決策を示しています。

 **注記：** ファックス アクセサリ ページが印刷されない場合は、アナログ ファックス アクセサリに問題がある可能性があります。LAN ファックスまたはインターネット ファックスを使用している場合には、それらの設定によって機能が無効になっている可能性があります。

動作中/使用可能 <sup>1</sup>	アナログ ファックス アクセサリが取り付けられており、使用可能な状態になっています。
動作中/使用不可 <sup>1</sup>	ファックス アクセサリは取り付けられていますが、必要なファックス設定がまだ指定されていません。  ファックス アクセサリが取り付けられており、動作していますが、HP Digital Sending コーティリティによってプリンタのファックス機能が無効になっているか、LAN ファックスが有効になっています。LAN ファックスを有効にすると、アナログ ファックス機能は無効になります。LAN ファックスとアナログ ファックスのどちらかのファックス機能のみを有効にすることができます。  <b>注記：</b> LAN ファックスが有効になっていると、プリンタのコントロールパネルの <a href="#">ファックスをスキャン</a> 機能を利用できません。
停止中/使用可能/使用不可 <sup>1</sup>	ファームウェアの障害が検出されました。ファームウェアをアップグレードします。



---

破損/使用可能/使用不可<sup>1</sup>

ファックスアクセサリでエラーが発生しました。ファックスアクセサリカードを再度取り付けて、ピンが曲がっていないか確認します。ステータスが「破損」のままである場合は、アナログファックスアクセサリカードを交換してください。

---

<sup>1</sup> 「使用可能」は、アナログファックスアクセサリが使用可能でオンの状態であることを示します。「使用不可」は、LANファックスが使用可能であることを示します(アナログファックスはオフ)。

## 一般的なファックスの問題

ファックスに関する一般的な問題の一部を以下に示します。

- [ファックスを送信できない](#)
- [プリンタのコントロールパネルに\[メモリ不足です\]というステータスメッセージが表示される](#)
- [写真の印刷品質が低いか、グレーのボックスとして印刷される](#)
- [停止ボタンをタッチしてファックスをキャンセルしたが、ファックスが送信された](#)
- [ファックスアドレス帳ボタンが表示されない](#)
- [HP Web Jetadmin のファックス設定が見つからない](#)
- [オーバーレイを有効にしても、ヘッダがページ上部に付加される](#)
- [受信者ボックスに名前と番号が混在している](#)
- [1 ページのファックスが2 ページにわたって印刷される](#)
- [ファックスの途中で文書フィーダにある文書が止まる](#)
- [ファックスアクセサリの音量が大きすぎるか小さすぎる](#)

### ファックスを送信できない

JBIG が有効になっていますが、受信ファックス機に JBIG 機能がありません。

[JBIG] 設定をオフにします。

### プリンタのコントロールパネルに[メモリ不足です]というステータスメッセージが表示される

プリンタのストレージディスクが満杯になっています。

ディスクから保存ジョブをいくつか削除します。プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、[デバイスメモリから取得](#) ボタンをタッチします。保存ジョブまたは保存ファックスのリストを開きます。削除するジョブを選択し、[削除](#) ボタンをタッチします。

### 写真の印刷品質が低いか、グレーのボックスとして印刷される

間違ったページコンテンツ設定または解像度設定を使用しています。

[テキスト/画像の最適化](#) オプションを [フォト](#) に設定して試してください。

### 停止ボタンをタッチしてファックスをキャンセルしたが、ファックスが送信された

送信プロセスのジョブが長すぎると、ジョブをキャンセルできません。

これは正常な動作です。

### ファックスアドレス帳ボタンが表示されない

選択した連絡先リスト内のどの連絡先にも、ファックス情報が関連付けられていません。

### HP Web Jetadmin のファックス設定が見つからない

HP Web Jetadmin のファックス設定はデバイスのステータス ページのドロップダウン メニューにあります。

ドロップダウン メニューから **[デジタル送信とファックス]** を選択します。

## オーバーレイを有効にしても、ヘッダがページ上部に付加される

すべての転送されるファックスのページ上部にオーバーレイヘッダが付加されます。

これは正常な動作です。

## 受信者ボックスに名前と番号が混在している

ソースデータに応じて、名前と数字の両方が表示される場合があります。ファックスアドレス帳は名前を示し、他のすべてのデータベースは数字を示します。

これは正常な動作です。

## 1 ページのファックスが2 ページにわたって印刷される

ファックスヘッダーがファックスの上部に付加されると、テキストが2 ページ目に押し出されます。

1 ページのファックスを1 ページに印刷するには、オーバーレイヘッダをオーバーレイモードに設定するか、用紙の大きさに合わせる設定を調整します。

## ファックスの途中で文書フィーダにある文書が止まる

文書フィーダで紙詰まりしています。

詰まった紙を取り除いてから、もう一度ファックスします。

## ファックスアクセサリの音量が大きすぎるか小さすぎる

音量設定を調整する必要があります。

[ファックスの送信設定](#) メニューおよび [ファックスの受信設定](#) メニューで音量を調整します。

## USB フラッシュ ドライブからの応答がない

USB ポートは、デフォルトで無効になっています。この機能を使用する際は、USB ポートを有効にしてください。



- [方法 1: プリンタのコントロールパネルから USB ポートを有効化](#)
- [方法 2: HP 内蔵 Web サーバから USB ポートを有効化 \(ネットワークに接続しているプリンタのみ\)](#)

ポートを有効にするには、次のいずれかの方法を実行します。


### 方法 1: プリンタのコントロールパネルから USB ポートを有効化

1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、**設定** アプリケーションに移動し、**設定** アイコンを選択します。
2. 以下のメニューを開きます。
  - [コピー/印刷](#) または [印刷](#)
  - [デバイス USB の有効化](#)
3. USB ポートを有効にするには、**有効** を選択します。

### 方法 2: HP 内蔵 Web サーバから USB ポートを有効化 (ネットワークに接続しているプリンタのみ)

1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面から、**[情報]**  アイコン、**[ネットワーク]**  アイコンの順に選択して、IP アドレスまたはホスト名を表示します。
2. Web ブラウザを開き、プリンタのコントロールパネルに表示されている IP アドレスをアドレスバーに正確に入力します。コンピュータのキーボードの **Enter** キーを押します。EWS が開きます。

---

 **注記:** EWS を開こうとしたときに Web ブラウザに **[この Web サイトのセキュリティ証明書に問題があります]** というメッセージが表示された場合、**[このサイトの閲覧を続行する (推奨されません)]** をクリックします。

**[このサイトの閲覧を続行する (推奨されません)]** を選択しても、HP プリンタの EWS 内を参照している限り、コンピュータを損傷することはありません。

---

3. MFP モデルの場合は **[コピー/印刷]** タブ、SFP モデルの場合は **[印刷]** タブを選択します。
4. 左側のメニューで、**[USB ドライブからの印刷の設定]** を選択します。
5. **[USB ドライブからの印刷を有効化]** を選択します。
6. **[適用]** をクリックします。

# 索引

## 記号/数字

[オン/オフ] ボタン

位置 4

1 枚の用紙に印刷する複数ページ

印刷 (Mac) 52

印刷 (Windows) 48

2,000 枚大容量給紙トレイ

紙詰まりの解消 175

3 ビン ステイブラ/スタッカ

ステイブルの詰まりの解消  
175

550 枚用紙トレイ

紙詰まり 175

製品番号 30

## A

AirPrint 59, 61

Android デバイス

印刷元 59, 62

## B

Bonjour

識別する 140

## E

Ethernet (RJ-45)

位置 4, 6

Explorer、サポートされているバージョン

HP 内蔵 Web サーバ 140

## H

HP ePrint 59

HP ePrint ソフトウェア 59

HP JetAdvantage ビジネスソリューション 129

HP Web Jetadmin 160

HP Web Services

有効化 140, 142, 148

HP カスタマ・ケア 164

HP 純正カートリッジ 33, 34

HP 内蔵 Web サーバ

HP Web Services 140, 148

インサツセッテイ 142, 144

コピーセッテイ 142, 144

コピー設定 140

サプライ品 146

スキャンセッテイ 142

スキャン設定 140, 144

セキュリティ設定 140, 142,  
147

その他のリンクのリスト 140,  
150

デジタルソウシンセッテイ  
142

デジタル送信設定 140, 144

トラブルシューティング用ツール 140

ネットワーク設定 140, 142,  
148

ネットワーク設定の変更 151

ファックスセッテイ 142, 146

ファックス設定 140

プリンタ名の変更 151

印刷設定 140

開く 151

情報ページ 140

一般的な設定 140, 142

HP 内蔵 Web サーバ (EWS)

ネットワーク接続 140

機能 140

HP 内蔵 Web サーバー

HP Web Services 142

ジョウホウページ 142

ゼンパンテキナセッテイ 142

ソノタノリンクノリスト 142

トラブルシューティングヨウツ  
ール 142, 146

## I

Internet Explorer、サポートされているバージョン

HP 内蔵 Web サーバ 140

IPsec 155, 157

IPv4 アドレス 151

IPv6 アドレス 151

IP セキュリティ 155, 157

## J

Jetadmin、HP Web 160

JetAdvantage 129

## L

LAN ポート

位置 4, 6

## M

Mac ドライバ設定

ジョブ保存 55

## N

Netscape Navigator、サポートされているバージョン

HP 内蔵 Web サーバ 140

NFC アクセサリ

製品番号 30

NFC 接続と印刷 59, 60

## O

OHP フィルム

印刷 (Windows) 48

## R

RJ-45 ポート

位置 4, 6

- T
  - TCP/IP
    - IPv4 パラメータの手動設定 151
    - IPv6 パラメータの手動設定 151
- U
  - USB
    - ホゾンサキ 128
  - USB ストレージアクセサリ
    - 印刷元 63
  - USB ポート
    - 位置 4, 6
    - 有効化 63, 64, 66, 67, 238
  - USB ポート、オプション
    - 製品番号 30
- W
  - Web サイト
    - HP Web Jetadmin、ダウンロード 160
    - カスタマサポート 164
  - Web ブラウザ要件
    - HP 内蔵 Web サーバ 140
  - Wi-Fi Direct 印刷 14, 59, 60
- あ
  - アクセサリ
    - 概要 29
    - 製品番号 30
    - 注文 30
- い
  - イージー アクセス USB 印刷 63
  - インサツセッテイ
    - HP 内蔵 Web サーバ 142, 144
  - インタフェースポート
    - 位置 4, 6
- え
  - エネルギー使用、最適化 158
- お
  - オペレーティングシステム、対応 12
  - オンラインサポート 164
  - オンラインヘルプ、コントロールパネル 164
- か
  - カートリッジ
    - 交換 40
    - 製品番号 40
    - 注文番号 40
  - カートリッジの保護 33, 37
  - カートリッジポリシー 33, 34
  - カートリッジ保護 33, 37
  - カスタマサポート
    - オンライン 164
  - カラー
    - 校正 196
  - カラー オプション
    - 変更、Windows 196
  - カラー テーマ
    - 変更、Windows 196
  - ガラス面、クリーニング 212, 217, 222
- き
  - キーボード
    - 位置 4
- く
  - クリーニング
    - ガラス面 212, 217, 222
    - 用紙経路 196, 197
- け
  - ゲートウェイ、デフォルトの設定 151
- こ
  - コピー
    - 概要 69
    - 最適化、テキストまたは画像 212
  - コピーセッテイ
    - HP 内蔵 Web サーバ 142, 144
  - コピー開始ボタン
    - 位置 4
  - コピー設定
    - HP 内蔵 Web サーバ 140
  - コントロールパネル
    - ヘルプ 164
    - 位置 4
    - 機能の位置 4, 7
- さ
  - サインアウト ボタン
    - 位置 4, 7
- サインイン ボタン
  - 位置 4, 7
- サクジョ
  - ホゾンジョブ 55
- サブネットマスク 151
- サプライヒン
  - 低いときに使用する 166
  - 低い閾値の設定 166
- サプライ品
  - HP 内蔵 Web サーバ 146
  - ステイブルの交換 45
  - トナーカートリッジの交換 40
  - 概要 29
  - 製品番号 30, 32
  - 注文 30
- サポート
  - オンライン 164
- し
  - システム要件
    - HP 内蔵 Web サーバ 140
  - ジョウホウページ
    - HP 内蔵 Web サーバ 142
  - ジョブホゾン
    - Windows ノバアイ 55
  - ジョブ、ホゾン
    - Mac 設定 55
    - サクジョ 55
    - 印刷 55
    - 作成 (Windows) 55
  - ジョブ、保存
    - 削除 58
  - シリアル番号
    - 位置 4, 5
- す
  - スキャナ
    - ガラス面のクリーニング 212, 217, 222
    - 校正 212
  - スキャン
    - サイテキカ、テキストまたはガゾウ 217
    - 概要 75
  - スキャンした画像の最適化 217
  - スキャンして USB ドライブに保存 128
    - 有効化 114

- スキャンセッテイ
    - HP 内蔵 Web サーバ 142
  - スキャン データをネットワーク フォルダに送信 124
    - 初期セットアップ 91
  - スキャンをプリンタのフォルダに保存 121
  - スキャンをプリンタのメモリに保存 121
  - スキャン、USB ドライブ 128
  - スキャン、デンシメールアドレス
    - ソウシン、ブンシヨ 118
  - スキャン、フォルダ 124
  - スキャン設定
    - HP 内蔵 Web サーバ 140, 144
  - スタンド
    - 製品番号 30
  - ステイプラ
    - トラブルシューティング 28
    - 使用 28
  - ステイプラ/スタッカ アクセサリ
    - 紙詰まりの解消 175
  - ステイプル
    - 交換 45
  - ステイプル詰まり
    - 3 ピン ステイプラ/スタッカ 175
  - ステータス、ファックス アクセサリ ページ 232, 233
  - スリープ遅延
    - 設定 158
- せ**
- セキュリティ
    - アンゴウカサレタハードディスク 155, 157
    - 付属 10
  - セキュリティセッテイ
    - HP 内蔵 Web サーバ 142
  - セキュリティ設定
    - HP 内蔵 Web サーバ 140, 147
  - セッテイ
    - ファックス 133
  - セット
    - トレイ 1 ノヨウシ 19
    - トレイ 2 および 550 枚トレイの用紙 22
  - ゼンパンテキナセッテイ
    - HP 内蔵 Web サーバ 142
- そ**
- ソウシン、デンシメールアドレス
    - ソウシン、ブンシヨ 118
  - ソノタノリンクノリスト
    - HP 内蔵 Web サーバ 142
  - その他のリンクのリスト
    - HP 内蔵 Web サーバ 140, 150
- た**
- タッチスクリーン
    - 機能の位置 4, 7
- ち**
- チェックリスト
    - ワイヤレス接続 228
- て**
- テクニカル サポート
    - オンライン 164
  - デジタルソウシン
    - USB 128
    - ソウシン、ブンシヨ 118
    - フォルダ 124
  - デジタルソウシンセッテイ
    - HP 内蔵 Web サーバ 142
  - デジタル送信
    - プリンタ メモリ 121
  - デジタル送信設定
    - HP 内蔵 Web サーバ 140, 144
  - デフォルトゲートウェイ、設定 151
- と**
- トナーカートリッジ
    - コンポーネント 40
    - ヒクイシキイチノセッテイ 166
    - ヒクイトキニシヨウスル 166
    - 交換 40
    - 製品番号 30, 40
  - トナーカートリッジ
    - 注文番号 40
  - トナーカートリッジ
    - 製品番号 30
  - トナー回収ユニット
    - 位置 4
  - トラブルシューティング
    - トナーカートリッジステータスの確認 196, 197, 199
    - ネットワークニカンスルモンダイ 226
  - ユウセンネットワーク 226
  - ヨウシオクリニカンスルモンダイ 168
  - ワイヤレス ネットワーク 228
  - 概要 163
  - 紙詰まり 175, 176
  - トラブルシューティングヨウツール
    - HP 内蔵 Web サーバ 142, 146
  - トラブルシューティング用ツール
    - HP 内蔵 Web サーバ 140
- トレイ**
- 位置 4
  - 収納枚数 10
  - 代替レターヘッドモードの使用 21, 25
  - 付属 10
- トレイ 1**
- ヨウシノムキ 19, 20
  - 紙詰まり 175
  - 封筒のセット 26
- トレイ 2**
- 紙詰まり 175
- トレイ 2 および 550 枚トレイ**
- セット 22
  - 用紙の向き 22, 24
- に**
- ニア フィールド通信印刷 59, 60
- ね**
- ネットワーク
    - HP Web Jetadmin 160
    - IPv4 アドレス 151
    - IPv6 アドレス 151
    - サブネット マスク 151
    - デフォルトゲートウェイ 151
    - プリンタ名、変更 151
    - 設定、表示 151
    - 設定、変更 151
    - 対応 10
  - ネットワークの管理 151
  - ネットワーク フォルダ、保存先 124
  - ネットワークリンク速度、変更 151
  - ネットワーク設定
    - HP 内蔵 Web サーバ 140, 142, 148

ネットワーク二重通信設定、変更 151

## は

ハードディスク  
アンゴウカ 155, 157  
ハードドライブ  
製品番号 30

## ひ

ピン、排紙  
位置 4

## ふ

ファクスポート  
位置 4, 6  
ファックス  
サイテキカ、テキストまたはガ  
ゾウ 222  
セッテイ 133  
セットアップ 132  
概要 131  
給紙の問題 232, 236  
必須設定 132  
ファックスイメージの最適化  
222  
ファックスセッテイ  
HP 内蔵 Web サーバ 142, 146  
必要 132  
ファックス設定  
HP 内蔵 Web サーバ 140  
フウトウ  
印刷の向き 19, 20  
フォーマッタ  
位置 4, 5  
フォルダ  
ホゾンサキ 124  
フューザ  
紙詰まり 175  
プライベート印刷 55  
ブラウザ要件  
HP 内蔵 Web サーバ 140  
プリンタ  
概要 1  
プリンタのメモリに保存 121  
プリンタのメモリ、保存先 121  
プリンタの管理  
概要 139  
プリンタの仕様  
概要 10

プリンタ メモリ  
保存先 121  
ブンショフィーダ  
キュウシノモンダイ 168, 174

## へ

ページ数/分 10  
ヘルプ ボタン  
位置 4, 7  
ヘルプ、コントロールパネル 164

## ほ

ポート  
位置 4, 6  
ホーム ボタン  
位置 4, 7  
ホゾンジョブ  
サクジョ 55  
印刷 55  
作成 (Mac) 55  
作成 (Windows) 55

## ま

マージン、最小  
コピー 212

## め

メモリ  
付属 10  
メモリチップ(トナー)  
位置 40

## も

モバイル印刷  
Android デバイス 59, 62  
モバイル印刷、対応ソフトウェア 14

## よ

ヨウシノピックアップニカンスル  
モンダイ  
カイケツ 168, 170

## ら

ラベル  
印刷 27  
印刷 (Windows) 48  
印刷の向き 27  
ラベル、セット 27

## ろ

ローカルエリア ネットワーク  
(LAN)  
位置 4, 6  
ロック  
フォーマッタ 155, 157

## わ

ワイヤレス ネットワーク  
トラブルシューティング 228  
ワイヤレス ネットワークの干渉  
228, 231  
ワイヤレス プリント サーバー  
製品番号 30

## ん

「EconoMode」設定 196, 197  
印刷  
USB ストレージアクセサリカ  
ラ 63  
ホゾンジョブ 55  
概要 47  
印刷ジョブの保存 55  
印刷メディア  
トレイ 1 にセットする 19  
印刷、両面  
Mac 52  
Windows 48  
手差し、Windows 48  
設定 (Windows) 48  
印刷設定  
HP 内蔵 Web サーバ 140  
右下ドア  
紙詰まりの解消 175  
右扉  
紙詰まり 175  
音響ノイズ 16  
画像品質  
トナーカートリッジステータ  
スの確認 196, 197, 199  
各部  
概要 29  
感電の危険性 3  
技術仕様 10  
給紙の問題 232, 236  
後部ドア  
位置 5  
交換  
ステイプル 45  
トナーカートリッジ 40



交換部品  
   製品番号 30, 32  
 校正  
   カラー 196  
   スキャナ 212  
 高速 USB 2.0 印刷ポート  
   位置 4, 6  
 最小マージン 212  
 最小マージンコピー 212  
 最適化、コピー結果 212  
 削除  
   保存ジョブ 58  
 仕様  
   電気および音響 16  
 使用電力  
   1W 以下 158  
 紙詰まり  
   2,000 枚大容量給紙トレイ 175  
   3 ピン ステイブラ/スタッカ内のステイプル 175  
   550 枚用紙トレイ 175  
   ゲンイン 175, 176  
   ジドウナビゲーション 176  
   ステイブラ/スタッカ アクセサリ 175  
   トレイ 1 175  
   トレイ 2 175  
   フューザ 175  
   右下ドア 175  
   右扉 175  
   自動ナビゲーション 175  
   場所 175  
   排紙ピン 175  
   文書フィーダ 175  
 手差し両面印刷  
   Mac 52  
   Windows 48  
 重量、プリンタ 15  
 出荷時の設定に戻す 165  
 情報ページ  
   HP 内蔵 Web サーバ 140  
 寸法、プリンタ 15  
 製品番号  
   アクセサリ 30  
   サプライ品 30, 32  
   トナーカートリッジ 30  
   トナーカートリッジ 30  
   交換部品 30, 32  
   場所 4, 5  
 設定  
   出荷時の(デフォルト)設定に戻す 165  
   一般的な設定  
     HP 内蔵 Web サーバ 140, 142  
   速度、最適化 158  
   対応するオペレーティングシステム 12  
   代替レターヘッドモード 19, 21, 22, 25  
   注文  
     サプライ品とアクセサリ 30  
   電源スイッチ  
     位置 4  
   電源仕様 16  
   電源接続  
     位置 4, 5  
   電力  
     消費 16  
   特殊用紙  
     印刷 (Windows) 48  
   内蔵 Web サーバ  
     ネットワーク設定の変更 151  
     プリンタ名の変更 151  
     開く 151  
   内蔵 Web サーバ (EWS)  
     ネットワーク接続 140  
     パスワードノワリアテ 155, 156  
     機能 140  
   排紙ピン  
     位置 4  
     紙詰まりの解消 175  
   必須設定  
     ファックス 132  
   封筒、セット 26  
   文書フィーダ  
     紙詰まり 175  
   保存ジョブ  
     削除 58  
   保存、ジョブ  
     Mac 設定 55  
 用紙  
   トレイ 1 ヘノヨウシノセット 19  
   トレイ 1 用紙の向き 19, 20  
   トレイ 2 および 550 枚トレイのセット 22  
   トレイ 2 および 550 枚トレイの向き 22, 24  
   紙詰まり 175, 176  
   選択する 196, 197, 201  
 用紙あたりのページ数  
   選択 (Mac) 52  
   選択 (Windows) 48  
 用紙タイプ  
   選択 (Mac) 52  
   選択 (Windows) 48  
 用紙トレイ  
   概要 17  
   製品番号 30  
 用紙、注文 30  
 両面に印刷する  
   設定 (Windows) 48  
 両面印刷  
   Mac 52  
   Windows 48  
   手動 (Mac) 52  
   手動 (Windows) 48  
   設定 (Windows) 48

